

# 岩盤調査坑(露頭, 研磨面, 薄片観察) — 評価結果 —

## 【有識者会合時の当社評価】

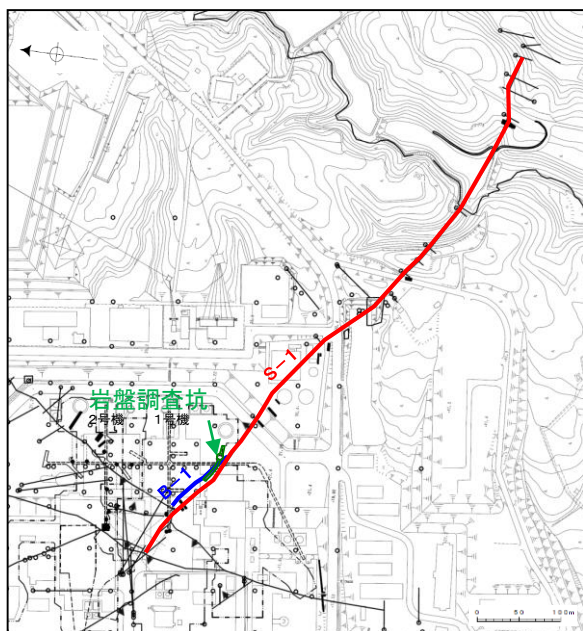
- 岩盤調査坑では、S-1に漸近するにしたがって割れ目の増加や礫の細粒化の傾向は認められず、S-1のごく近傍に分布する礫にせん断性の割れ目の発達は認められない。
- また、S-1は凝灰角礫岩の基質の構造を残して粘土化しており、S-1の粘土状破碎部中に入り込むあるいは分断するように分布する礫に破断は認められない。

## 【有識者会合の評価】

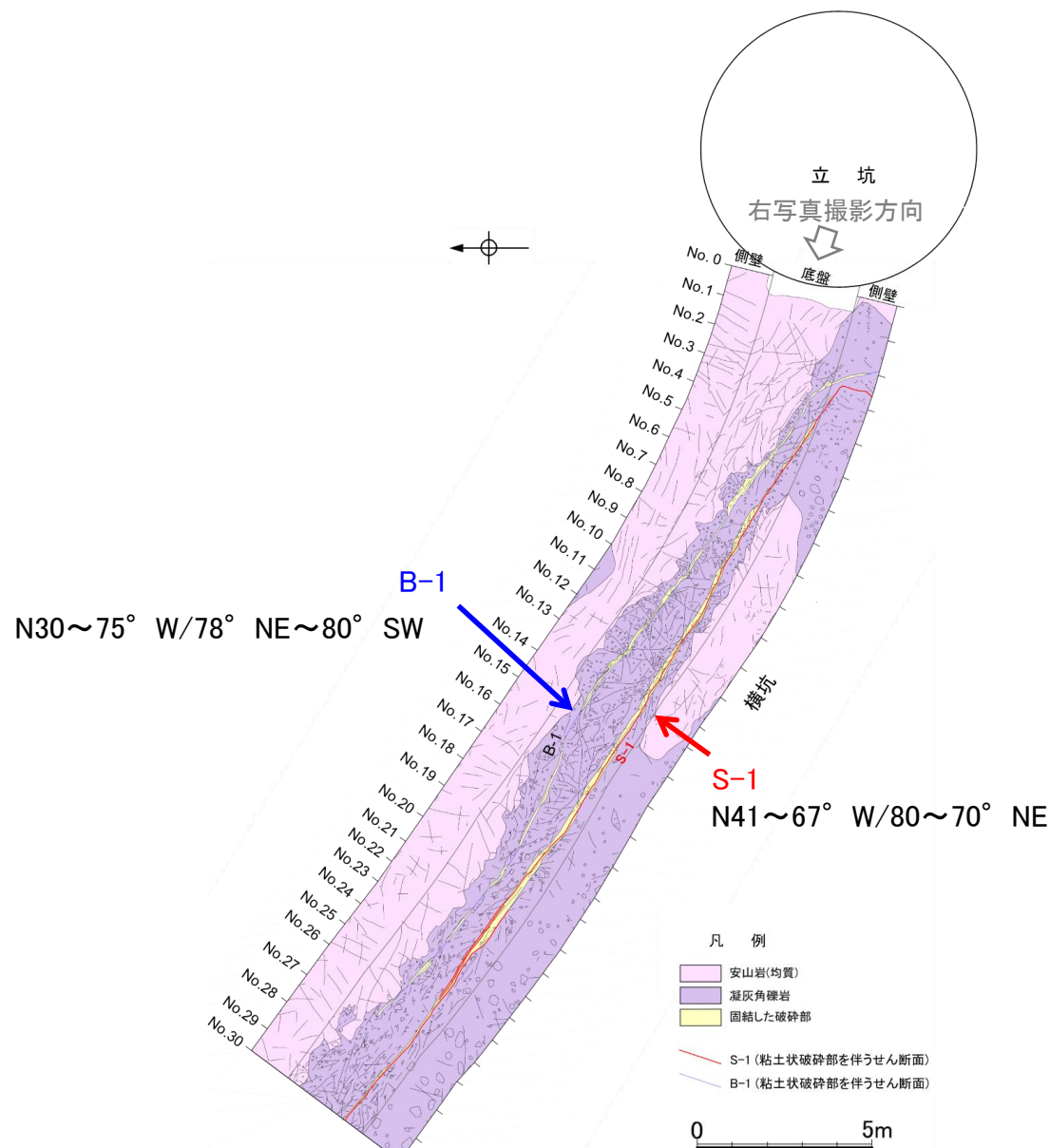
- 礫はS-1を完全には分断しておらず、S-1の変位マーカーとして用いるには不適切である。

## 【現在の当社評価】

- S-1のごく近傍に分布する礫あるいはS-1の粘土状破碎部中に入り込むように分布する礫に破断等の変状は認められないが、礫は粘土状破碎部を完全には分断しておらず、礫と最新面との切り合い関係は不明確である。



位置図



岩盤調査坑底盤・側壁展開スケッチ



横坑の状況写真  
(立坑側より、2013年撮影)

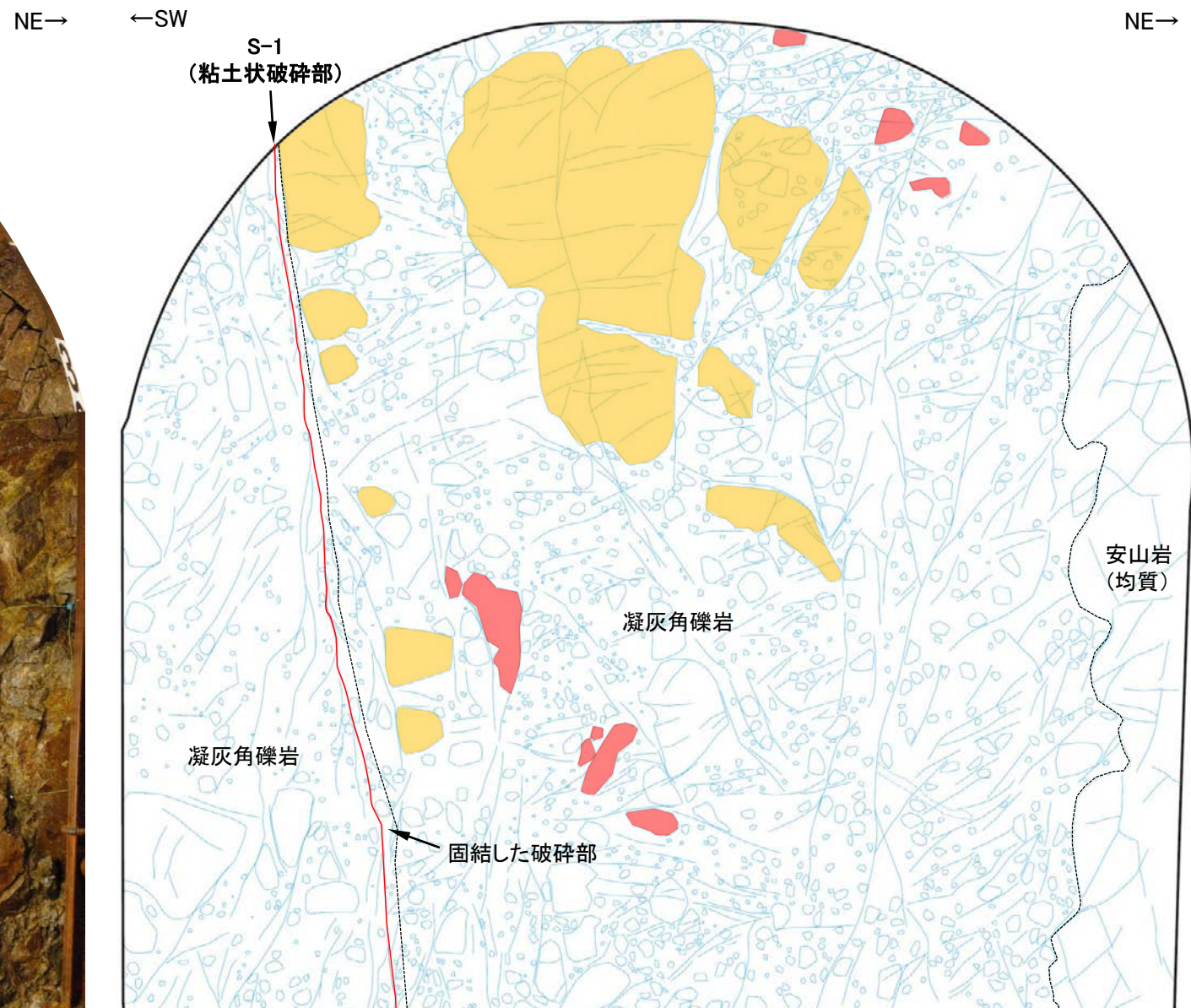


# 岩盤調査坑(露頭, 研磨面, 薄片観察) 一切羽観察(No.30切羽) 一

- S-1周辺の岩盤の性状, 割れ目, 礫の分布状況を確認するため, No.30切羽において観察を行った。
- 切羽観察の結果, S-1は凝灰角礫岩中に認められる。
- 切羽全体に割れ目は認められるが, S-1に漸近するにしたがって割れ目が増加する傾向は認められない。
- S-1の近傍の礫径は周辺部と同程度であり, S-1に漸近するにしたがって礫が細粒化する傾向は認められない。



No.30切羽写真



No.30切羽スケッチ

凝灰角礫岩のブロック  
凝灰岩の礫

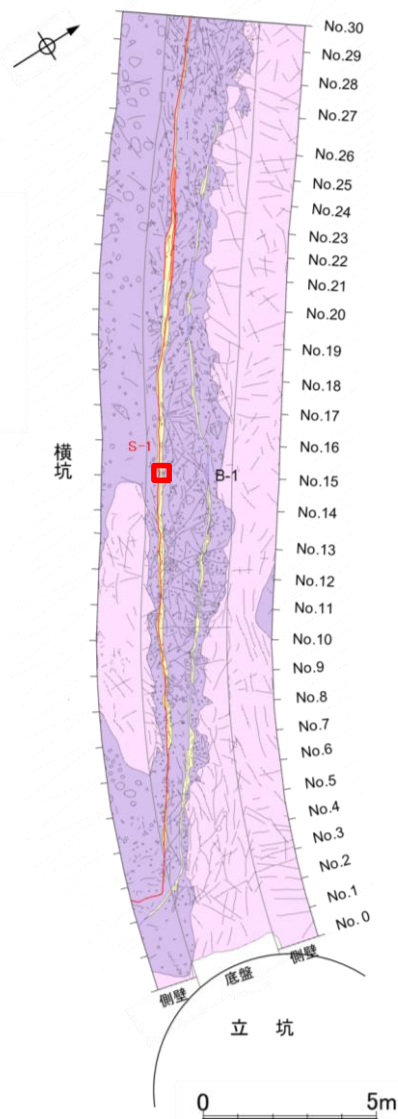
50cm



# 岩盤調査坑(露頭, 研磨面, 薄片観察) ー底盤観察ー

OS-1周辺の割れ目, 礫の分布状況を確認するため, No.15, No.21及びNo.29切羽付近の底盤を研磨し観察を行った結果, S-1に漸近するにしたがって割れ目の増加や礫の細粒化の傾向は認められず, S-1のごく近傍に分布する礫にせん断性の割れ目の発達は認められない。

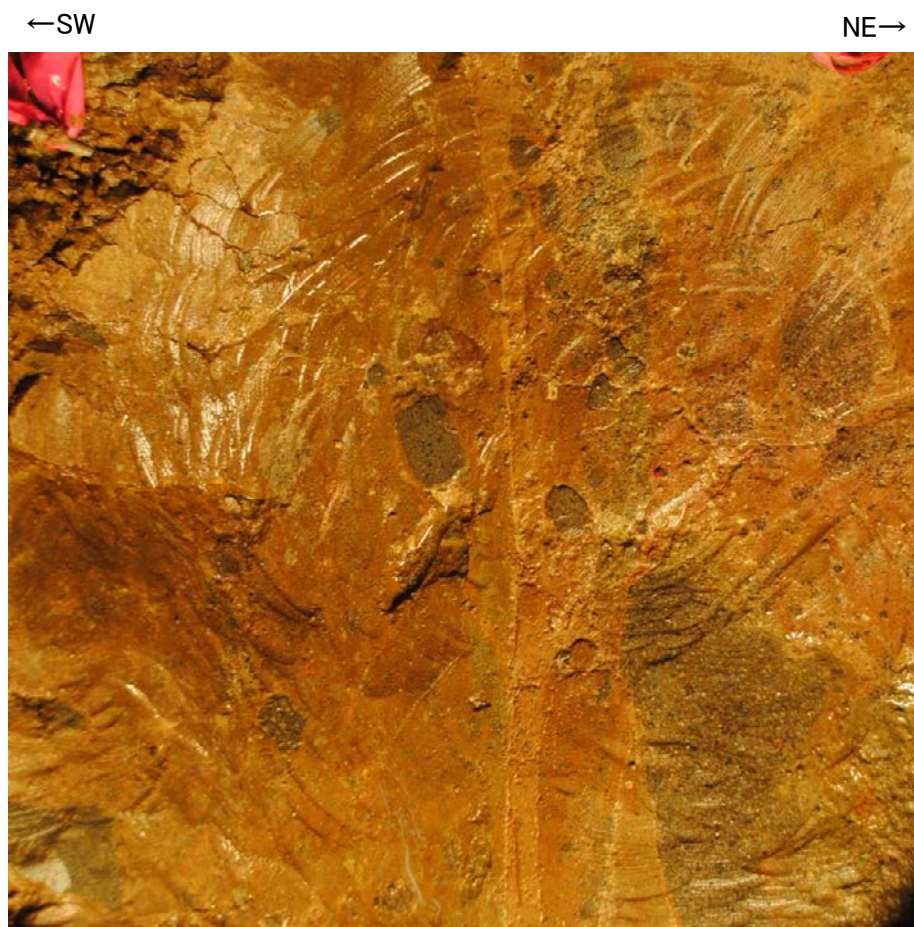
## 【No.15切羽付近底盤】



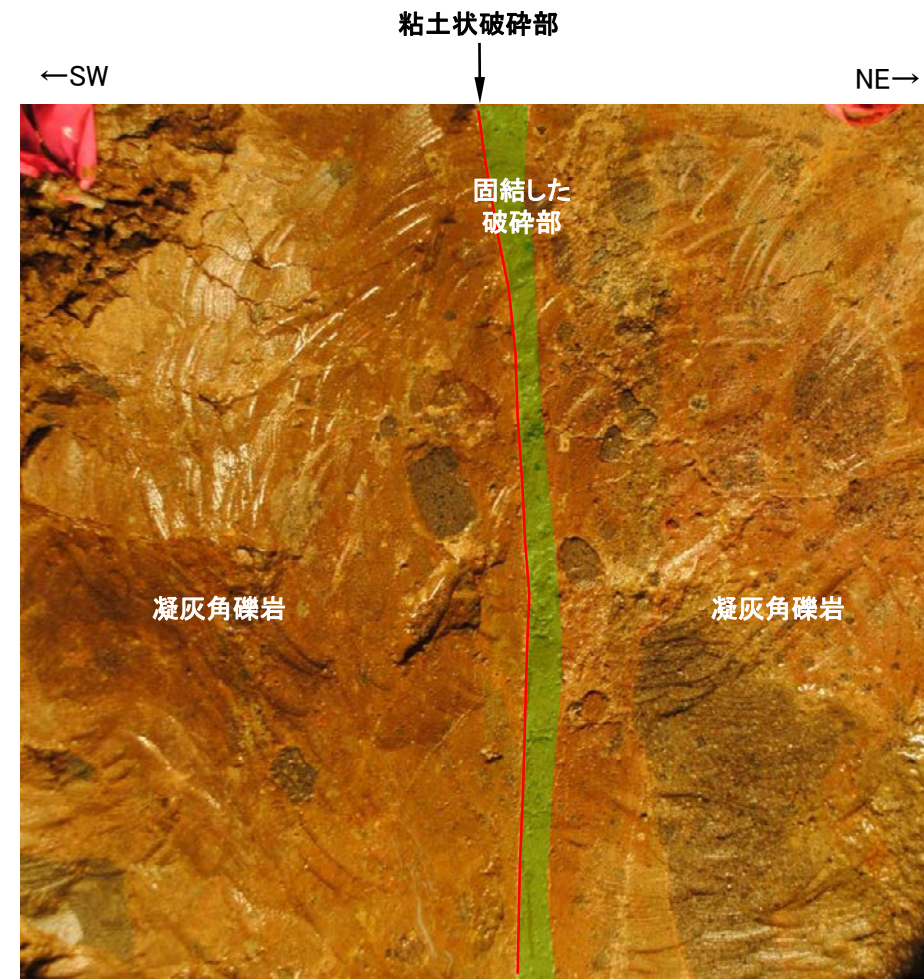
### 凡 例

- 安山岩(均質)
- 凝灰角礫岩
- 固結した破碎部
- S-1 (粘土状破碎部を伴うせん断面)
- B-1 (粘土状破碎部を伴うせん断面)
- 詳細観察箇所

### 位置図



No.15付近底盤写真



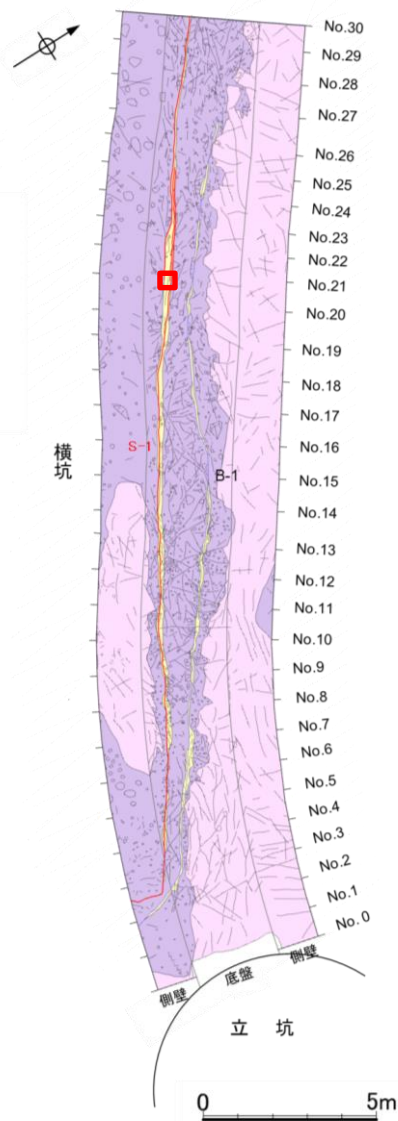
No.15付近底盤写真(破碎部境界等を加筆)

- ・粘土状破碎部は, 厚さ0.2cmである。
- ・S-1に漸近するにしたがって割れ目が増加する傾向は認められない。
- ・S-1に漸近するにしたがって礫が細粒化する傾向は認められない。
- ・S-1のごく近傍に分布する礫に, せん断性の割れ目の発達は認められない。



S-1\_岩盤調査坑

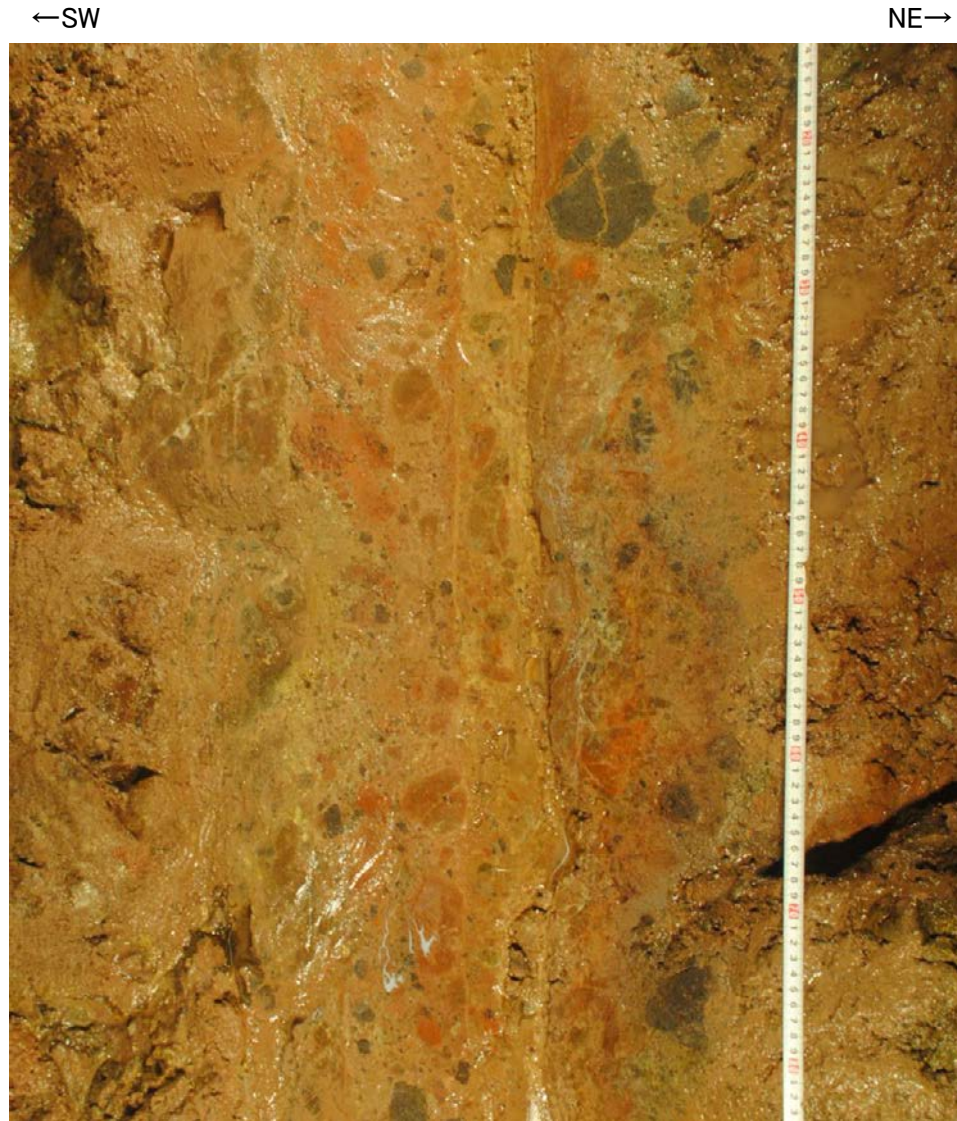
【No.21切羽付近底盤】



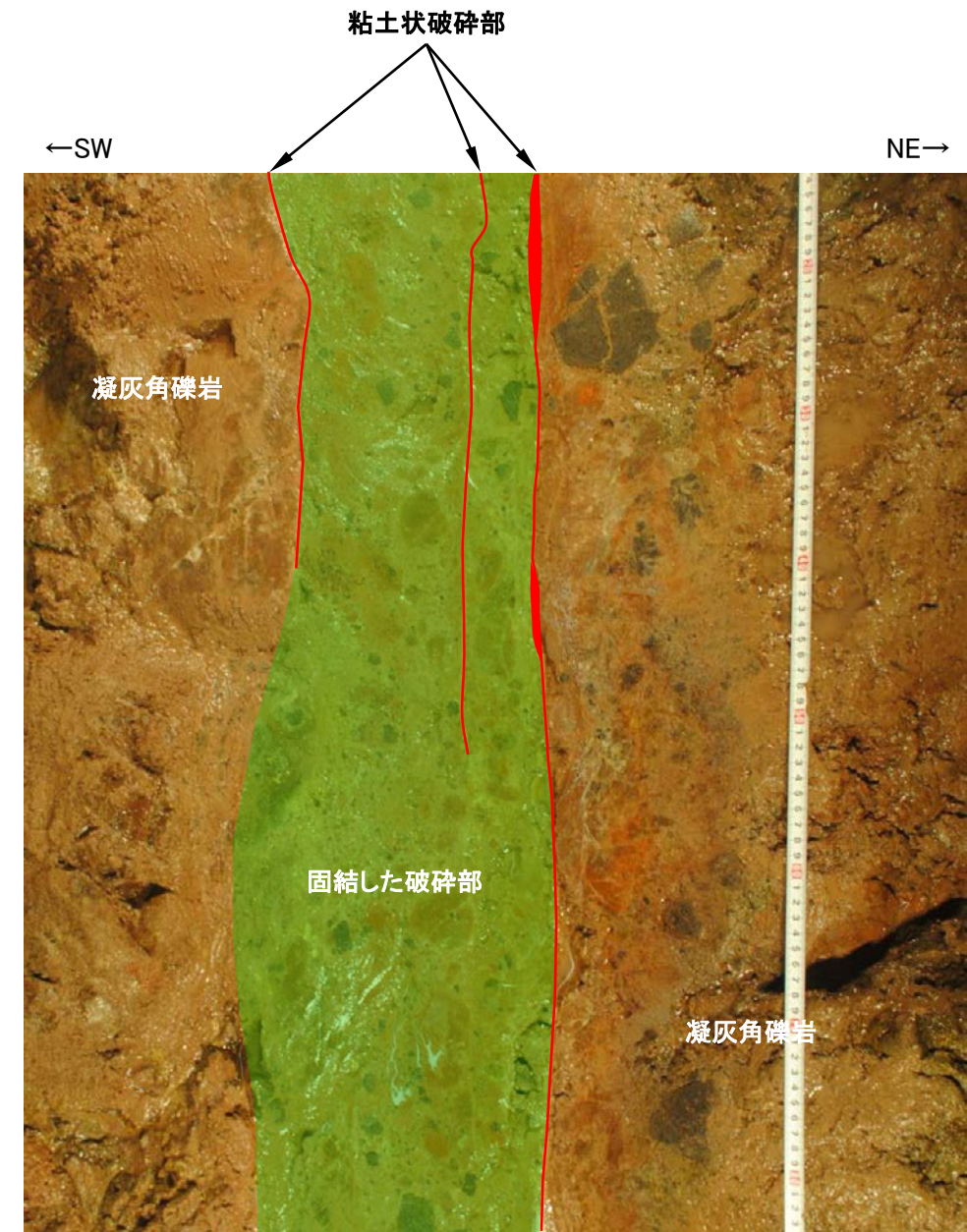
凡 例

- 安山岩(均質)
- 凝灰角礫岩
- 固結した破碎部
- S-1 (粘土状破碎部を伴うせん断面)
- B-1 (粘土状破碎部を伴うせん断面)
- 詳細観察箇所

位置図



No.21付近底盤写真



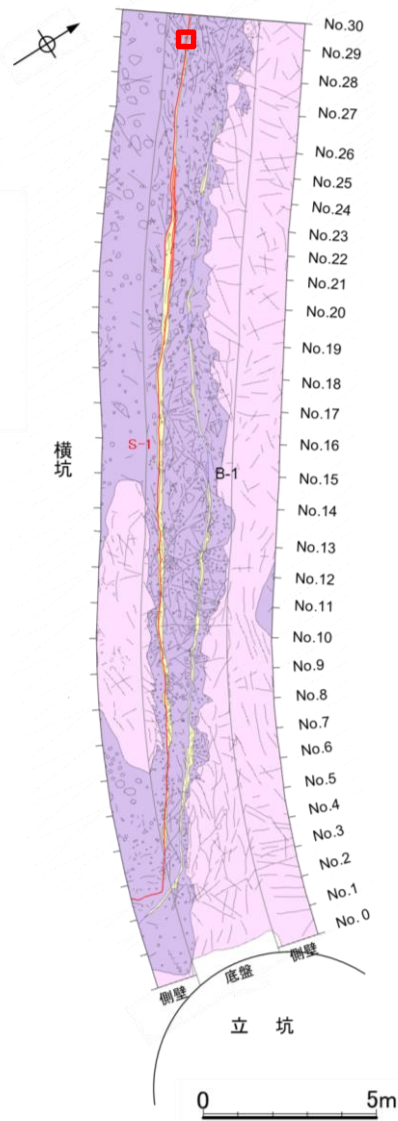
No.21付近底盤写真(破碎部境界等を加筆)

- ・粘土状破碎部は、固結した破碎部の両縁等に3条並行して分布しており、厚さはフィルム状～1.0cmである。
- ・S-1に漸近するにしたがって割れ目が増加する傾向は認められない。
- ・S-1に漸近するにしたがって礫が細粒化する傾向は認められない。
- ・S-1のごく近傍に分布する礫に、せん断性の割れ目の発達は認められない。



S-1\_岩盤調査坑

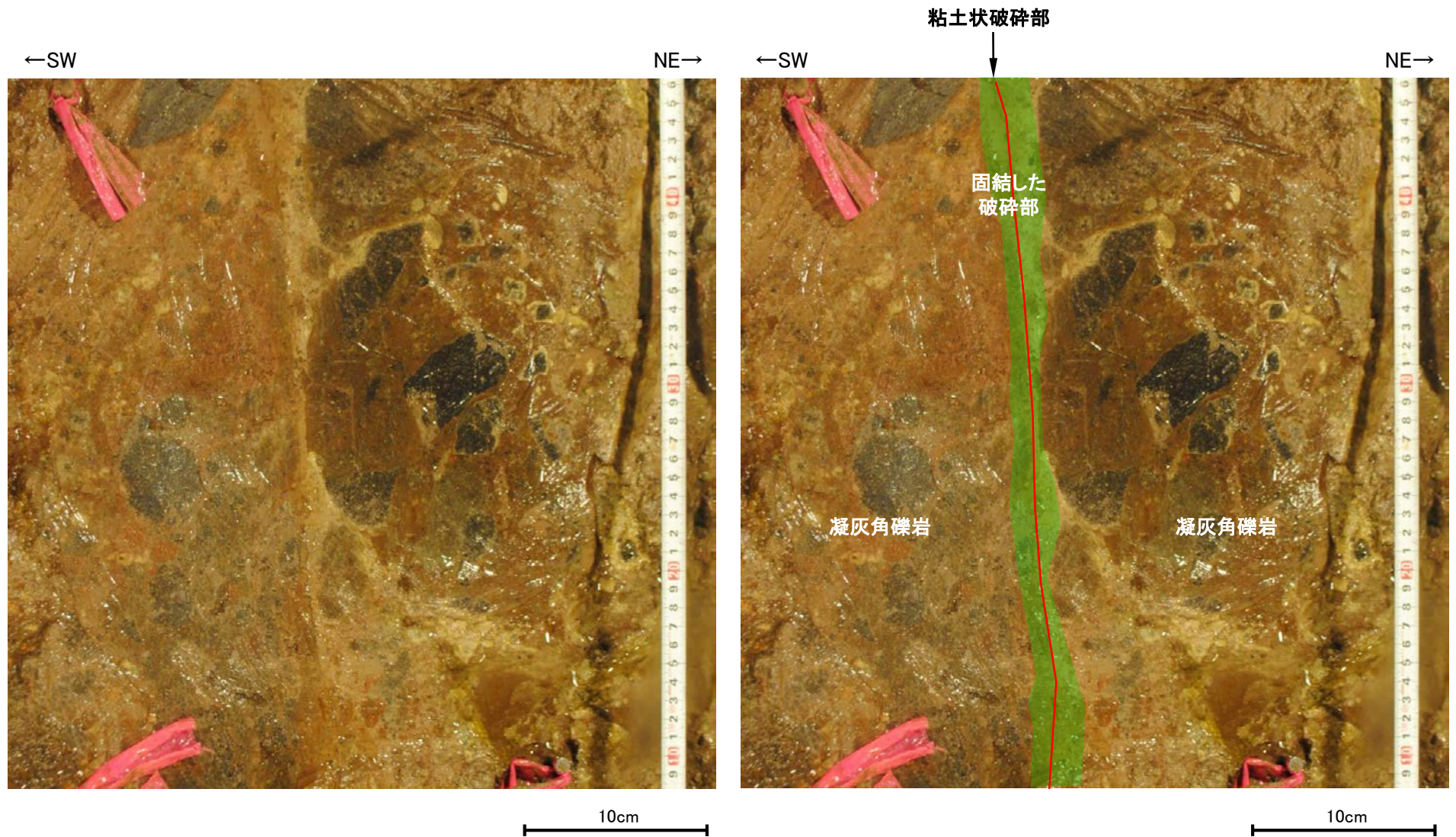
【No.29切羽付近底盤】



凡 例

- 安山岩(均質)
- 凝灰角礫岩
- 固結した破碎部
- S-1 (粘土状破碎部を伴うせん断面)
- B-1 (粘土状破碎部を伴うせん断面)
- 詳細観察箇所

位置図



No.29付近底盤写真

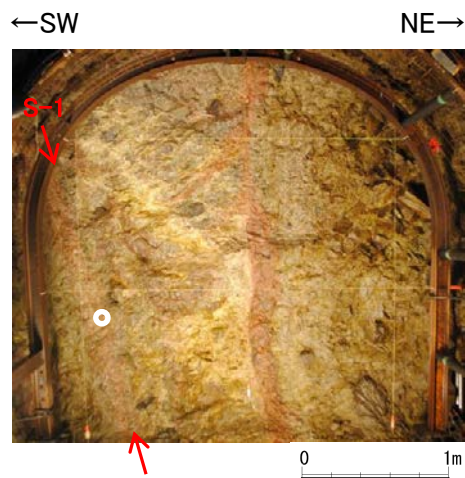
No.29付近底盤写真(破碎部境界等を加筆)

- ・粘土状破碎部は、厚さ0.1cmである。
- ・S-1に漸近するにしたがって割れ目が増加する傾向は認められない。
- ・S-1に漸近するにしたがって礫が細粒化する傾向は認められない。
- ・S-1のごく近傍に分布する礫に、せん断性の割れ目の発達は認められない。

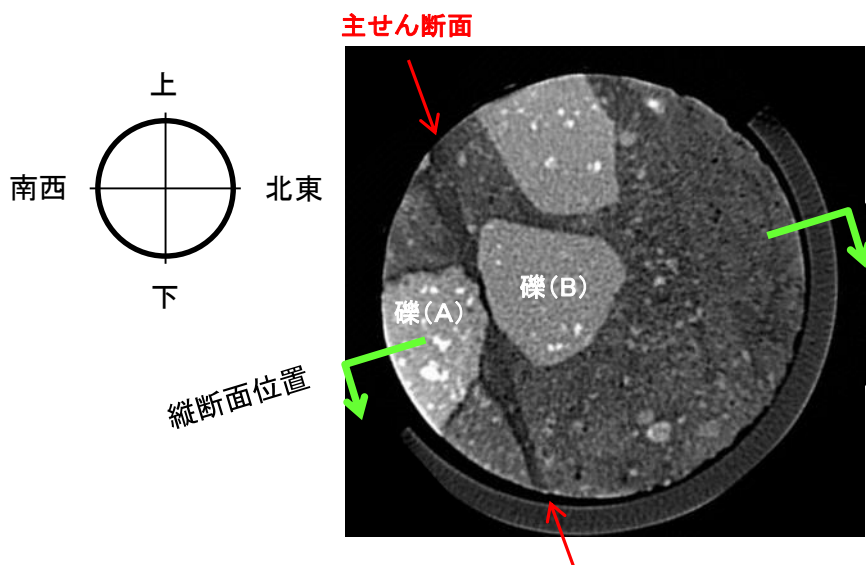
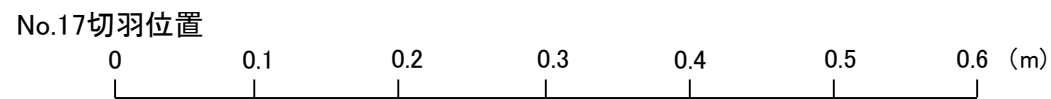
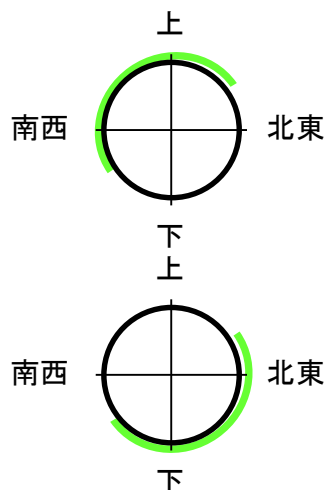


# 岩盤調査坑(露頭, 研磨面, 薄片観察) - CT画像解析(水平ボーリングNo.17) -

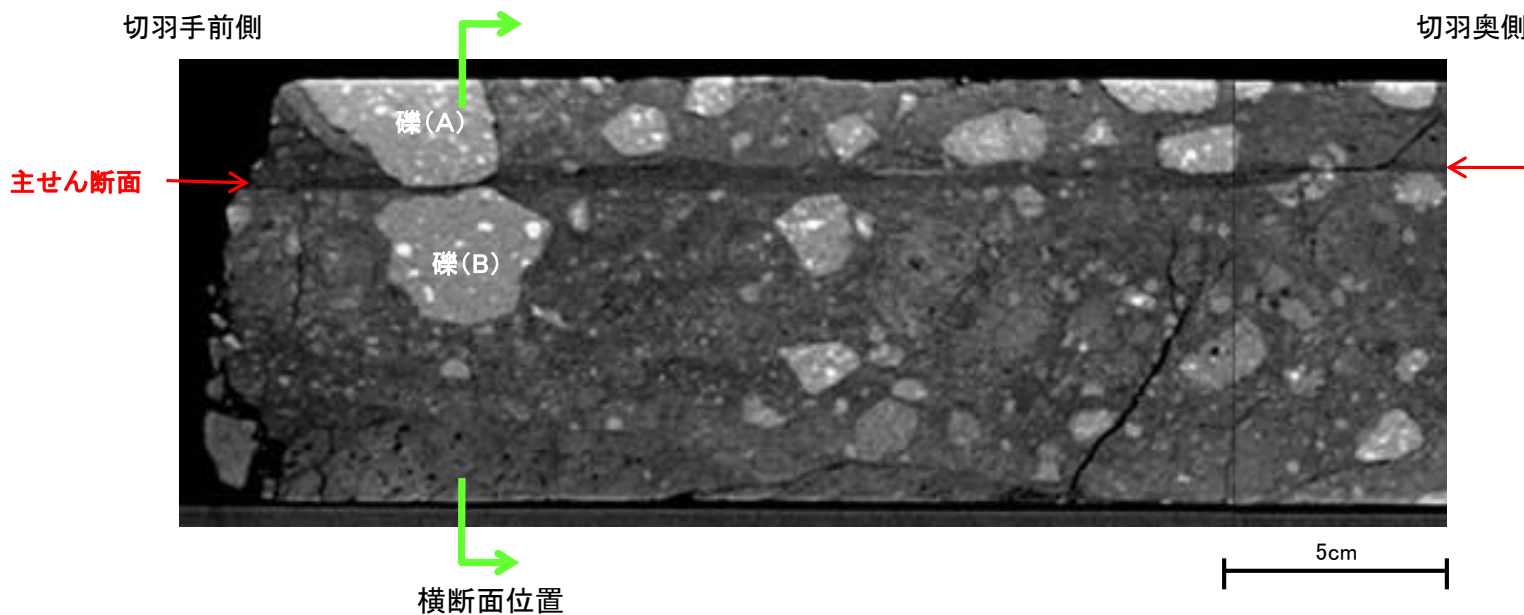
OS-1中の粘土及び礫の状況を確認するため, No.17切羽から実施した水平ボーリングにおいてCT画像解析を行った結果, 礫が主せん断面沿いの粘土状破砕部に入り込んでいるように分布しており, その礫に破断は認められない。



試料採取位置(No.17切羽)



CTスキャン画像(横断面)



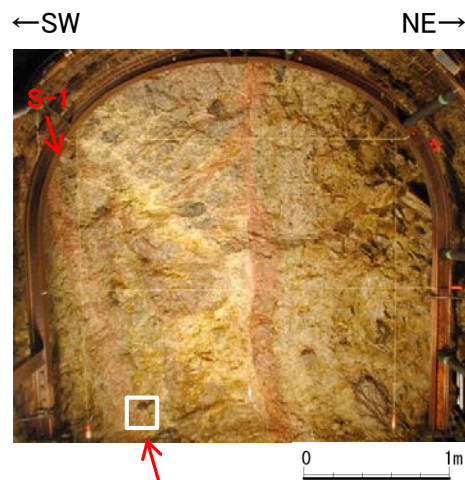
CTスキャン画像(縦断面)



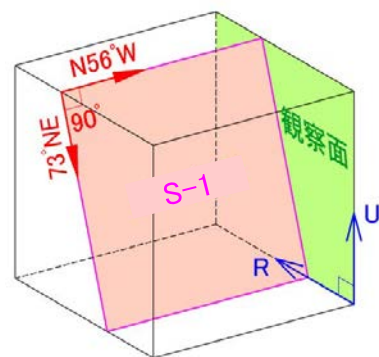
# 岩盤調査坑(露頭, 研磨面, 薄片観察) — 研磨面観察 —

OS-1中の粘土及び礫の状況を確認するため, No.17, No.20及びNo.23切羽から作成した研磨片の観察を行った結果, 礫が粘土状破碎部に入り込んでいるように分布しており, その礫に破断は認められない。

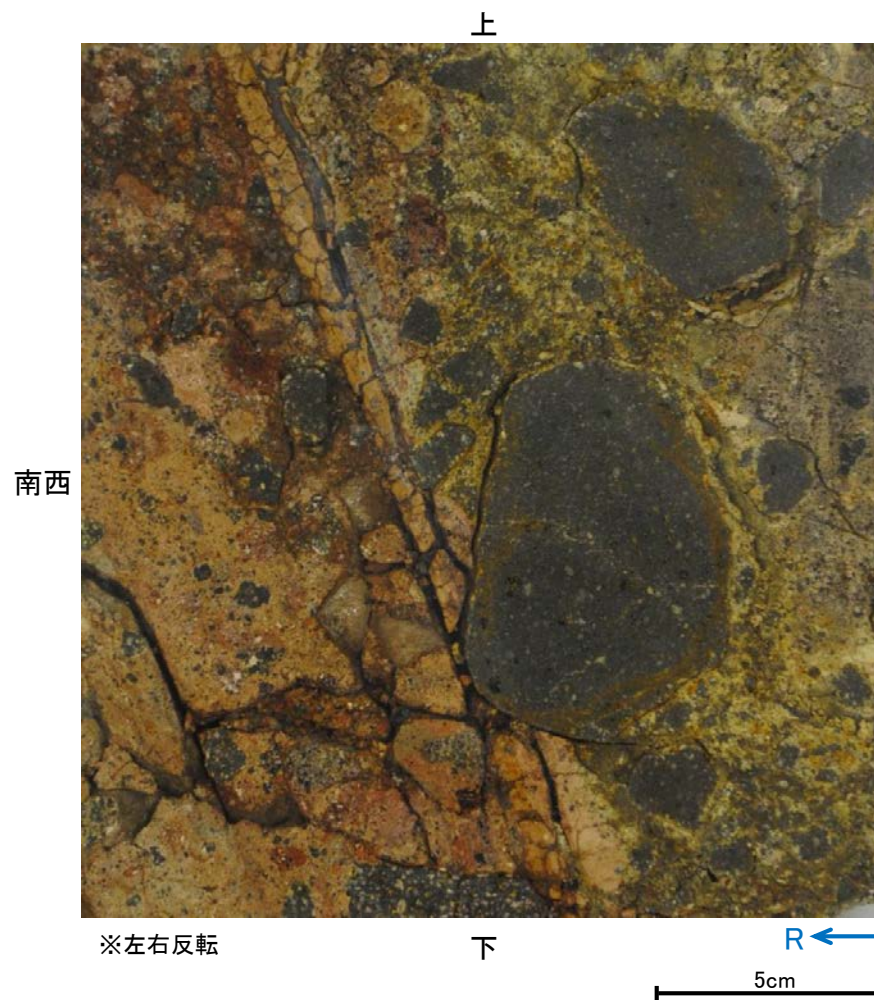
## 【No.17切羽(No.17-1\_90R)】



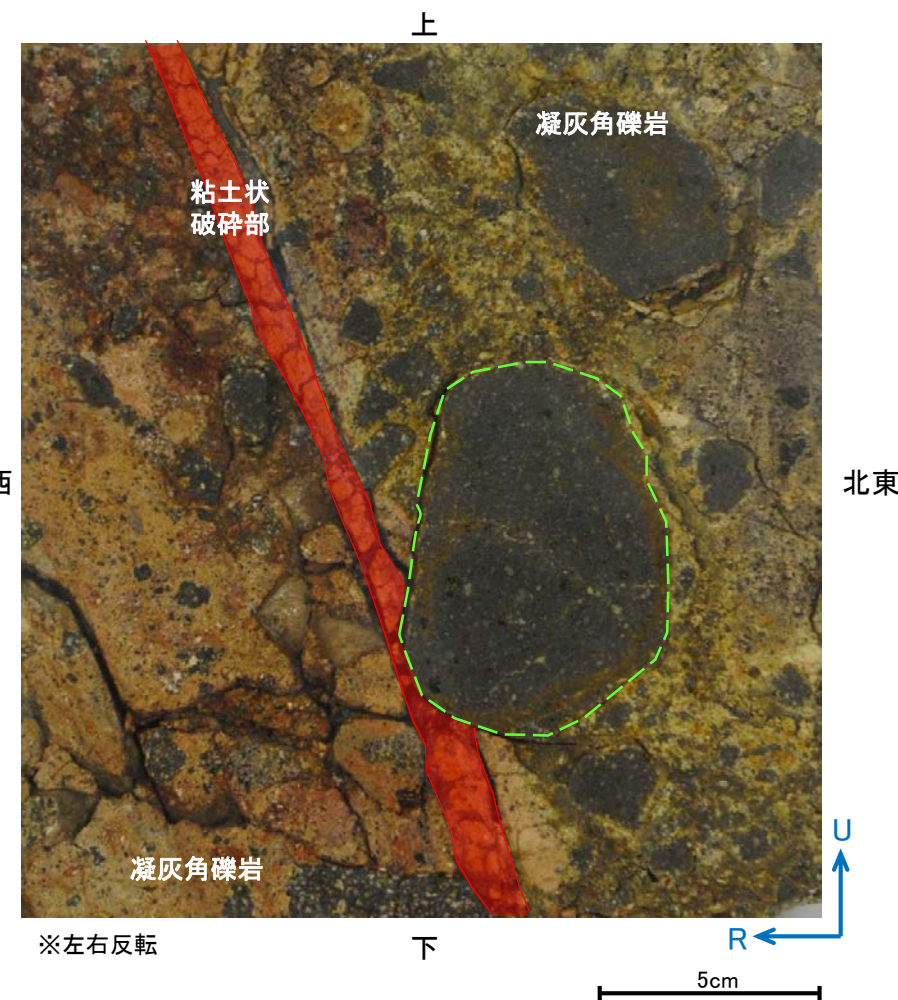
試料採取位置付近(No.17切羽)



観察面概念図(No.17-1\_90)



研磨面写真



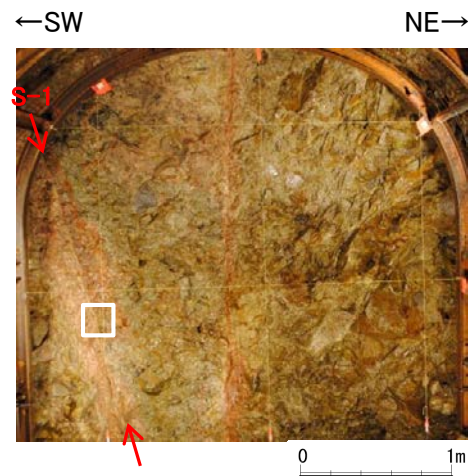
研磨面写真(破碎部境界等を加筆)

・礫が粘土状破碎部に入り込んでいるように分布しており, その礫に破断は認められない。

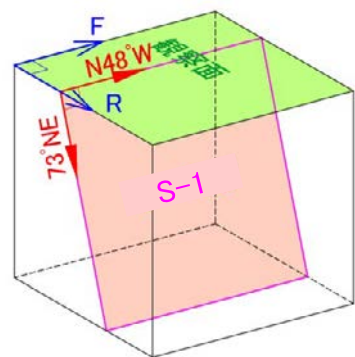


S-1\_ 岩盤調査坑

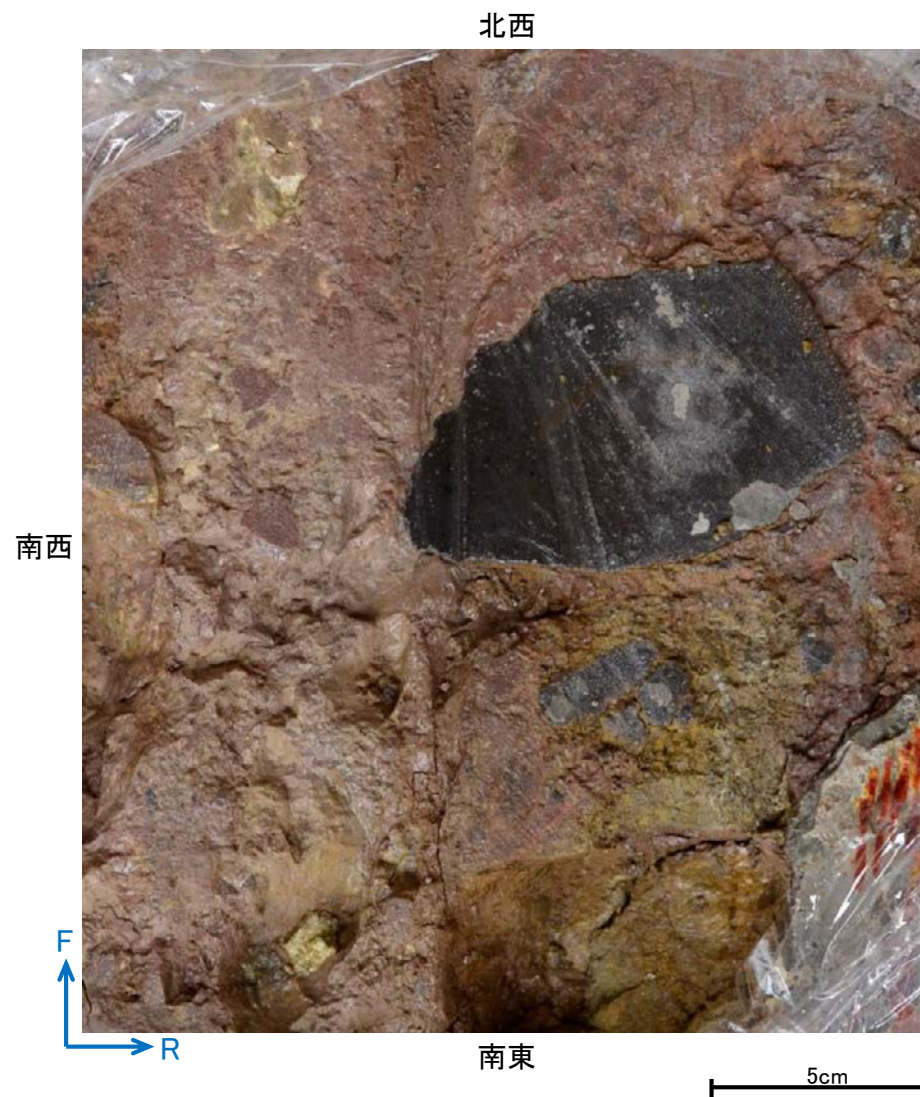
【No.20切羽 (No.20-1\_0R)】



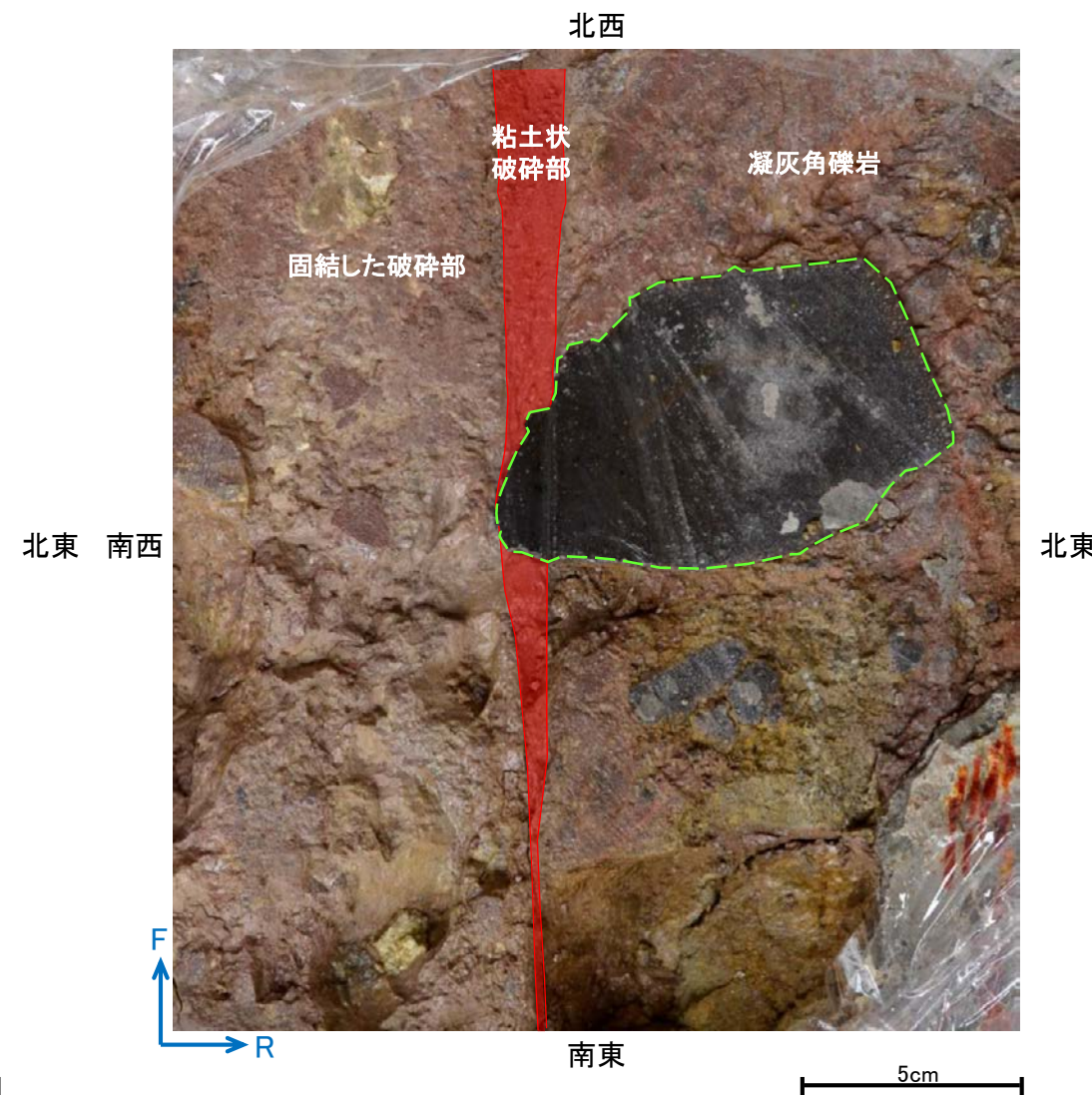
試料採取位置付近 (No.20切羽)



観察面概念図 (No.20-1\_0)



研磨面写真



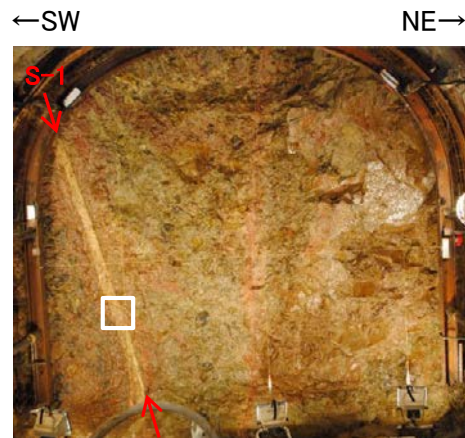
研磨面写真(破砕部境界等を加筆)

・礫が粘土状破砕部に入り込んでいるように分布しており、その礫に破断は認められない。

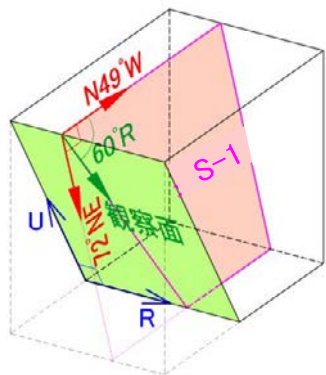


S-1\_岩盤調査坑

【No.23切羽(No.23-2\_60R)】



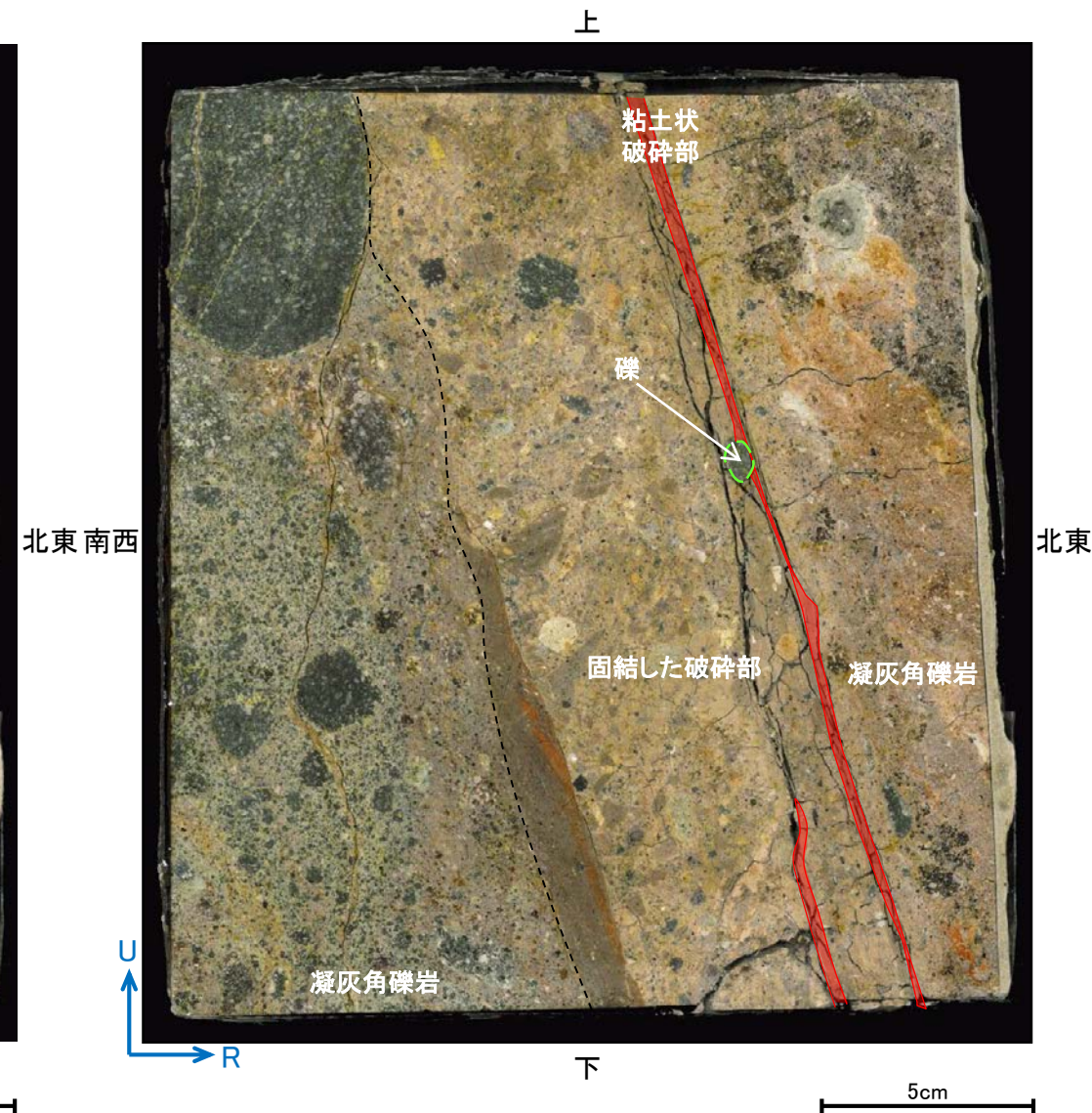
試料採取位置付近(No.23切羽)



観察面概念図(No.23-2\_60R)



研磨面写真



研磨面写真(破碎部境界等を加筆)

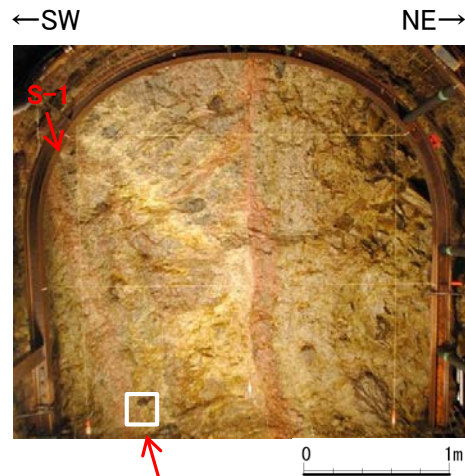
・礫が粘土状破碎部に入り込んでいるように分布しており、その礫に破断は認められない。



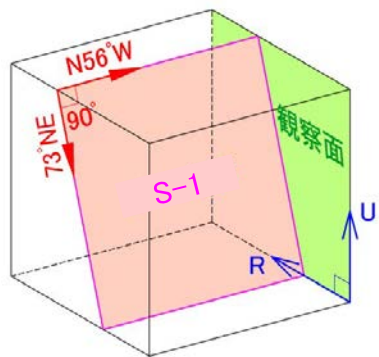
# 岩盤調査坑(露頭, 研磨面, 薄片観察) — 薄片観察 —

○S-1周辺やS-1中の基質, 粘土及び礫の状況を確認するため, No.17, No.18及びNo.23切羽から作成した薄片の観察を行った結果, S-1近接部の礫及び基質には, せん断性の割れ目は認められない。  
○また, S-1は凝灰角礫岩の基質を残して粘土化しており, 粘土状破碎部中に入り込むように分布する礫に破断は認められない。

## 【No.17-1\_90R\_1(1/2)】

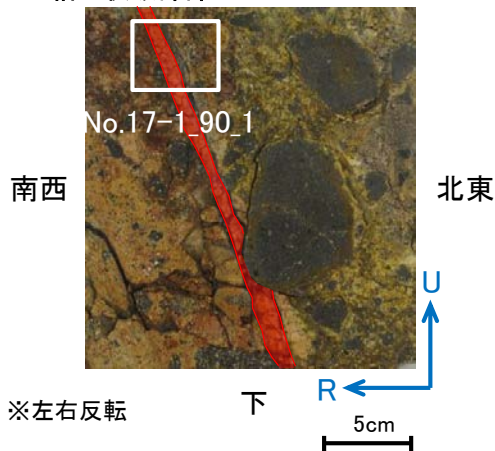


試料採取位置付近 (No.17切羽)



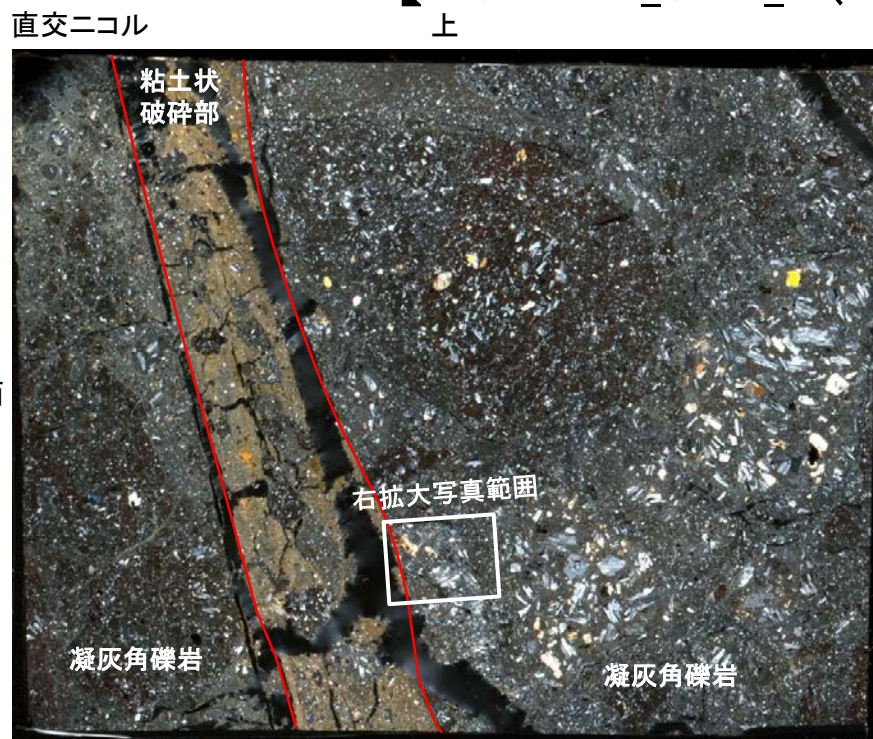
観察面概念図 (No.17-1\_90)

粘土状破碎部 上

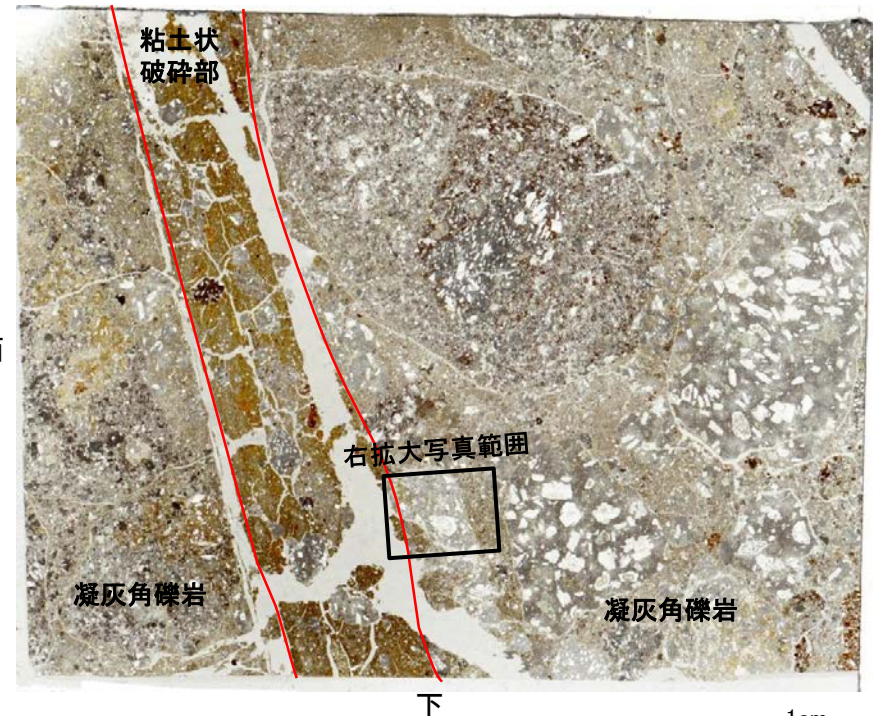


※左右反転

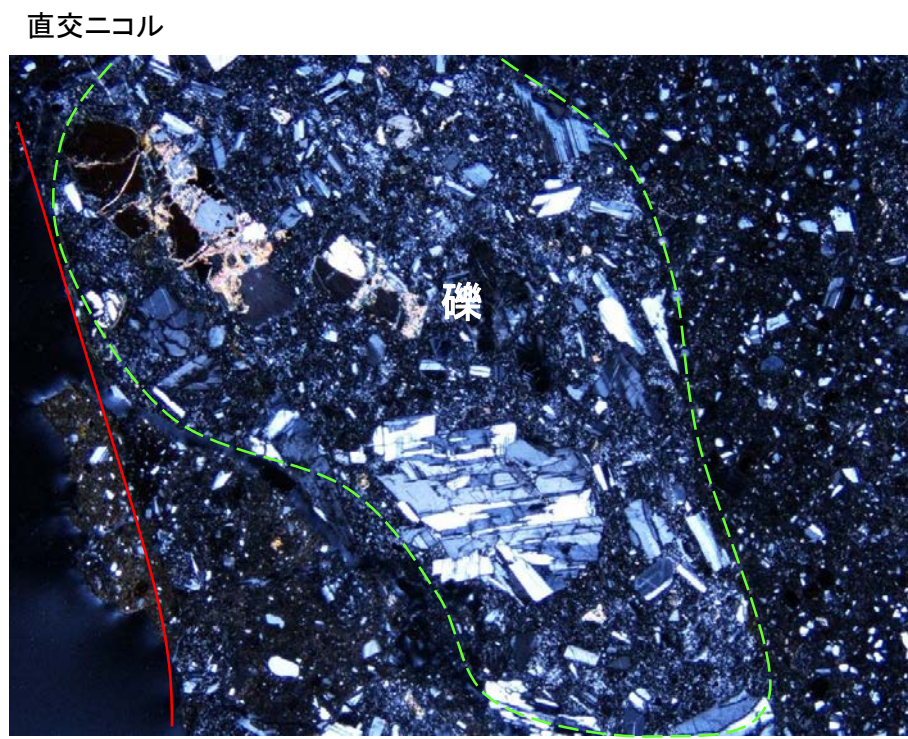
薄片作成位置付近 (No.17-1\_90)



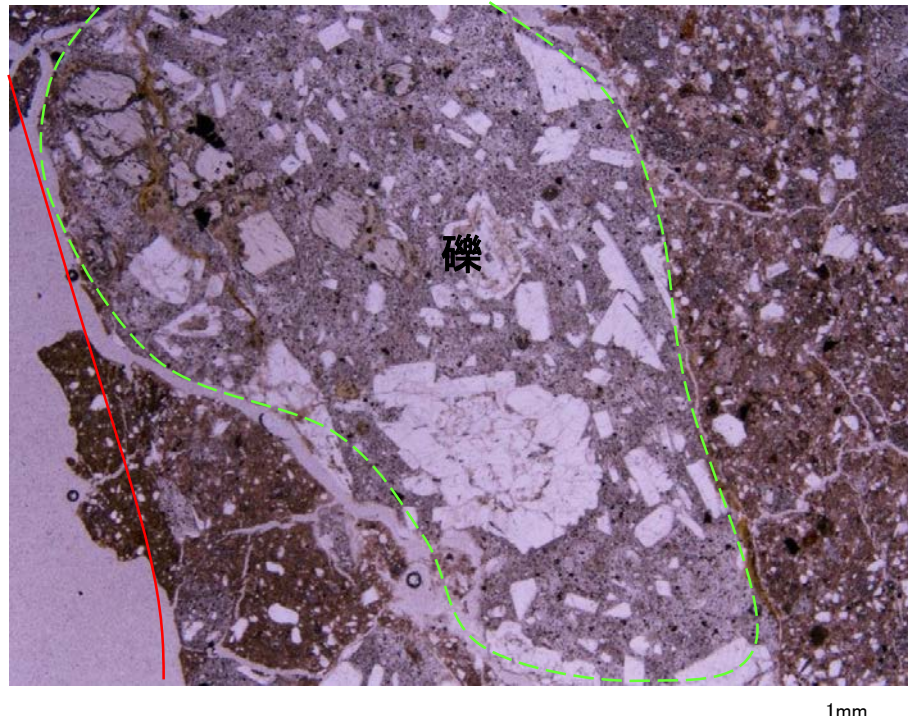
単ニコル 1cm



薄片写真(破碎部境界等を加筆) 1cm



単ニコル 1mm



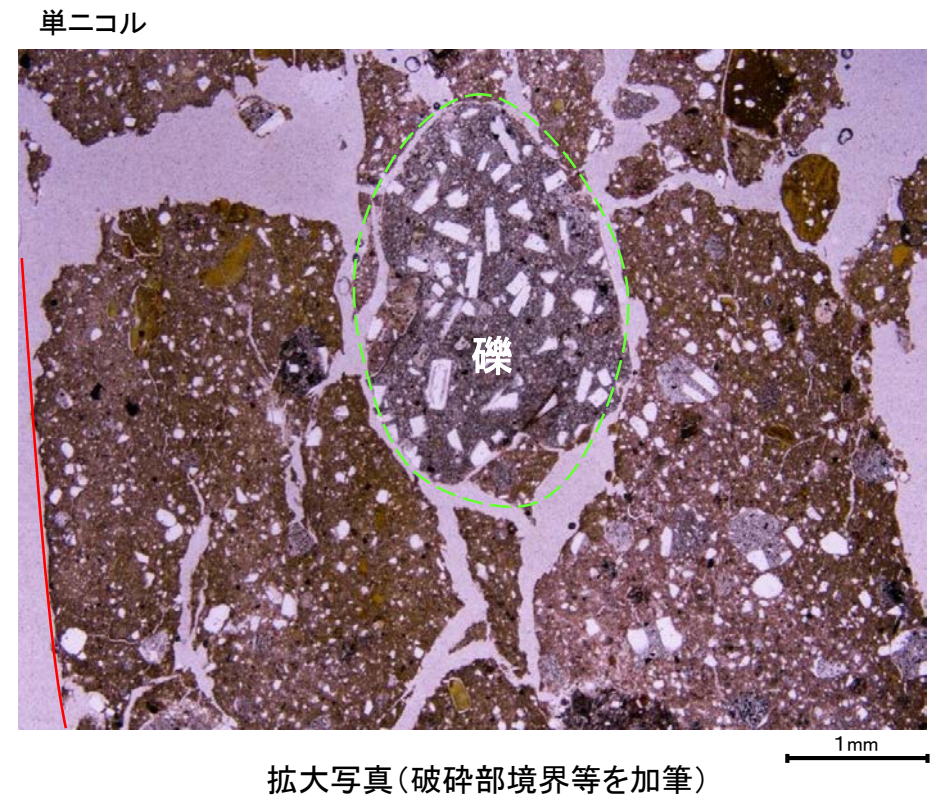
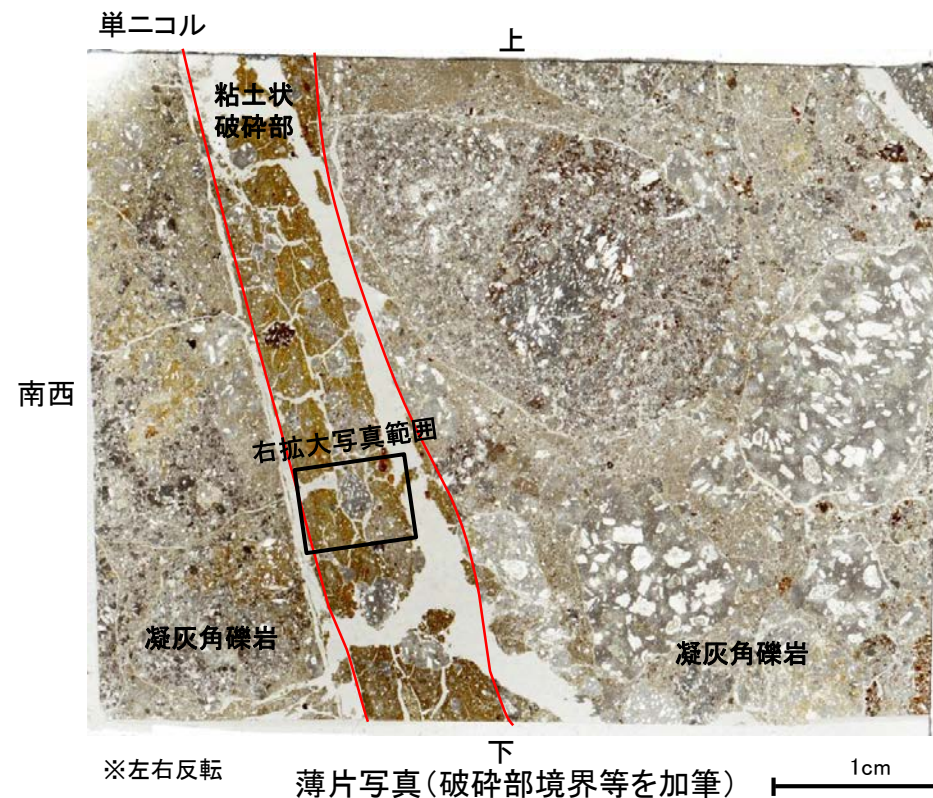
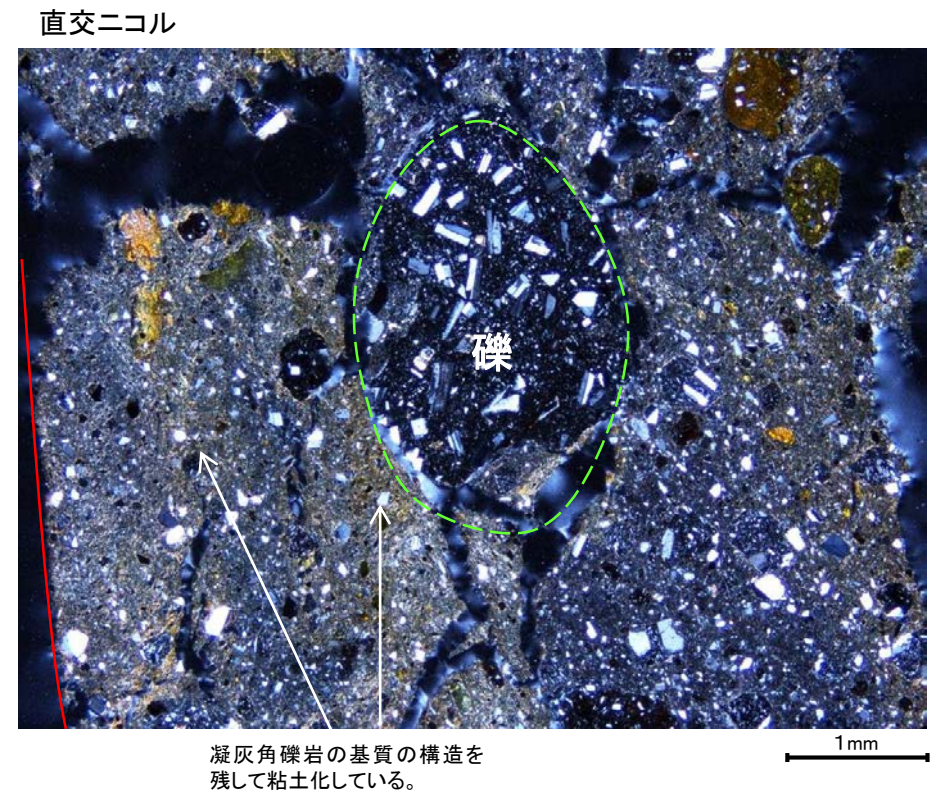
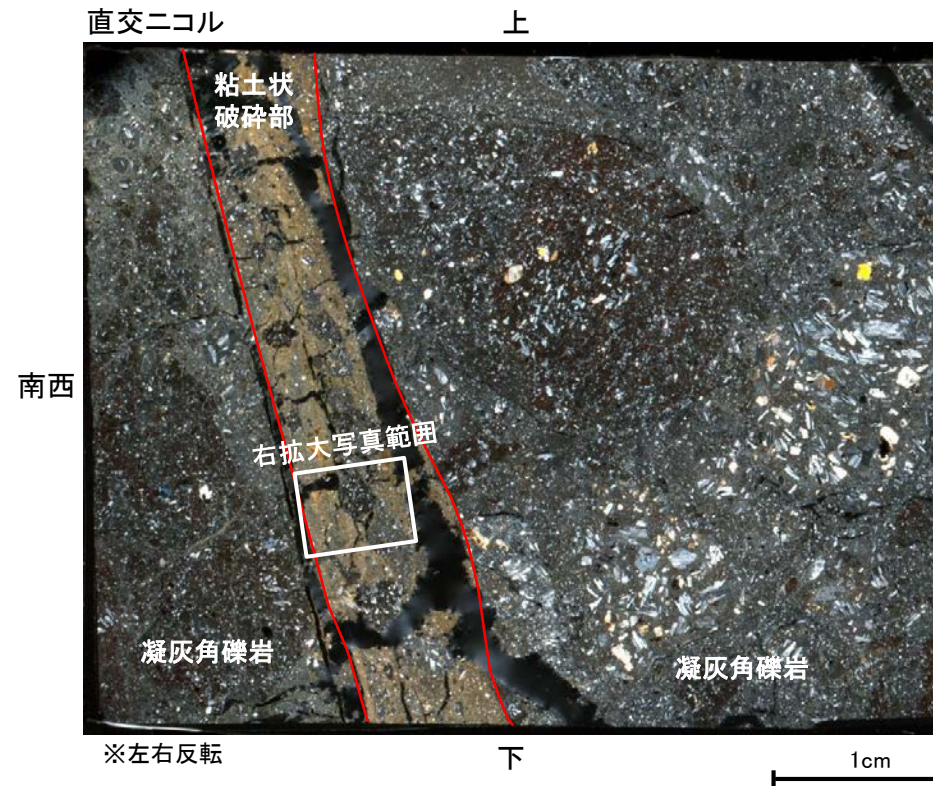
拡大写真(破碎部境界等を加筆) 1mm

・S-1近接部の礫及び基質には, せん断性の割れ目は認められない。



S-1\_岩盤調査坑

【No.17-1\_90R\_1(2/2)】

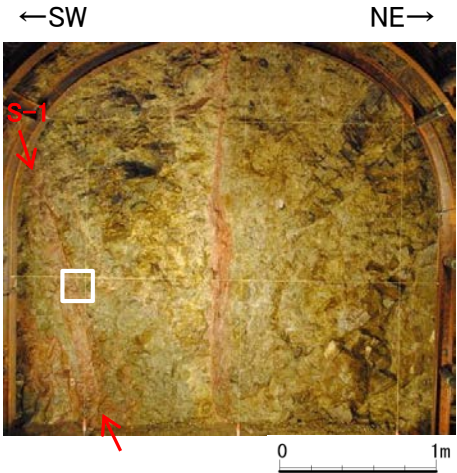


- ・S-1は、凝灰角礫岩の基質の構造を残して粘土化している。
- ・粘土状破碎部中には礫が含まれており、その礫に破断は認められない。

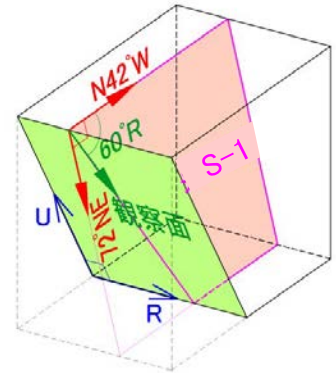


S-1\_岩盤調査坑

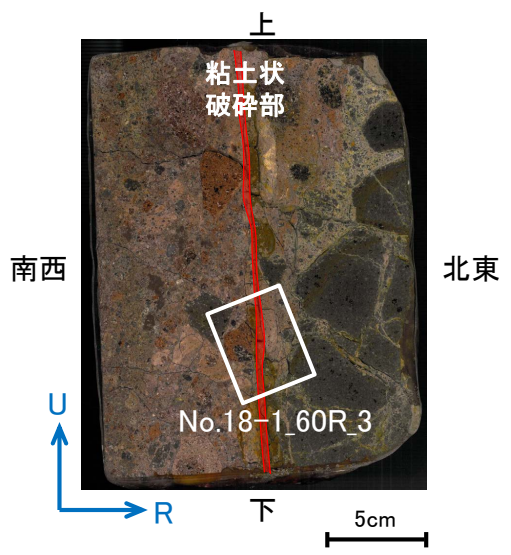
【No.18-1\_60R\_3】



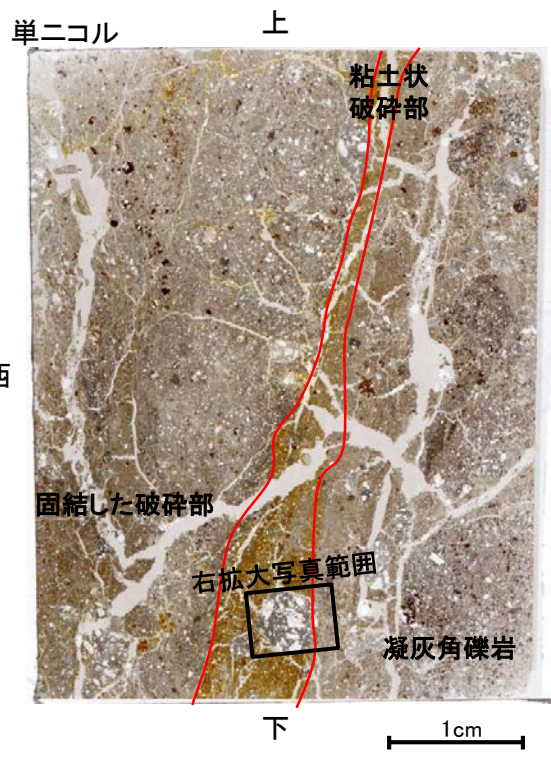
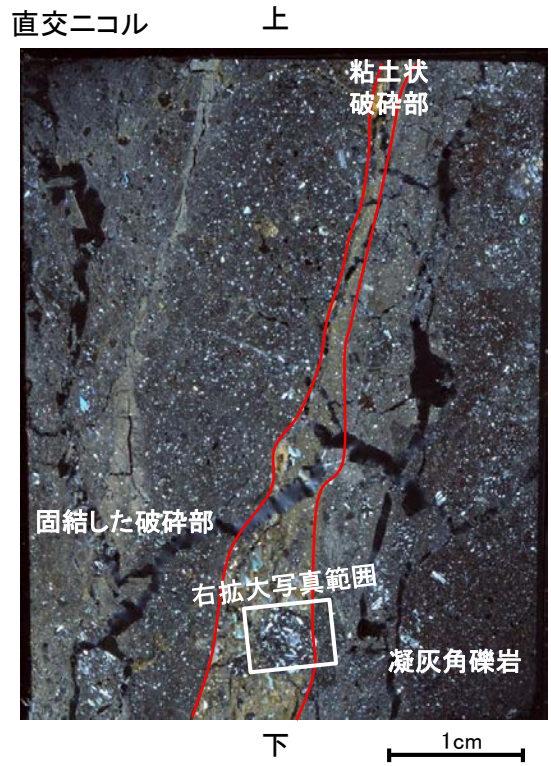
試料採取位置付近 (No.18切羽)



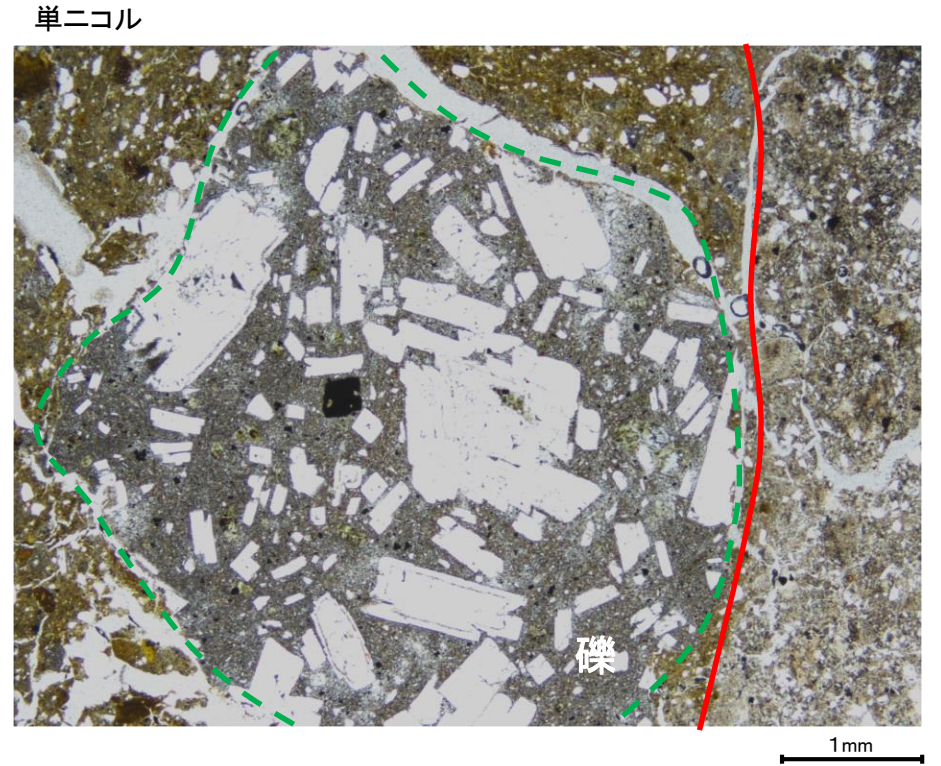
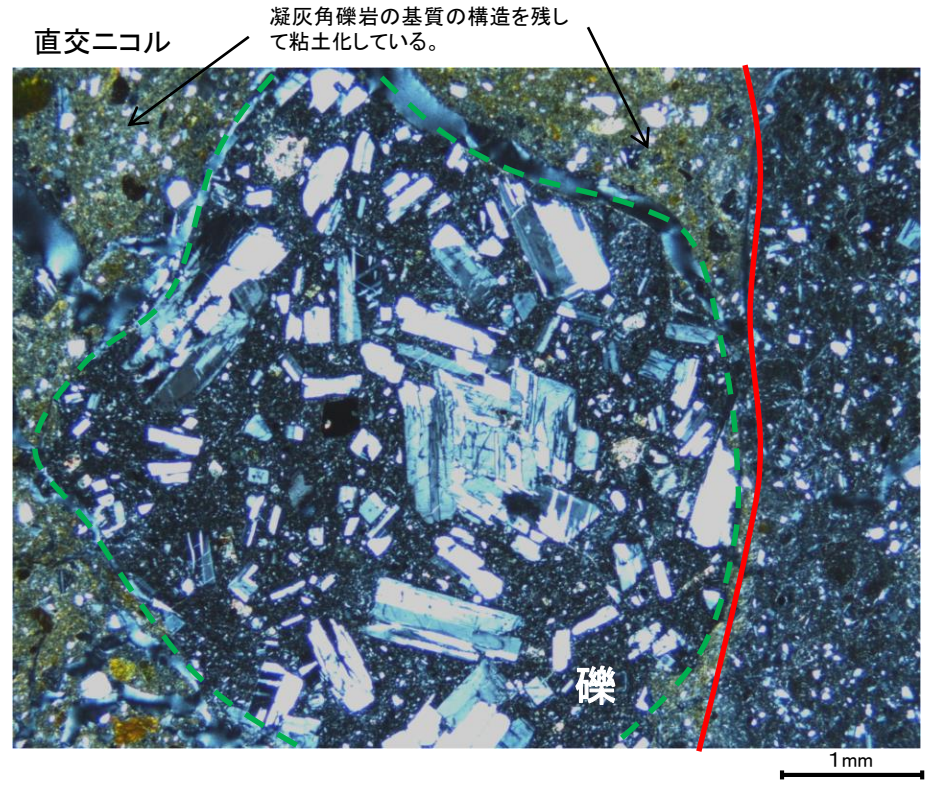
観察面概念図 (No.18-1\_60R)



薄片作成位置付近 (No.18-1\_60R)



薄片写真 (破碎部境界等を加筆)



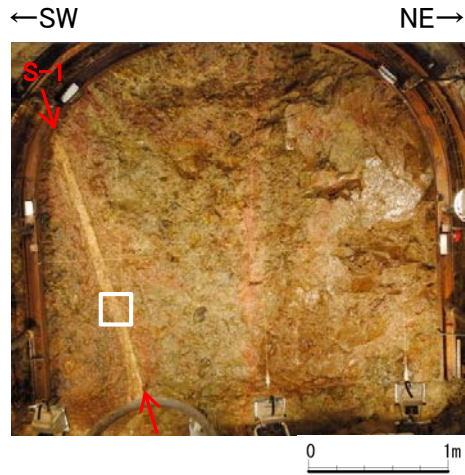
拡大写真 (破碎部境界等を加筆)

・S-1は、凝灰角礫岩の基質の構造を残して粘土化している。  
 ・粘土状破碎部中には礫が含まれており、その礫に破断は認められない。

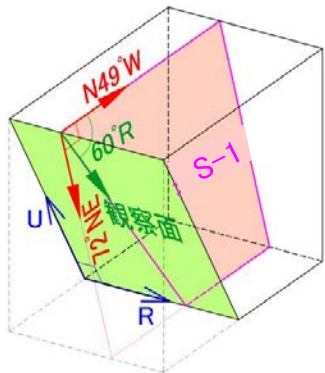


S-1\_岩盤調査坑

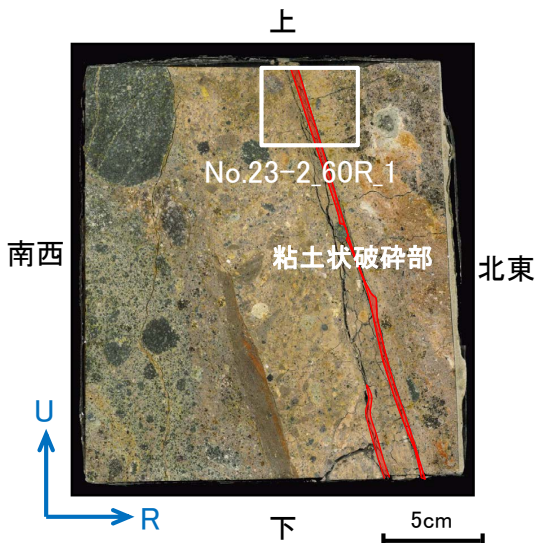
【No.23-2\_60R\_1】



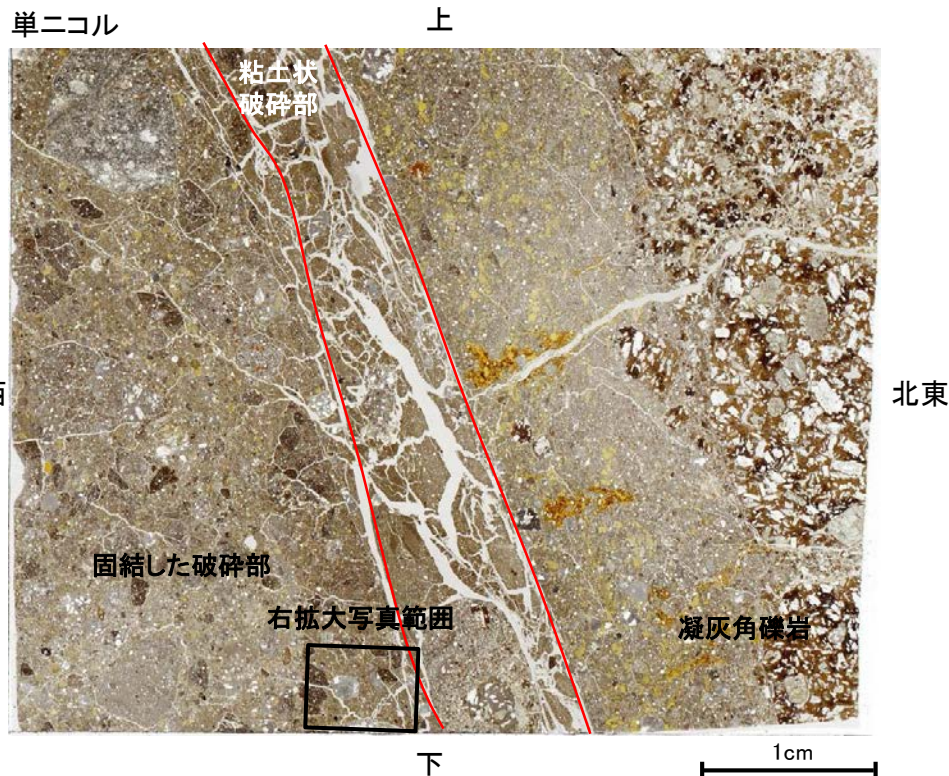
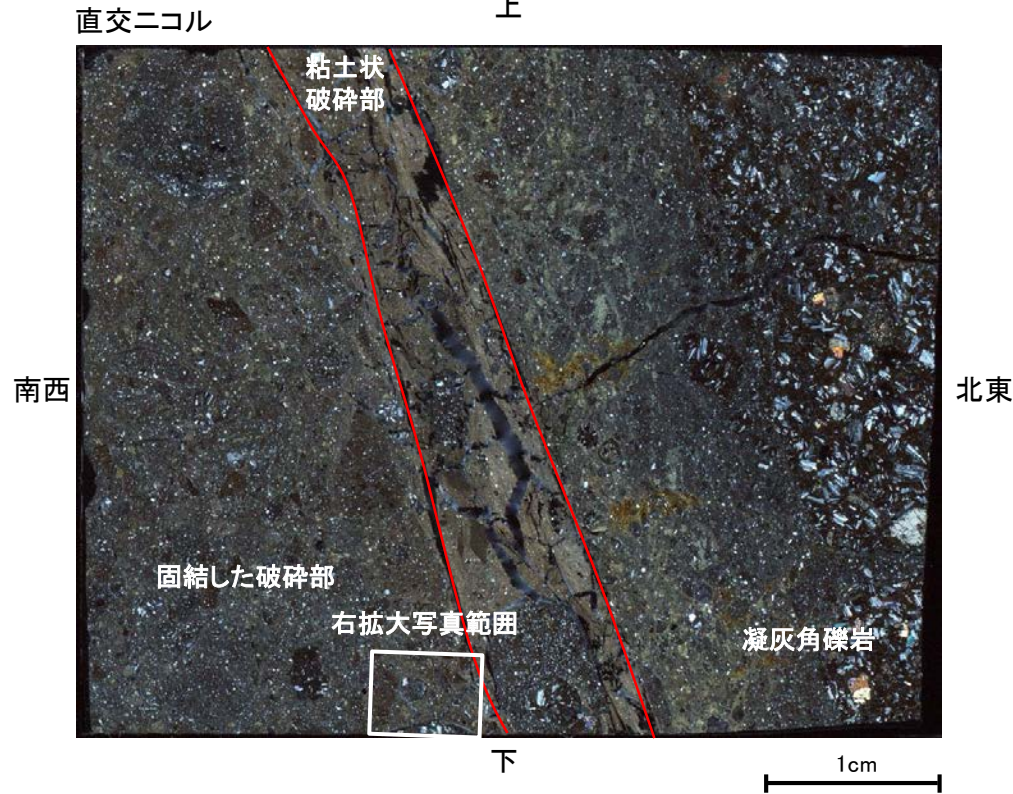
試料採取位置付近 (No.23切羽)



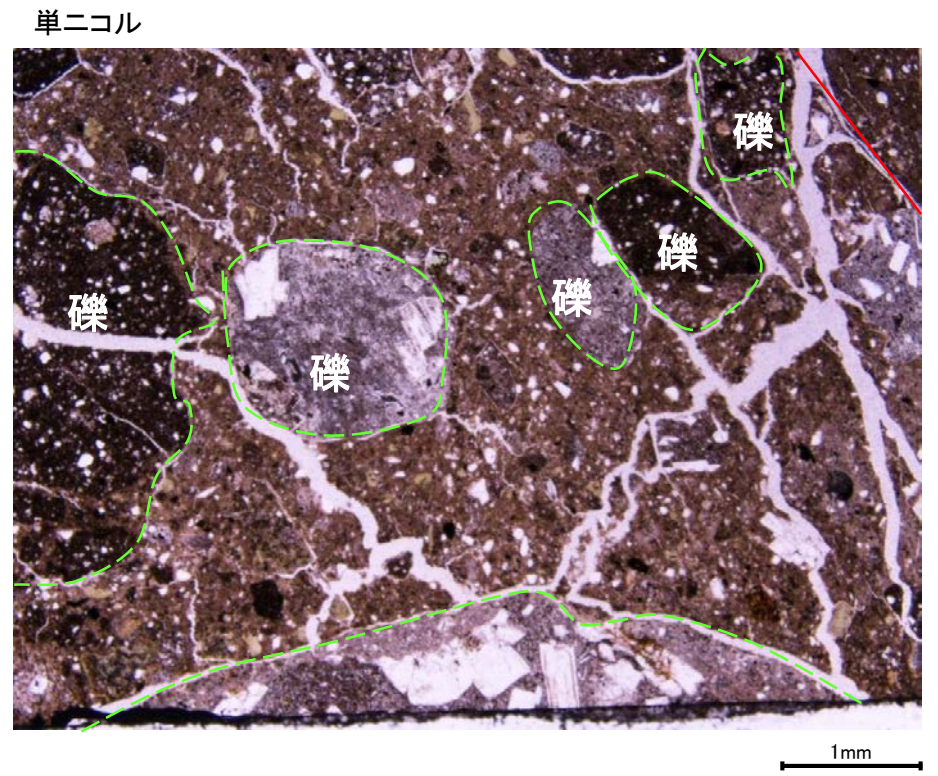
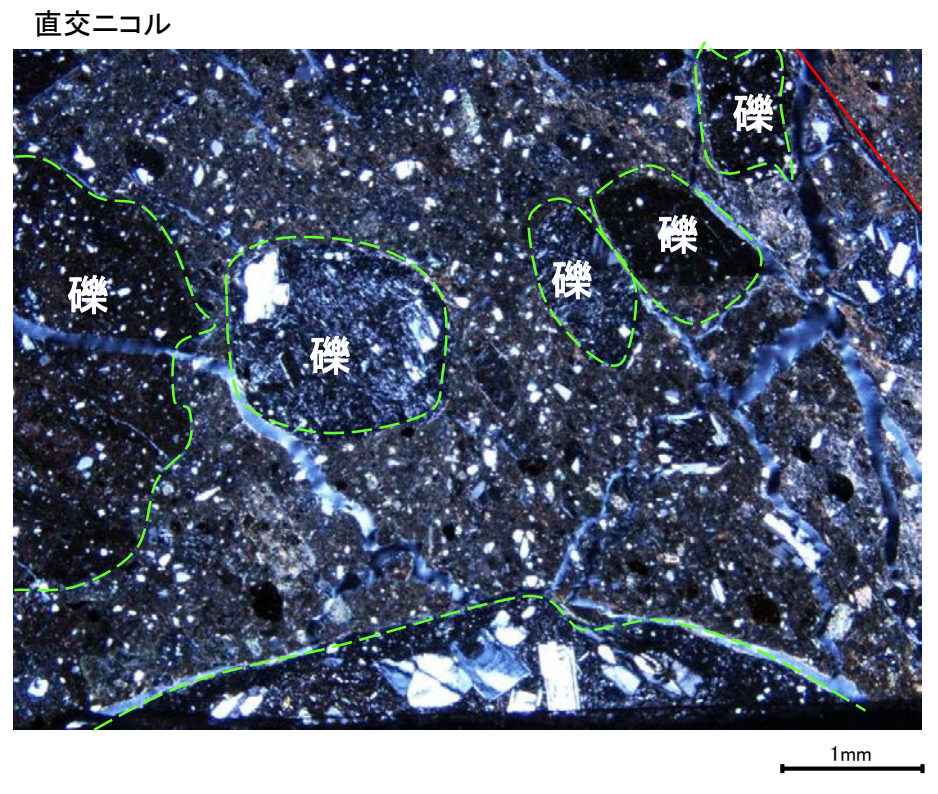
観察面概念図 (No.23-2\_60R)



薄片作成位置付近 (No.23-2\_60R)



薄片写真(破砕部境界等を加筆)



拡大写真(破砕部境界等を加筆)

・S-1近接部の礫及び基質には、せん断性の割れ目は認められない。



---

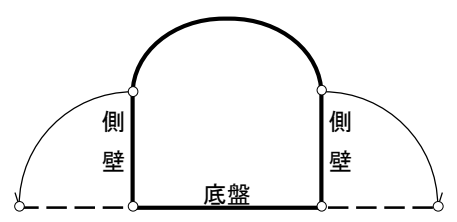
## (2)-2-2 その他の調査データ



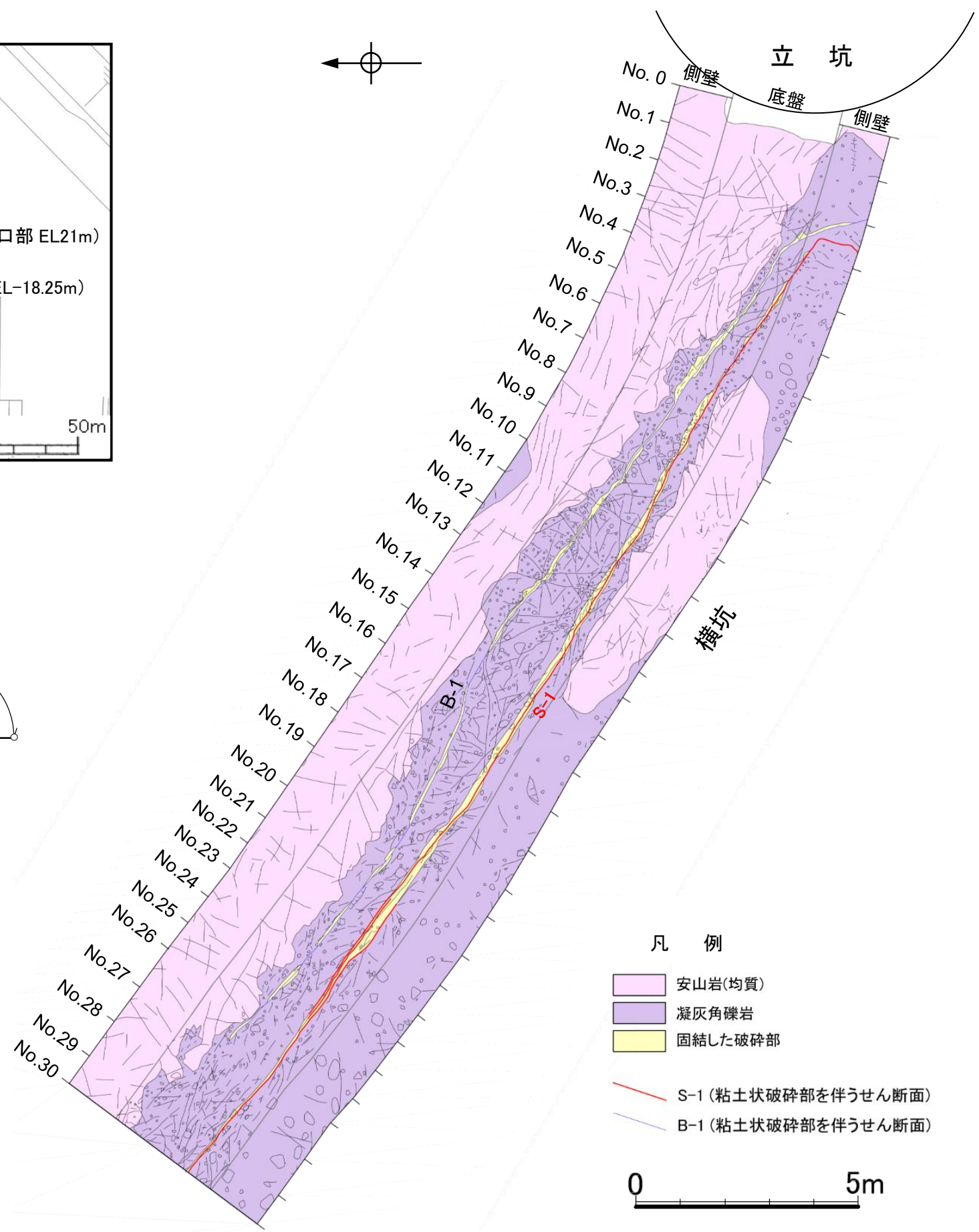
# 岩盤調査坑 一横坑底盤・側壁展開図一



岩盤調査坑位置図



展開方法

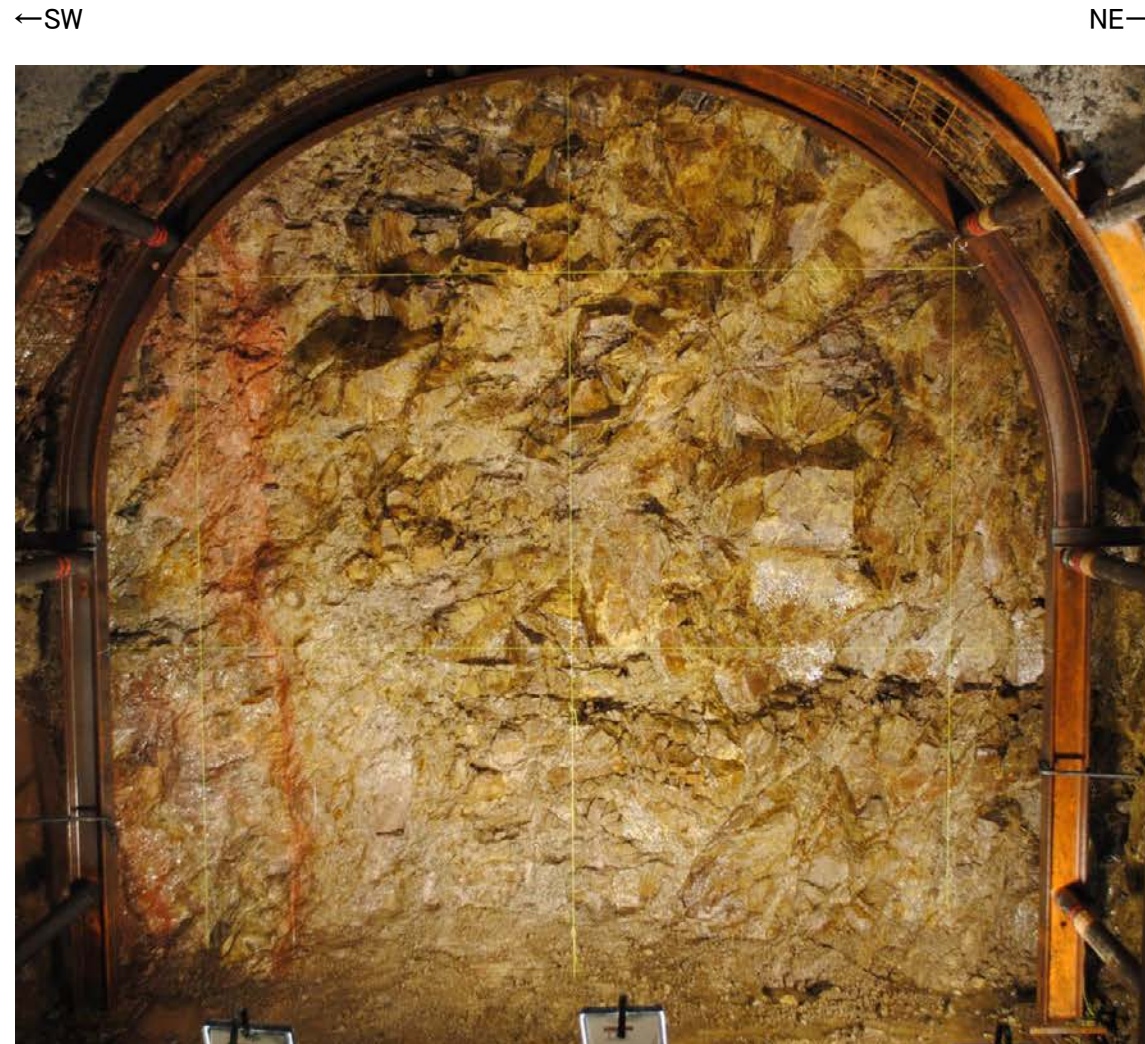


- 凡 例
- 安山岩(均質)
  - 凝灰角礫岩
  - 固結した破碎部
  - S-1 (粘土状破碎部を伴うせん断面)
  - B-1 (粘土状破碎部を伴うせん断面)

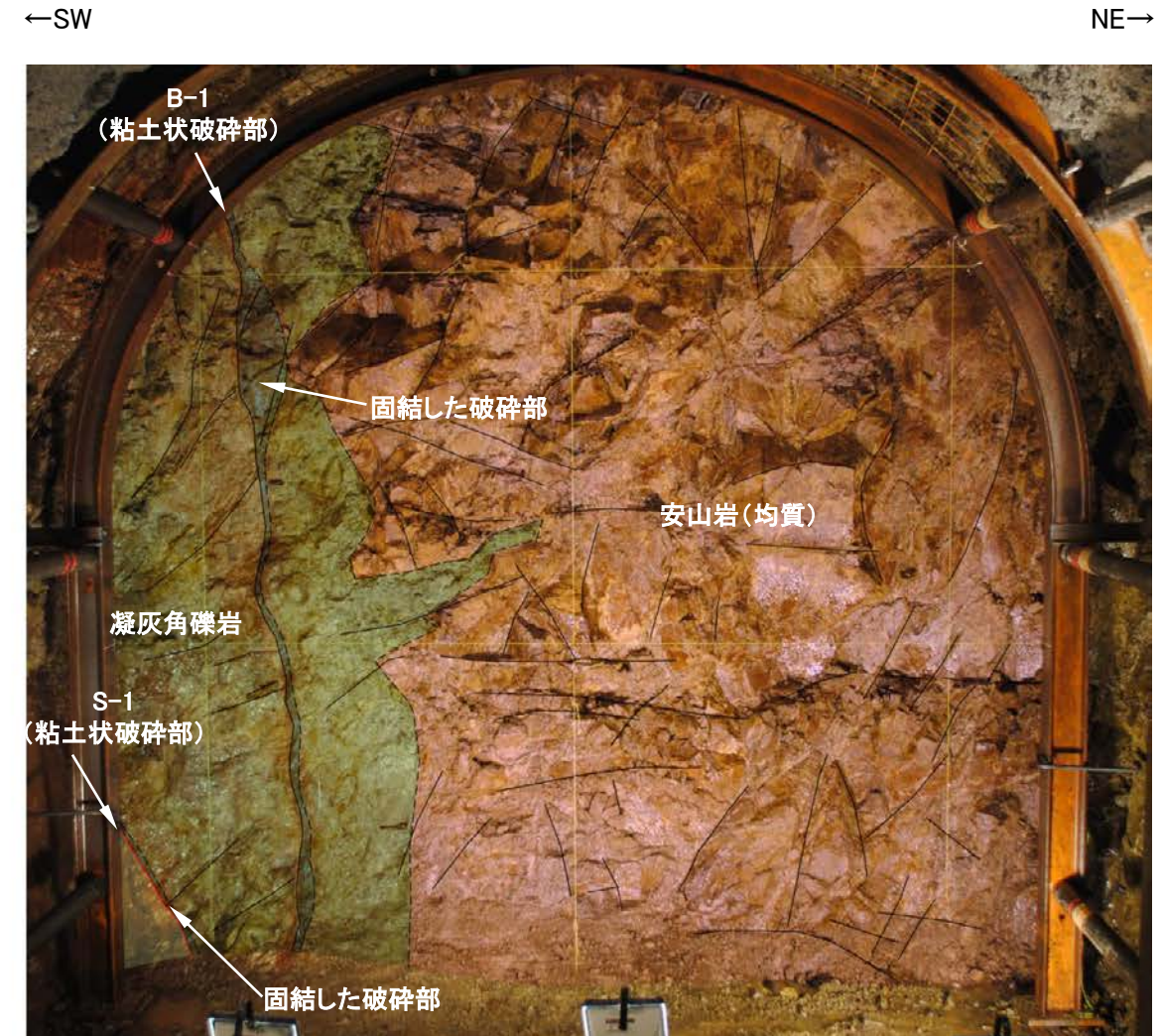




# 切羽観察結果 —No.3切羽—



No.3切羽写真



No.3切羽写真(割れ目等を加筆)

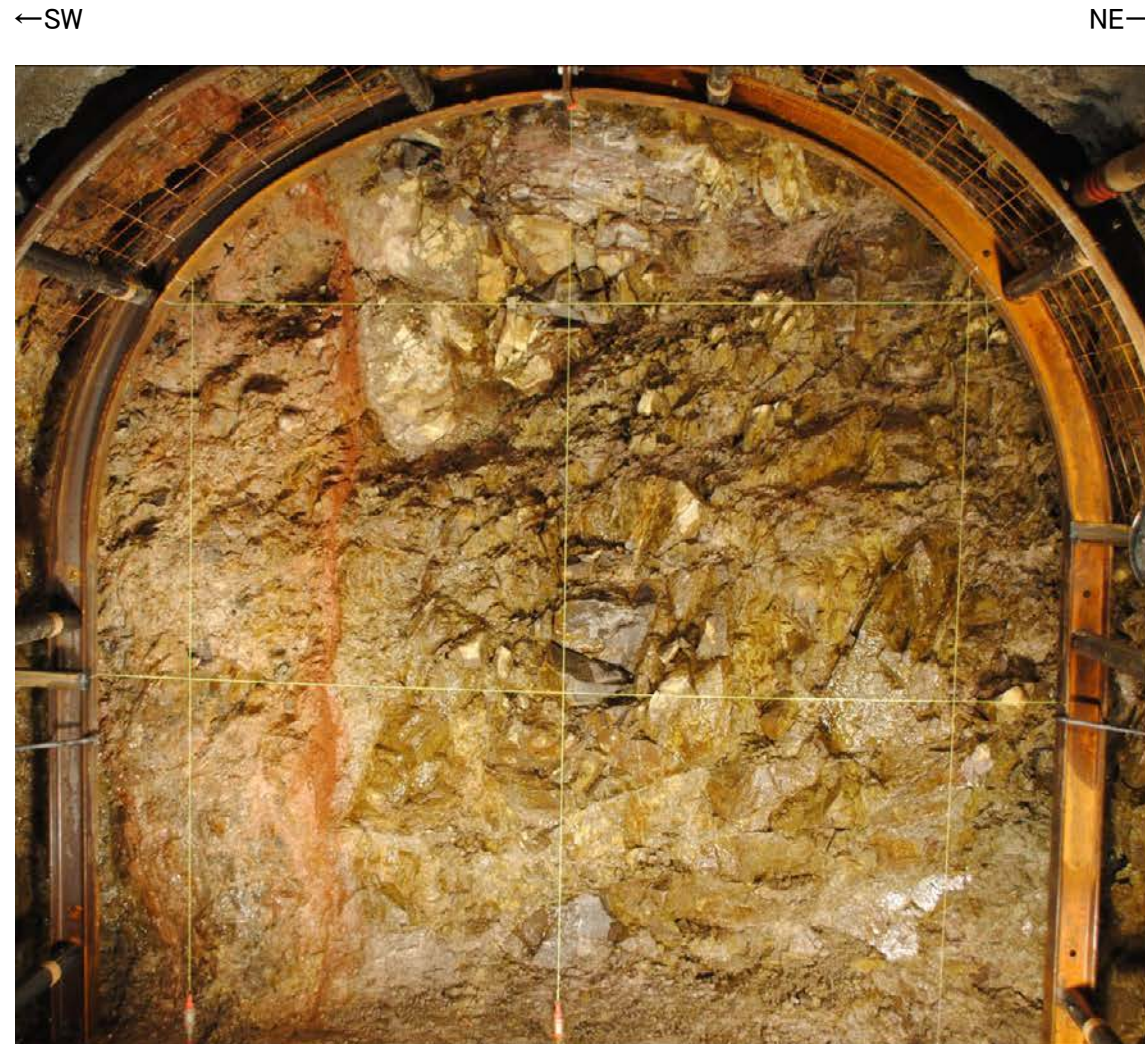
割れ目



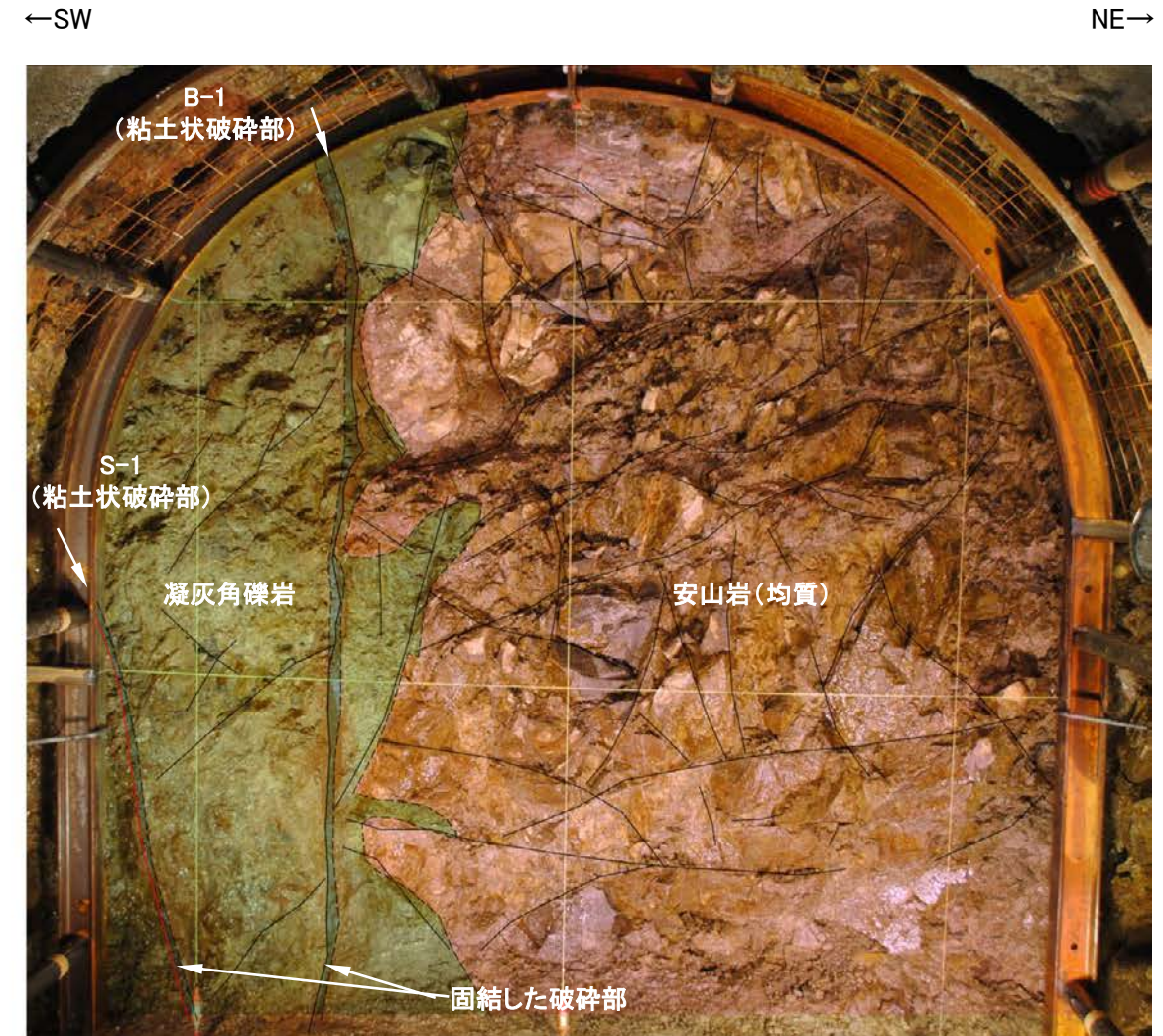
- ・安山岩(均質)と凝灰角礫岩が分布し、凝灰角礫岩中にS-1及びB-1が認められる。
- ・S-1は、固結した破碎部及び厚さ0.5~1.0cmの褐色を呈する粘土状破碎部からなり、走向・傾斜はN48° W/78° NEである。
- ・B-1は、固結した破碎部及び厚さはフィルム状~0.5cmの赤褐色を呈する粘土状破碎部からなり、走向・傾斜はN30° W/85° NEである。



# 切羽観察結果 —No.4切羽—

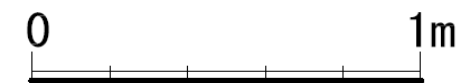


No.4切羽写真



No.4切羽写真(割れ目等を加筆)

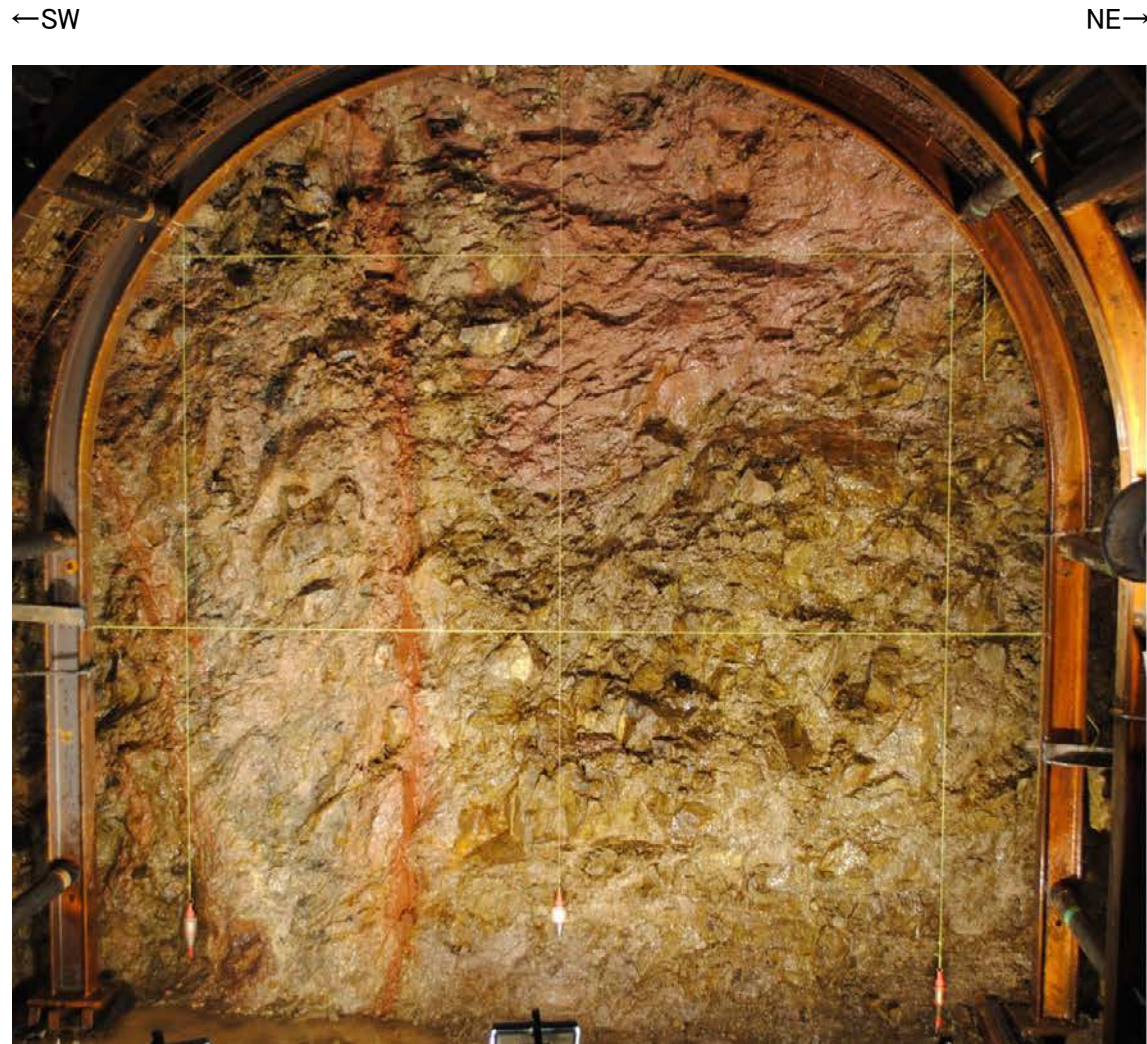
／ 割れ目



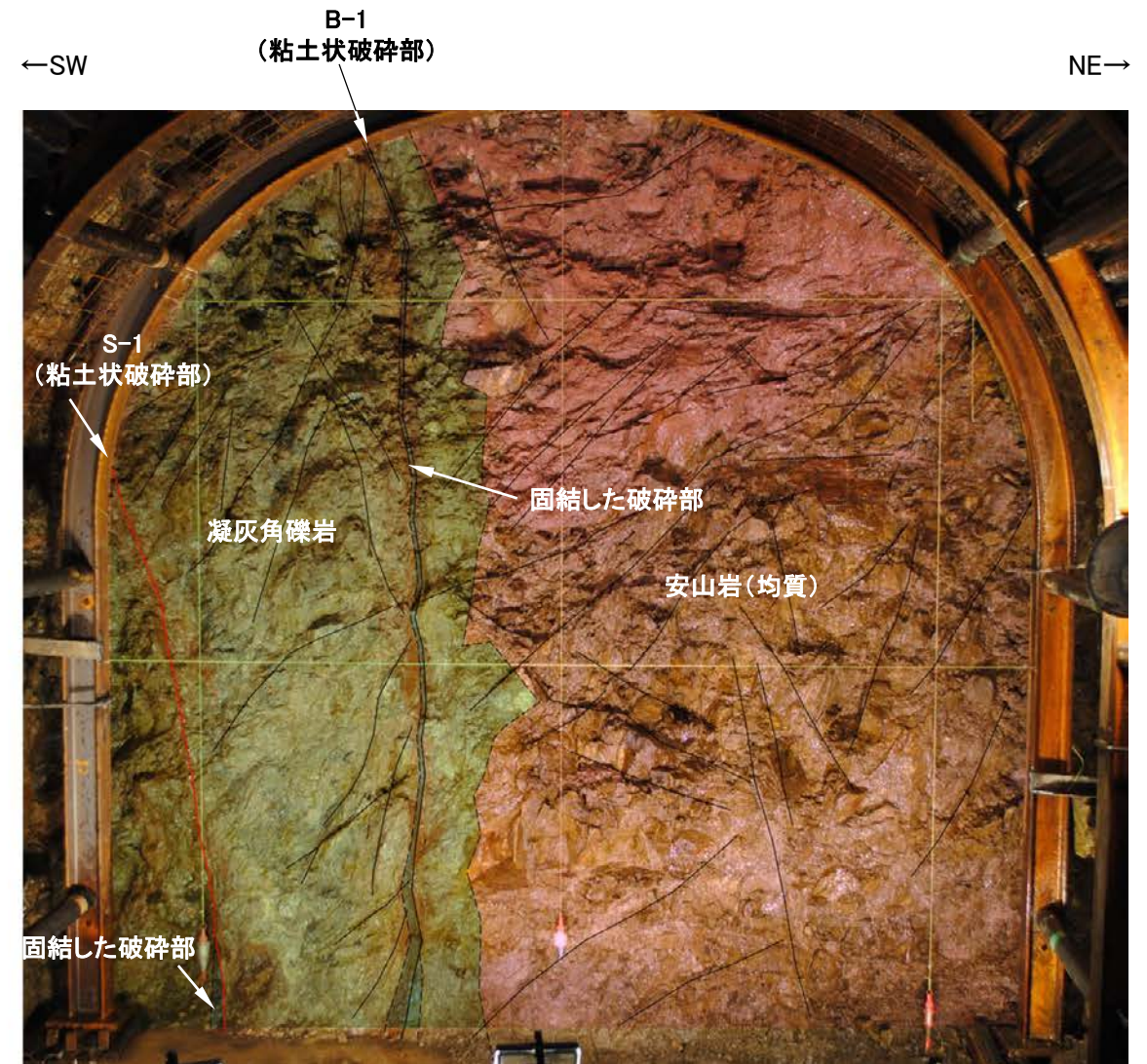
- ・安山岩(均質)と凝灰角礫岩が分布し、凝灰角礫岩中にS-1及びB-1が認められる。
- ・S-1は、固結した破碎部及び厚さ0.5cmの褐色を呈する粘土状破碎部からなり、走向・傾斜はN55° W/72° NEである。
- ・B-1は、固結した破碎部及び厚さはフィルム状~0.2cmの褐色を呈する粘土状破碎部からなり、走向・傾斜はN57° W/85° NEである。



# 切羽観察結果 —No.5切羽—



No.5切羽写真



No.5切羽写真(割れ目等を加筆)

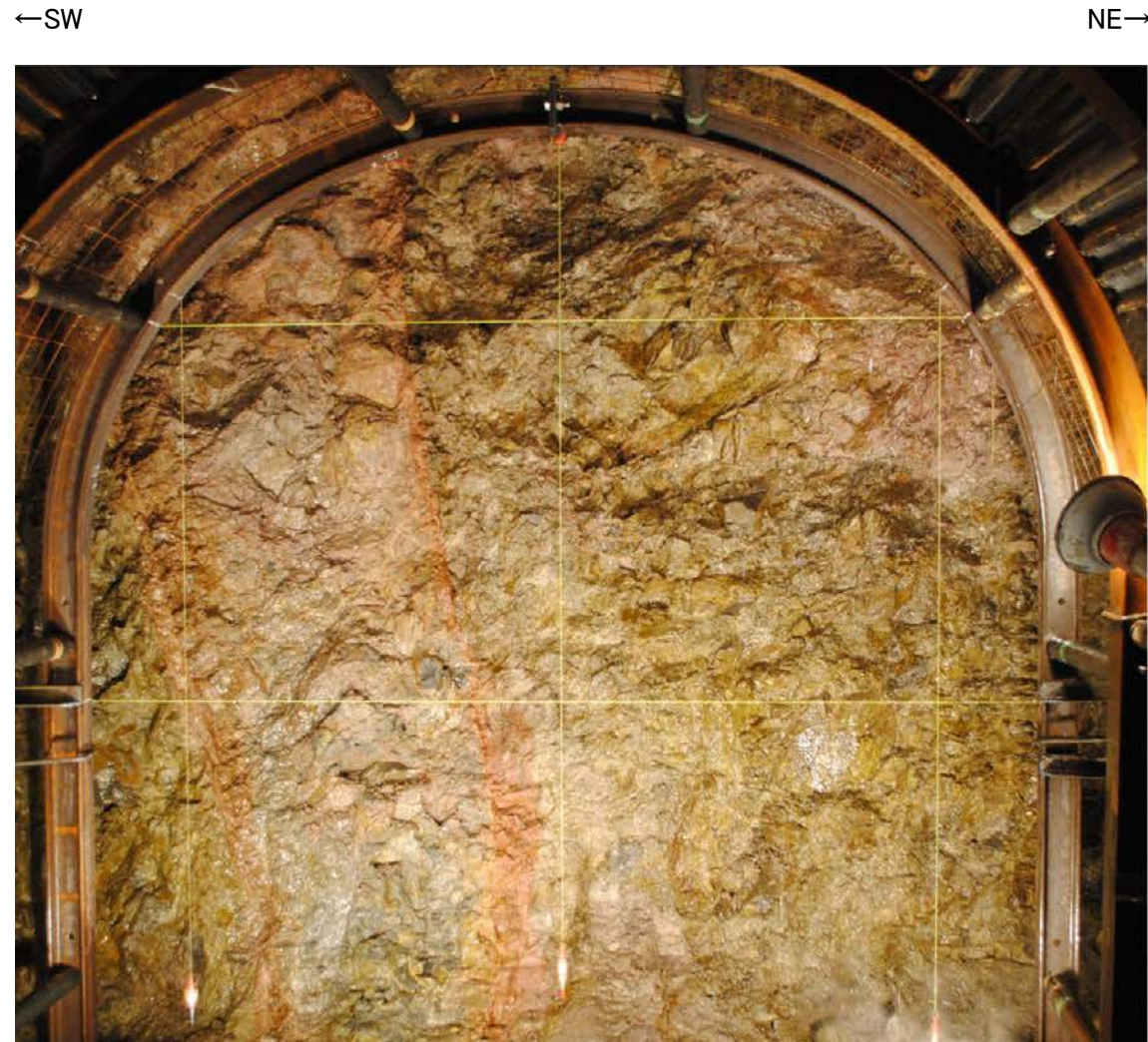
— 割れ目



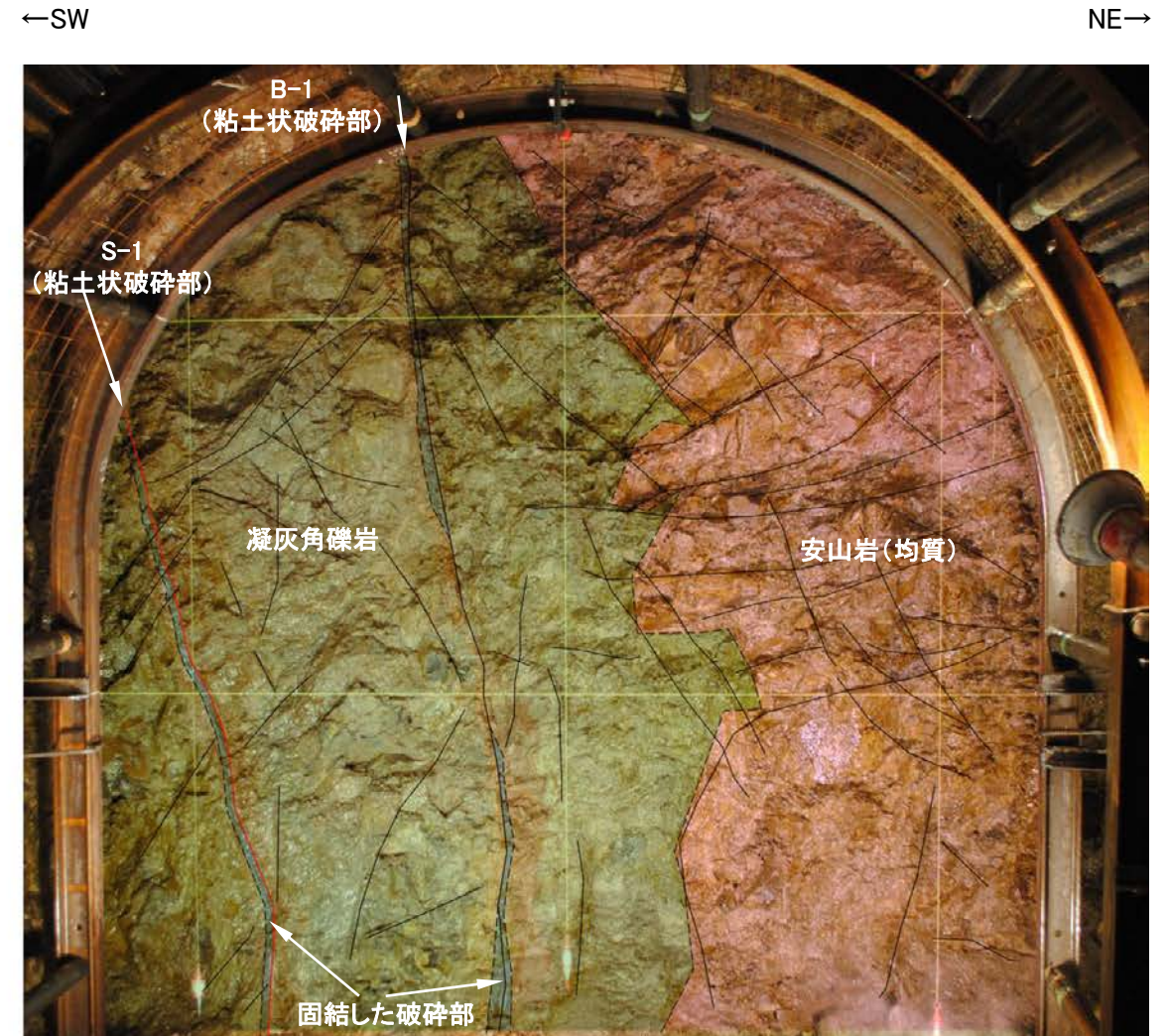
- ・安山岩(均質)と凝灰角礫岩が分布し、凝灰角礫岩中にS-1及びB-1が認められる。
- ・S-1は、固結した破碎部及び厚さ0.2～2.0cmの赤褐色を呈する粘土状破碎部からなり、走向・傾斜はN47° W/72° NEである。
- ・B-1は、固結した破碎部及び厚さはフィルム状～0.5cmの赤褐色を呈する粘土状破碎部からなり、走向・傾斜はN49° W/90° である。



# 切羽観察結果 —No.6切羽—



No.6切羽写真



No.6切羽写真(割れ目等を加筆)

割れ目



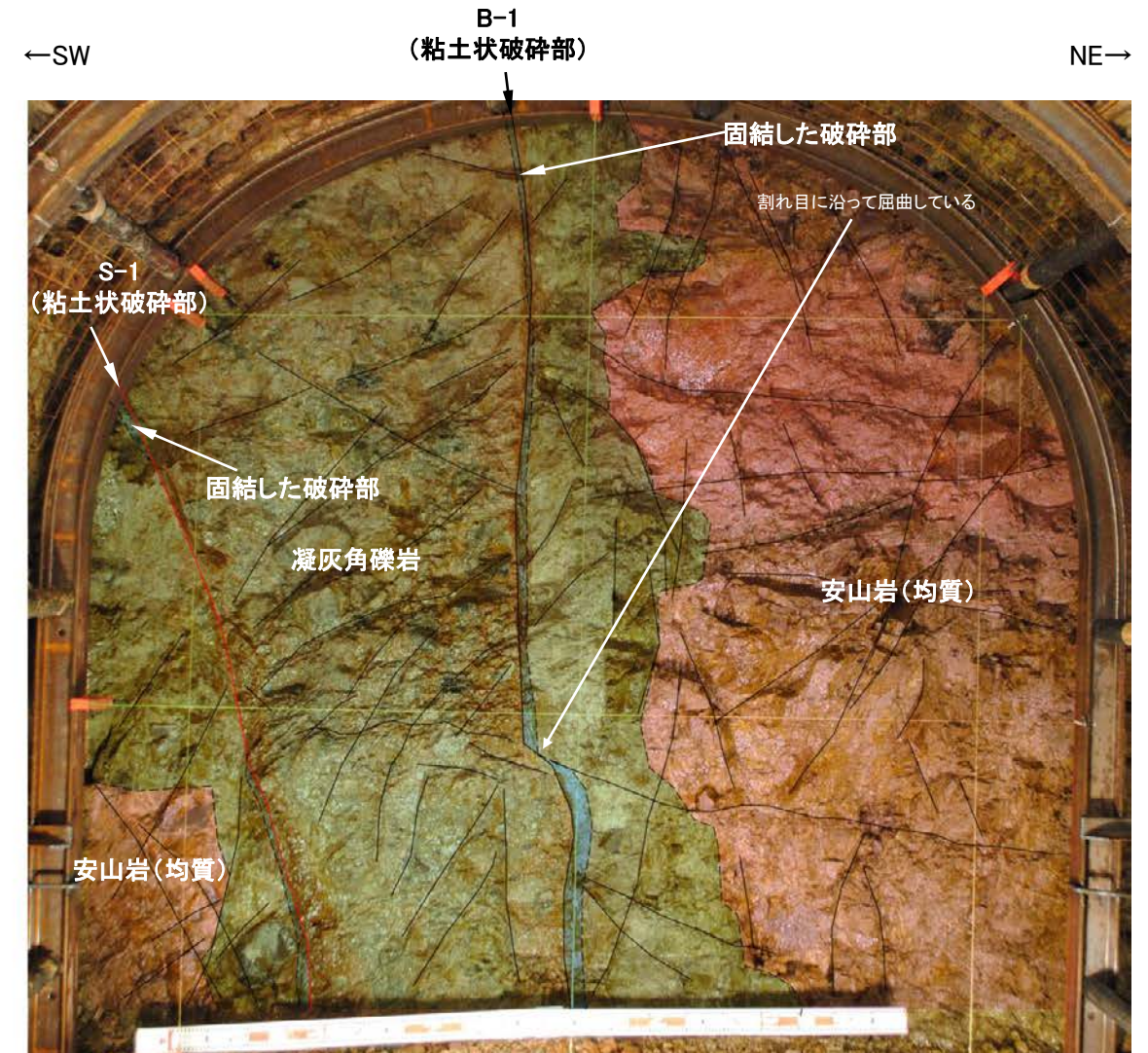
- ・安山岩(均質)と凝灰角礫岩が分布し、凝灰角礫岩中にS-1及びB-1が認められる。
- ・S-1は、固結した破碎部及び厚さ0.2~2.0cmの赤褐色を呈する粘土状破碎部からなり、走向・傾斜はN58° W/75° NEである。
- ・B-1は、固結した破碎部及び厚さ0.1~0.2cmの赤褐色を呈する粘土状破碎部からなり、走向・傾斜はN47° W/80° NEである。



# 切羽観察結果 —No.7切羽—

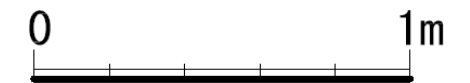


No.7切羽写真



No.7切羽写真(割れ目等を加筆)

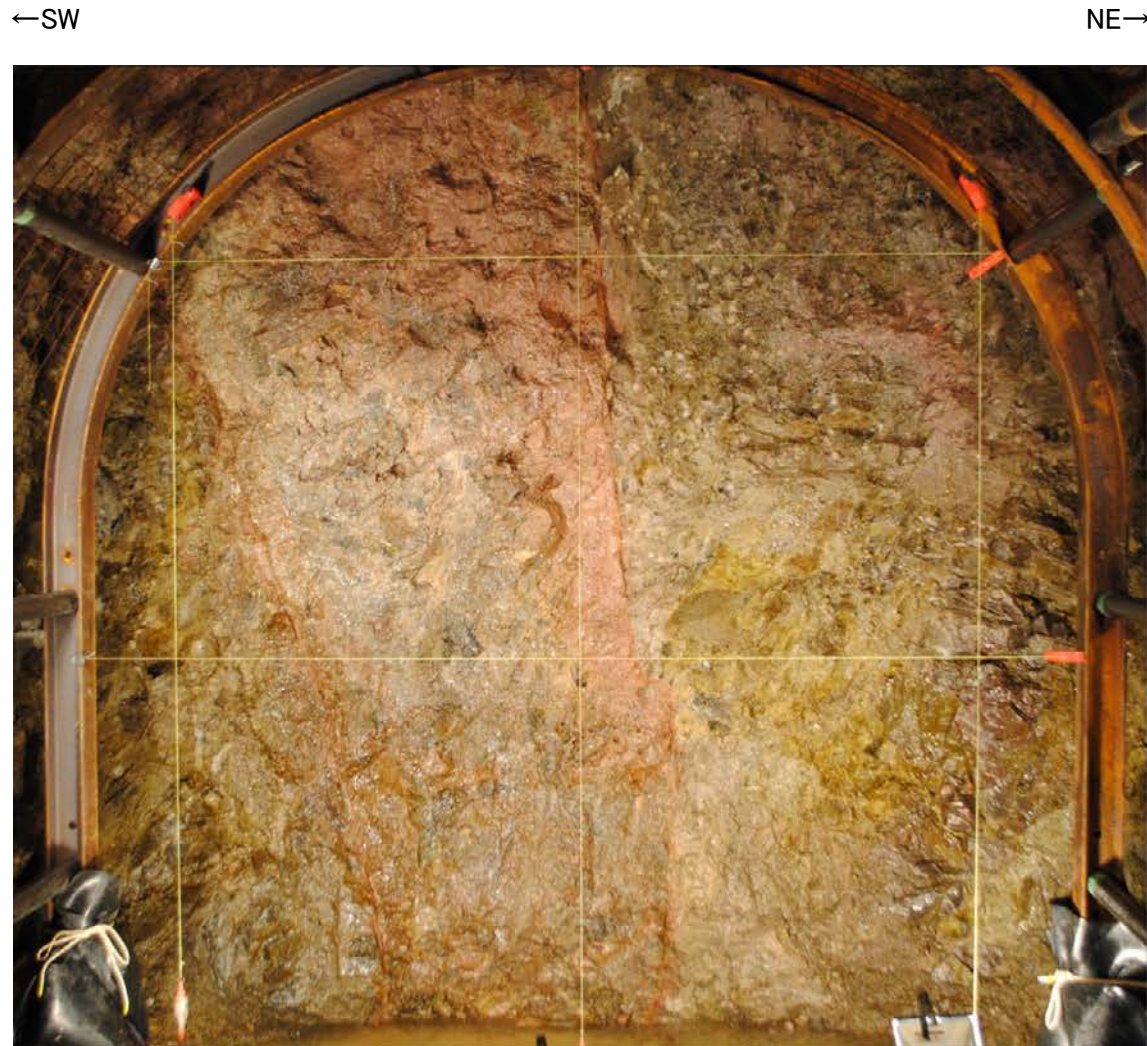
↙ 割れ目



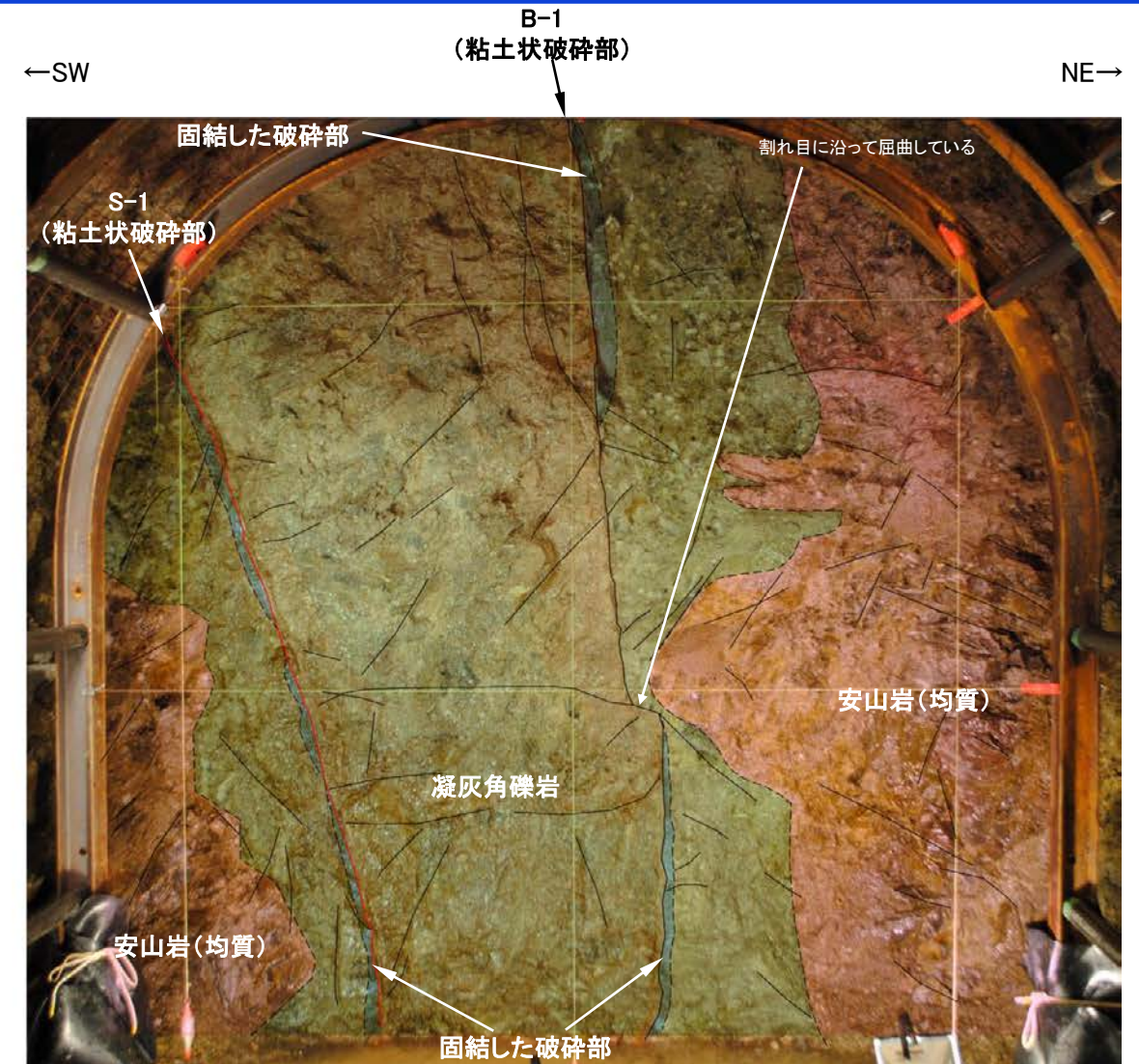
- ・安山岩(均質)と凝灰角礫岩が分布し、凝灰角礫岩中にS-1及びB-1が認められる。
- ・S-1は、固結した破碎部及び厚さ0.5~1.5cmの褐色を呈する粘土状破碎部からなり、走向・傾斜はN53° W/74° NEである。
- ・B-1は、固結した破碎部及び厚さ0.3~0.4cmの褐色を呈する粘土状破碎部からなり、走向・傾斜はN54° W/78° NEである。
- ・B-1には、割れ目に沿って屈曲している部分が認められる。



# 切羽観察結果 —No.8切羽—



No.8切羽写真



No.8切羽写真(割れ目等を加筆)

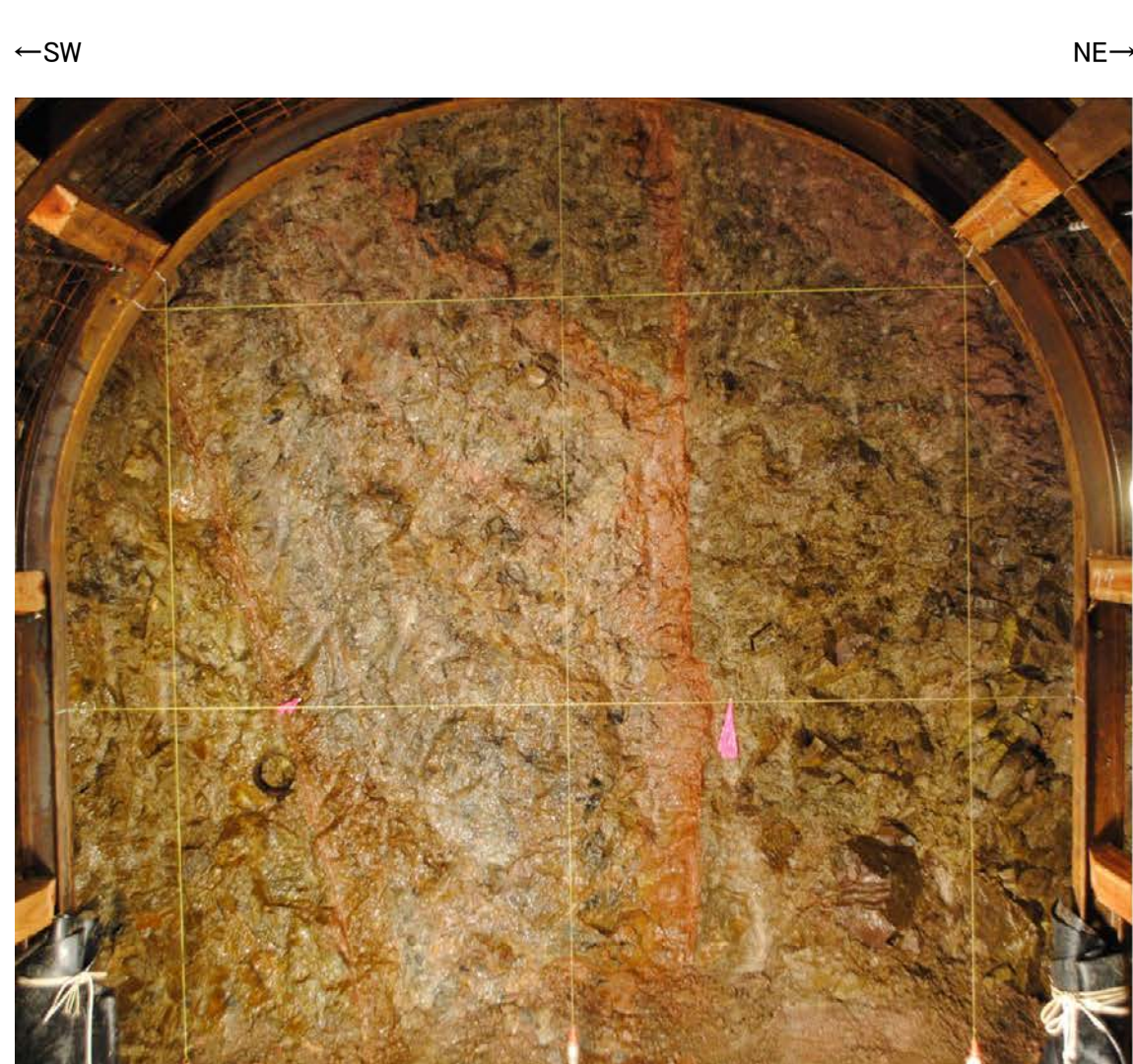
— 割れ目



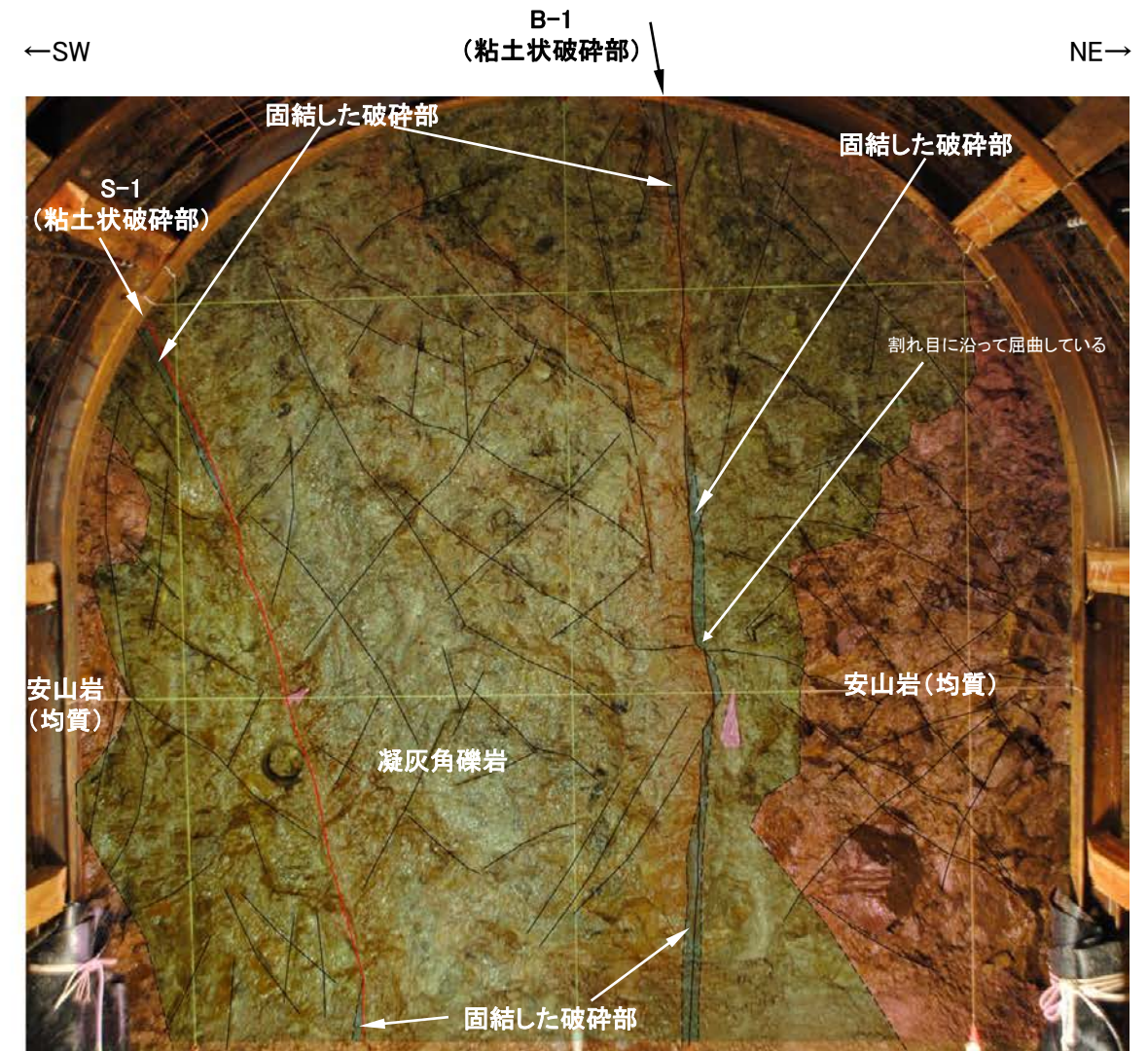
- ・安山岩(均質)と凝灰角礫岩が分布し、凝灰角礫岩中にS-1及びB-1が認められる。
- ・S-1は、固結した破碎部及び厚さ0.5~1.0cmの褐色を呈する粘土状破碎部からなり、走向・傾斜はN67° W/70° NEである。
- ・B-1は、固結した破碎部及び厚さ0.1~0.5cmの褐色を呈する粘土状破碎部からなり、走向・傾斜はN48° W/84° NE~82° SWである。
- ・B-1には、割れ目に沿って屈曲している部分が認められる。



# 切羽観察結果 —No.9切羽—



No.9切羽写真



No.9切羽写真(割れ目等を加筆)

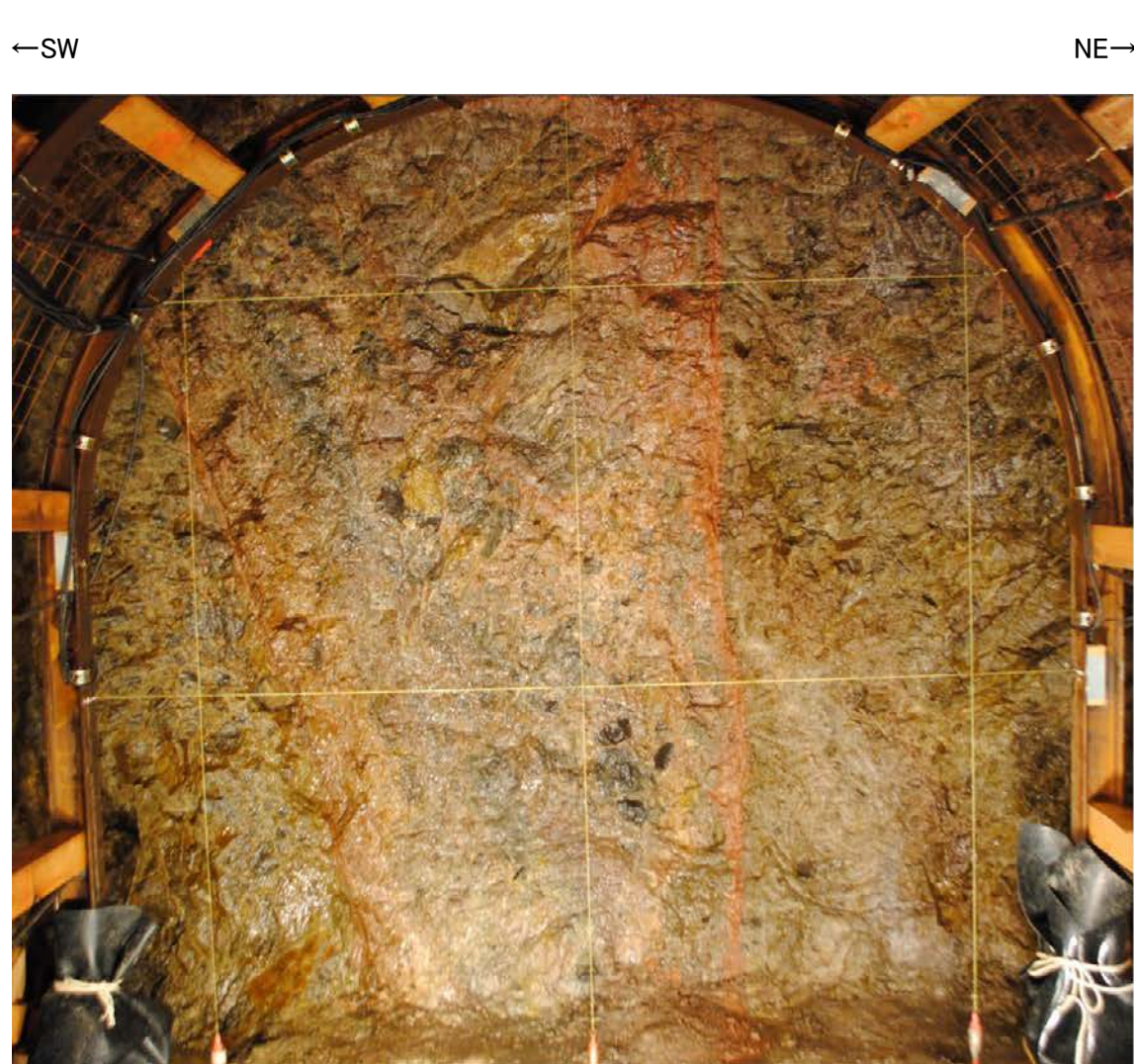
— 割れ目



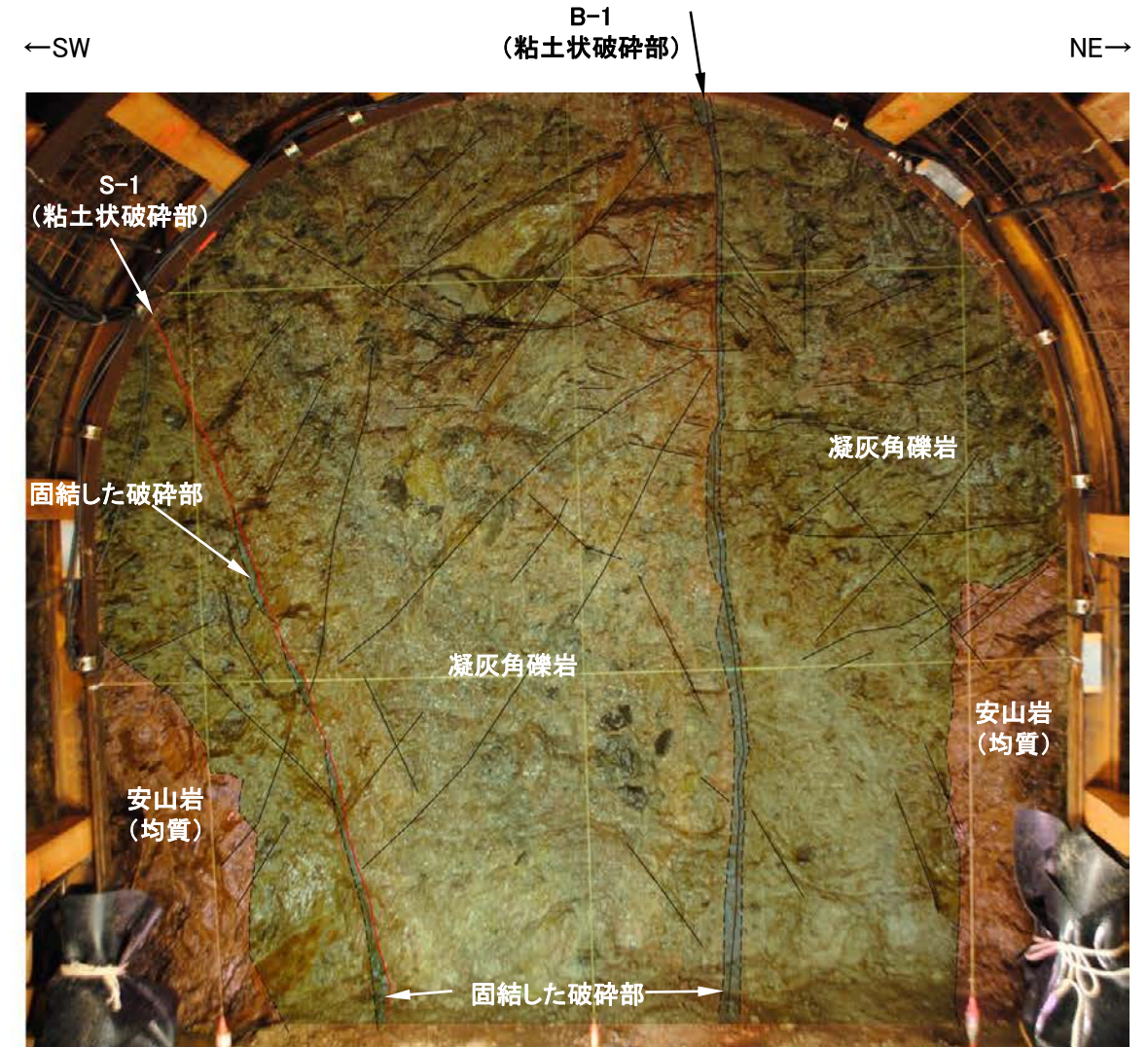
- ・安山岩(均質)と凝灰角礫岩が分布し、凝灰角礫岩中にS-1及びB-1が認められる。
- ・S-1は、固結した破碎部及び厚さ0.2～2.0cmの褐色を呈する粘土状破碎部からなり、走向・傾斜はN64° W/75° NEである。
- ・B-1は、固結した破碎部及び厚さ0.1～0.3cmの褐色を呈する粘土状破碎部からなり、走向・傾斜はN54° W/90° である。
- ・B-1には、割れ目に沿って屈曲している部分が認められる。



# 切羽観察結果 —No.10切羽—



No.10切羽写真



No.10切羽写真(割れ目等を加筆)

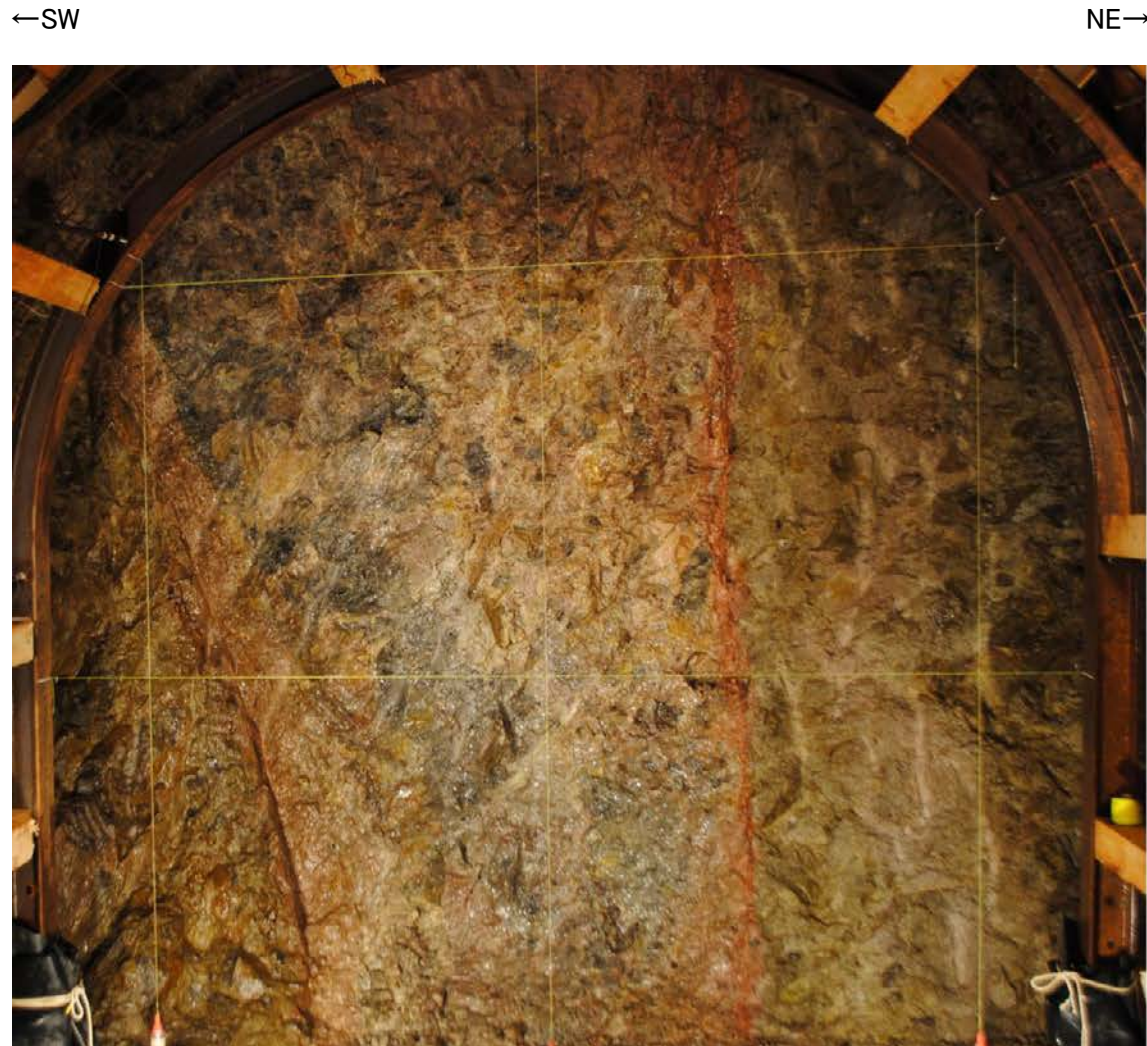
／ 割れ目



- ・安山岩(均質)と凝灰角礫岩が分布し, 凝灰角礫岩中にS-1及びB-1が認められる。
- ・S-1は, 固結した破碎部及び厚さ0.2~1.0cmの褐色を呈する粘土状破碎部からなり, 走向・傾斜はN61° W/75° NEである。
- ・B-1は, 固結した破碎部及び厚さはフィルム状~0.2cmの褐色を呈する粘土状破碎部からなり, 走向・傾斜はN46° W/90° である。



# 切羽観察結果 —No.11切羽—

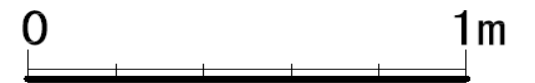


No.11切羽写真



No.11切羽写真(割れ目等を加筆)

割れ目



- ・安山岩(均質)と凝灰角礫岩が分布し、凝灰角礫岩中にS-1及びB-1が認められる。
- ・S-1は、固結した破碎部及び厚さ0.2~1.0cmの褐色を呈する粘土状破碎部からなり、走向・傾斜はN46° W/75° NEである。
- ・B-1は、固結した破碎部及び厚さはフィルム状の褐色を呈する粘土状破碎部からなり、走向・傾斜はN54° W/90° である。



# 切羽観察結果 —No.12切羽—

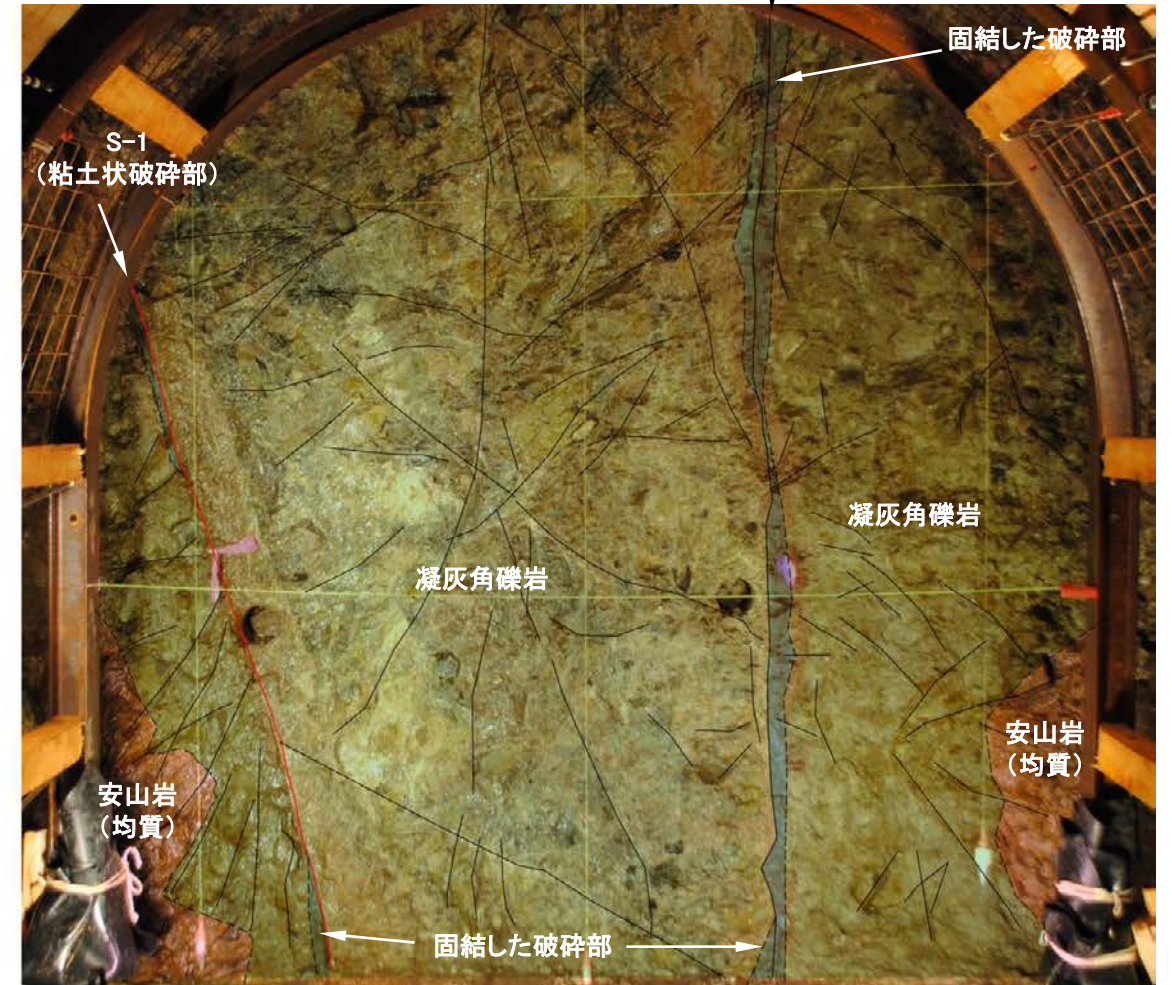
←SW NE→



No.12切羽写真



←SW NE→  
B-1 (粘土状破碎部)



No.12切羽写真(割れ目等を加筆)

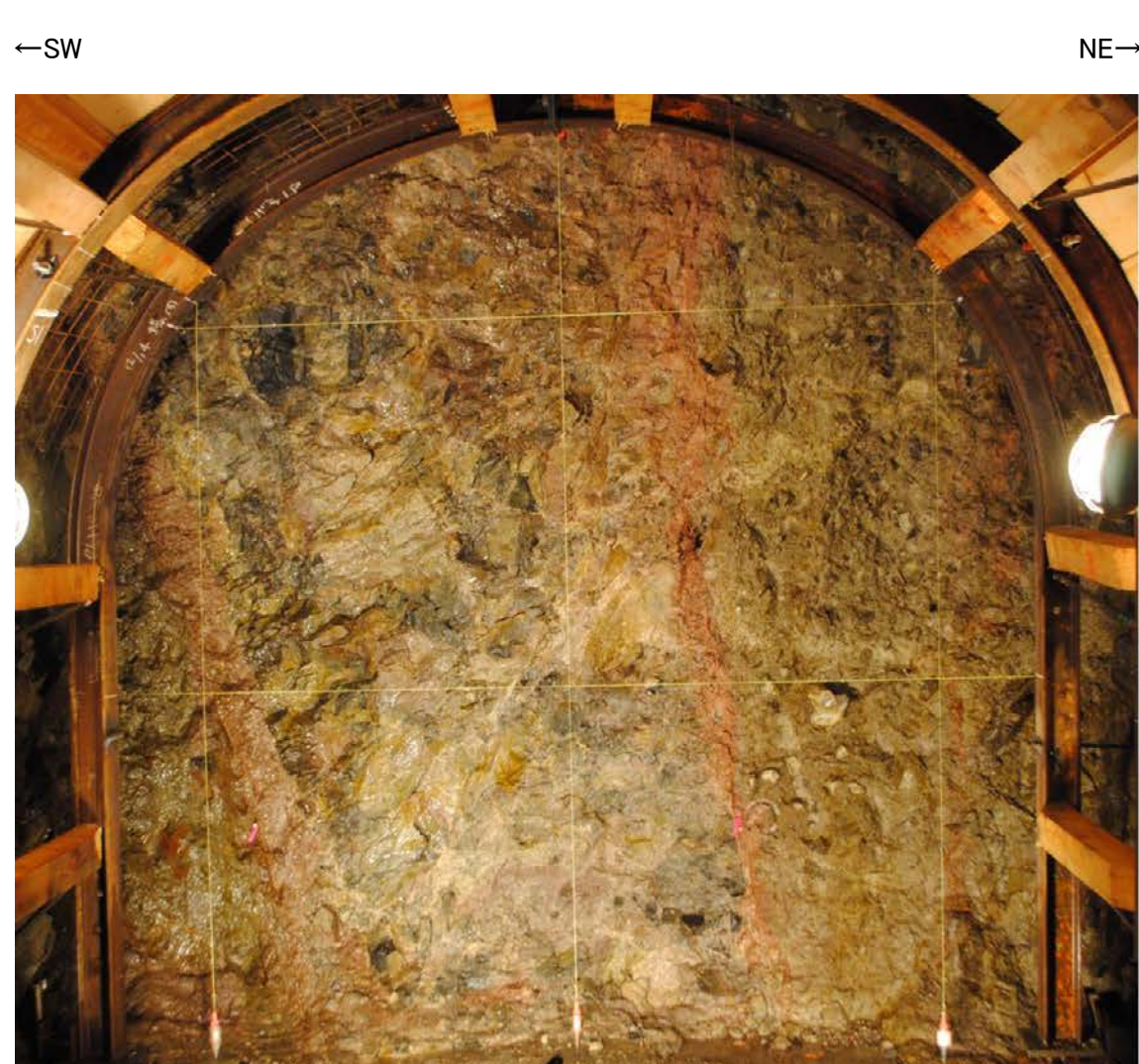
割れ目



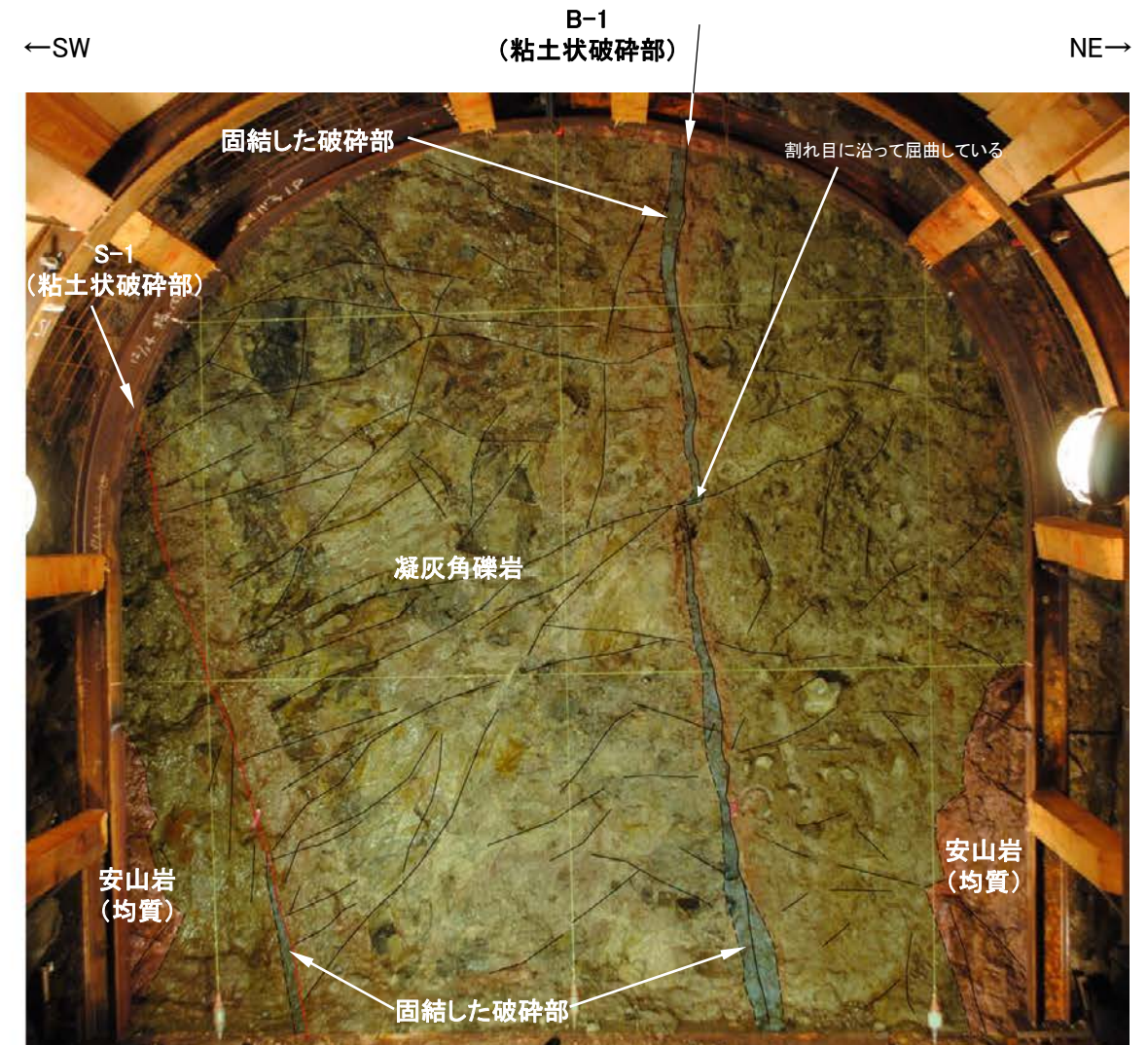
- ・安山岩(均質)と凝灰角礫岩が分布し、凝灰角礫岩中にS-1及びB-1が認められる。
- ・S-1は、固結した破碎部及び厚さ0.2～1.5cmの褐色を呈する粘土状破碎部からなり、走向・傾斜はN52° W/70° NEである。
- ・B-1は、固結した破碎部及び厚さはフィルム状～0.1cmの褐色を呈する粘土状破碎部からなり、走向・傾斜はN54° W/90° である。



# 切羽観察結果 —No.13切羽—

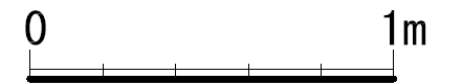


No.13切羽写真



No.13切羽写真(割れ目等を加筆)

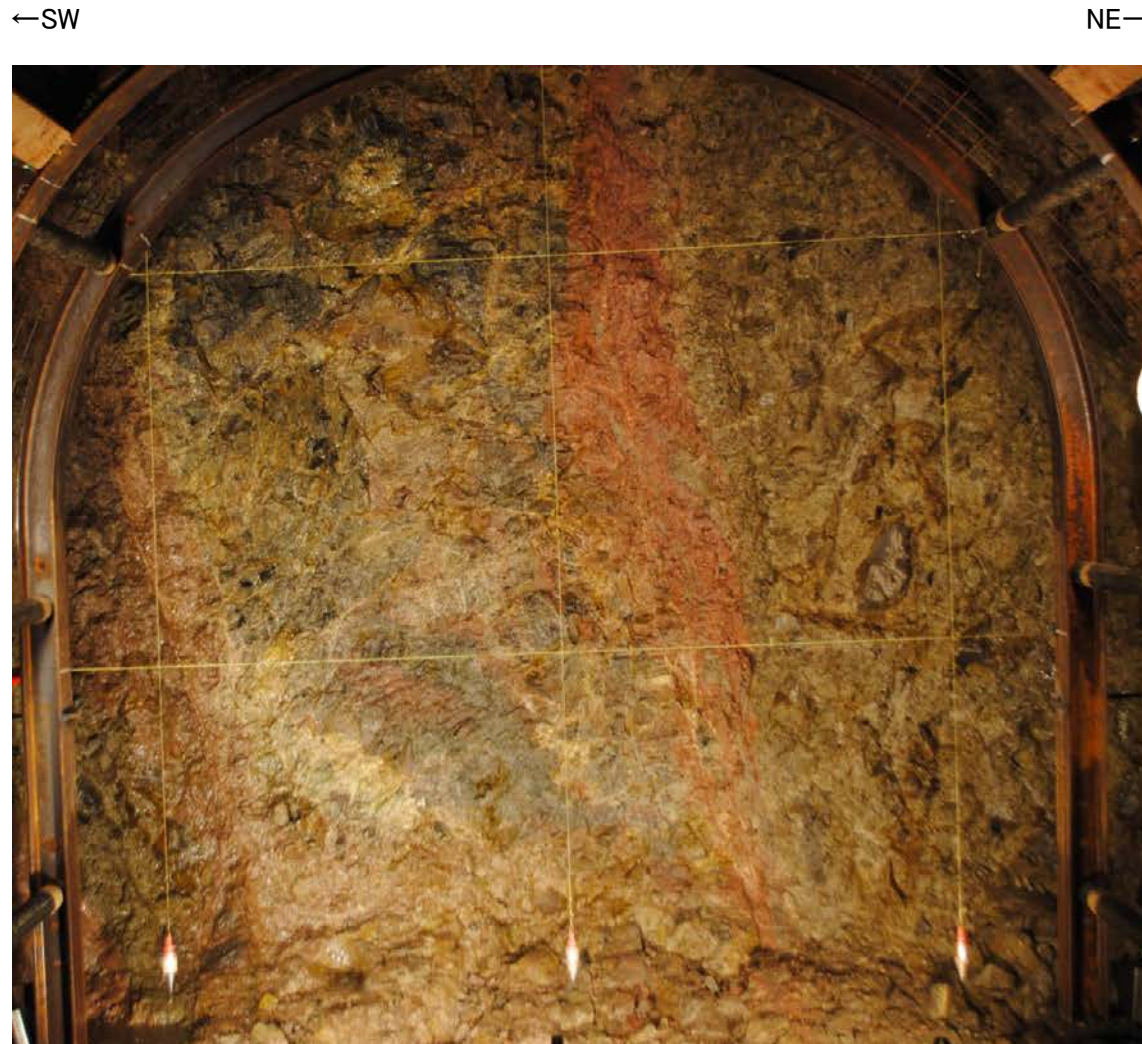
↙ 割れ目



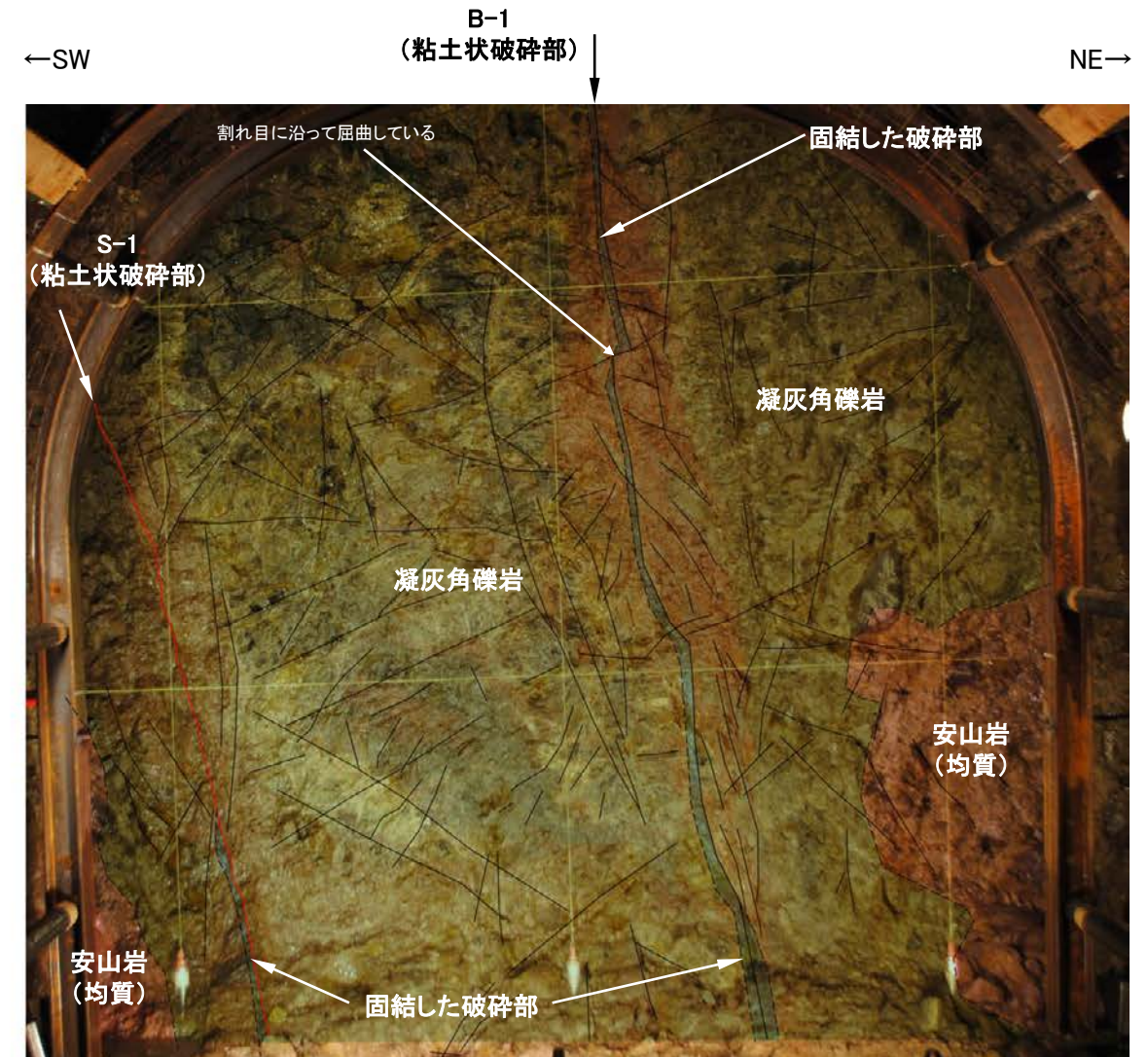
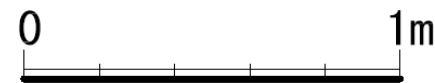
- ・安山岩(均質)と凝灰角礫岩が分布し、凝灰角礫岩中にS-1及びB-1が認められる。
- ・S-1は、固結した破碎部及び厚さ0.1~1.0cmの褐色を呈する粘土状破碎部からなり、走向・傾斜はN47° W/70° NEである。
- ・B-1は、固結した破碎部及び厚さはフィルム状の褐色を呈する粘土状破碎部からなり、走向・傾斜はN36° W/81° NE~83° SWである。
- ・B-1には、割れ目に沿って屈曲している部分が認められる。



# 切羽観察結果 —No.14切羽—



No.14切羽写真



No.14切羽写真(割れ目等を加筆)

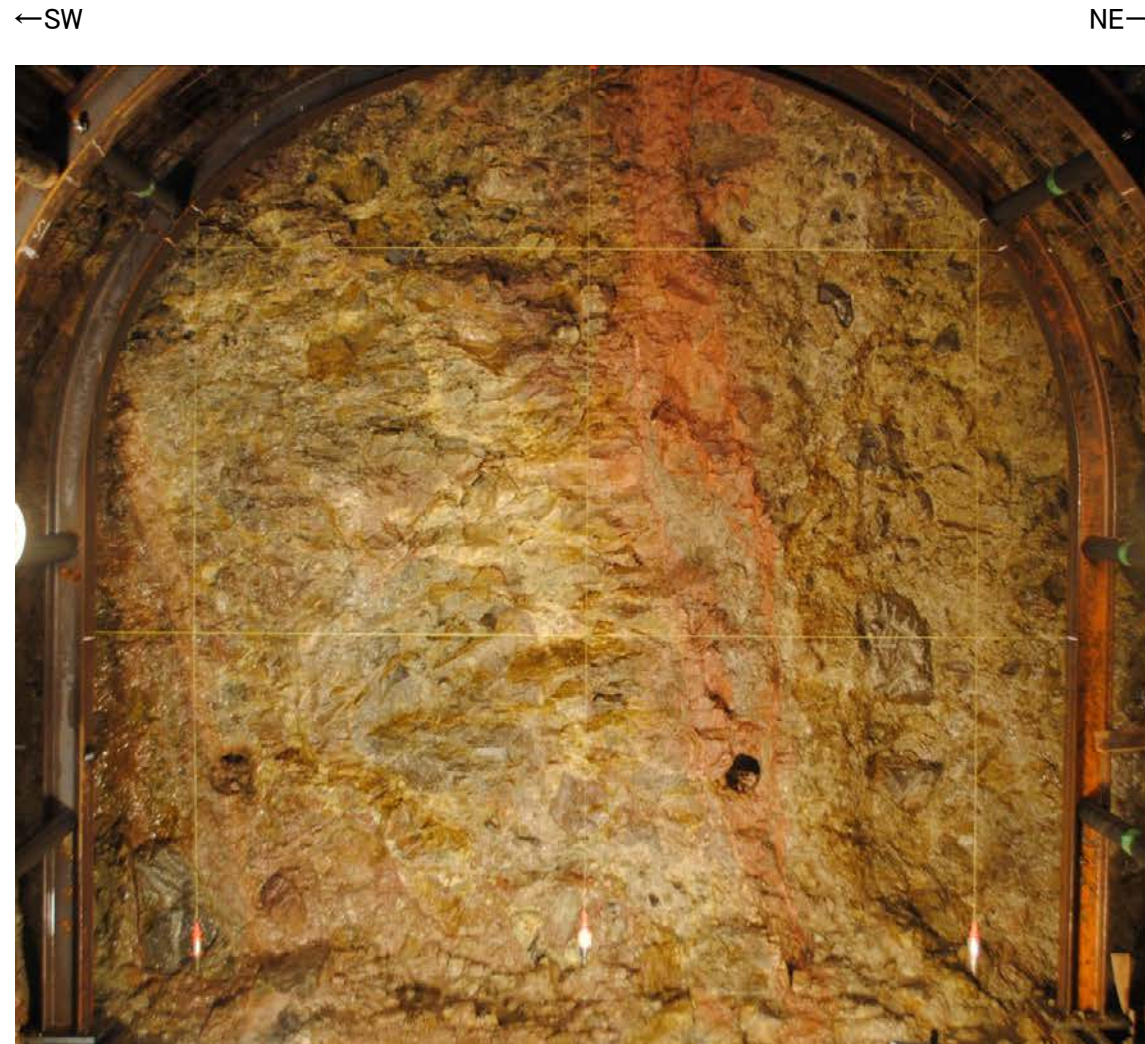
— 割れ目



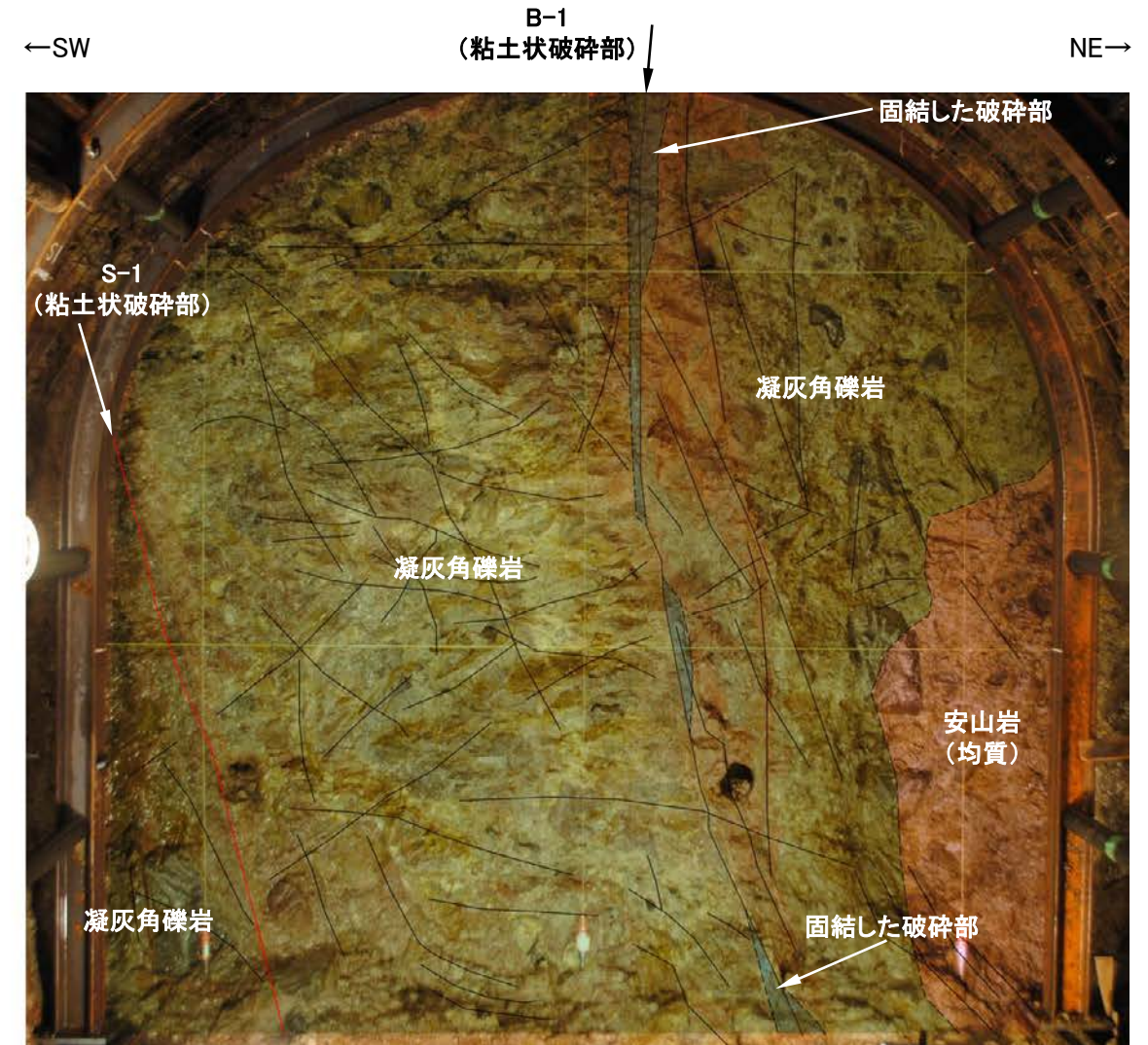
- ・安山岩(均質)と凝灰角礫岩が分布し、凝灰角礫岩中にS-1及びB-1が認められる。
- ・S-1は、固結した破碎部及び厚さ0.2～1.0cmの褐色を呈する粘土状破碎部からなり、走向・傾斜はN60° W/70° NEである。
- ・B-1は、固結した破碎部及び厚さはフィルム状の褐色を呈する粘土状破碎部からなり、走向・傾斜はN50° W/80° NEである。
- ・B-1には、割れ目に沿って屈曲している部分が認められる。



# 切羽観察結果 —No.15切羽—



No.15切羽写真



No.15切羽写真(割れ目等を加筆)

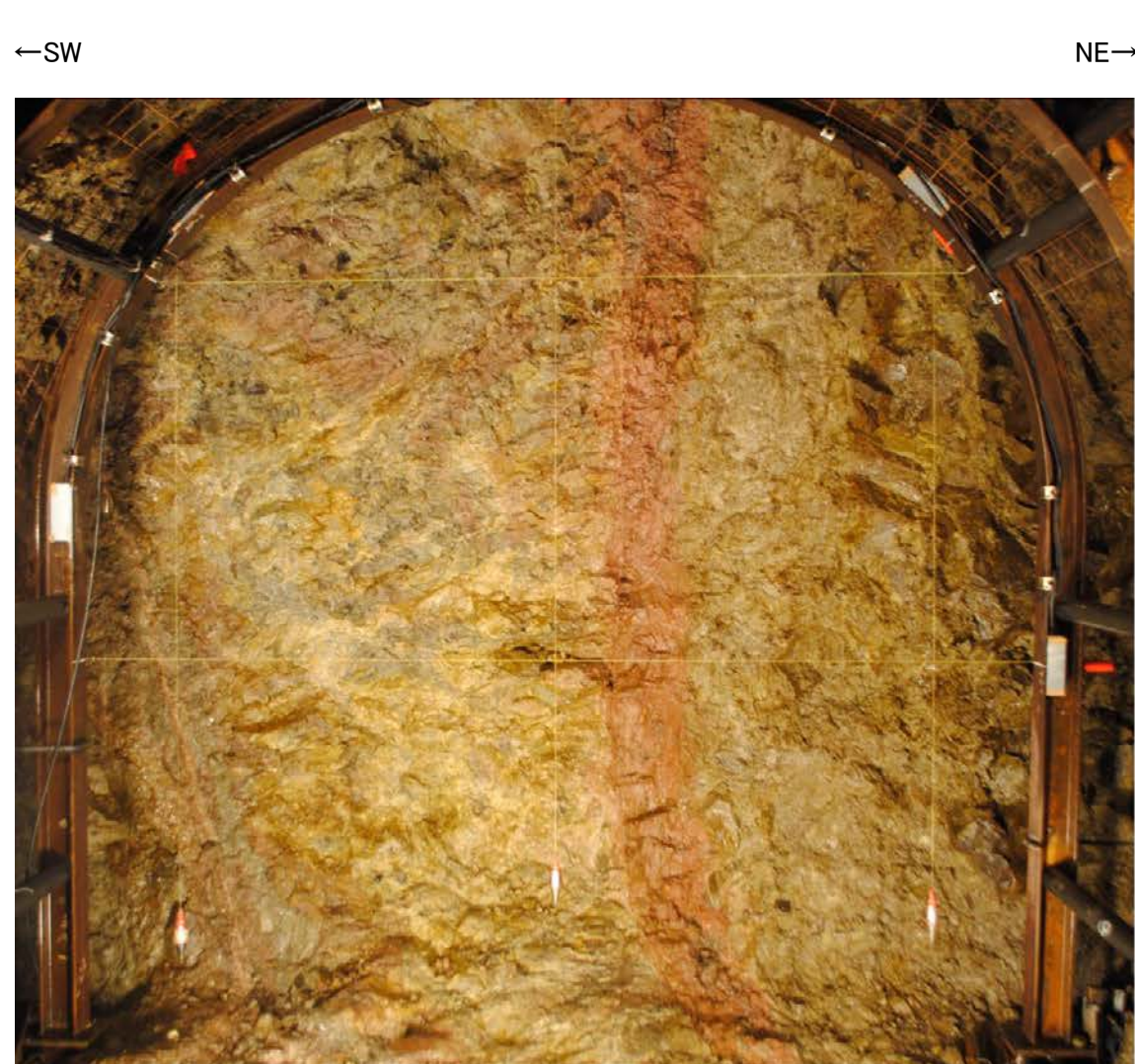
／ 割れ目



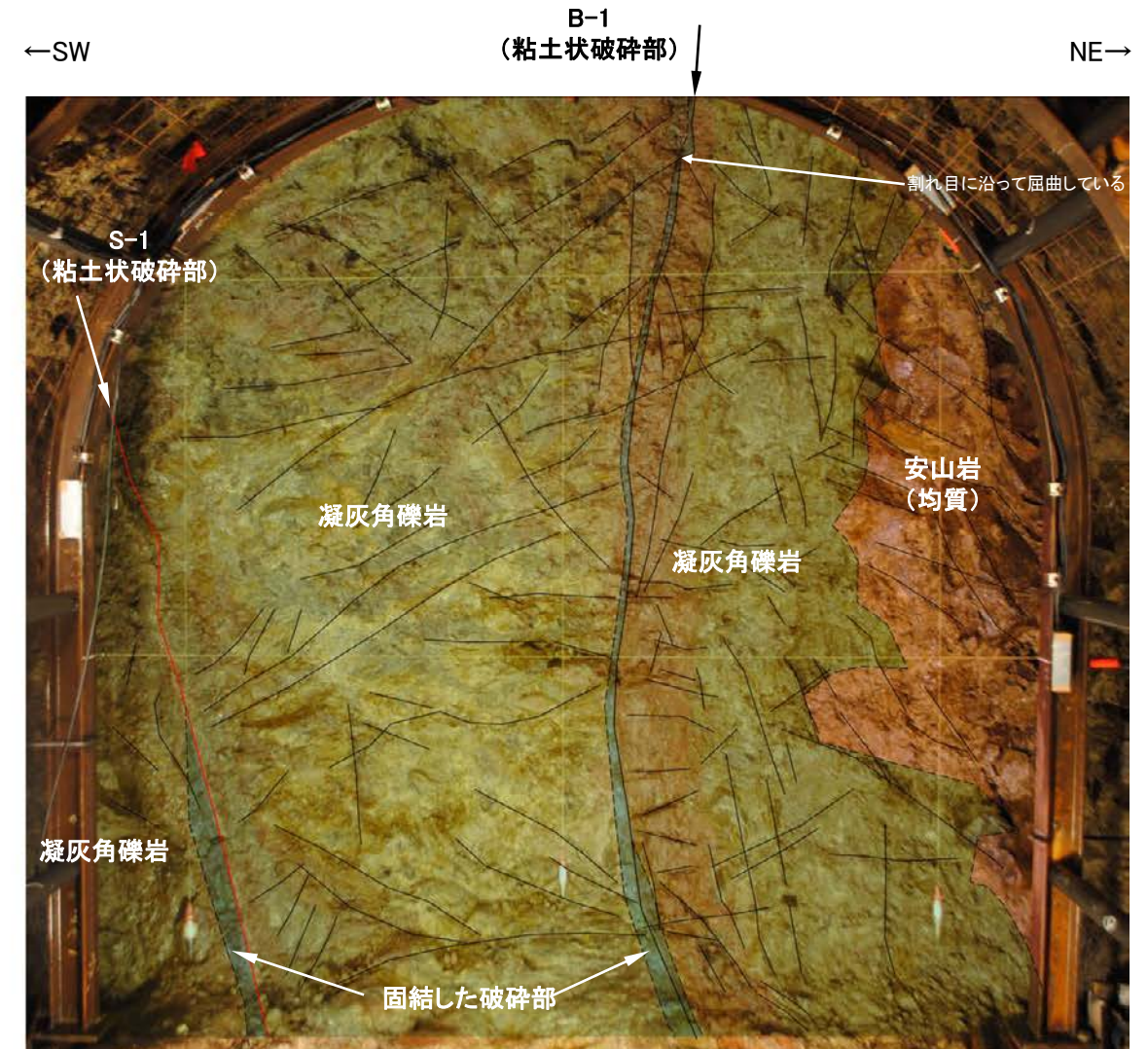
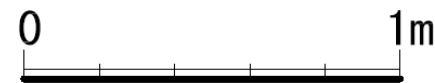
- ・安山岩(均質)と凝灰角礫岩が分布し、凝灰角礫岩中にS-1及びB-1が認められる。
- ・S-1は、固結した破碎部及び厚さ0.1～0.8cmの褐色を呈する粘土状破碎部からなり、走向・傾斜はN47° W/70° NEである。
- ・B-1は、固結した破碎部及び厚さはフィルム状～0.1cmの褐色を呈する粘土状破碎部からなり、走向・傾斜はN51° W/85° NEである。



# 切羽観察結果 —No.16切羽—



No.16切羽写真



No.16切羽写真(割れ目等を加筆)

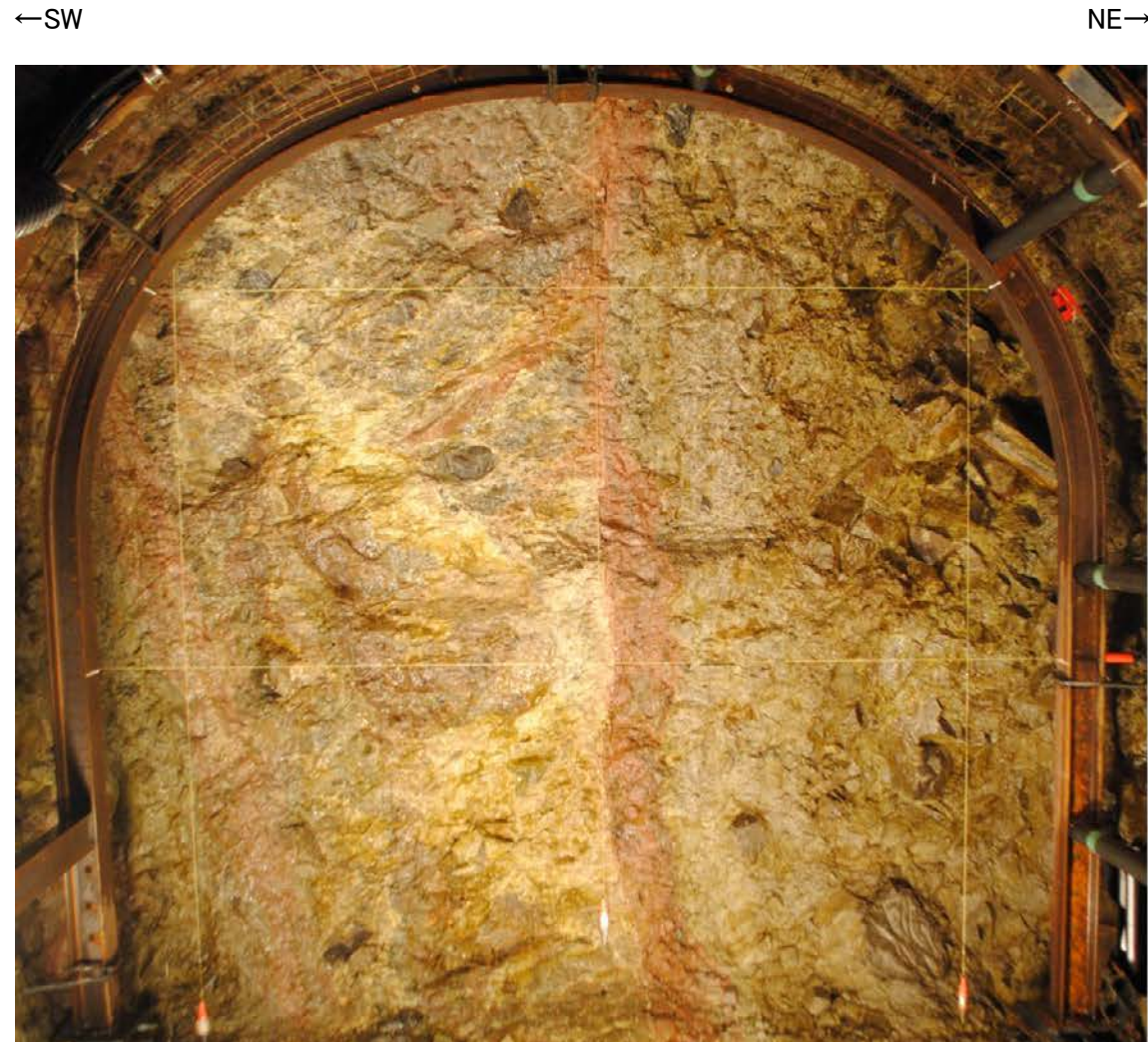
／ 割れ目



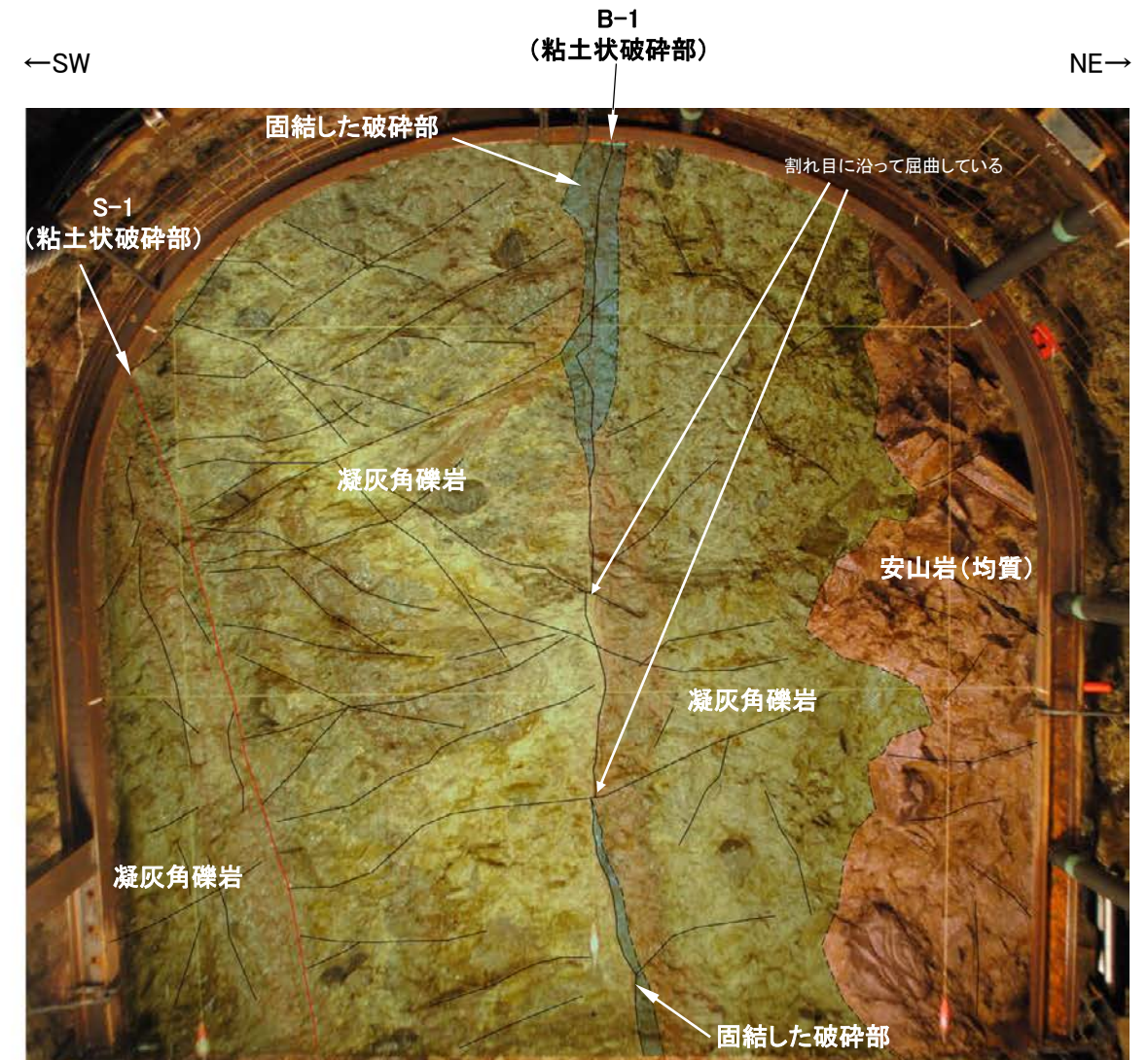
- ・安山岩(均質)と凝灰角礫岩が分布し、凝灰角礫岩中にS-1及びB-1が認められる。
- ・S-1は、固結した破碎部及び厚さ0.5～2.0cmの褐色を呈する粘土状破碎部からなり、走向・傾斜はN53° W/75° NEである。
- ・B-1は、固結した破碎部及び厚さはフィルム状～0.5cmの褐色を呈する粘土状破碎部からなり、走向・傾斜はN75° W/90° である。
- ・B-1には、割れ目に沿って屈曲している部分が認められる。



# 切羽観察結果 —No.17切羽—



No.17切羽写真



No.17切羽写真(割れ目等を加筆)

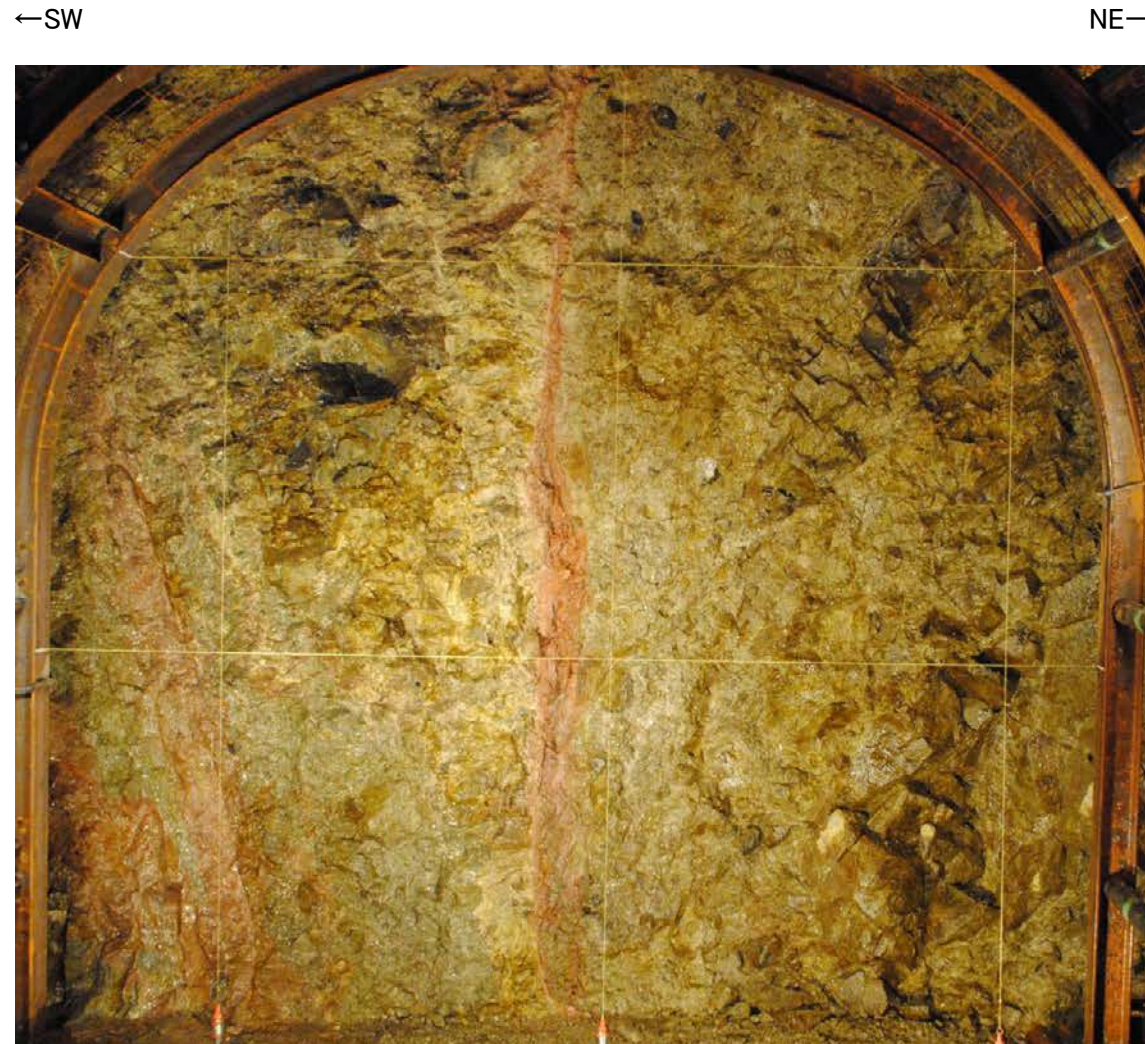
— 割れ目



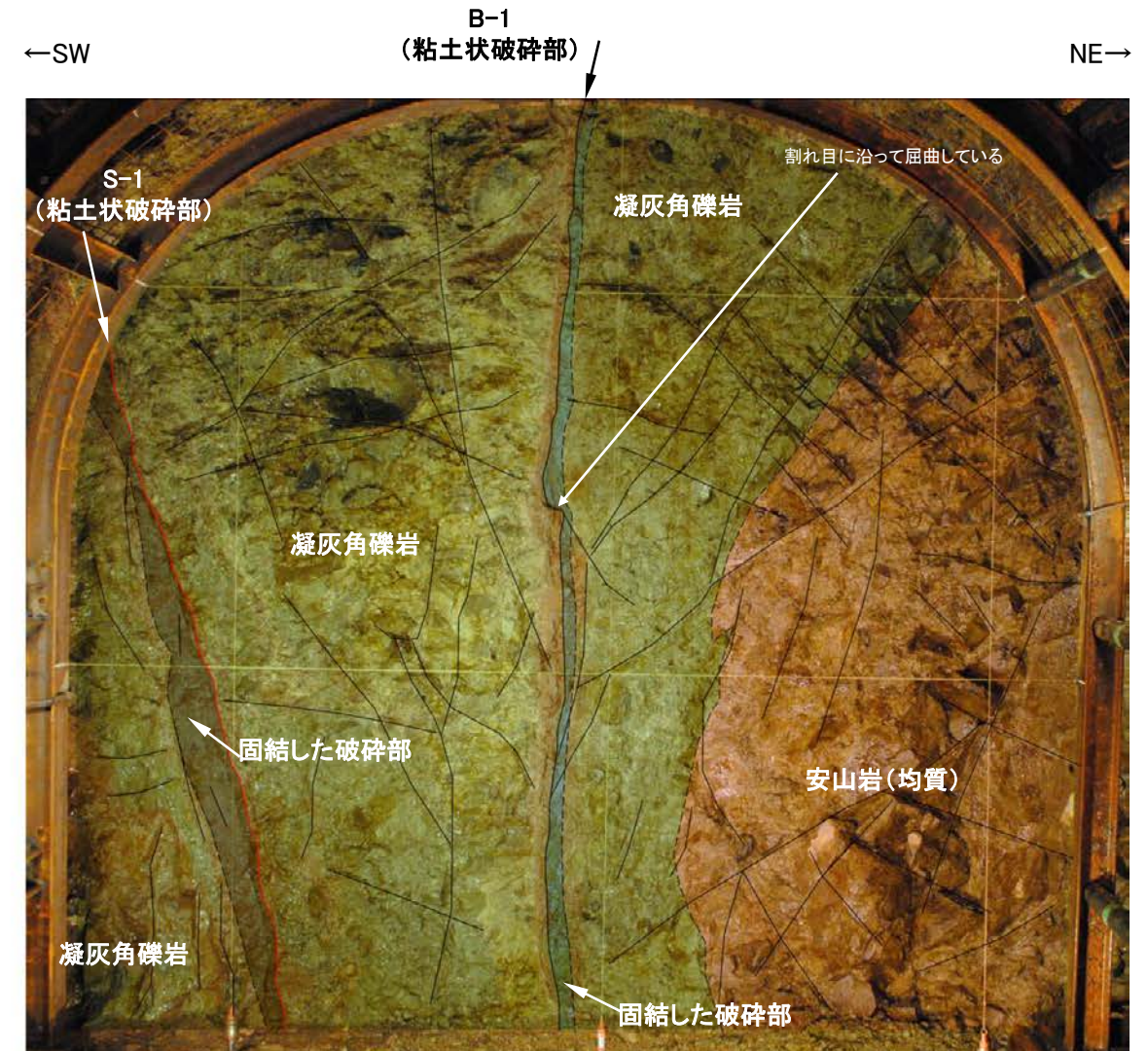
- ・安山岩(均質)と凝灰角礫岩が分布し、凝灰角礫岩中にS-1及びB-1が認められる。
- ・S-1は、固結した破碎部及び厚さ0.5~3.5cmの褐色を呈する粘土状破碎部からなり、走向・傾斜はN56° W/73° NEである。
- ・B-1は、固結した破碎部及び厚さはフィルム状~0.5cmの褐色を呈する粘土状破碎部からなり、走向・傾斜はN60° W/86° NE~90° である。
- ・B-1には、割れ目に沿って屈曲している部分が認められる。



# 切羽観察結果 —No.18切羽—



No.18切羽写真



No.18切羽写真(割れ目等を加筆)

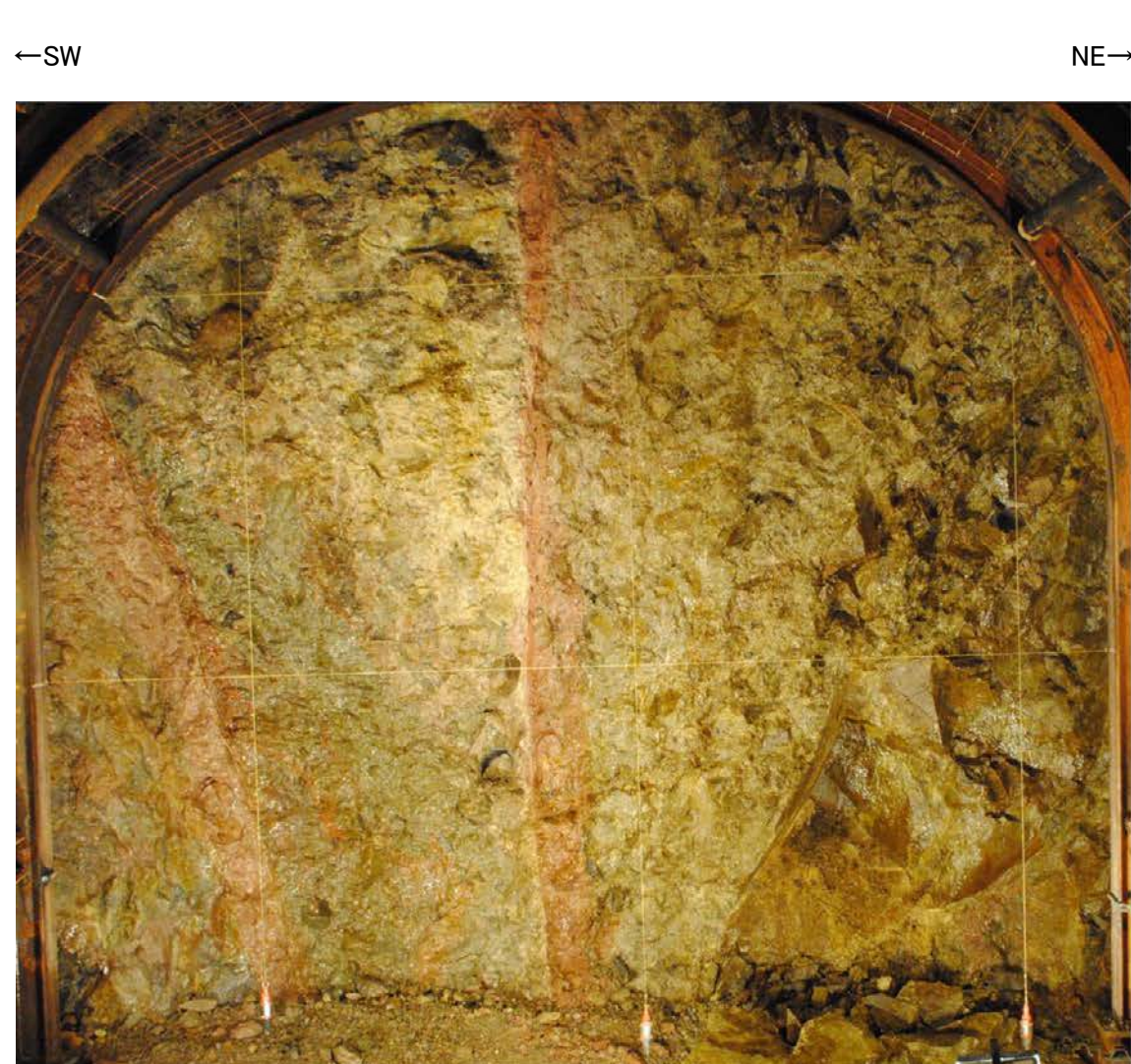
割れ目



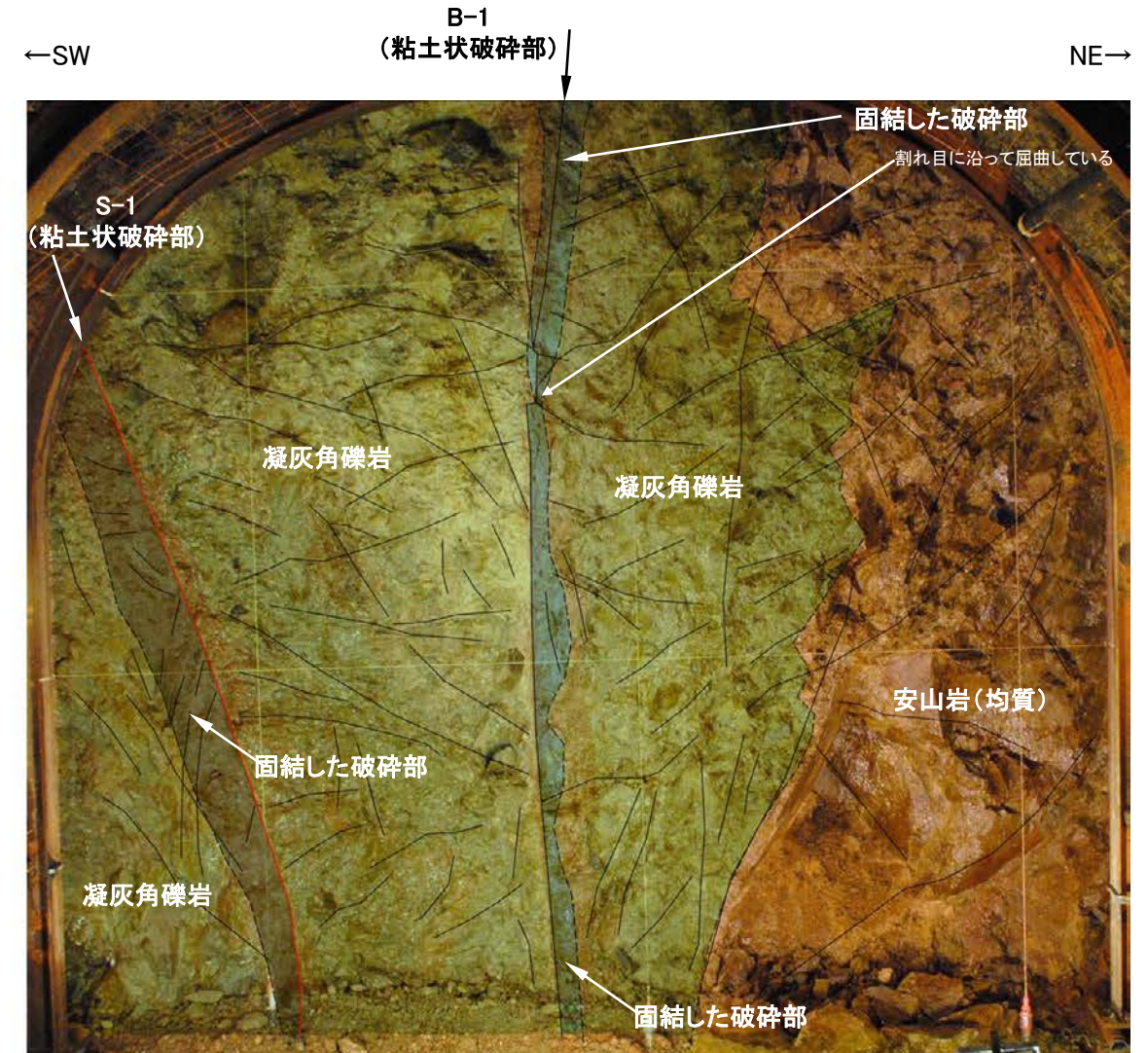
- ・安山岩(均質)と凝灰角礫岩が分布し、凝灰角礫岩中にS-1及びB-1が認められる。
- ・S-1は、固結した破碎部及び厚さ0.1～2.0cmの赤褐色を呈する粘土状破碎部からなり、走向・傾斜はN42° W/72° NEである。
- ・B-1は、固結した破碎部及び厚さはフィルム状～0.1cmの赤褐色を呈する粘土状破碎部からなり、走向・傾斜はN55° W/90° である。
- ・B-1には、割れ目に沿って屈曲している部分が認められる。



# 切羽観察結果 —No.19切羽—



No.19切羽写真



No.19切羽写真(割れ目等を加筆)

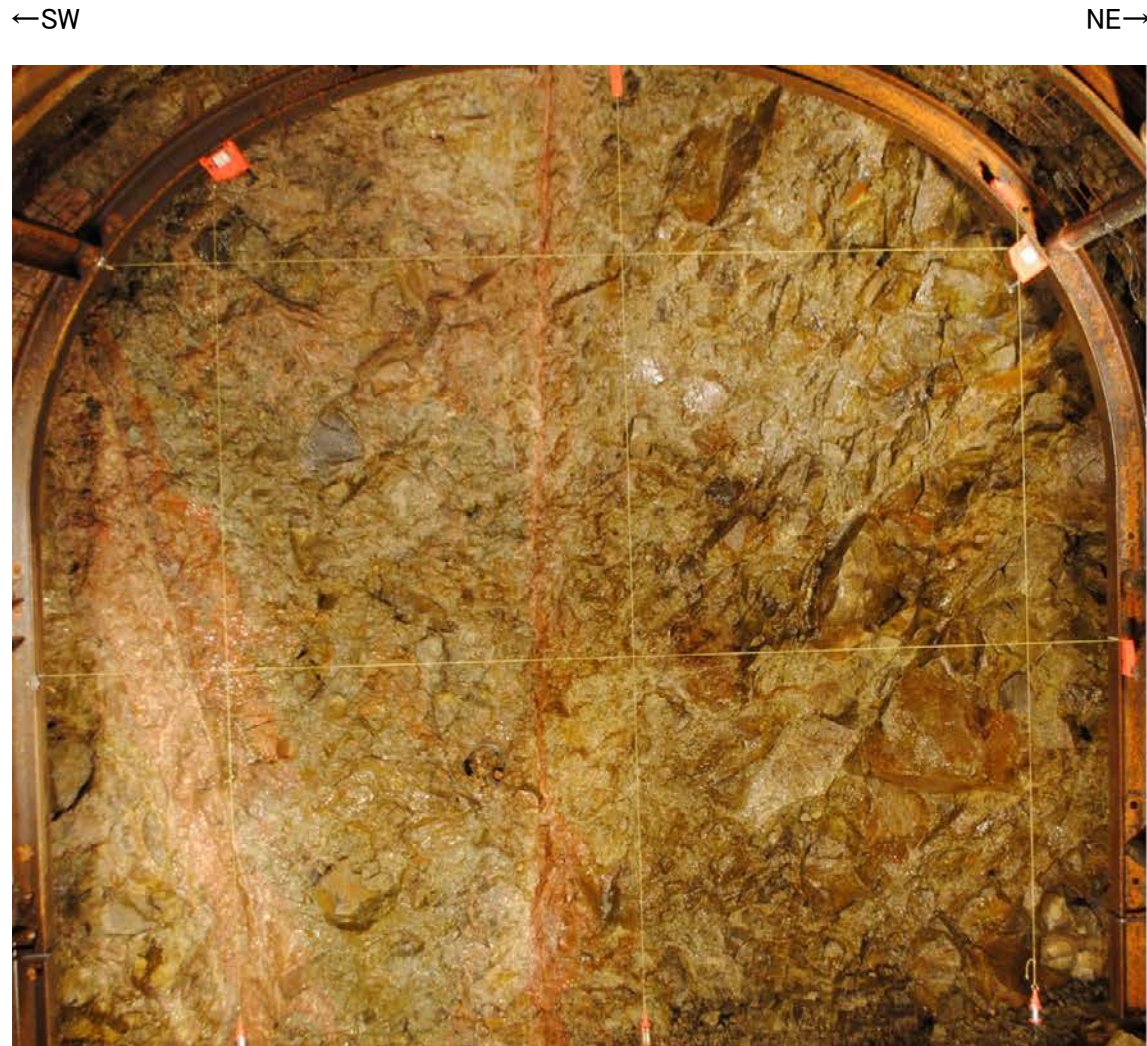
↙ 割れ目



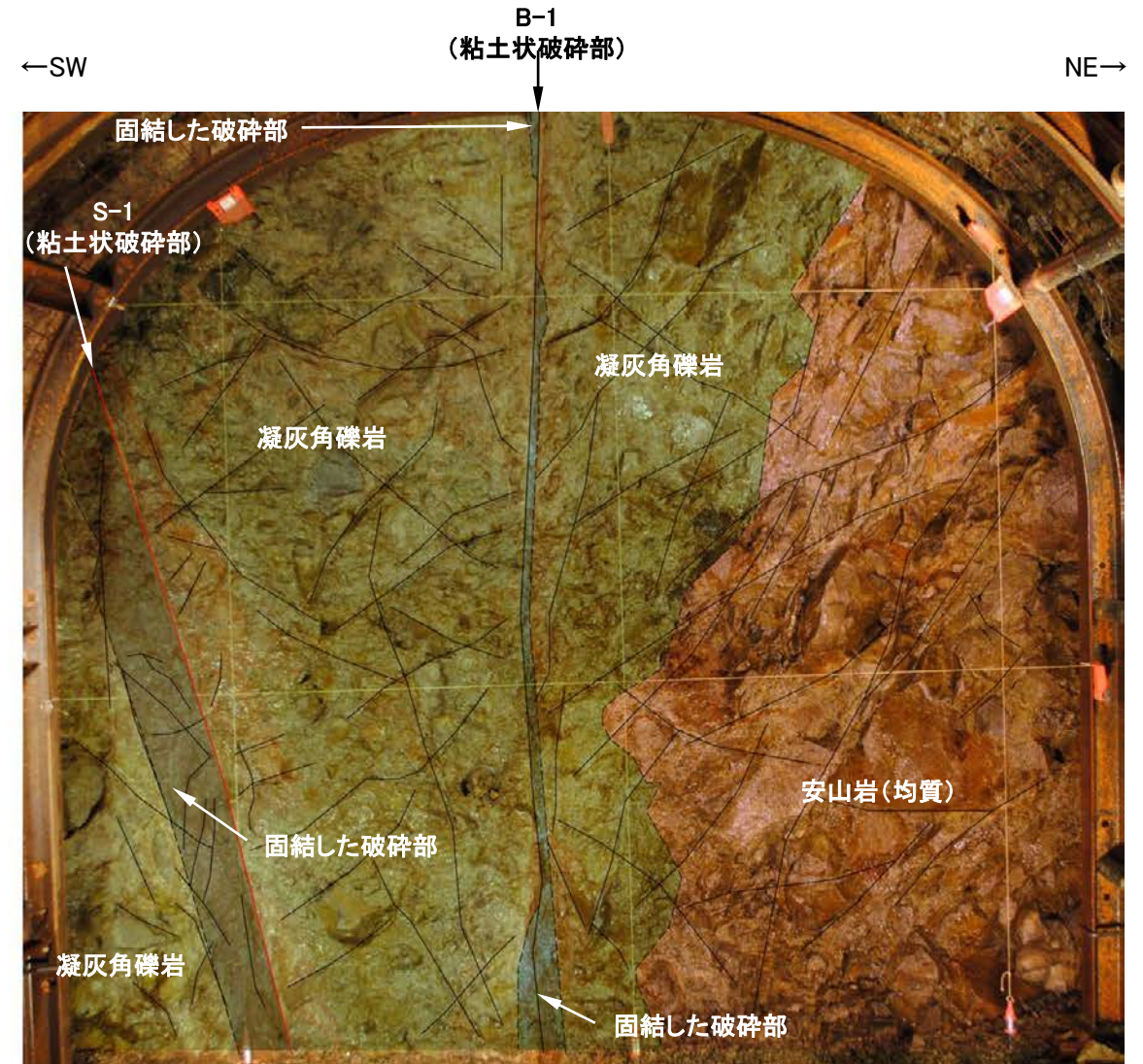
- ・安山岩(均質)と凝灰角礫岩が分布し、凝灰角礫岩中にS-1及びB-1が認められる。
- ・S-1は、固結した破碎部及び厚さ0.1～0.4cmの赤褐色を呈する粘土状破碎部からなり、走向・傾斜はN44° W/74° NEである。
- ・B-1は、固結した破碎部及び厚さ0.2～0.4cmの赤褐色を呈する粘土状破碎部からなり、走向・傾斜はN58° W/88° NEである。
- ・B-1には、割れ目に沿って屈曲している部分が認められる。



# 切羽観察結果 —No.20切羽—

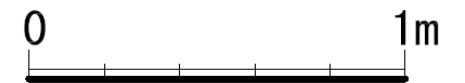


No.20切羽写真



No.20切羽写真(割れ目等を加筆)

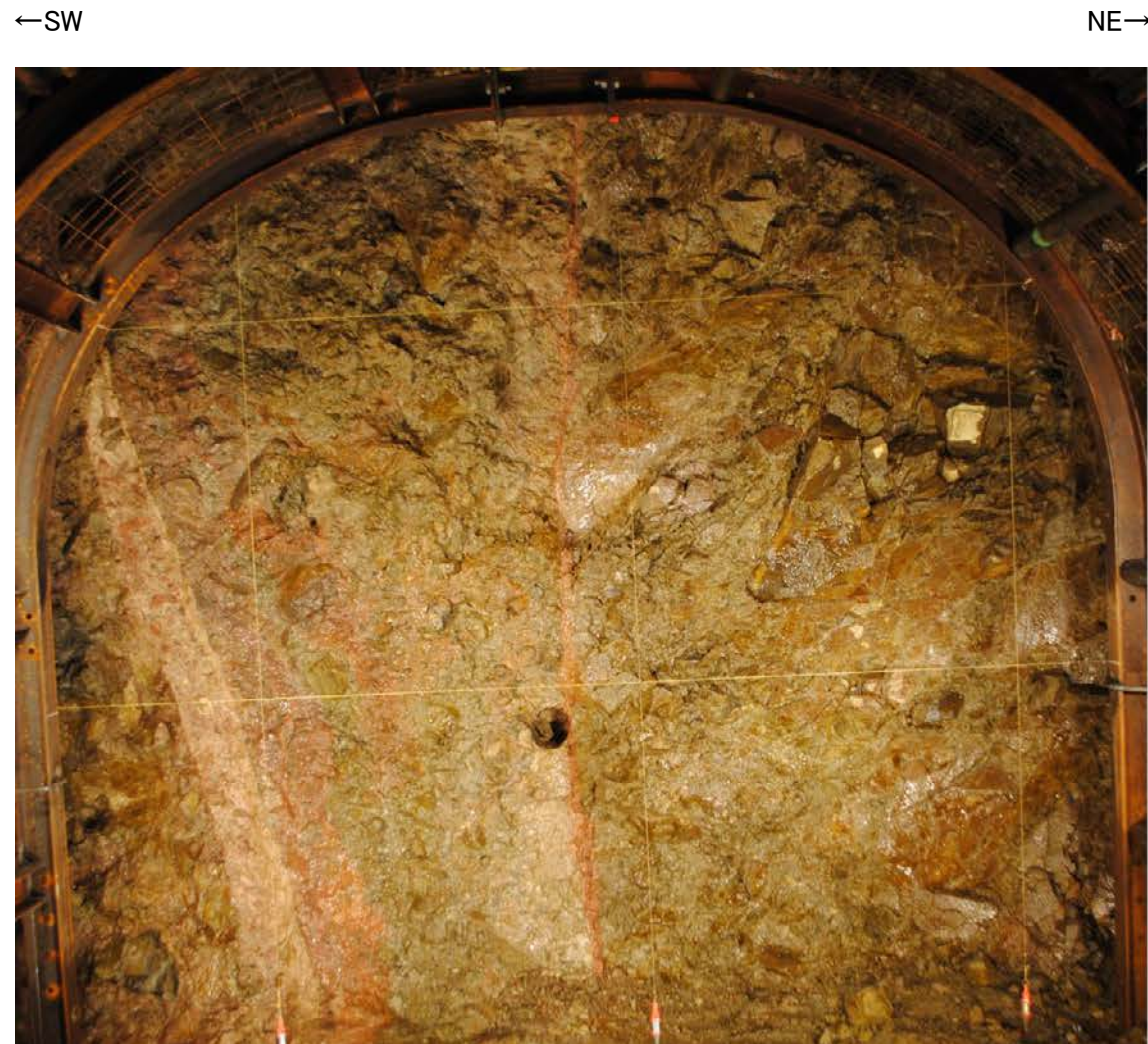
— 割れ目



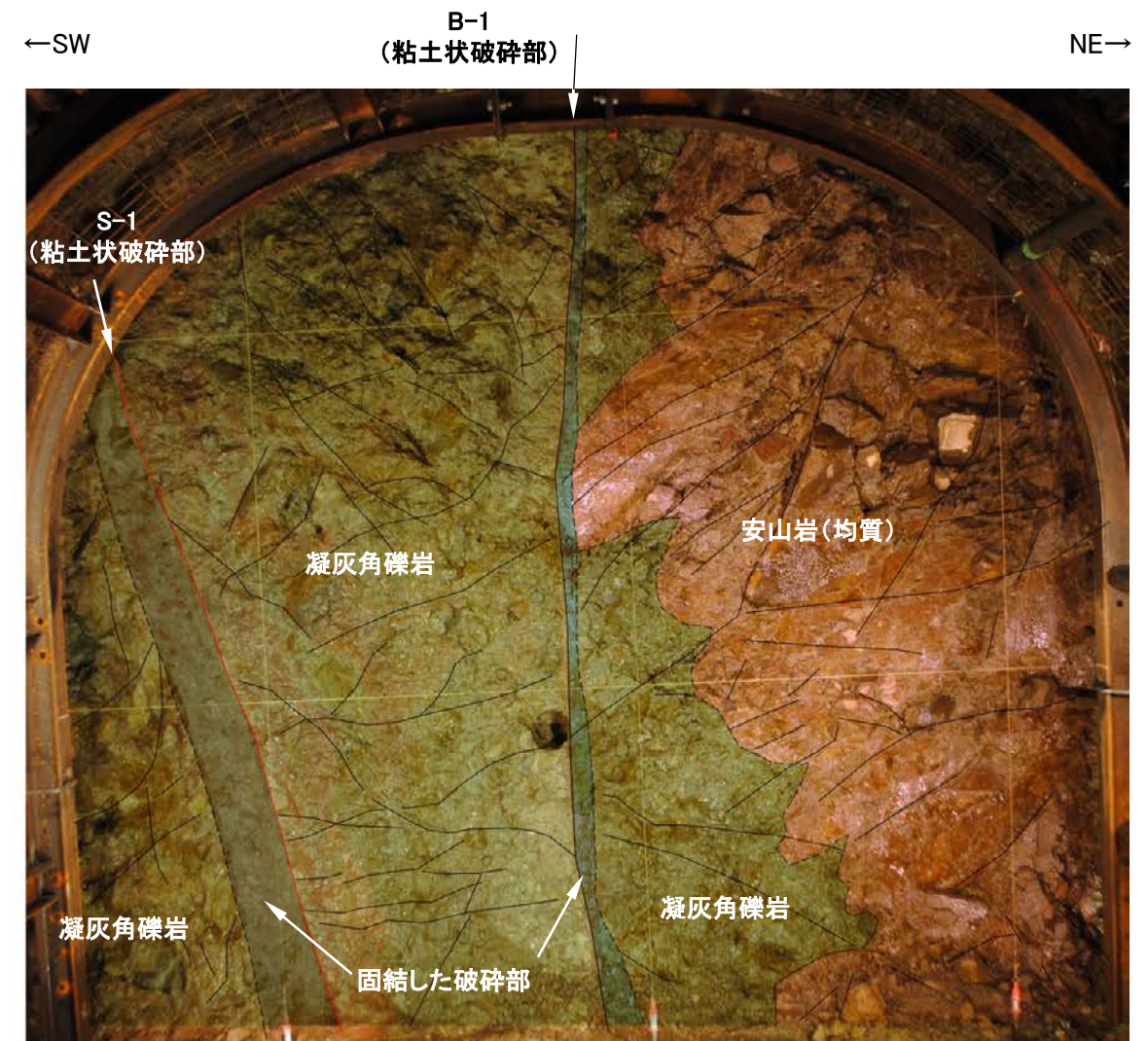
- ・安山岩(均質)と凝灰角礫岩が分布し、凝灰角礫岩中にS-1及びB-1が認められる。
- ・S-1は、固結した破碎部及び厚さ0.2～1.0cmの褐色を呈する粘土状破碎部からなり、走向・傾斜はN48° W/73° NEである。
- ・B-1は、固結した破碎部及び厚さ0.1～0.2cmの褐色を呈する粘土状破碎部からなり、走向・傾斜はN47° W/90° である。



# 切羽観察結果 —No.21切羽—



No.21切羽写真



No.21切羽写真(割れ目等を加筆)

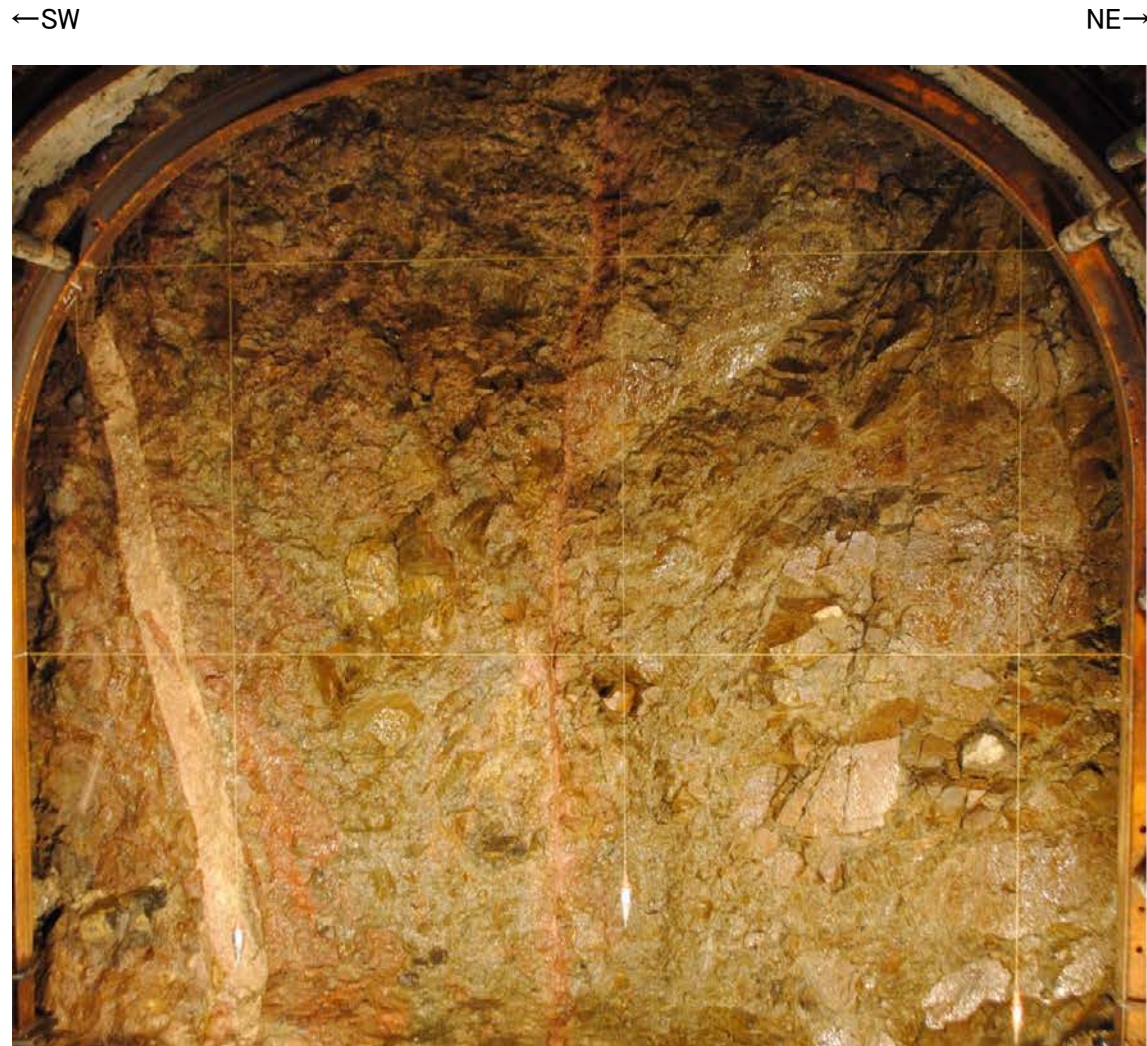
↙ 割れ目



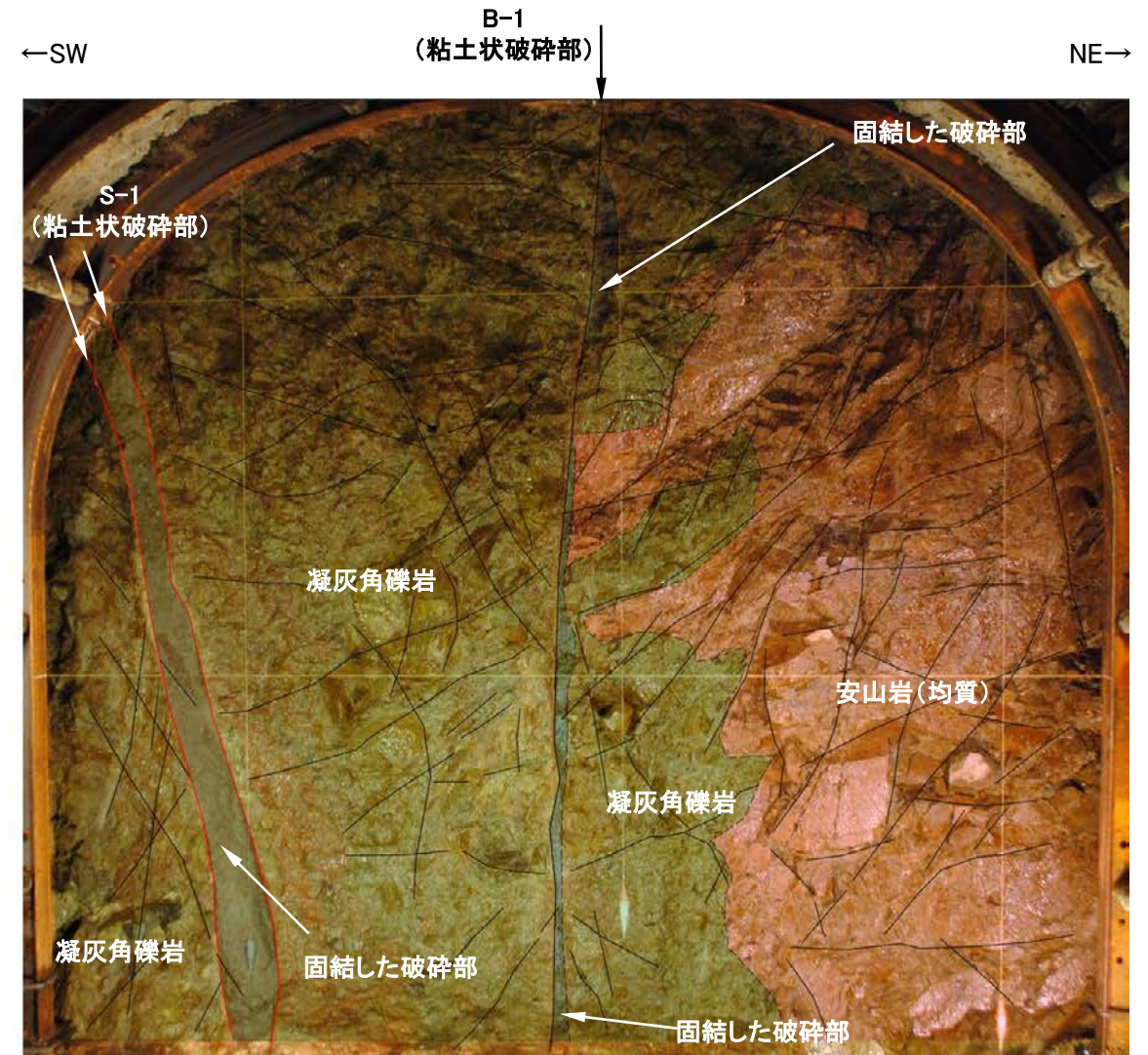
- ・安山岩(均質)と凝灰角礫岩が分布し、凝灰角礫岩中にS-1及びB-1が認められる。
- ・S-1は、固結した破碎部及び厚さ0.2～1.0cmの褐色を呈する粘土状破碎部からなり、走向・傾斜はN47° W/70° NEである。
- ・B-1は、固結した破碎部及び厚さ0.1～0.4cmの褐色を呈する粘土状破碎部からなり、走向・傾斜はN44° W/85° SW～90° である。



# 切羽観察結果 —No.22切羽—



No.22切羽写真



No.22切羽写真(割れ目等を加筆)

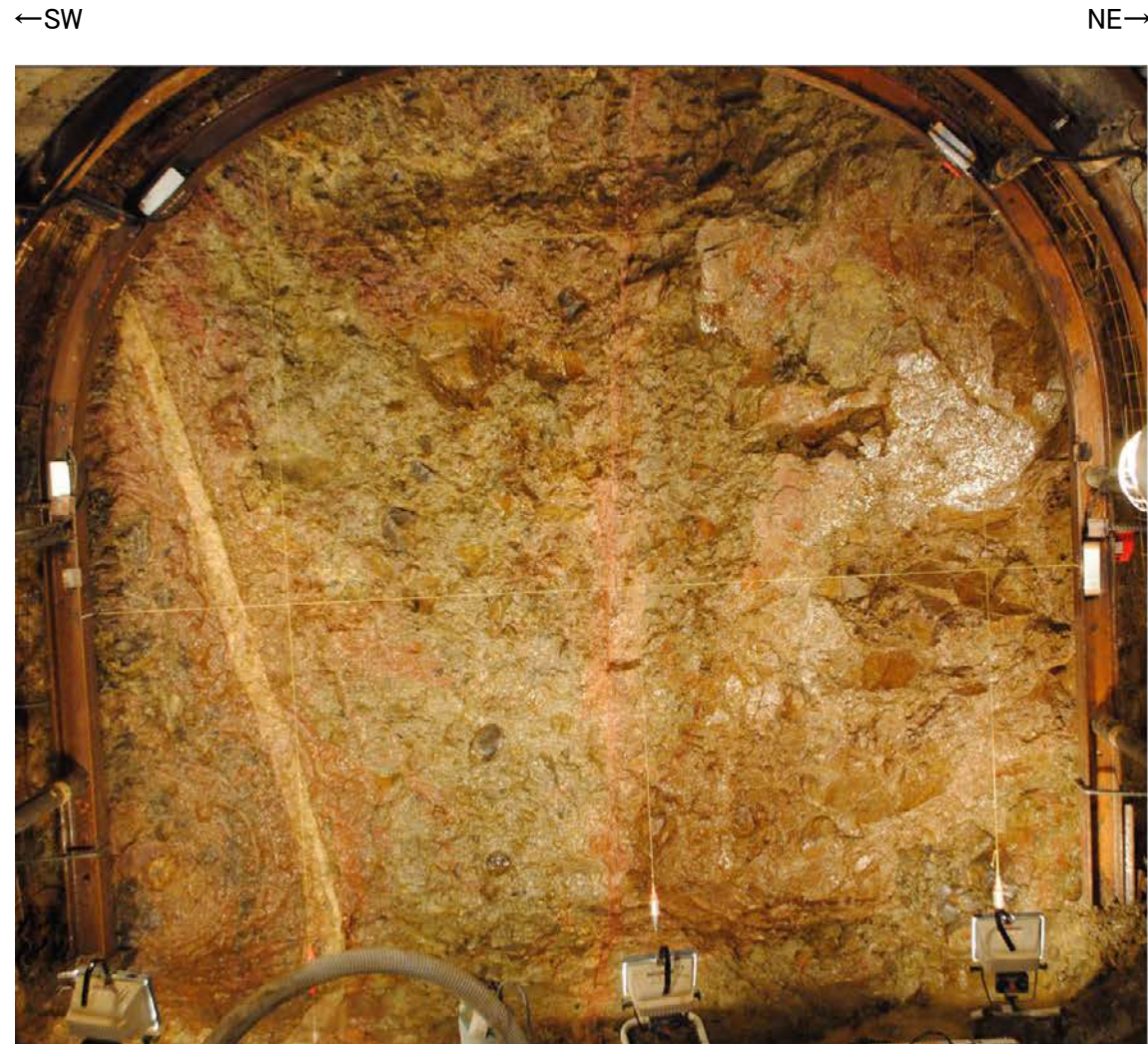
— 割れ目



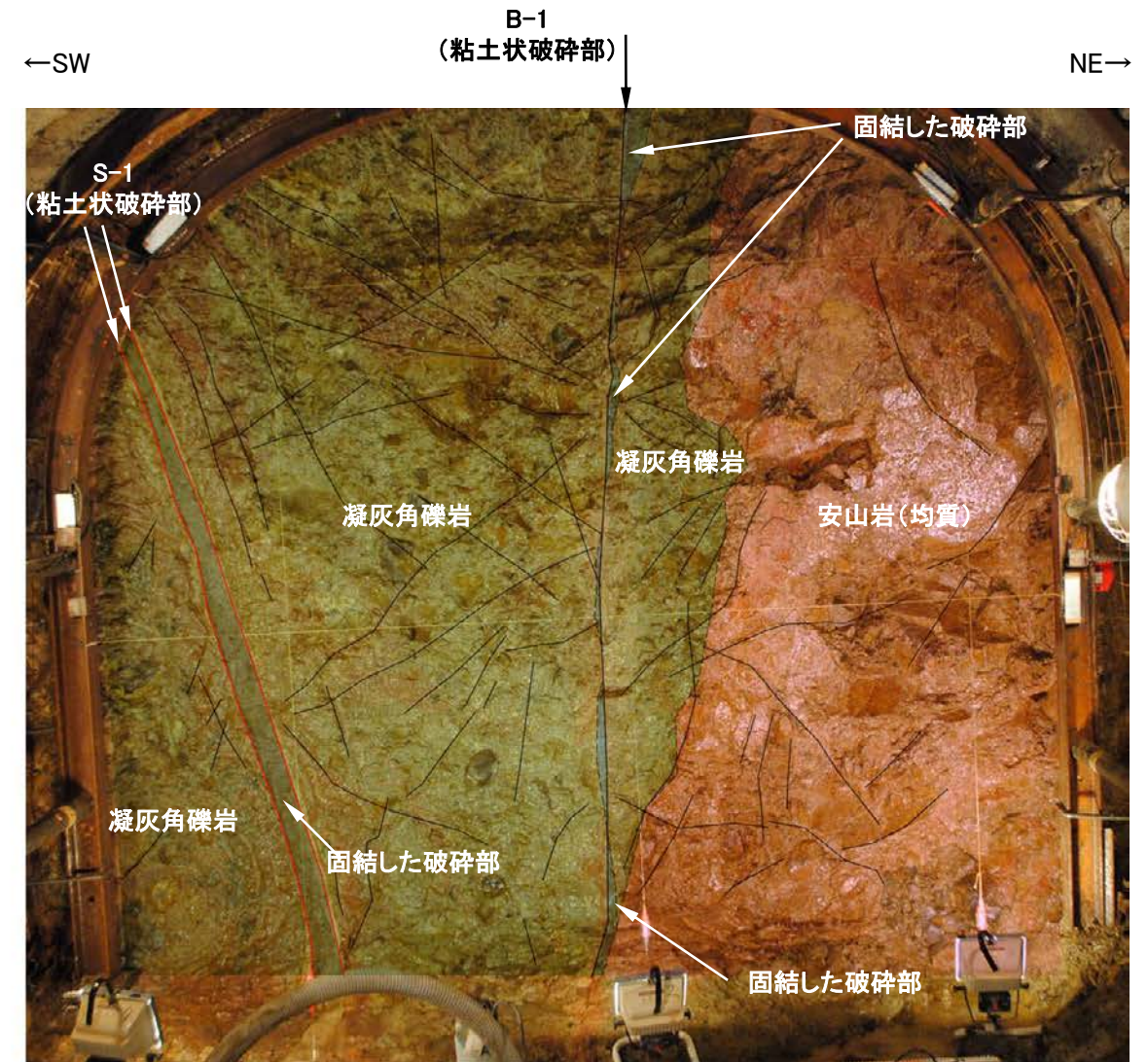
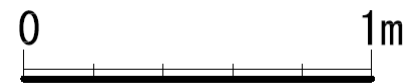
- ・安山岩(均質)と凝灰角礫岩が分布し、凝灰角礫岩中にS-1及びB-1が認められる。
- ・S-1は、固結した破碎部及び厚さ0.2～1.0cmの褐色を呈する粘土状破碎部からなり、走向・傾斜はN54° W/72° NEである。
- ・B-1は、固結した破碎部及び厚さ0.1～0.3cmの赤褐色を呈する粘土状破碎部からなり、走向・傾斜はN45° W/90° である。



# 切羽観察結果 —No.23切羽—

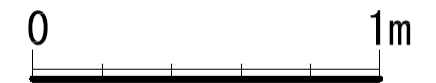


No.23切羽写真



No.23切羽写真(割れ目を加筆)

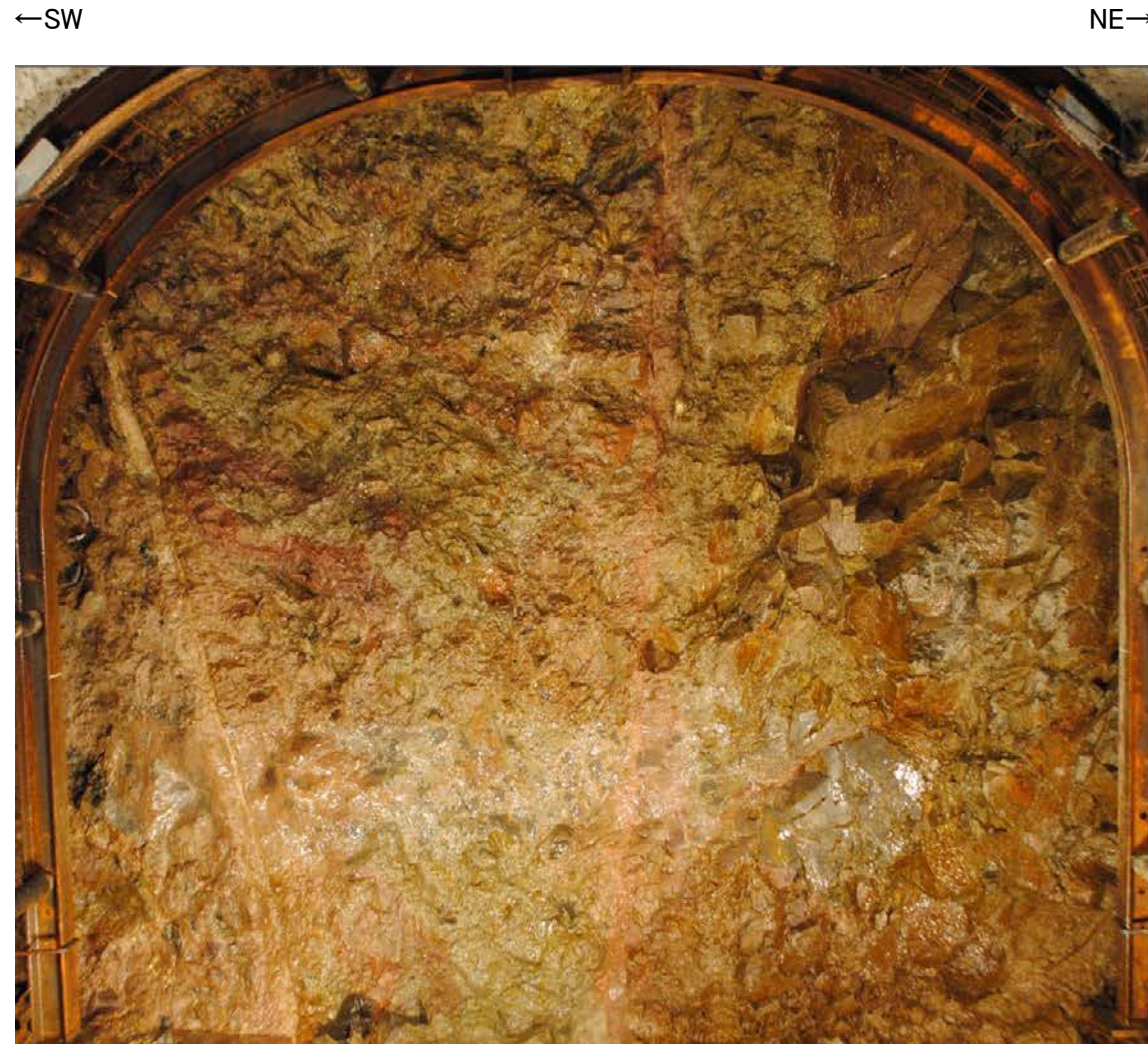
— 割れ目



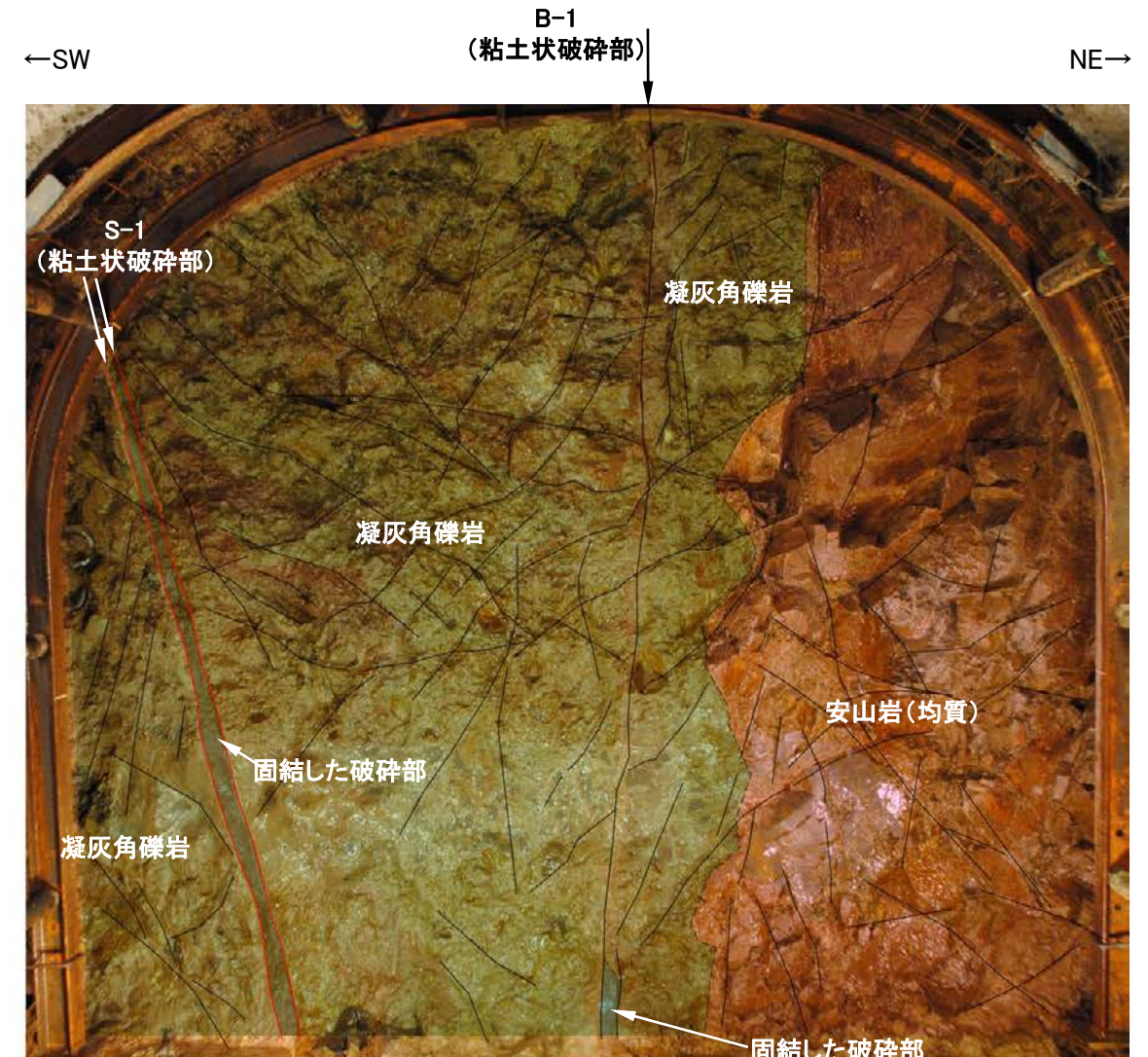
- ・安山岩(均質)と凝灰角礫岩が分布し、凝灰角礫岩中にS-1及びB-1が認められる。
- ・S-1は、固結した破碎部及び厚さ0.2~0.6cmの淡黄白色を呈する粘土状破碎部からなり、走向・傾斜はN49° W/72° NEである。
- ・B-1は、固結した破碎部及び厚さ0.1~0.2cmの赤褐色を呈する粘土状破碎部からなり、走向・傾斜はN44° W/85° SWである。



# 切羽観察結果 —No.24切羽—



No.24切羽写真



No.24切羽写真(割れ目等を加筆)

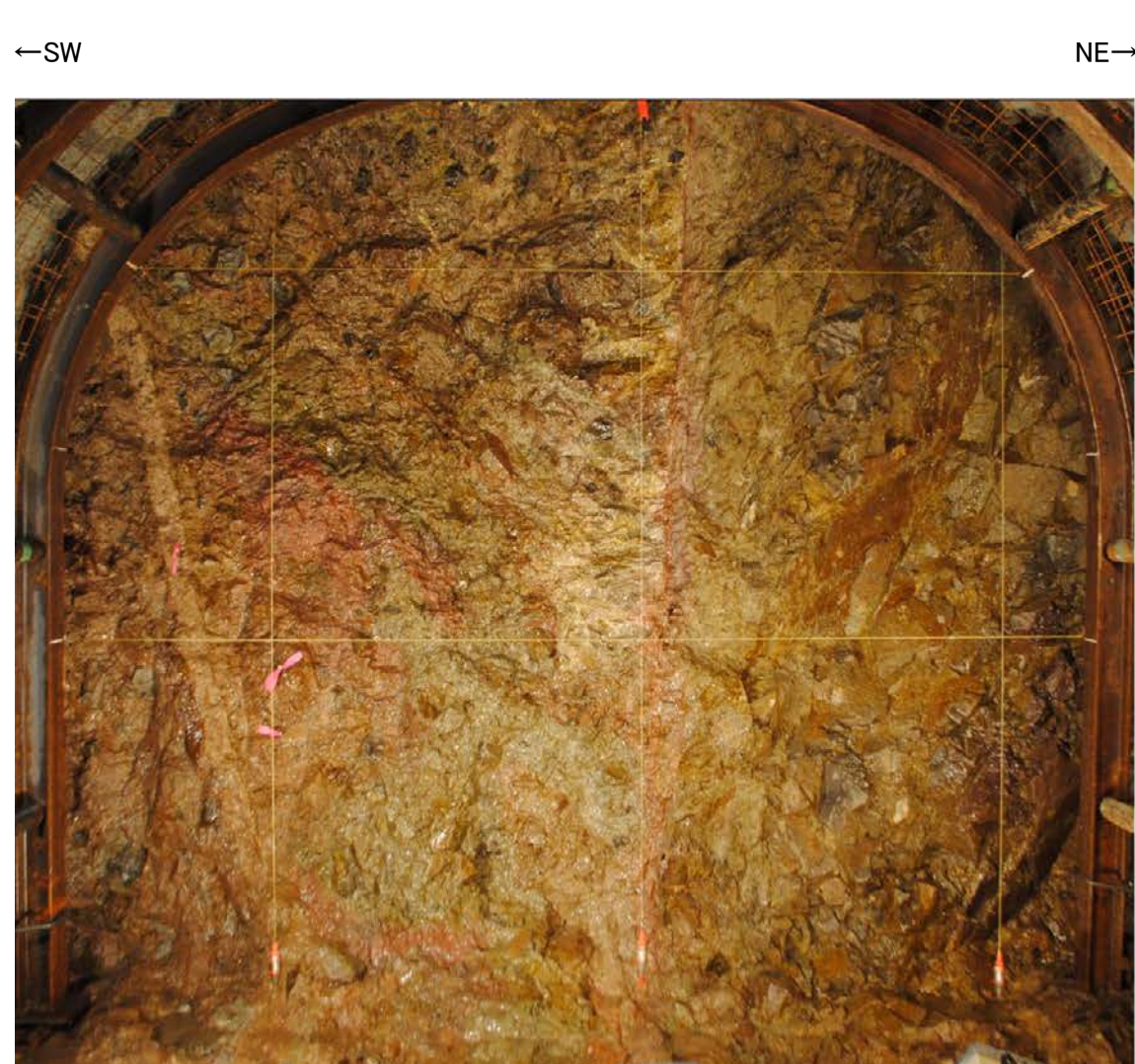
割れ目



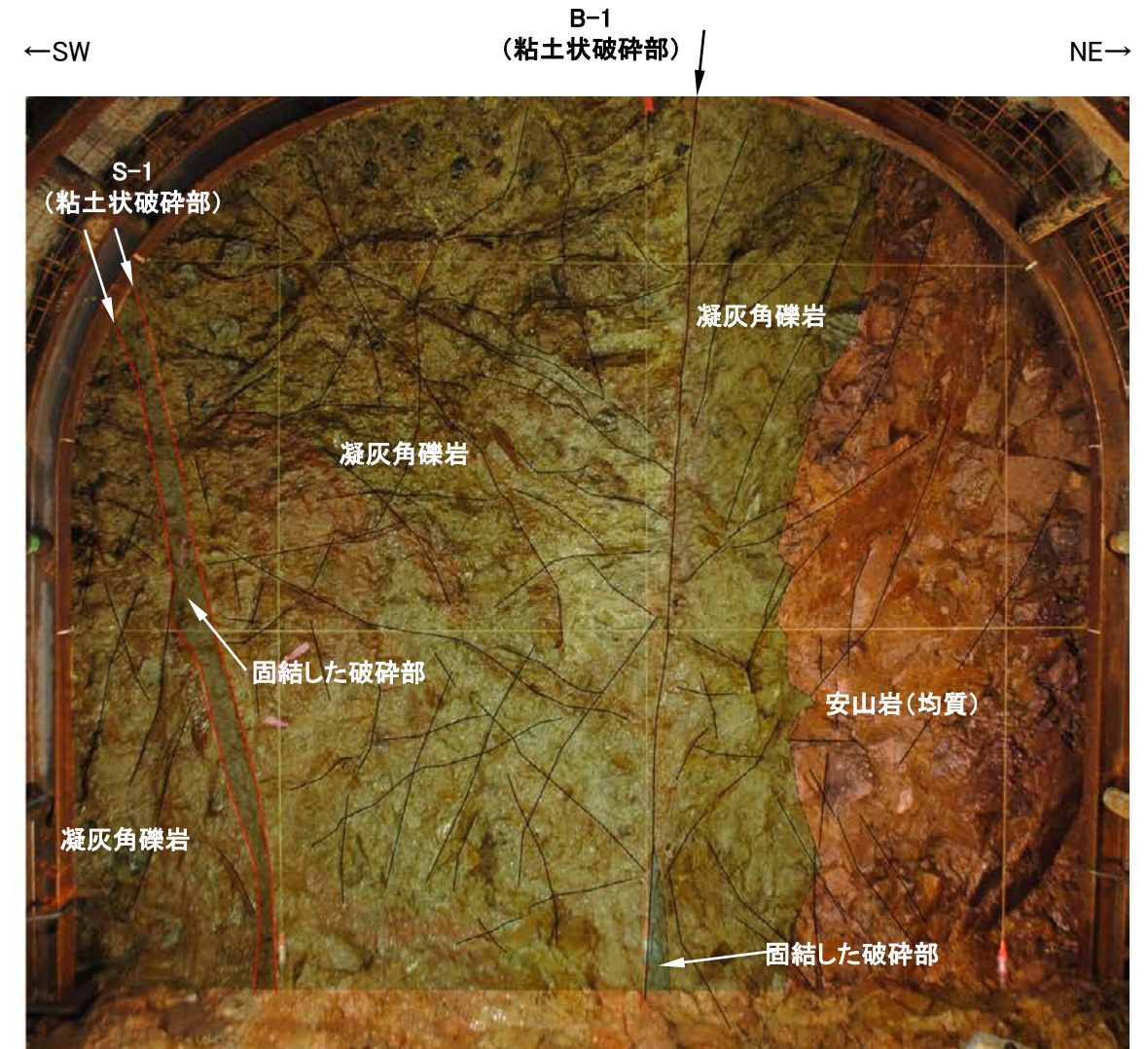
- ・安山岩(均質)と凝灰角礫岩が分布し、凝灰角礫岩中にS-1及びB-1が認められる。
- ・S-1は、固結した破碎部及び厚さ0.1～0.4cmの褐色を呈する粘土状破碎部からなり、走向・傾斜はN53° W/73° NEである。
- ・B-1は、固結した破碎部及び厚さ0.1～0.2cmの褐色を呈する粘土状破碎部からなり、走向・傾斜はN44° W/85° SWである。



# 切羽観察結果 —No.25切羽—



No.25切羽写真



No.25切羽写真(割れ目等を加筆)

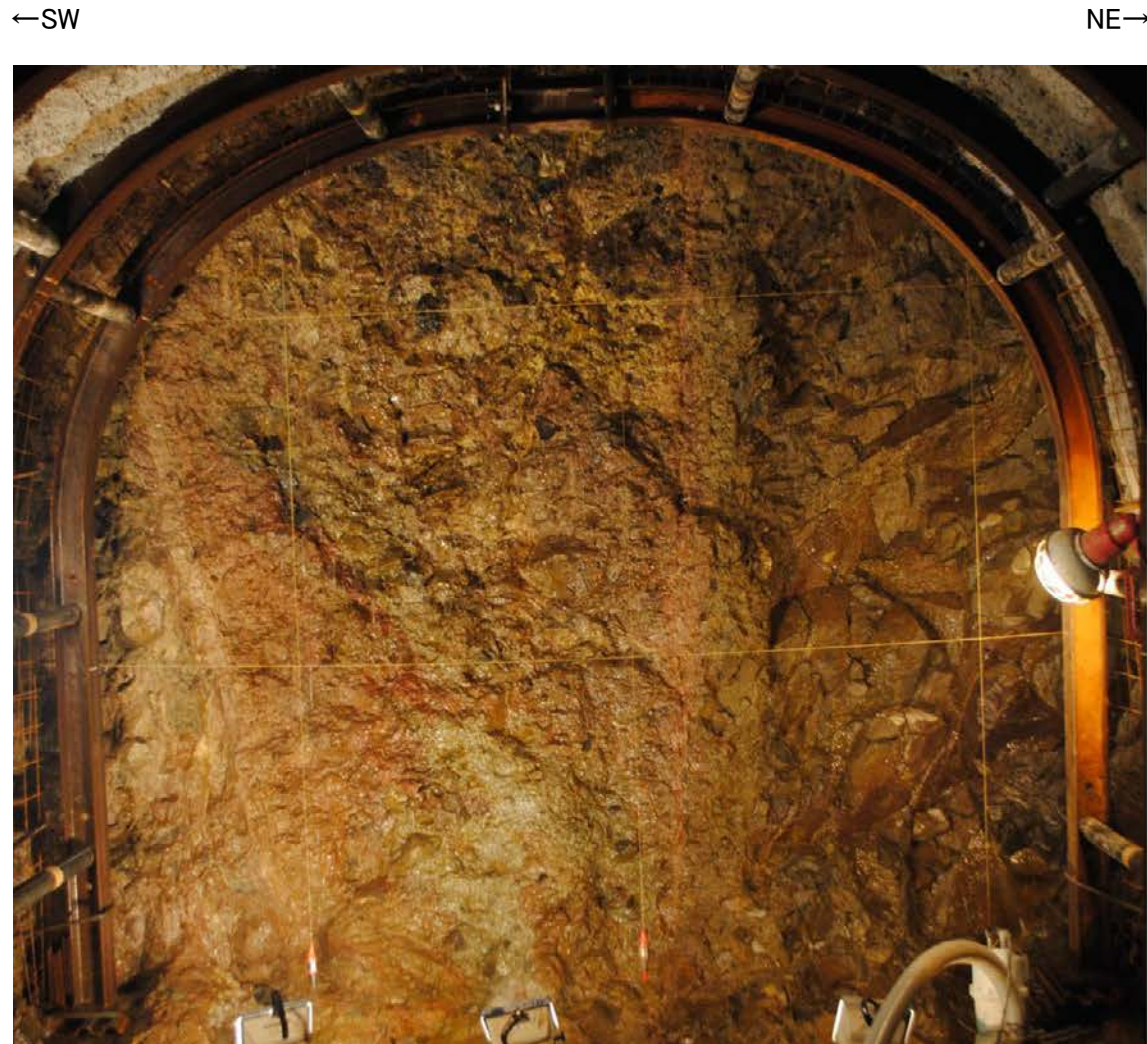
— 割れ目



- ・安山岩(均質)と凝灰角礫岩が分布し、凝灰角礫岩中にS-1及びB-1が認められる。
- ・S-1は、固結した破碎部及び厚さ0.1～0.5cmの灰白色を呈する粘土状破碎部からなり、走向・傾斜はN46° W/78° NEである。
- ・B-1は、固結した破碎部及び厚さ0.1～0.2cmの灰白色を呈する粘土状破碎部からなり、走向・傾斜はN36° W/85° SWである。



# 切羽観察結果 —No.26切羽—



No.26切羽写真



No.26切羽写真(割れ目等を加筆)

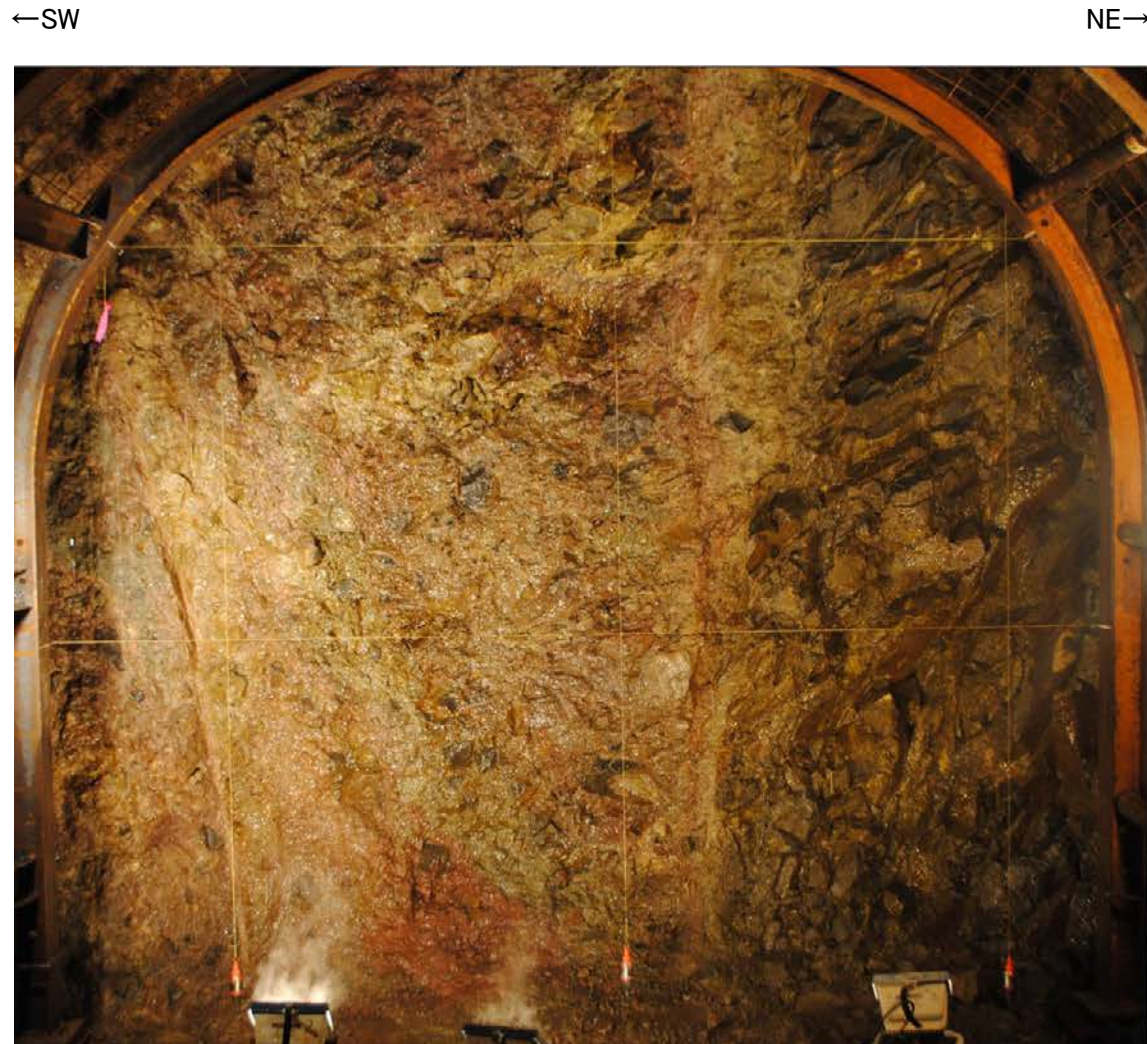
／ 割れ目



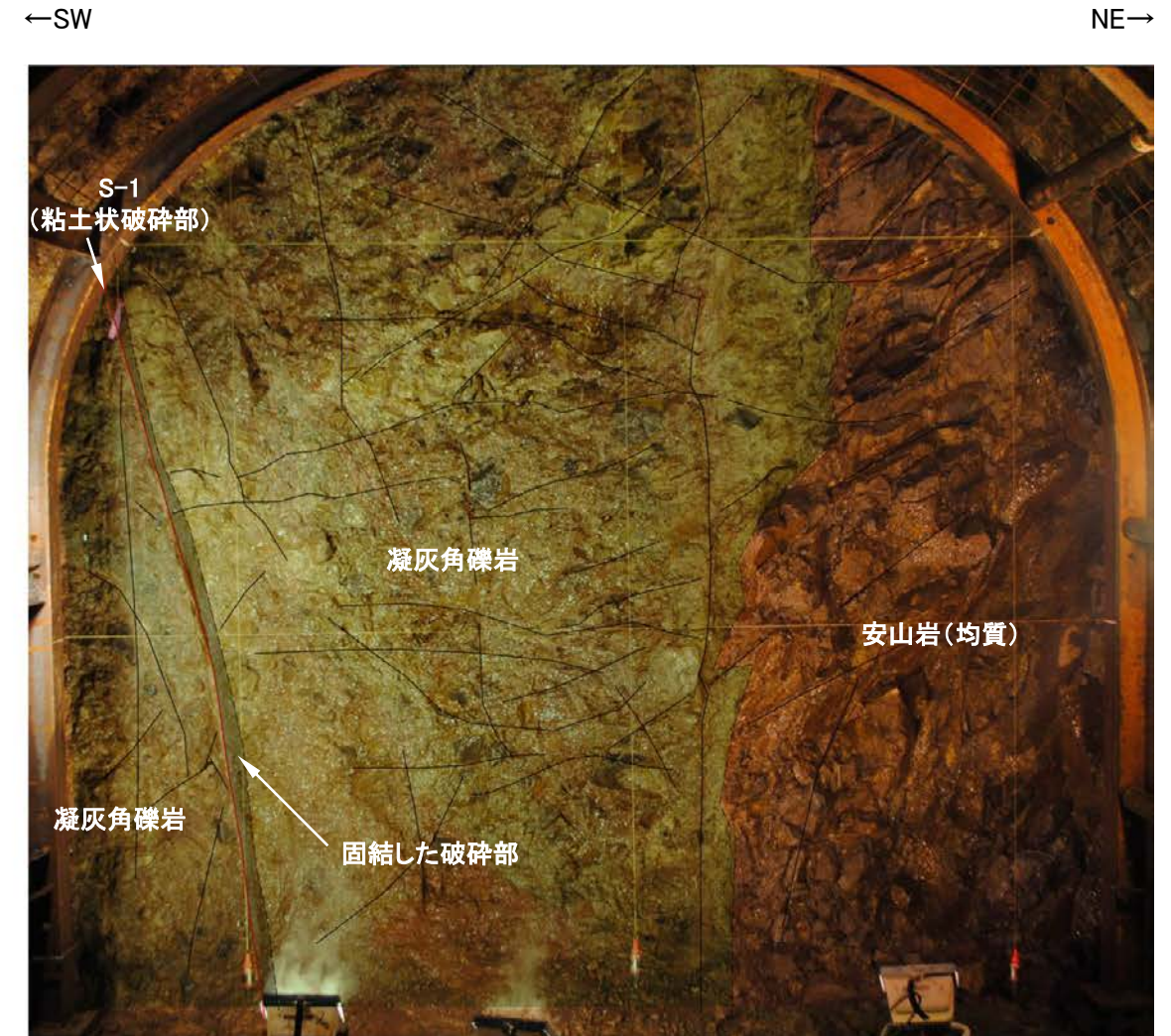
- ・安山岩(均質)と凝灰角礫岩が分布し、凝灰角礫岩中にS-1及びB-1が認められる。
- ・S-1は、固結した破碎部及び厚さ0.2~0.4cmの褐色を呈する粘土状破碎部からなり、走向・傾斜はN48° W/71° NEである。
- ・B-1は、厚さ0.1~0.2cmの褐色を呈する粘土状破碎部からなり、走向・傾斜はN45° W/85° SWである。



# 切羽観察結果 —No.27切羽—

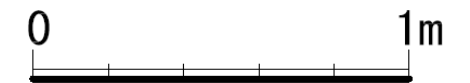


No.27切羽写真



No.27切羽写真(割れ目等を加筆)

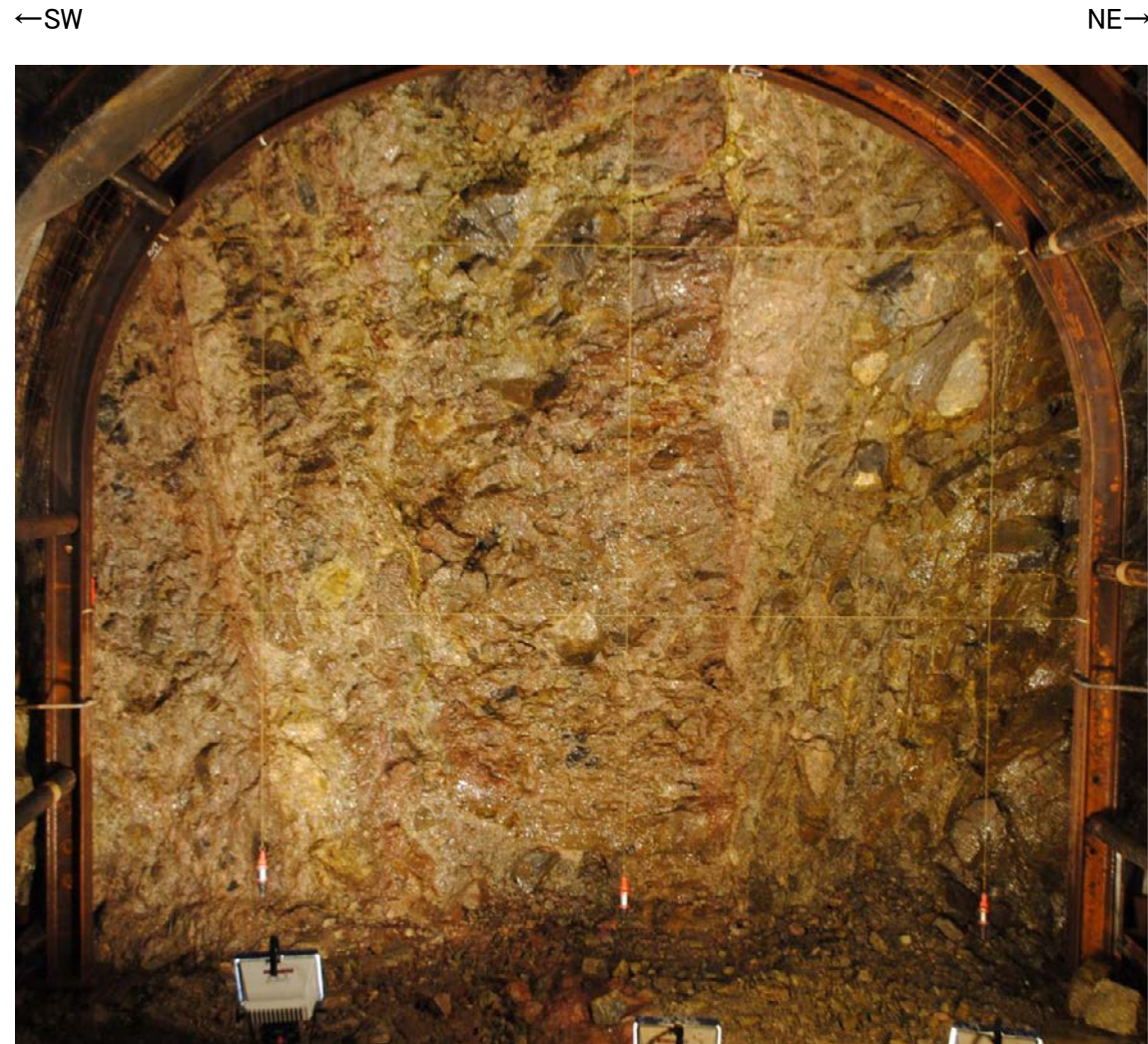
— 割れ目



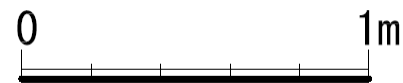
- ・安山岩(均質)と凝灰角礫岩が分布し、凝灰角礫岩中にS-1が認められる。
- ・S-1は、固結した破碎部及び厚さ0.1~0.2cmの褐色を呈する粘土状破碎部からなり、走向・傾斜はN43° W/77° NEである。
- ・B-1は認められない。



# 切羽観察結果 —No.28切羽—



No.28切羽写真



No.28切羽写真(割れ目等を加筆)

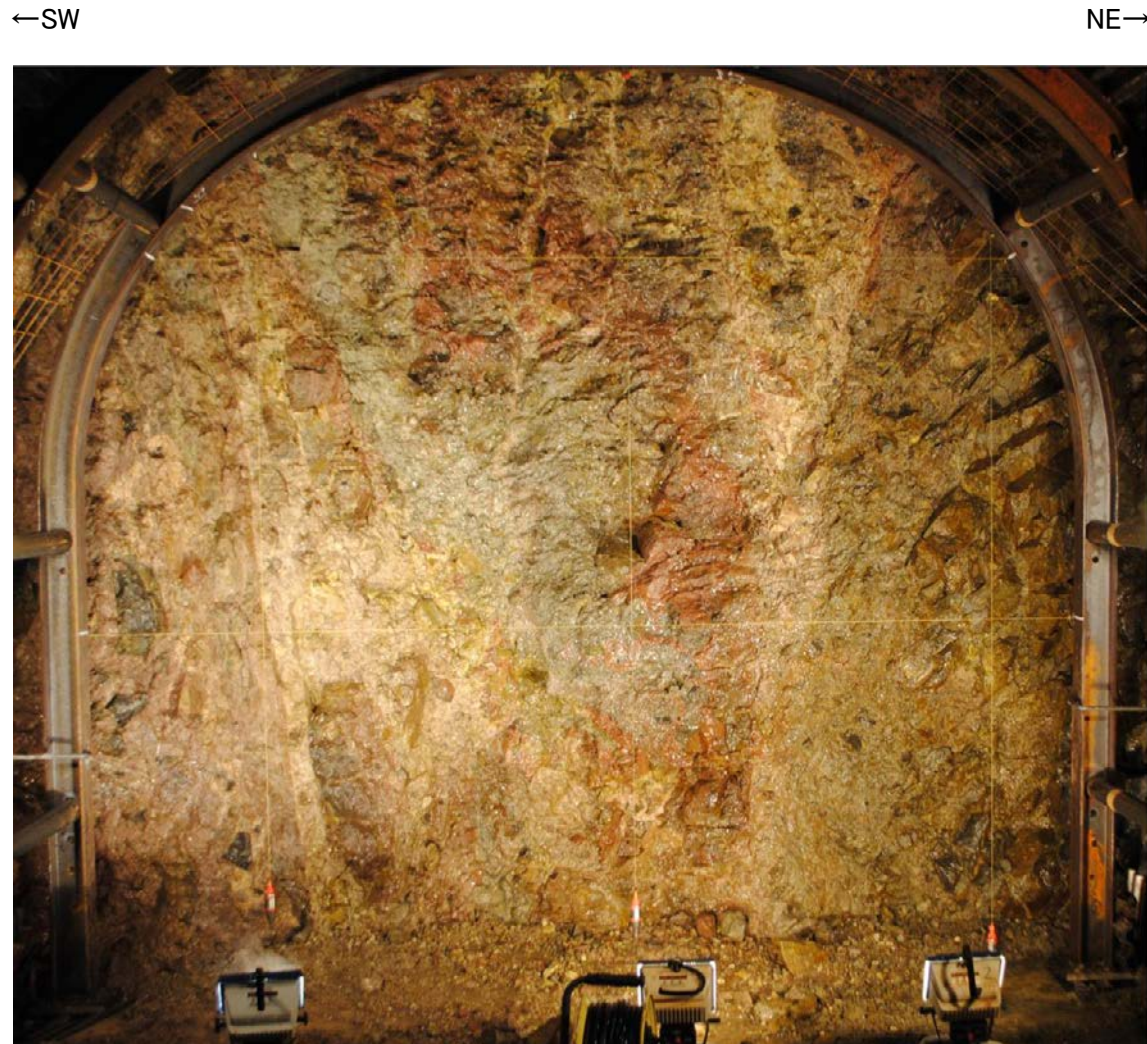
割れ目



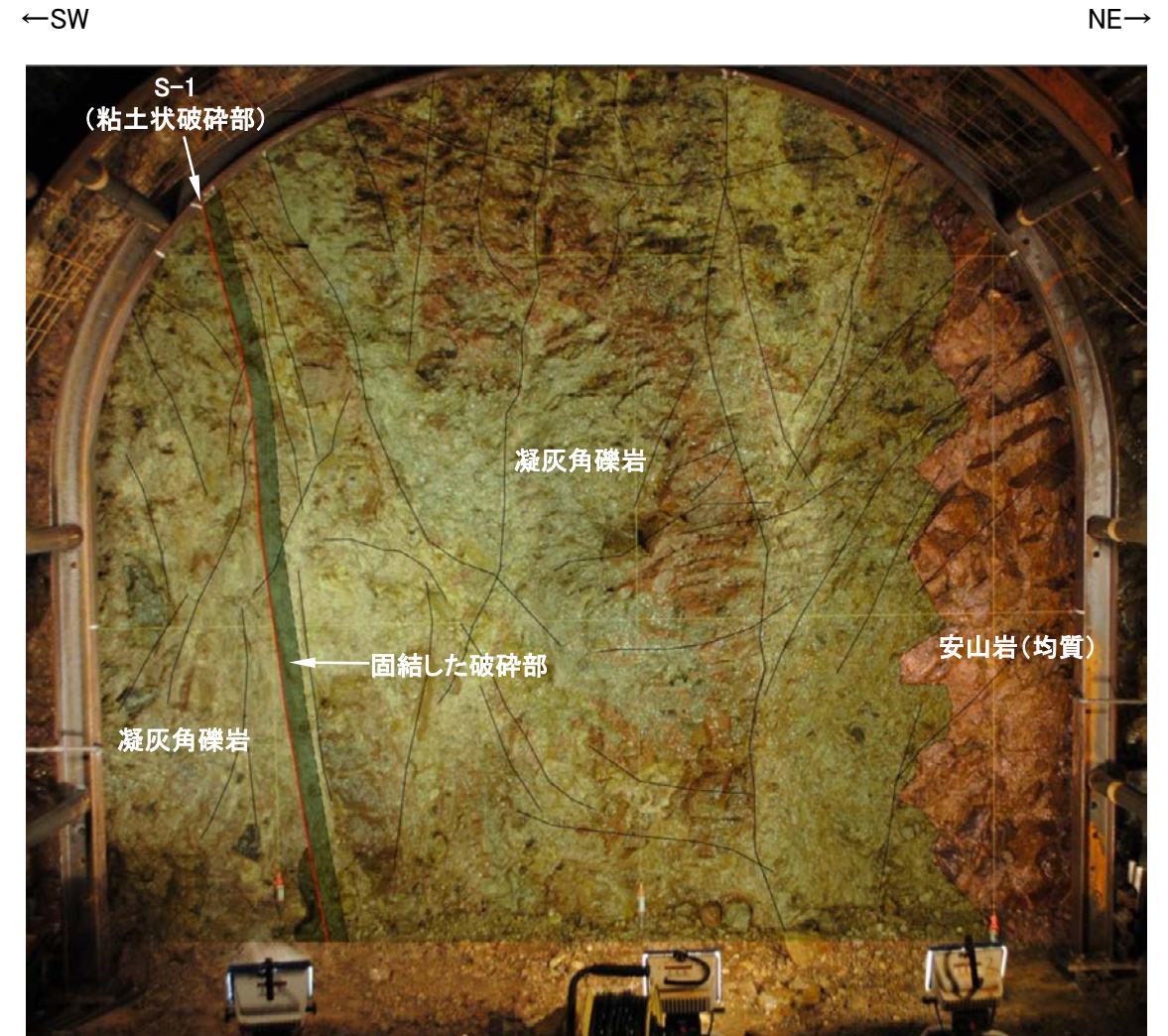
- ・安山岩(均質)と凝灰角礫岩が分布し、凝灰角礫岩中にS-1が認められる。
- ・S-1は、固結した破碎部及び厚さはフィルム状~0.1cmの褐色を呈する粘土状破碎部からなり、走向・傾斜はN42° W/77° NEである。
- ・B-1は認められない。



# 切羽観察結果 —No.29切羽—



No.29切羽写真



No.29切羽写真(割れ目等を加筆)

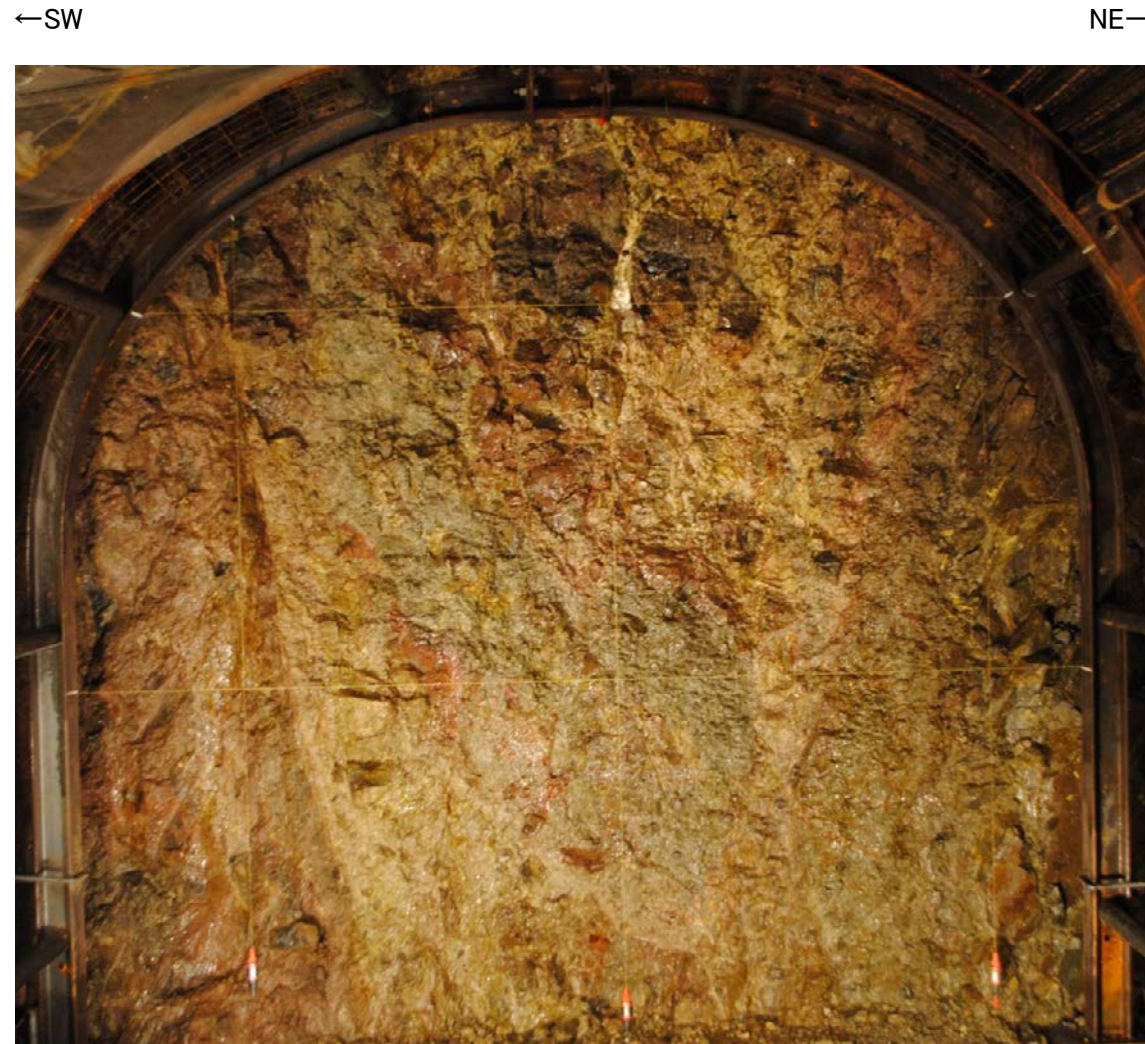
— 割れ目



- ・安山岩(均質)と凝灰角礫岩が分布し, 凝灰角礫岩中にS-1が認められる。
- ・S-1は, 固結した破碎部及び厚さ0.1~0.2cmの褐色を呈する粘土状破碎部からなり, 走向・傾斜はN41° W/80° NEである。
- ・B-1は認められない。



# 切羽観察結果 —No.30切羽—



No.30切羽写真



No.30切羽写真(割れ目等を加筆)

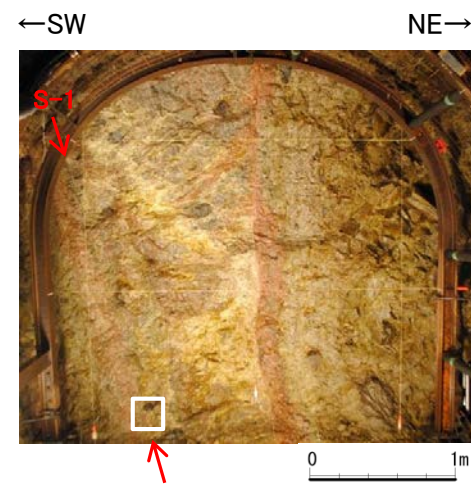
— 割れ目



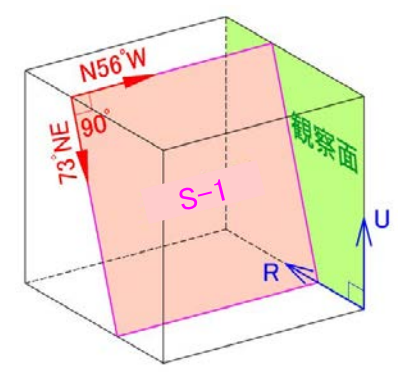
- ・安山岩(均質)と凝灰角礫岩が分布し, 凝灰角礫岩中にS-1が認められる。
- ・S-1は, 固結した破碎部及び厚さはフィルム状~0.8cmの赤褐色を呈する粘土状破碎部からなり, 走向・傾斜はN49° W/82° NEである。
- ・B-1は認められない。



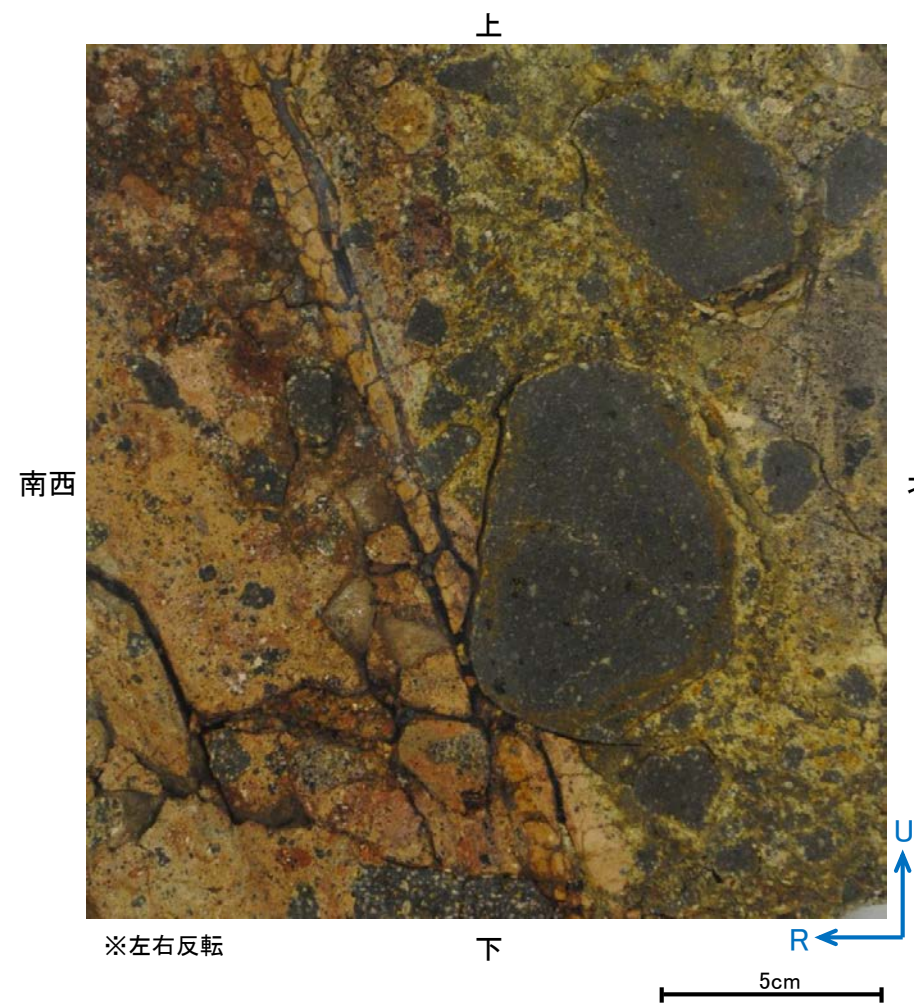
# 研磨面観察結果 — No.17切羽 (No.17-1\_90R) —



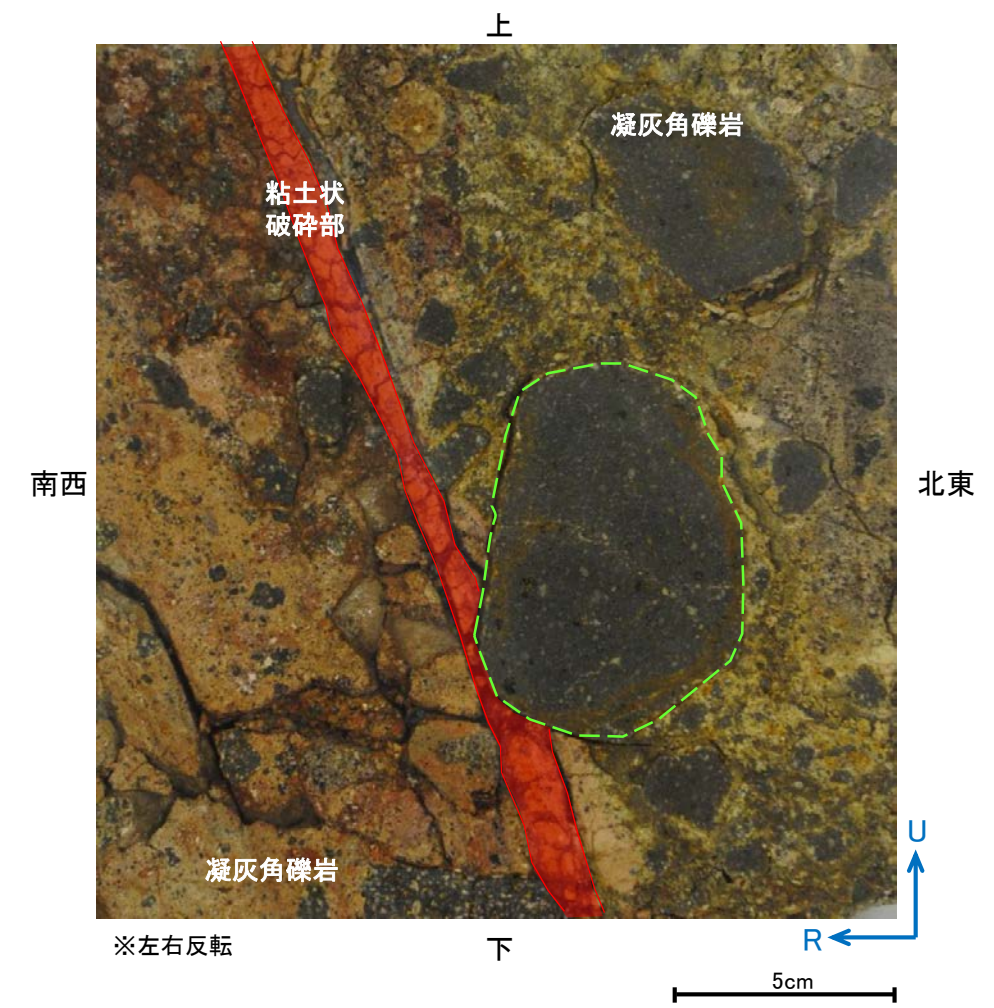
試料採取位置付近 (No.17切羽)



観察面概念図 (No.17-1\_90R)



研磨面写真

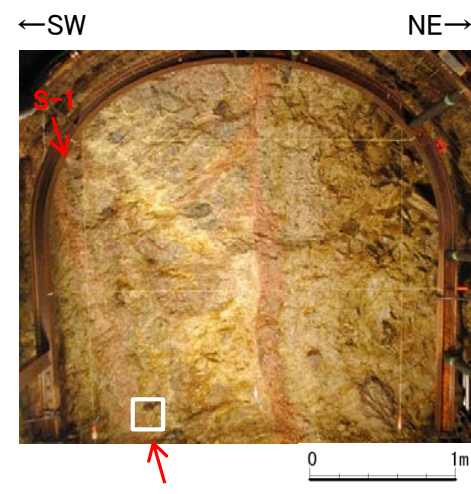


研磨面写真 (破碎部境界等を加筆)

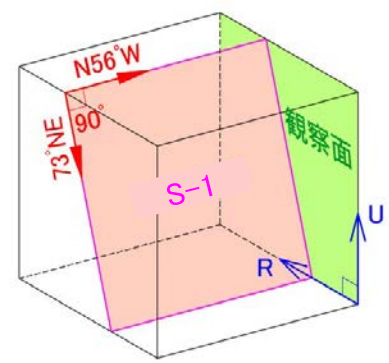
・礫が粘土状破碎部に入り込んでいるように分布しており、その礫に破断は認められない。



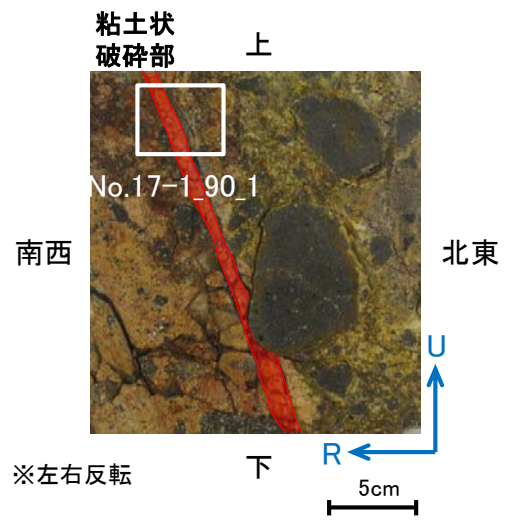
# 薄片観察結果 —No.17切羽(No.17-1\_90R\_1)—



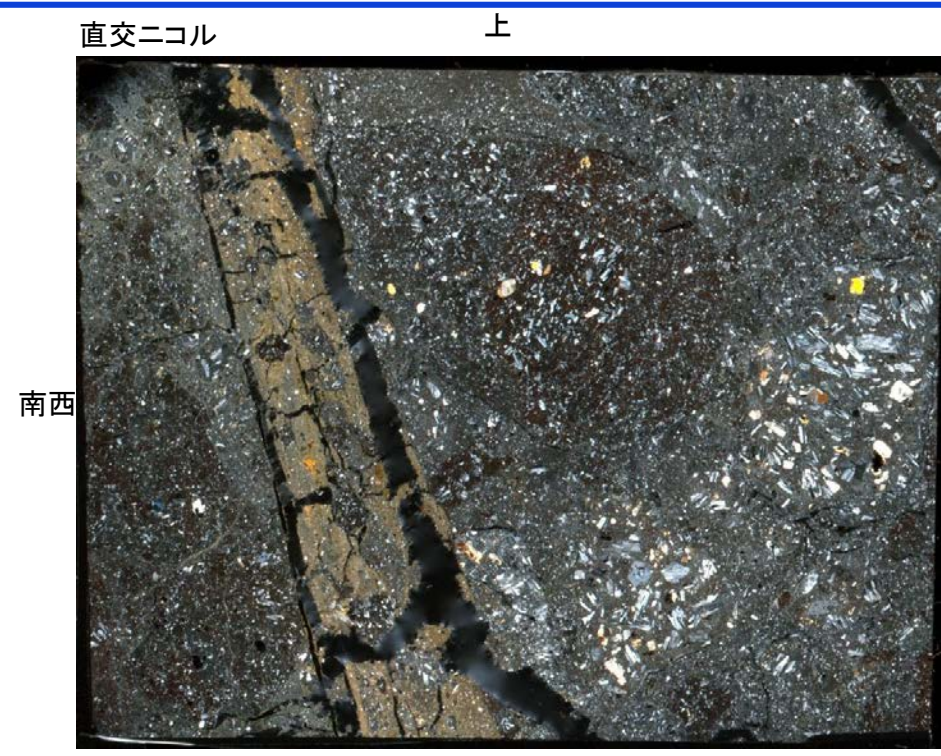
試料採取位置付近(No.17切羽)



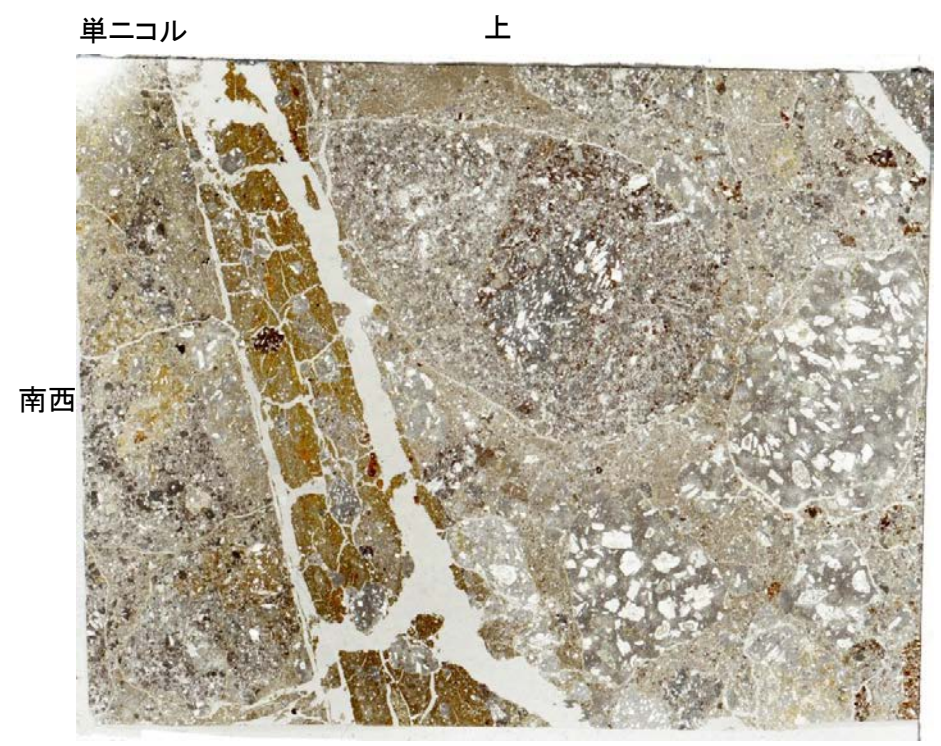
観察面概念図(No.17-1\_90R)



薄片作成位置付近(No.17-1\_90R)

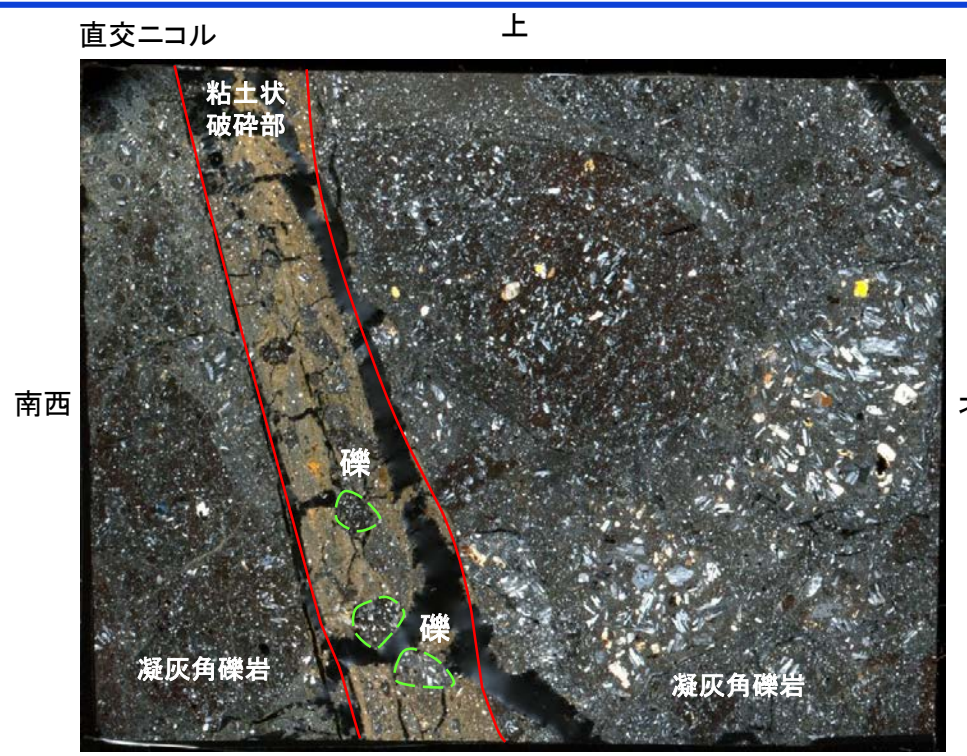


直交ニコル 上 南西 北東 ※左右反転 下 1cm

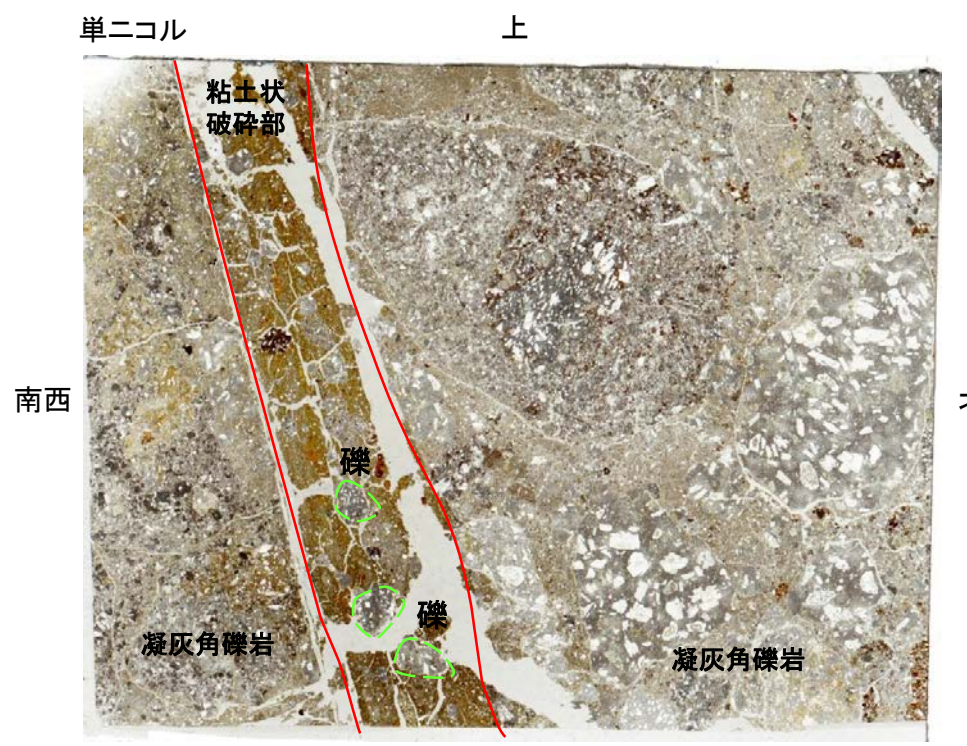


単ニコル 上 南西 北東 ※左右反転 下 1cm

薄片写真



直交ニコル 上 南西 北東 ※左右反転 下 1cm



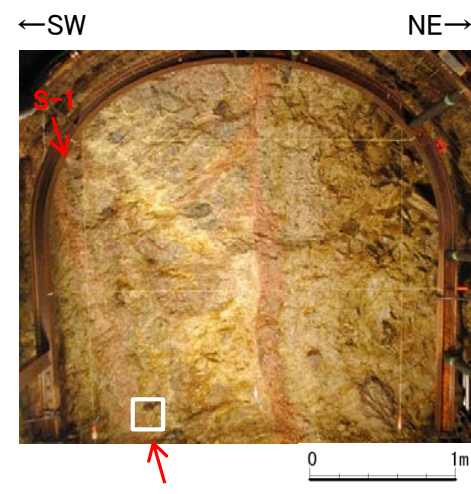
単ニコル 上 南西 北東 ※左右反転 下 1cm

薄片写真(破碎部境界等を加筆)

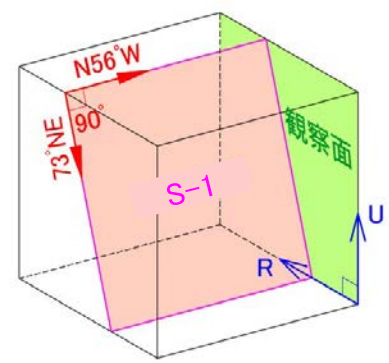
- ・S-1近接部の礫及び基質には、せん断性の割れ目は認められない。
- ・S-1は、凝灰角礫岩の基質の構造を残して粘土化している。
- ・粘土状破碎部中には礫が含まれており、その礫に破断は認められない。



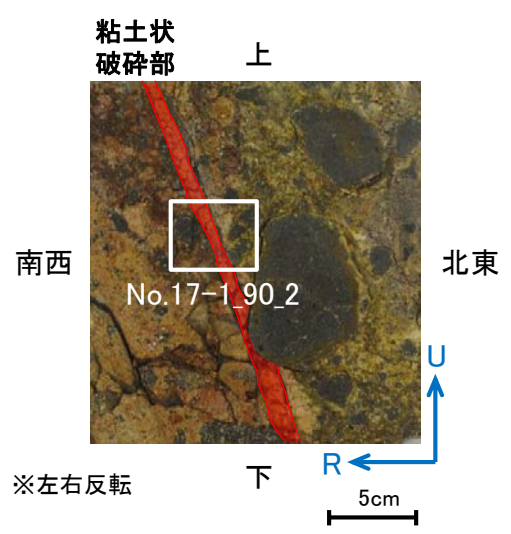
# 薄片観察結果 —No.17切羽(No.17-1\_90R\_2)—



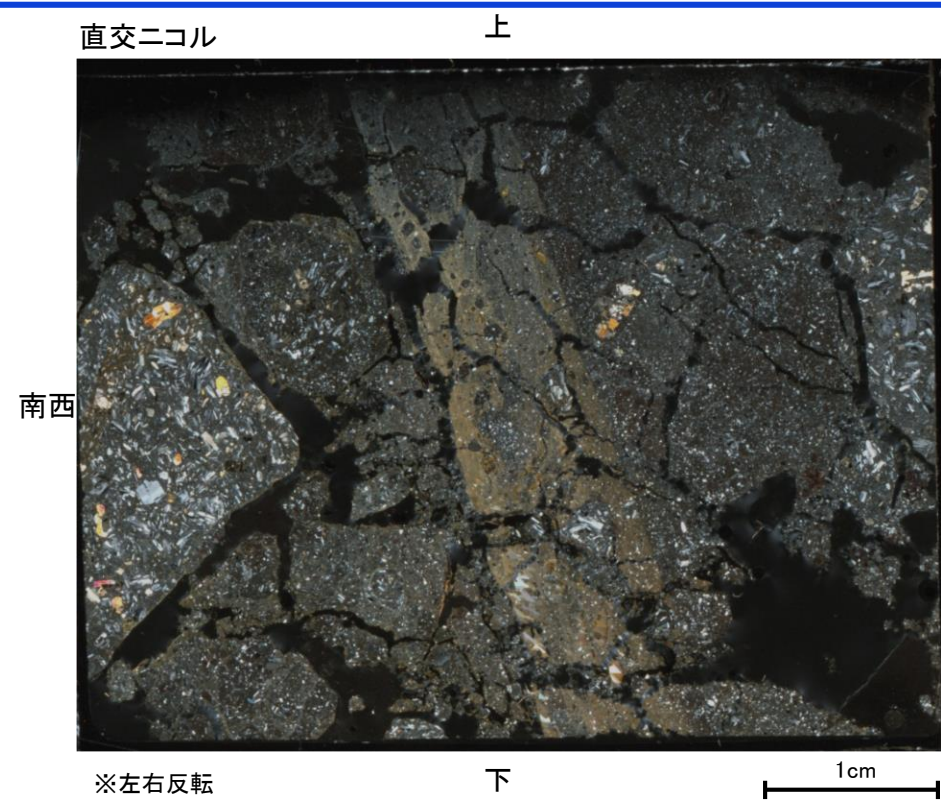
試料採取位置付近(No.17切羽)



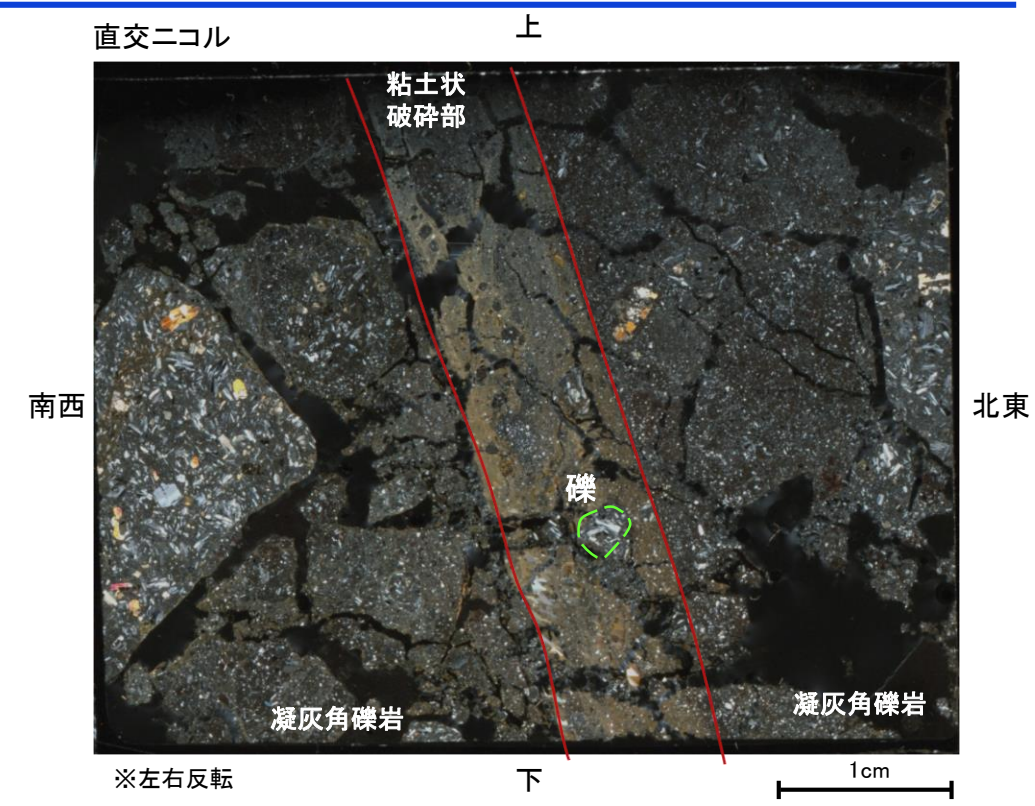
観察面概念図(No.17-1\_90R)



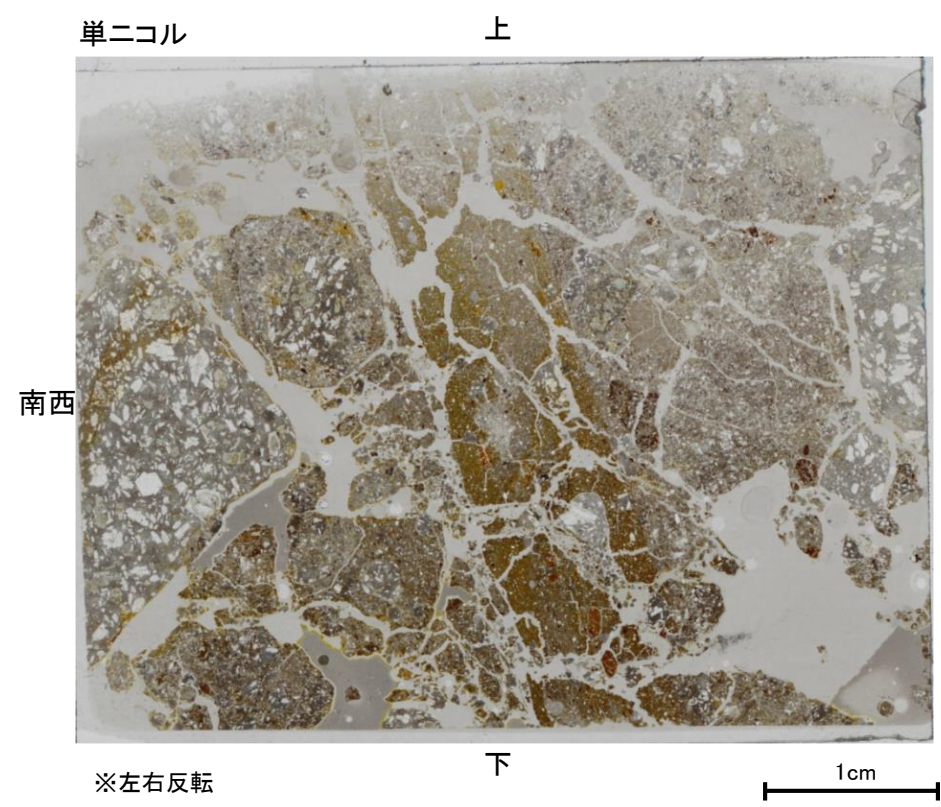
薄片作成位置付近(No.17-1\_90R)



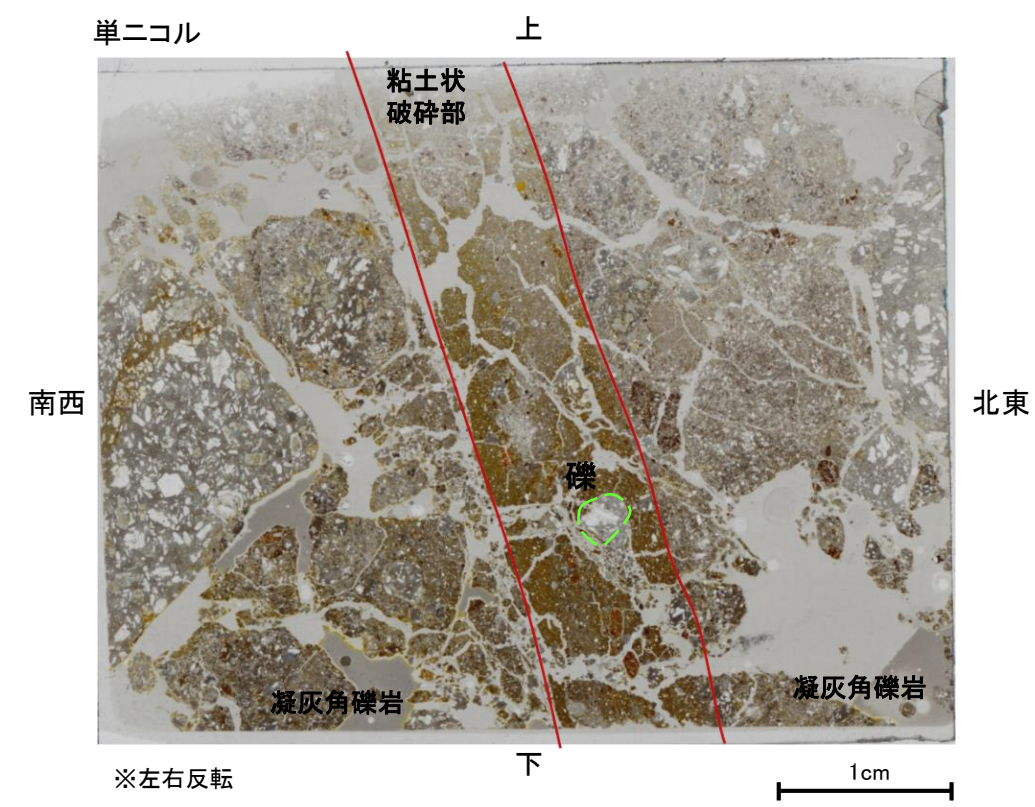
※左右反転 下 1cm



※左右反転 下 1cm



※左右反転 下 1cm



※左右反転 下 1cm

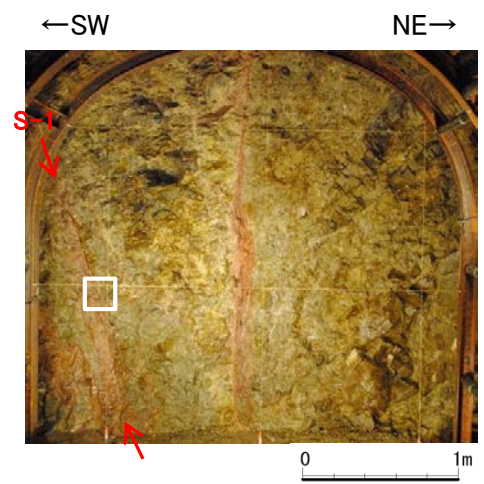
薄片写真

薄片写真(破砕部境界等を加筆)

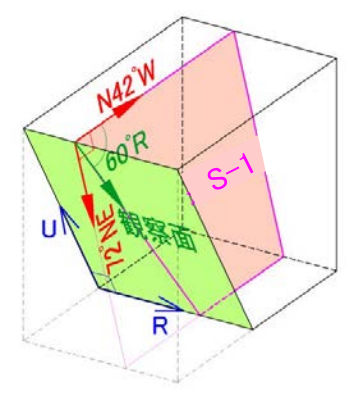
- ・S-1近接部の礫及び基質には、せん断性の割れ目は認められない。
- ・S-1は、凝灰角礫岩の基質の構造を残して粘土化している。
- ・粘土状破砕部中には礫が含まれており、その礫に破断は認められない。



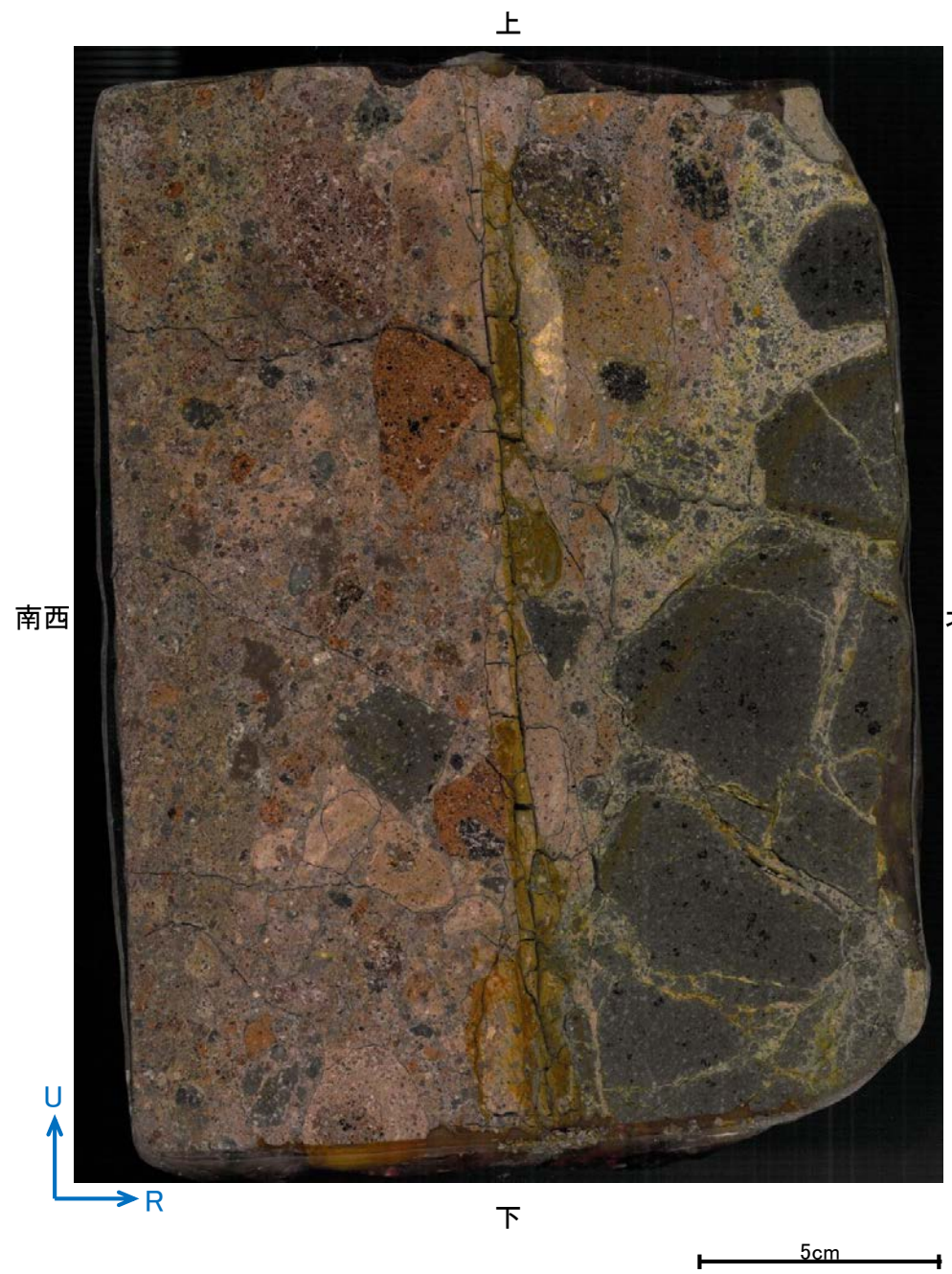
# 研磨面観察結果 —No.18切羽(No.18-1\_60R)—



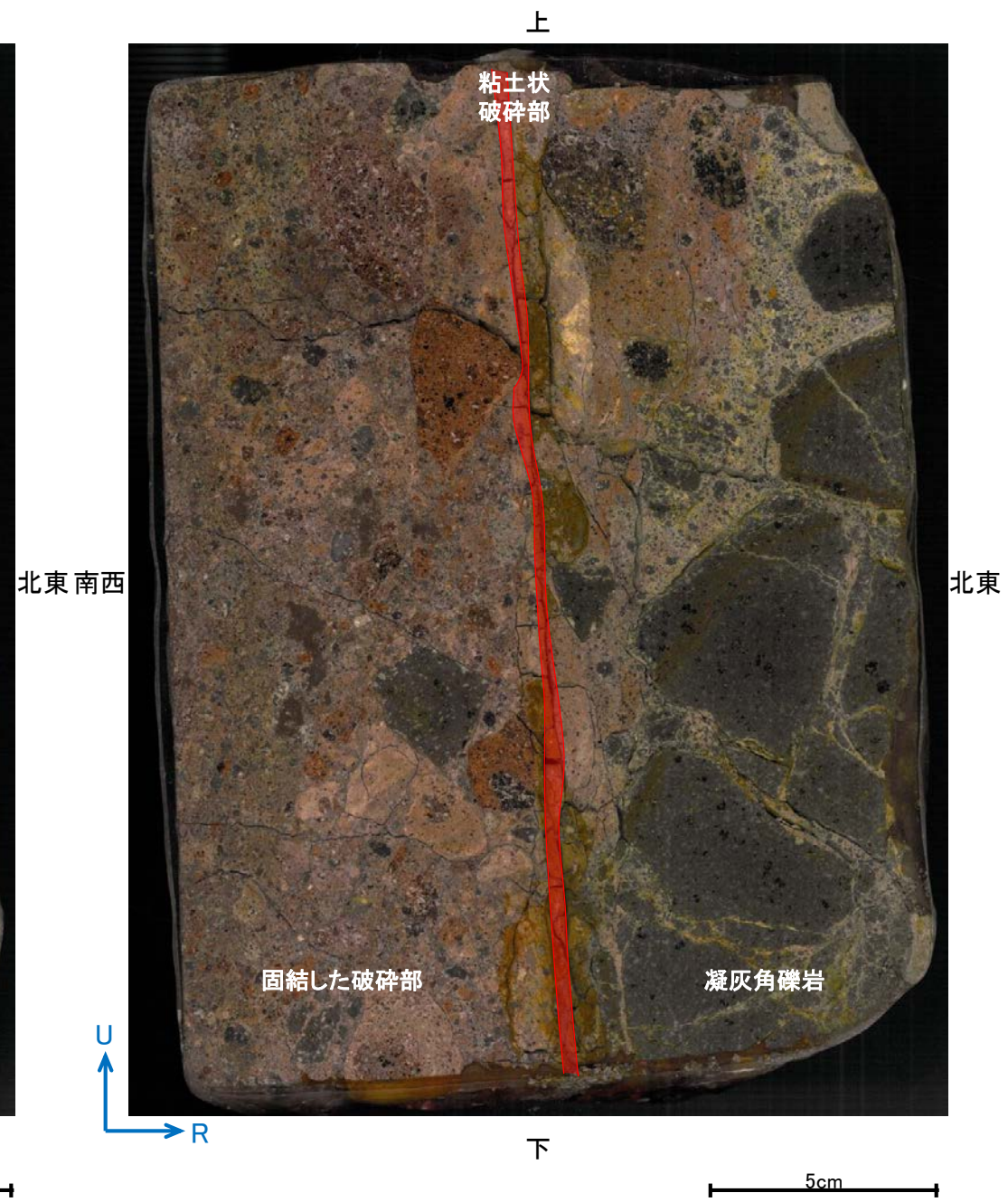
試料採取位置付近(No.18切羽)



観察面概念図(No.18-1\_60R)



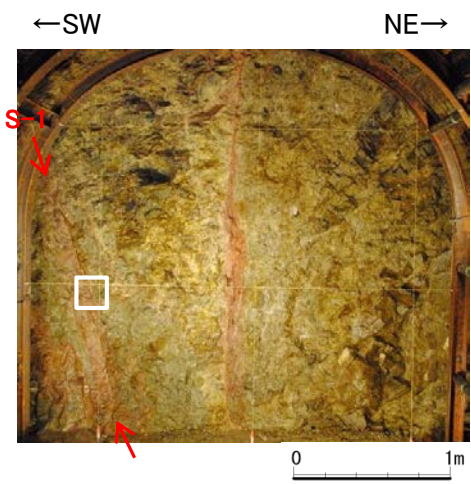
研磨面写真



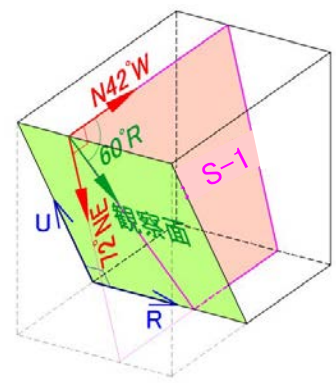
研磨面写真(破碎部境界等を加筆)



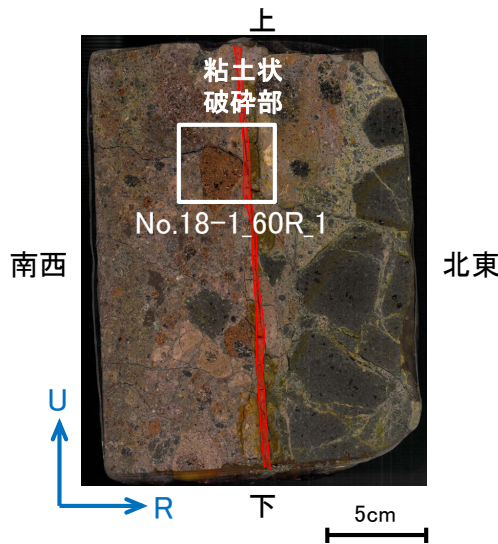
# 薄片観察結果 —No.18切羽(No.18-1\_60R\_1)—



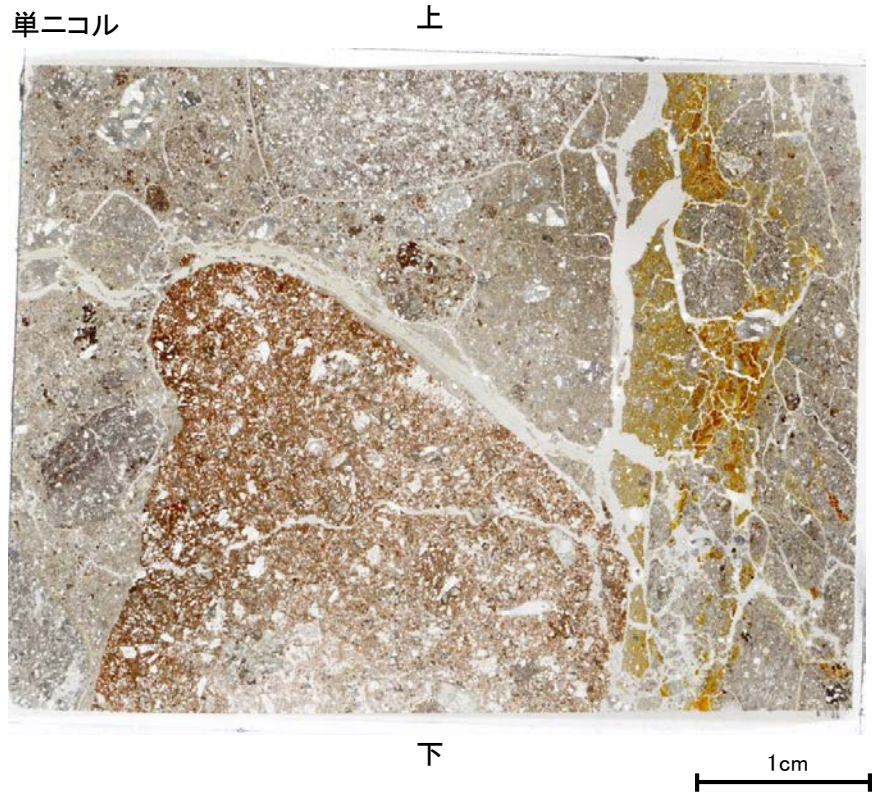
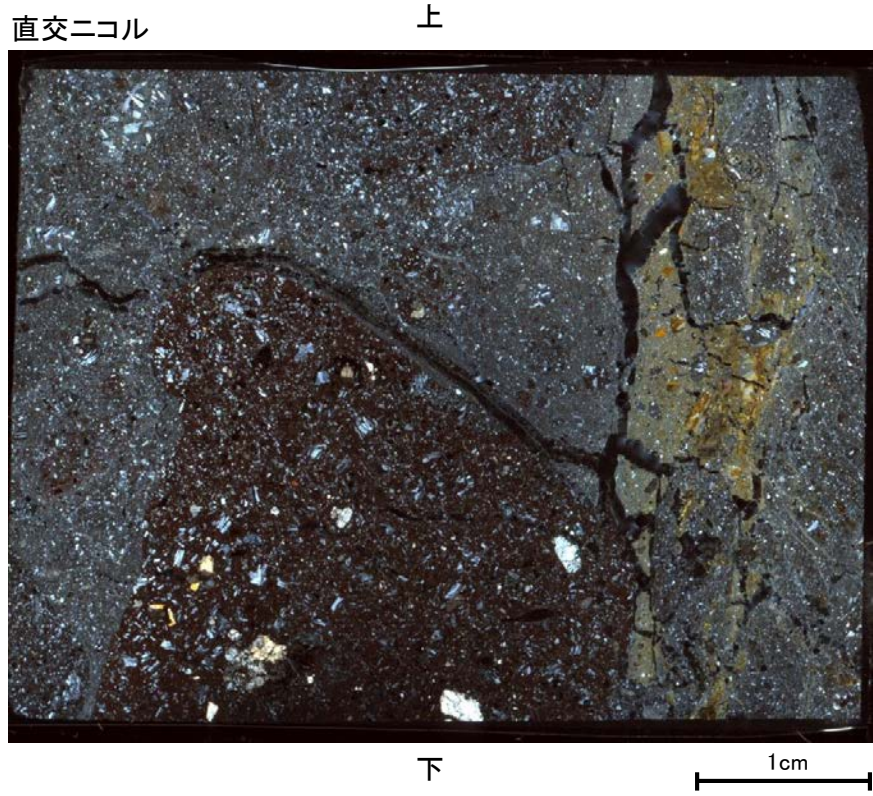
試料採取位置付近(No.18切羽)



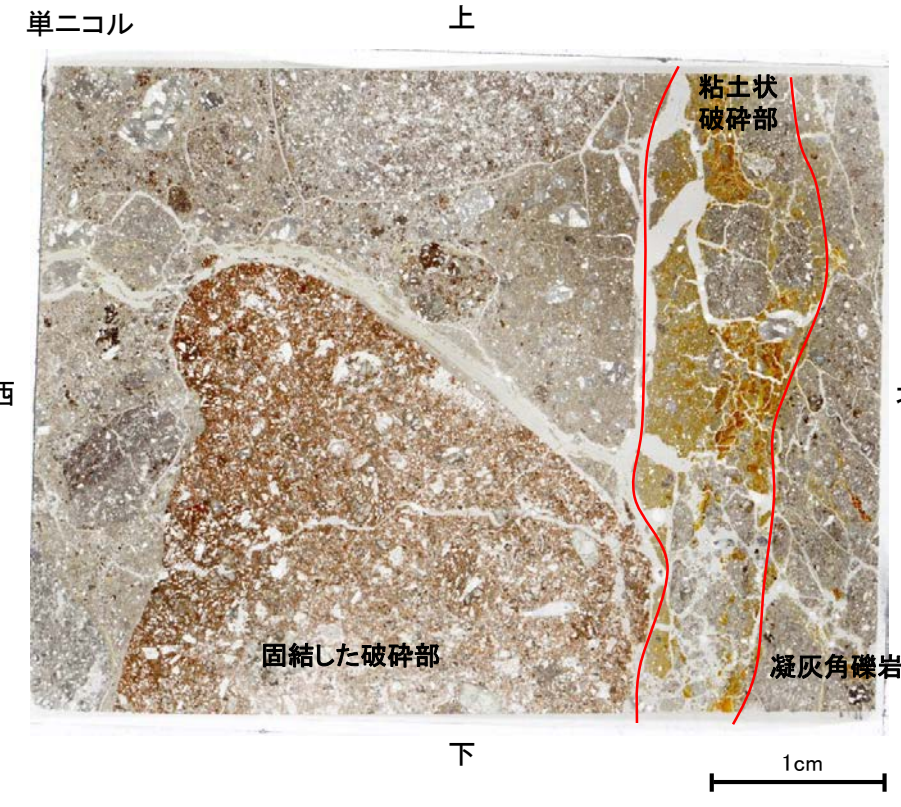
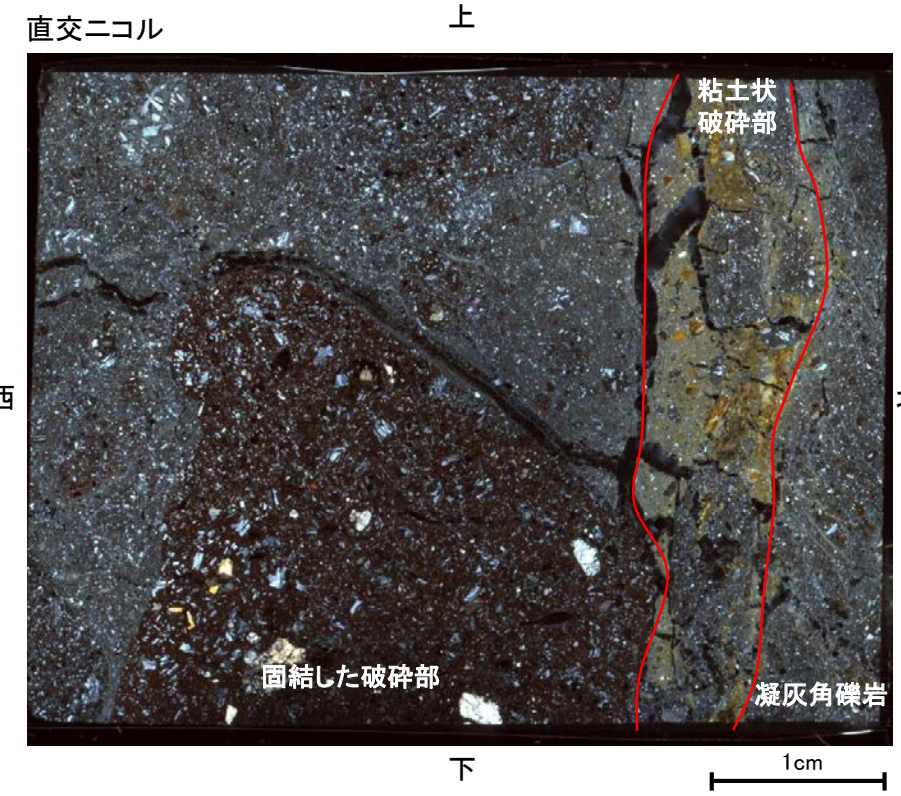
観察面概念図(No.18-1\_60R)



薄片作成位置付近(No.18-1\_60R)



薄片写真

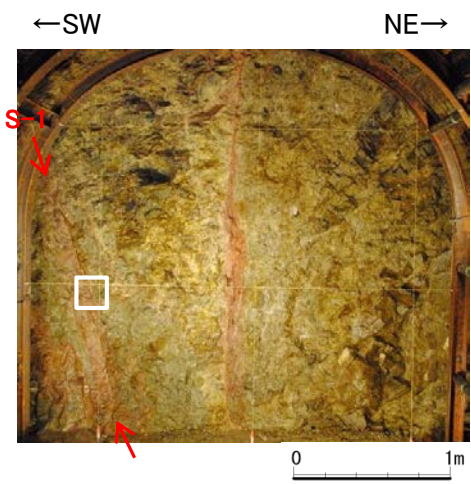


薄片写真(破碎部境界等を加筆)

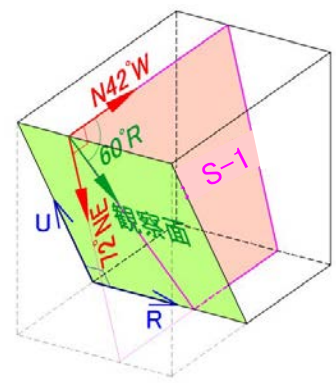
・S-1近接部の礫及び基質には、せん断性の割れ目は認められない。  
・S-1は、凝灰角礫岩の基質の構造を残して粘土化している。



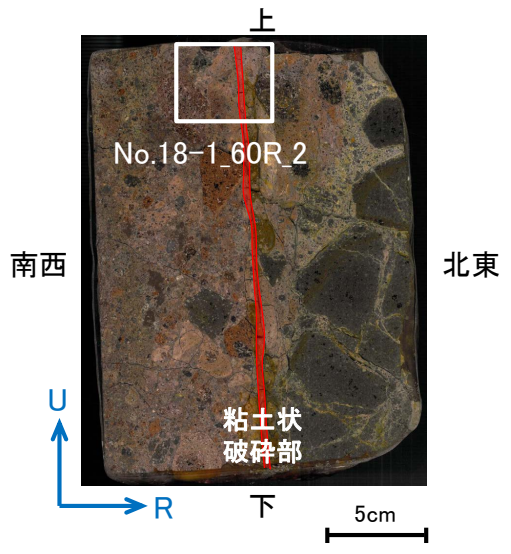
# 薄片観察結果 —No.18切羽(No.18-1\_60R\_2)—



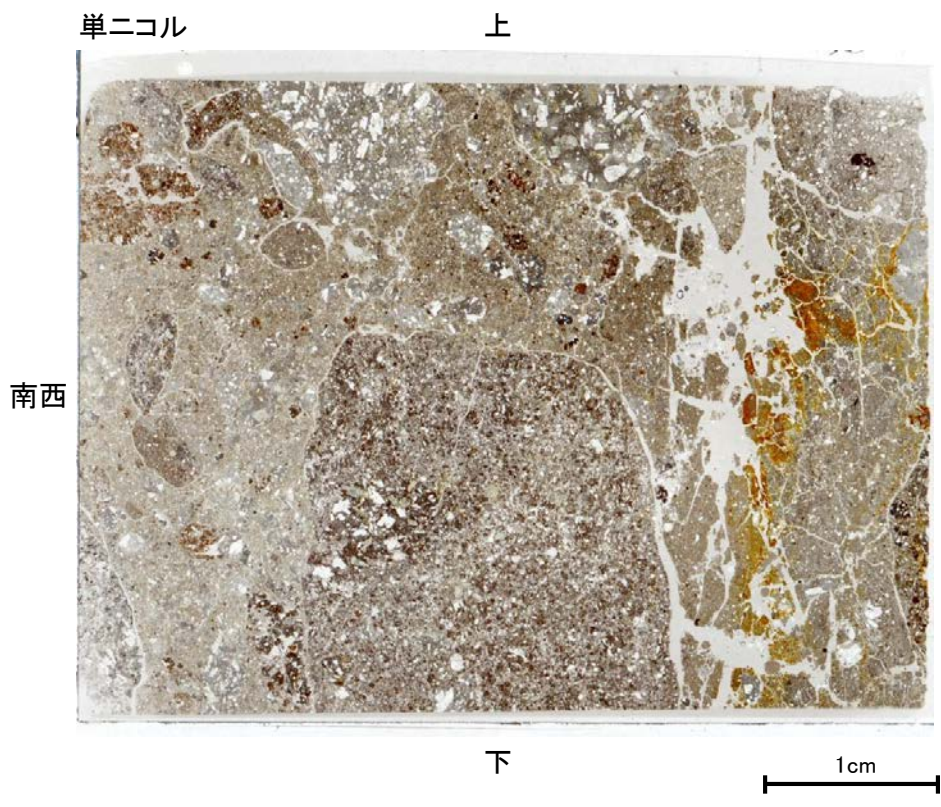
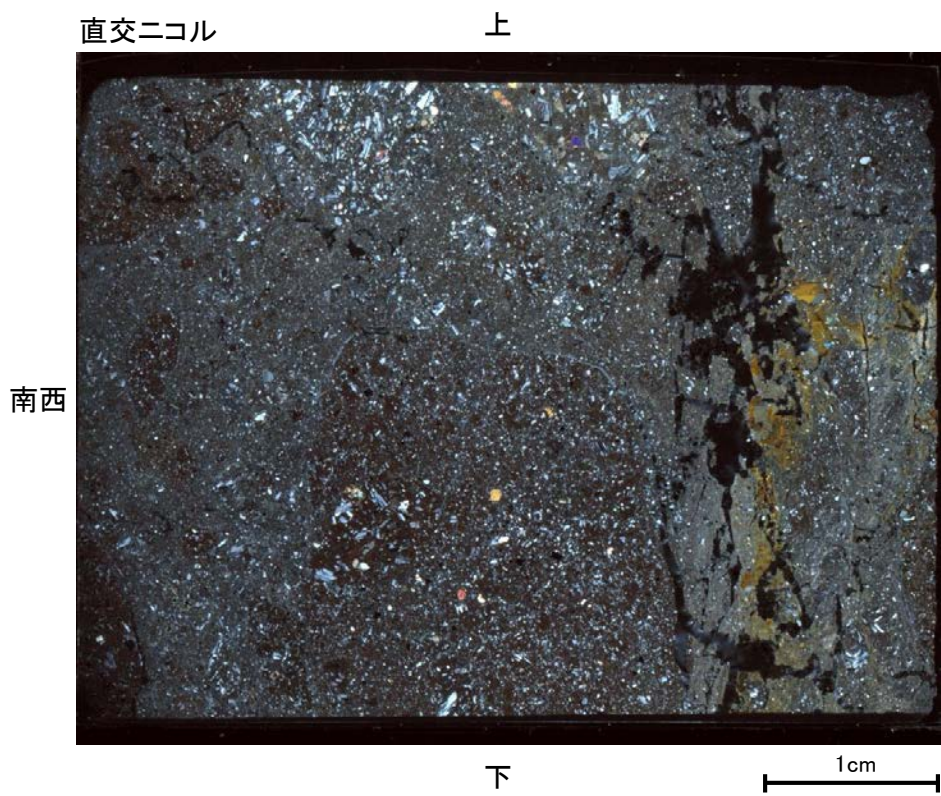
試料採取位置付近(No.18切羽)



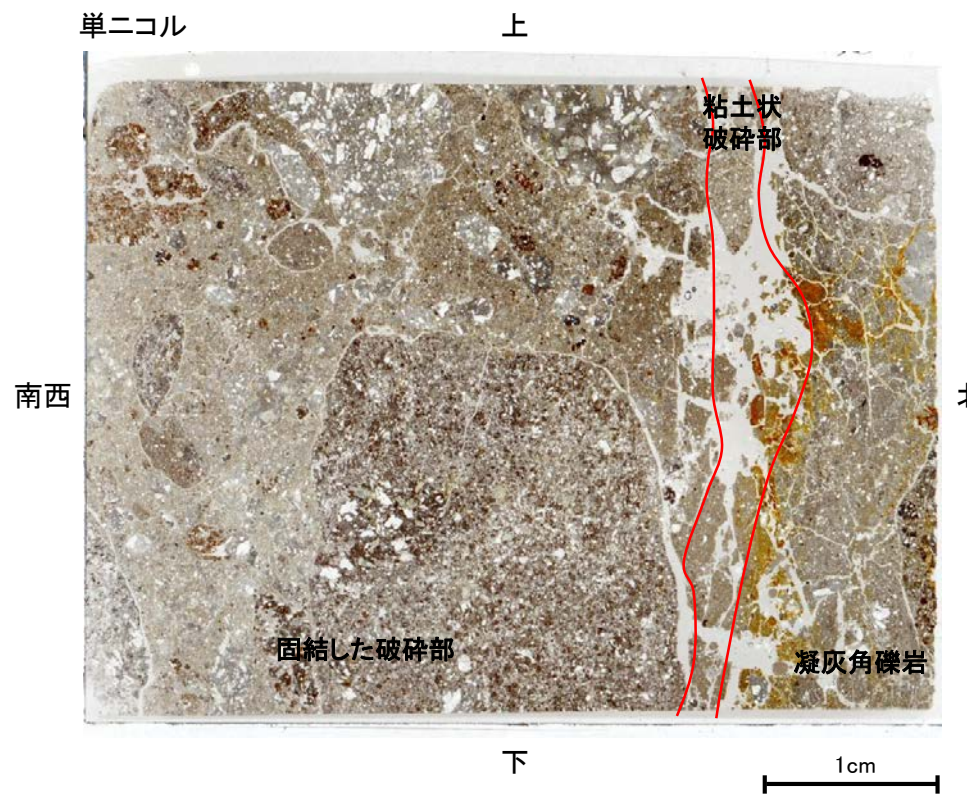
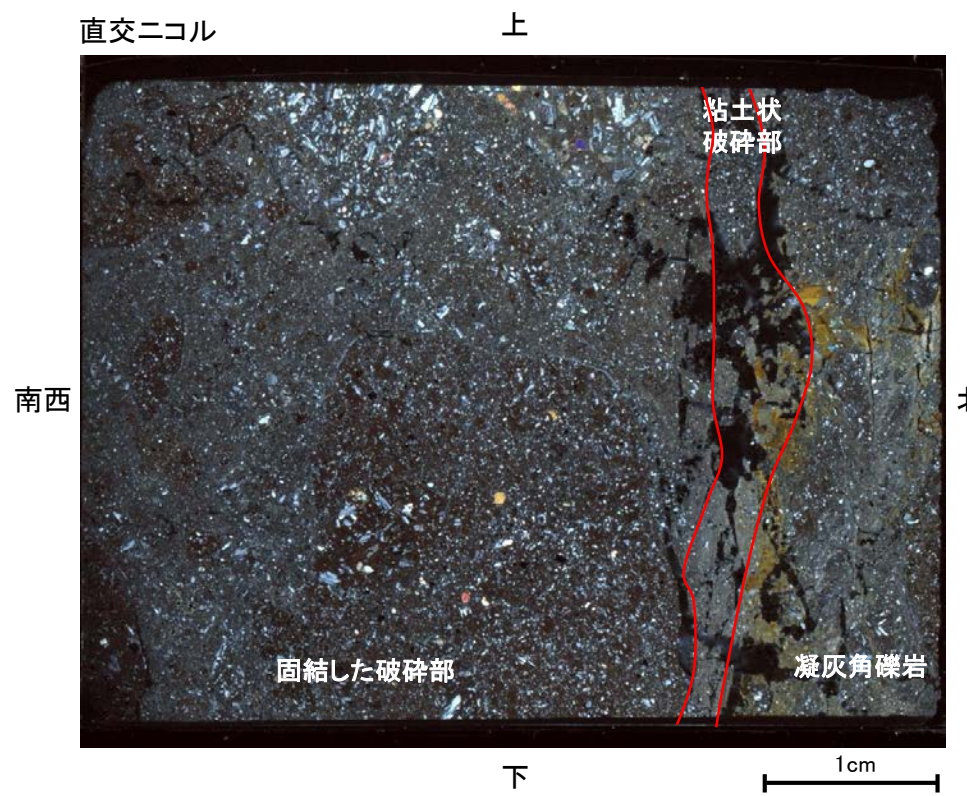
観察面概念図(No.18-1\_60R)



薄片作成位置付近(No.18-1\_60R)



薄片写真

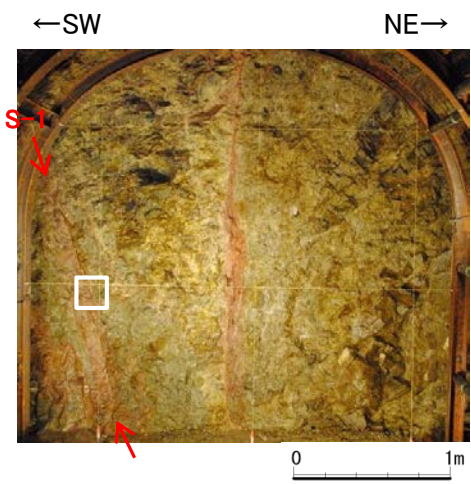


薄片写真(破砕部境界等を加筆)

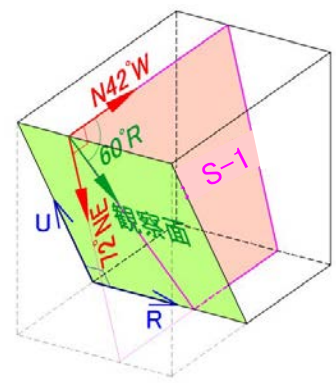
- ・S-1近接部の礫及び基質には、せん断性の割れ目は認められない。
- ・S-1は、凝灰角礫岩の基質の構造を残して粘土化している。



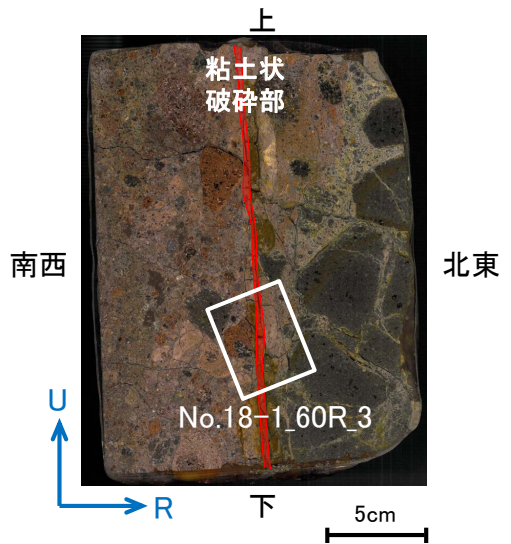
# 薄片観察結果 —No.18切羽(No.18-1\_60R\_3)—



試料採取位置付近(No.18切羽)



観察面概念図(No.18-1\_60R)



薄片作成位置付近(No.18-1\_60R)

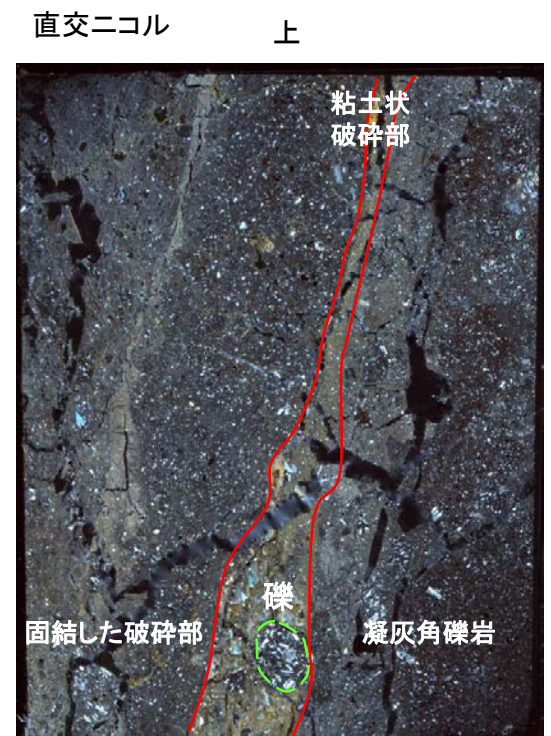


直交ニコル 上  
下 1cm

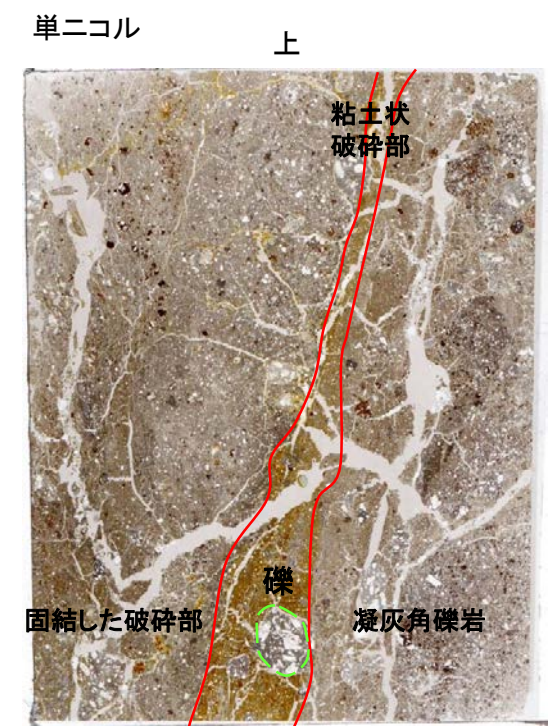


単ニコル 上  
下 1cm

薄片写真



直交ニコル 上  
下 1cm



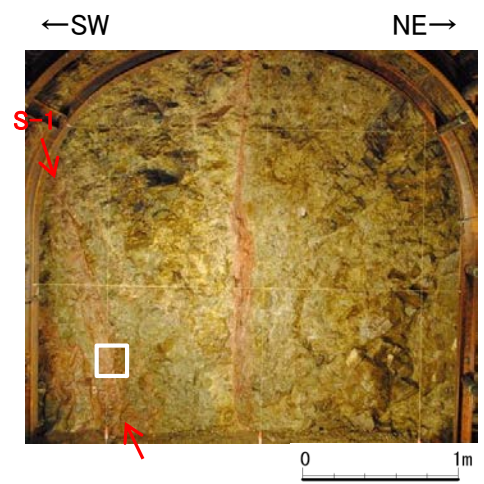
単ニコル 上  
下 1cm

薄片写真(破碎部境界等を加筆)

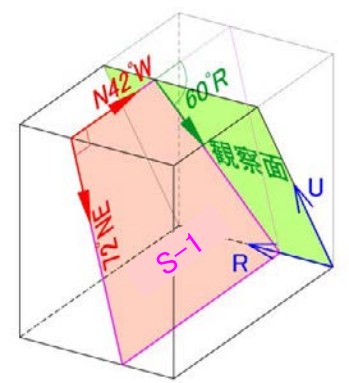
- ・S-1近接部の礫及び基質には、せん断性の割れ目は認められない。
- ・S-1は、凝灰角礫岩の基質の構造を残して粘土化している。
- ・粘土状破碎部中には礫が含まれており、その礫に破断は認められない。



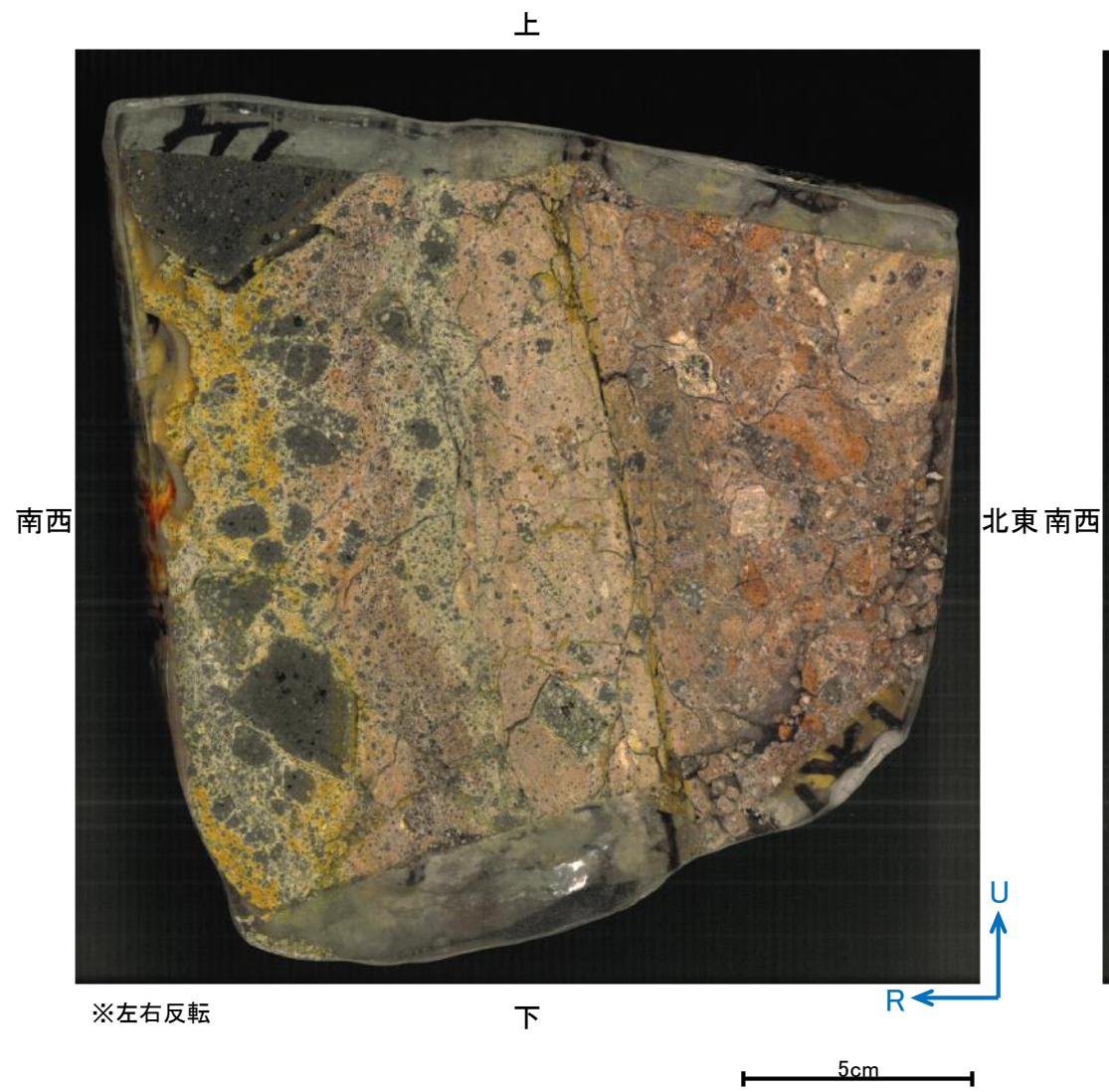
# 研磨面観察結果 —No.18切羽(No.18-2\_60R)—



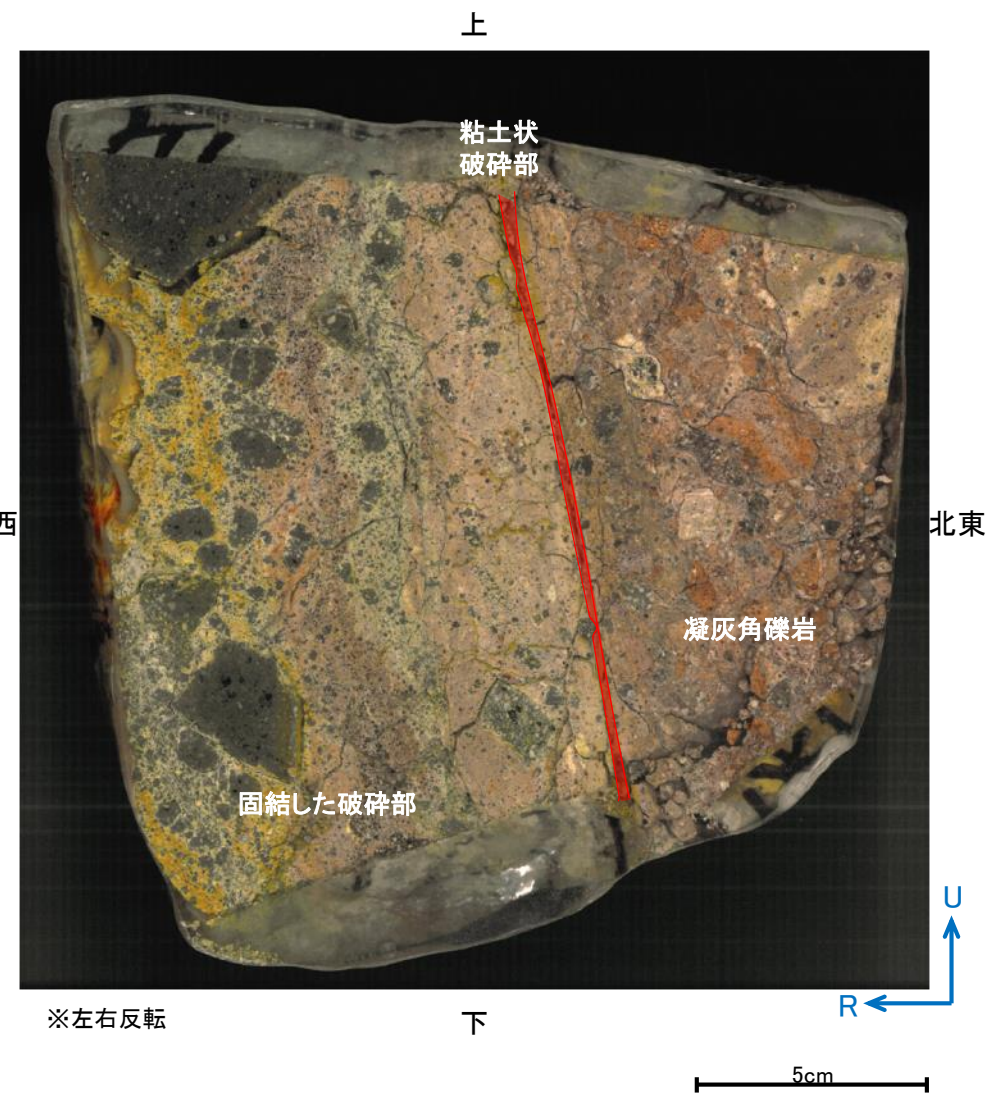
試料採取位置付近(No.18切羽)



観察面概念図(No.18-2\_60R)



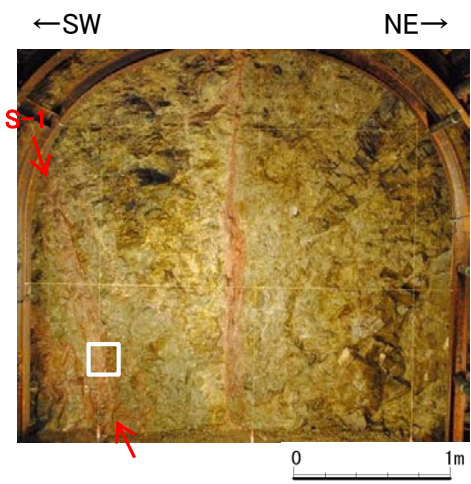
研磨面写真



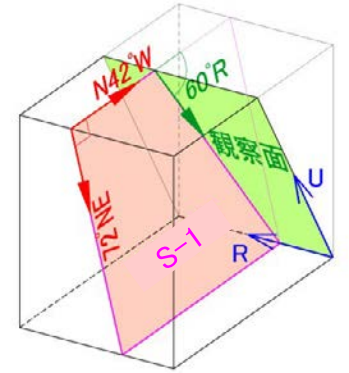
研磨面写真(破碎部境界等を加筆)



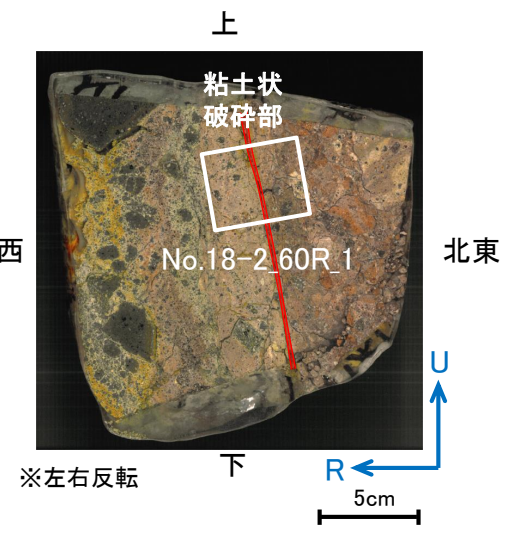
# 薄片観察結果 —No.18切羽(No.18-2\_60R\_1)—



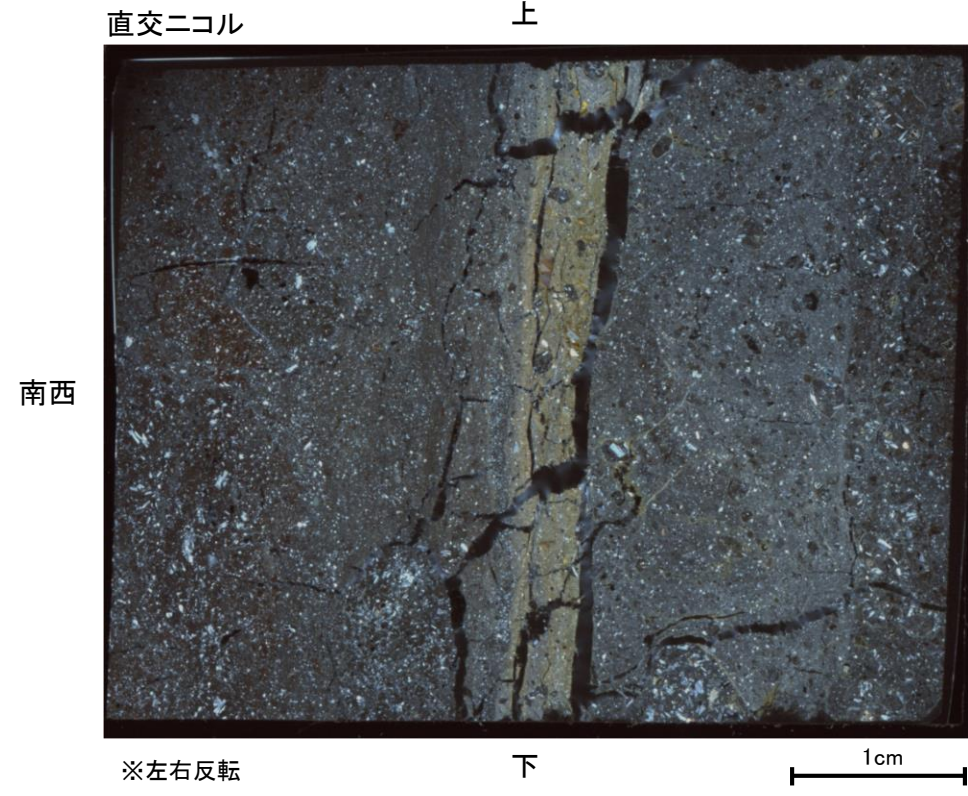
試料採取位置付近(No.18切羽)



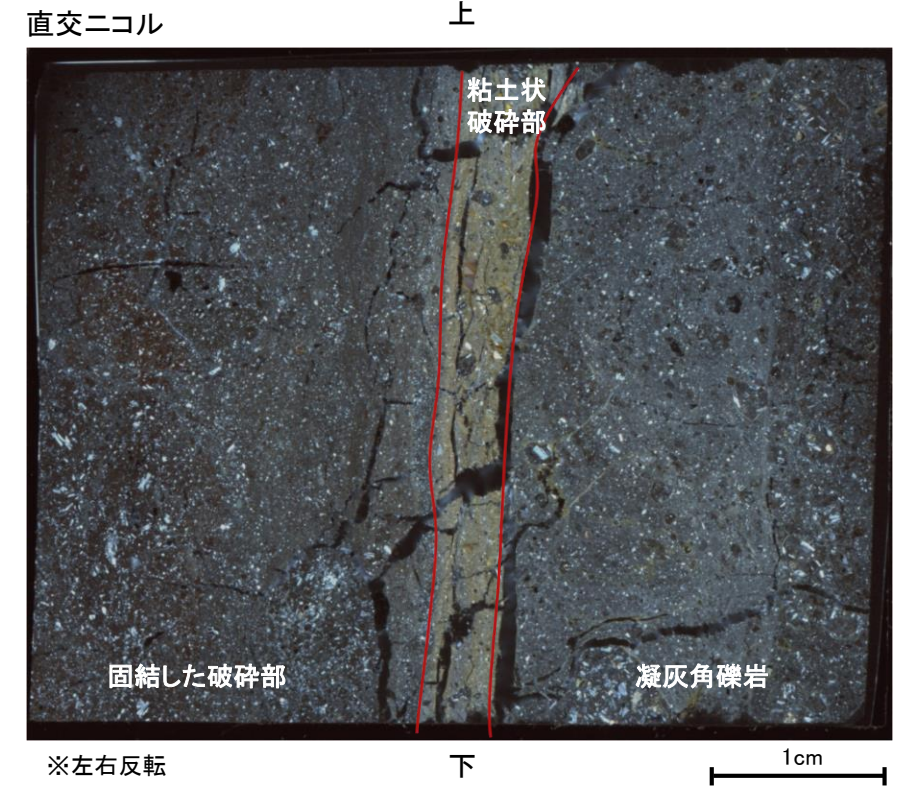
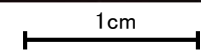
観察面概念図(No.18-2\_60R)



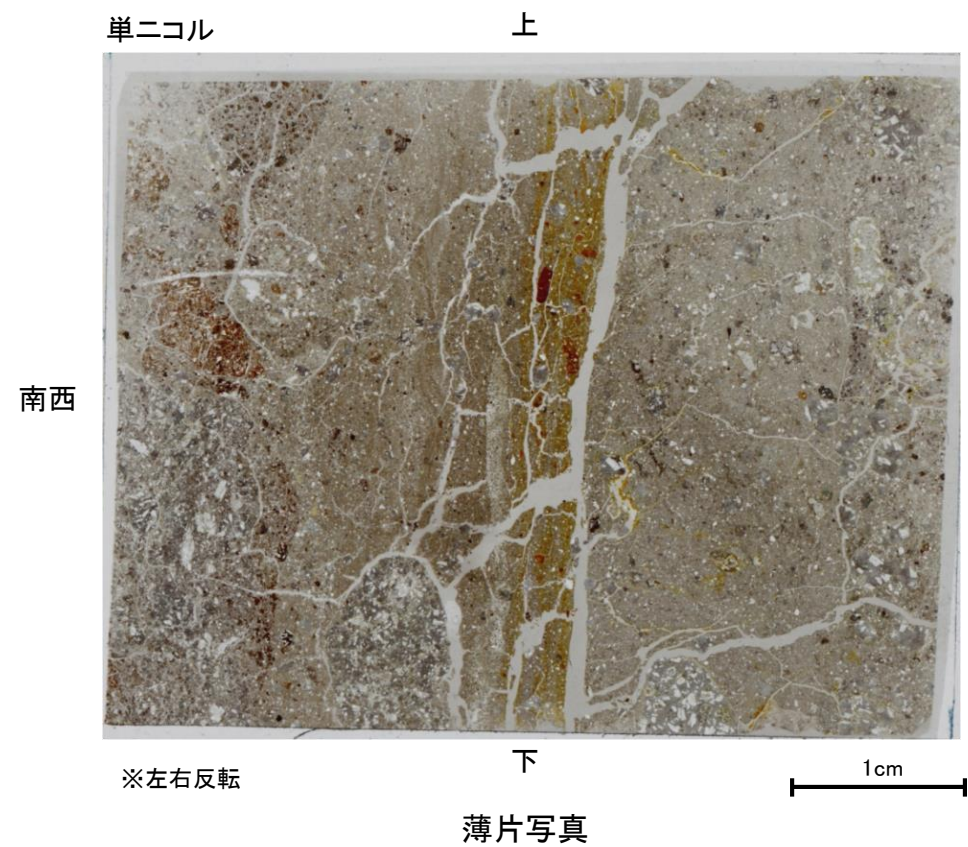
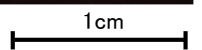
薄片作成位置付近(No.18-2\_60R)



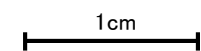
※左右反転



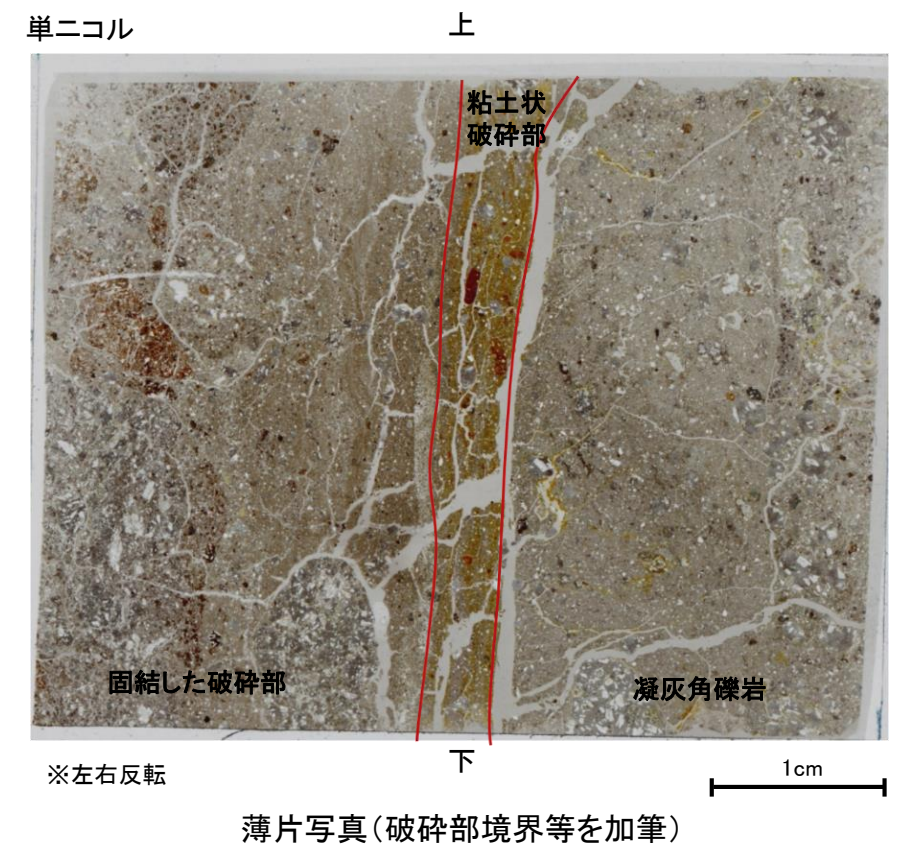
※左右反転



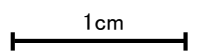
※左右反転



薄片写真



※左右反転

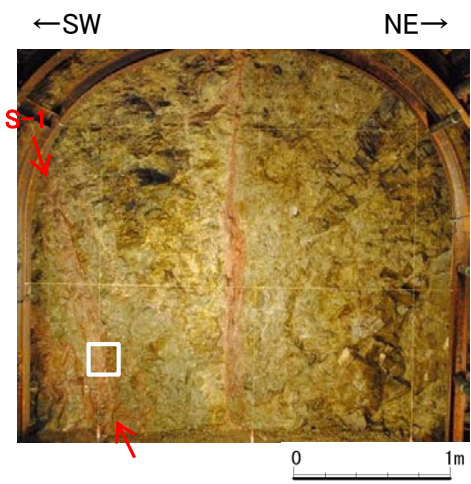


薄片写真(破碎部境界等を加筆)

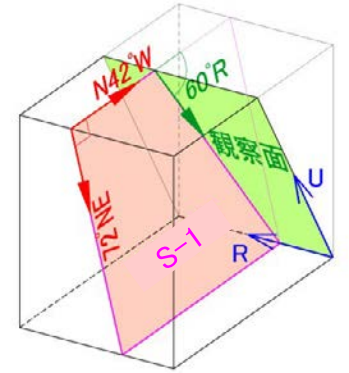
- ・S-1近接部の礫及び基質には、せん断性の割れ目は認められない。
- ・S-1は、凝灰角礫岩の基質の構造を残して粘土化している。



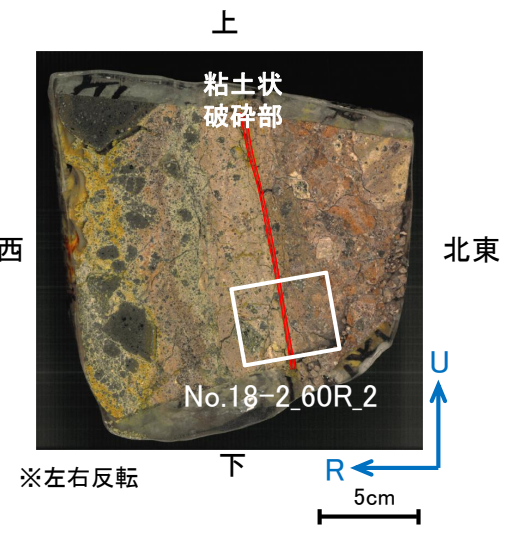
# 薄片観察結果 —No.18切羽(No.18-2\_60R\_2)—



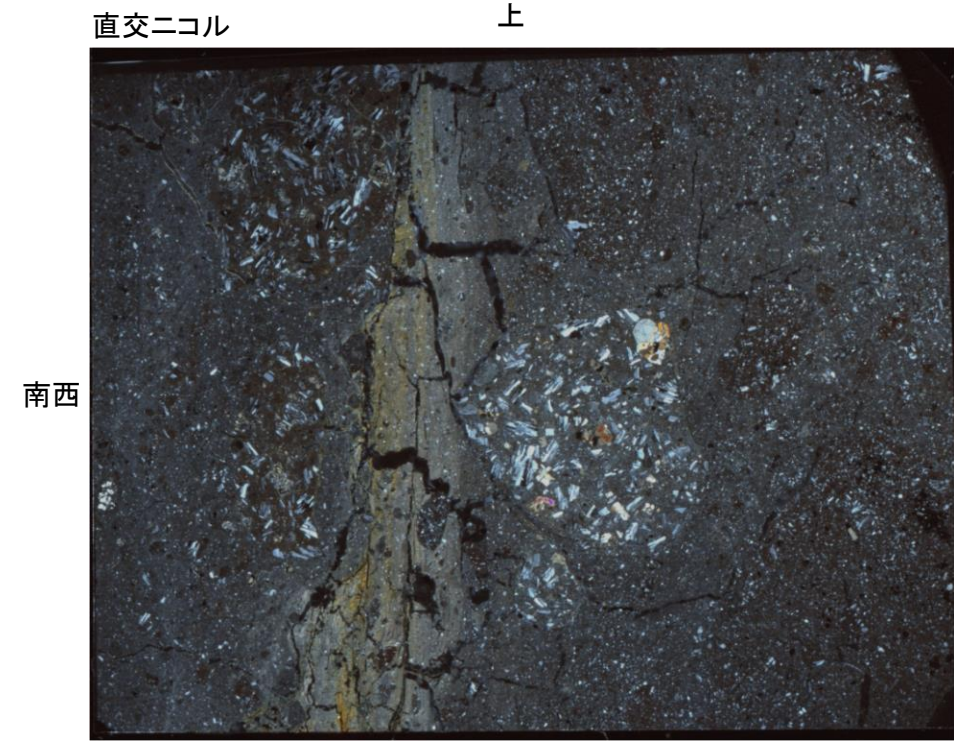
試料採取位置付近(No.18切羽)



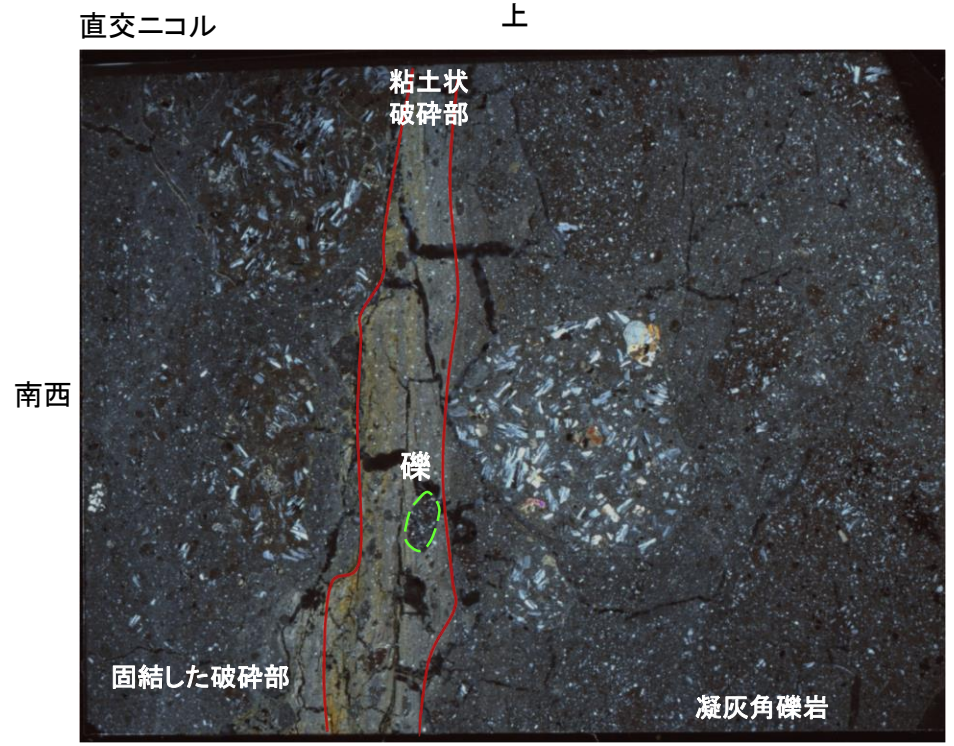
観察面概念図(No.18-2\_60R)



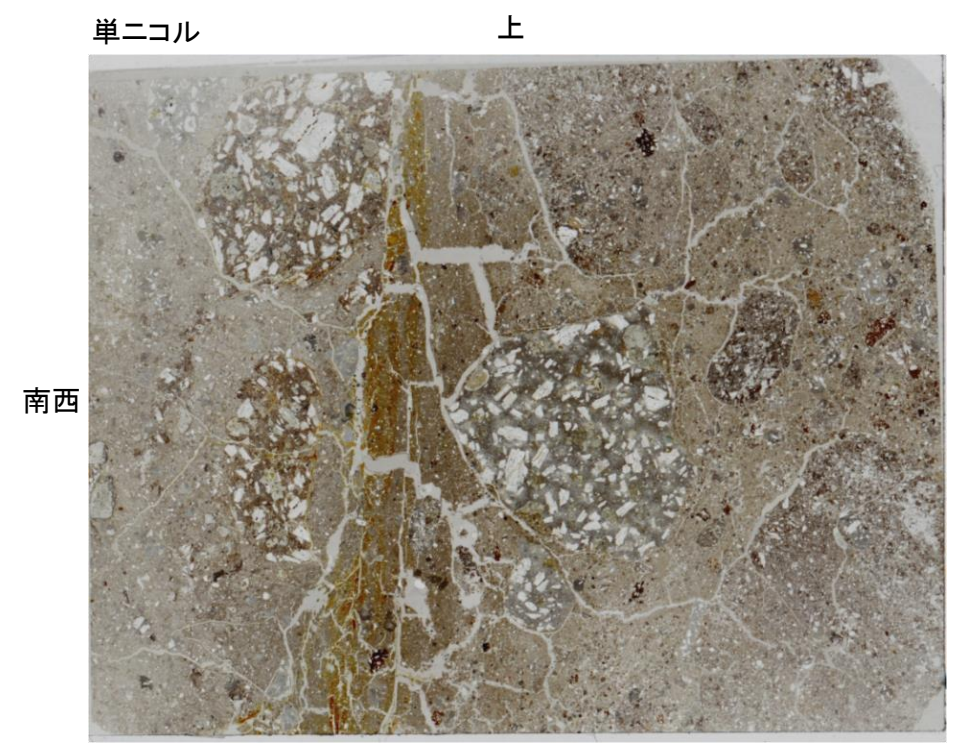
薄片作成位置付近(No.18-2\_60R)



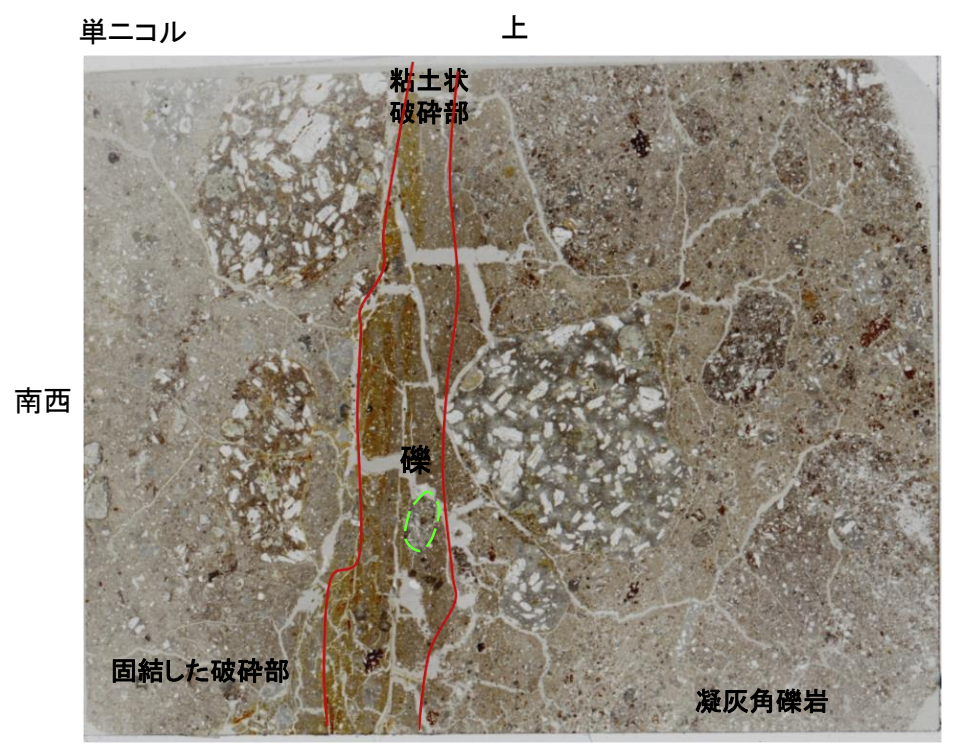
※左右反転 下 1cm



※左右反転 下 1cm



※左右反転 下 1cm



※左右反転 下 1cm

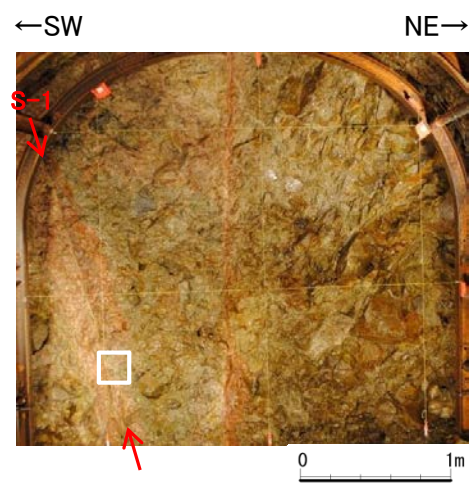
薄片写真

薄片写真(破砕部境界等を加筆)

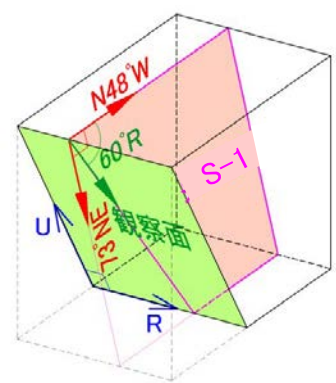
- ・S-1近接部の礫及び基質には、せん断性の割れ目は認められない。
- ・S-1は、凝灰角礫岩の基質の構造を残して粘土化している。
- ・粘土状破砕部中には礫が含まれており、その礫に破断は認められない。



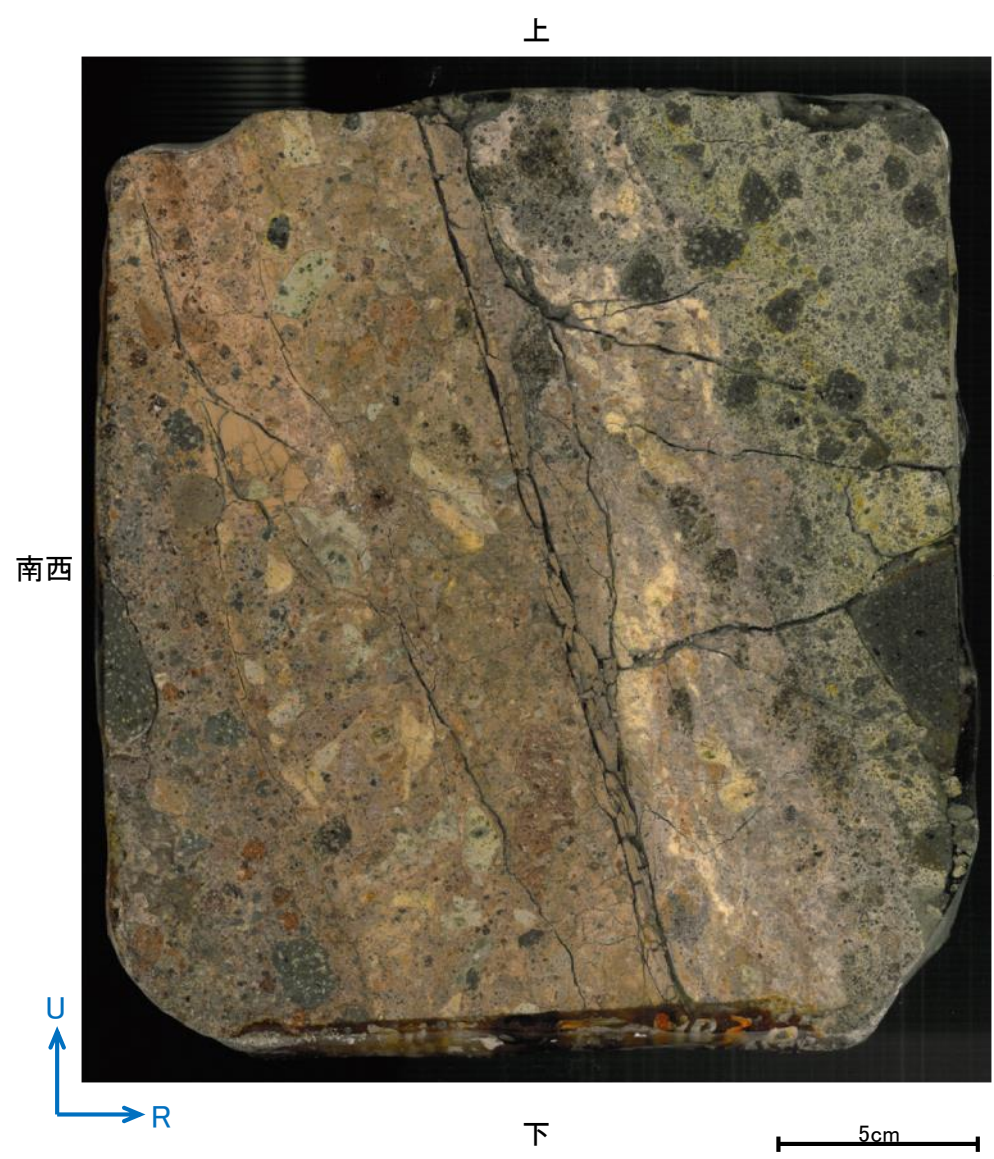
# 研磨面観察結果 — No.20切羽 (No.20-2\_60R) —



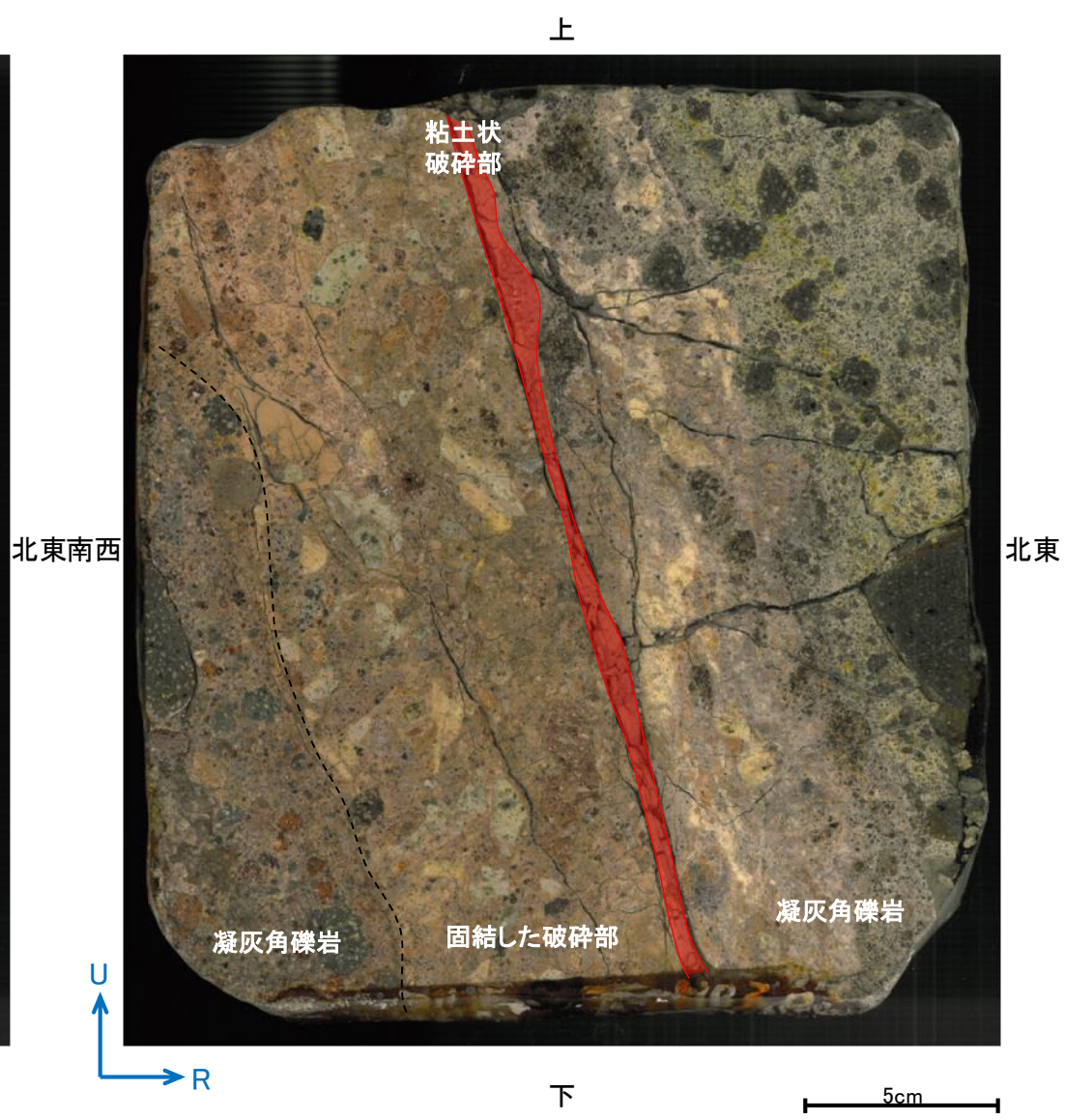
試料採取位置付近 (No.20切羽)



観察面概念図 (No.20-2\_60R)



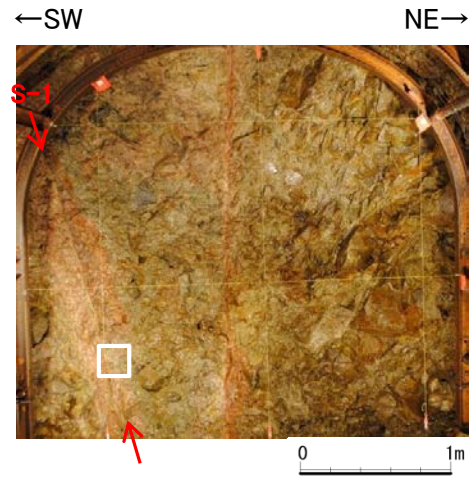
研磨面写真



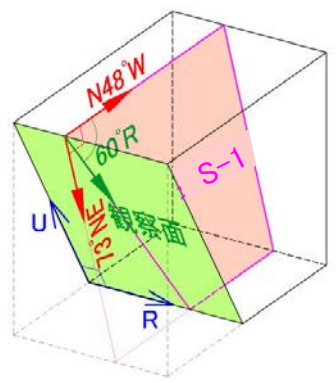
研磨面写真(破碎部境界等を加筆)



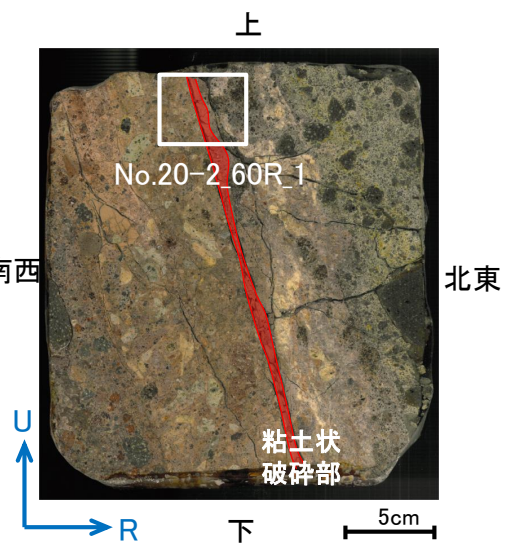
# 薄片観察結果 —No.20切羽(No.20-2\_60R\_1)—



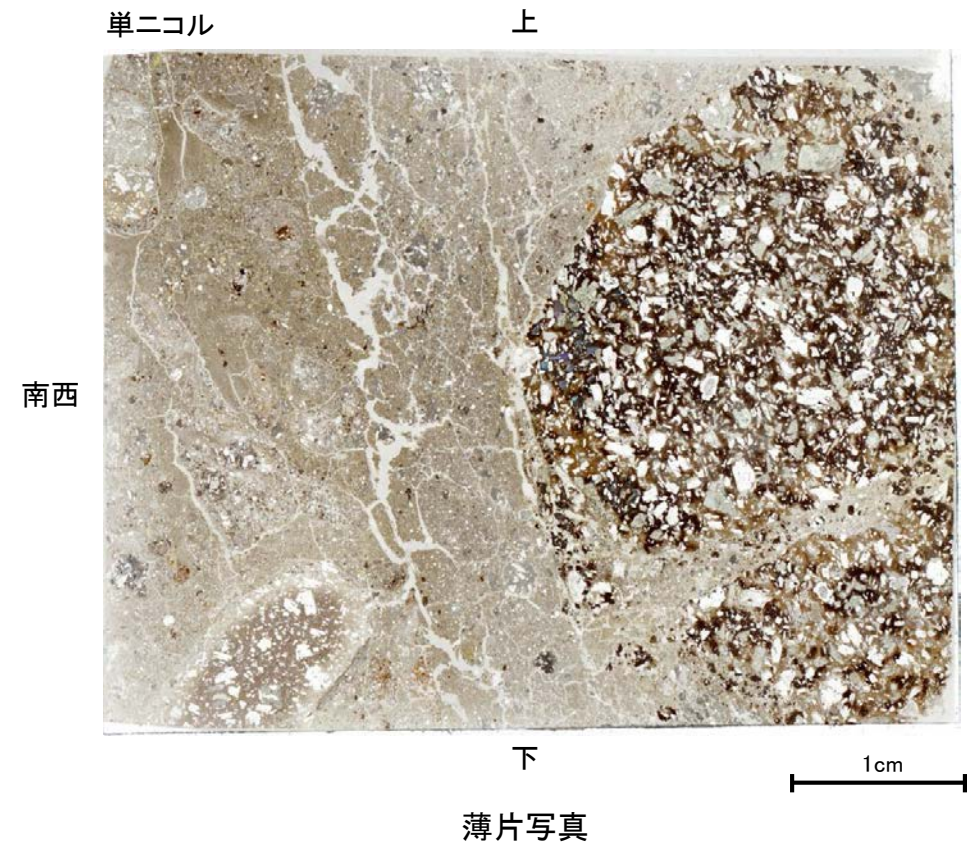
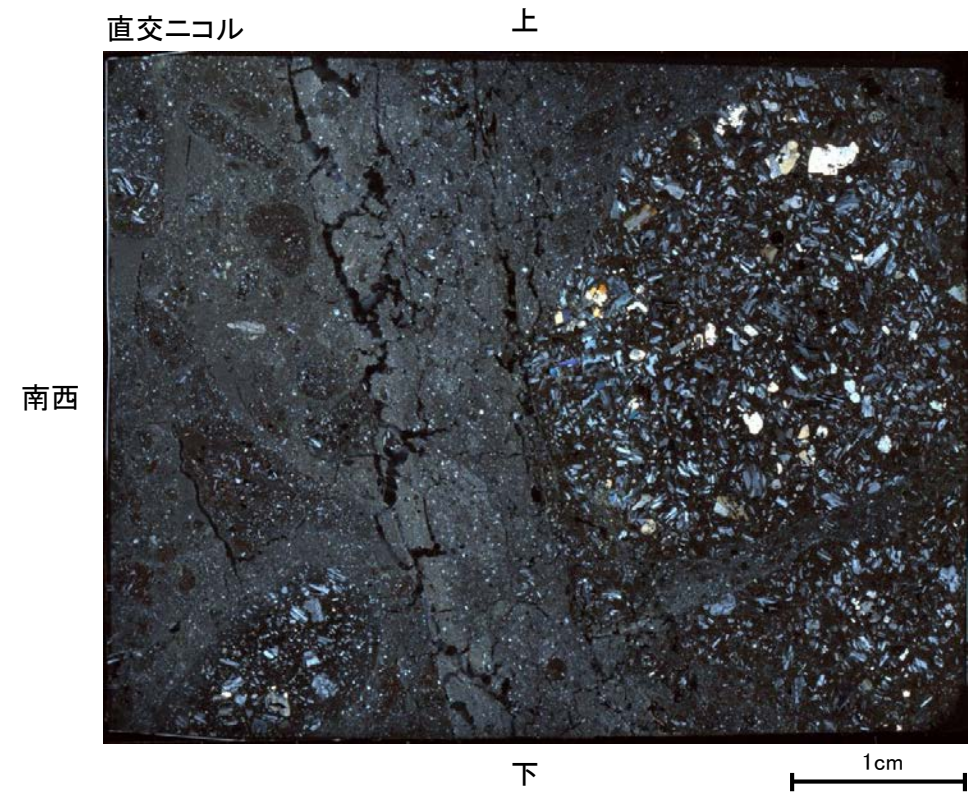
試料採取位置付近(No.20切羽)



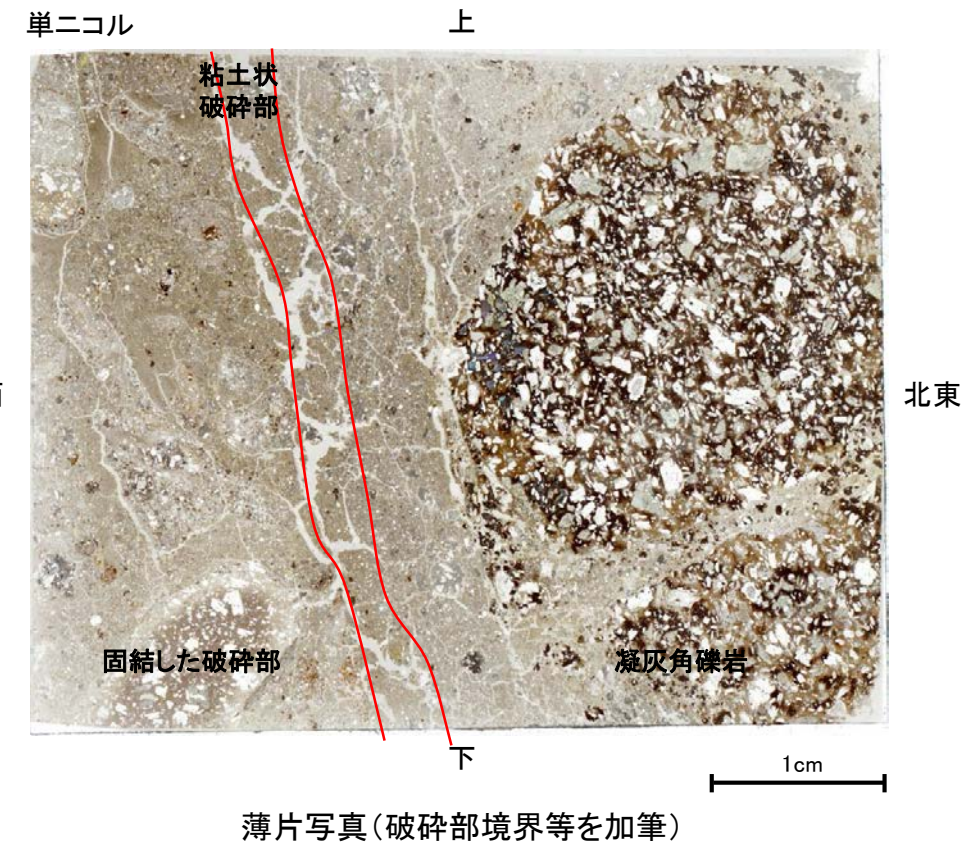
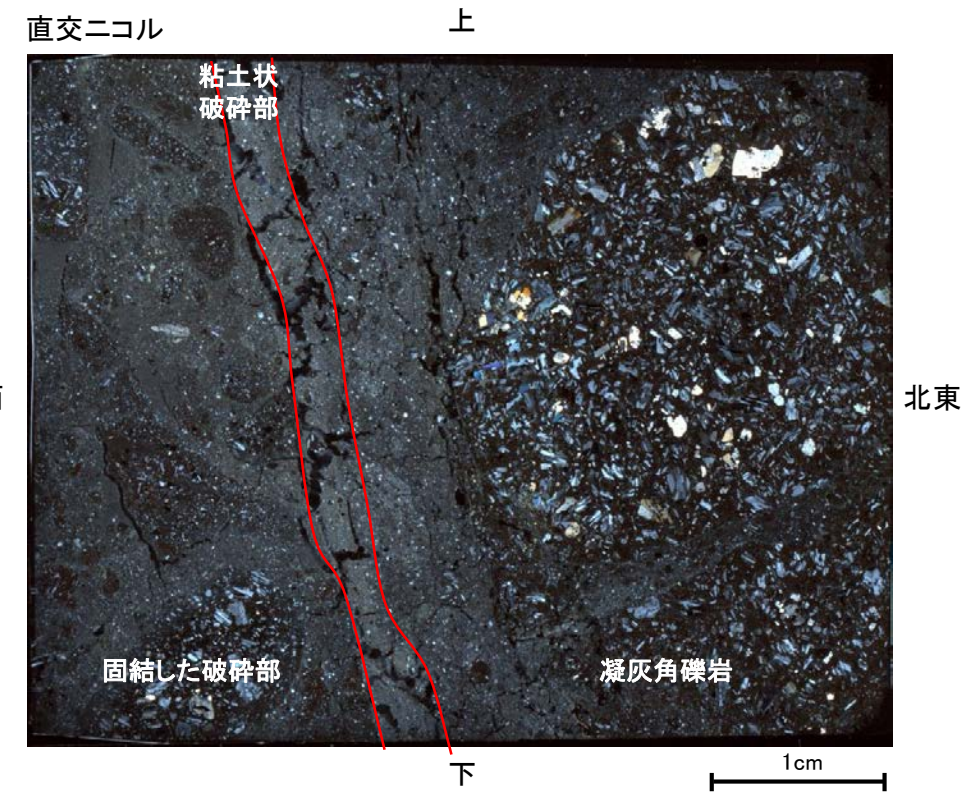
観察面概念図(No.20-2\_60R)



薄片作成位置付近(No.20-2\_60R)



薄片写真

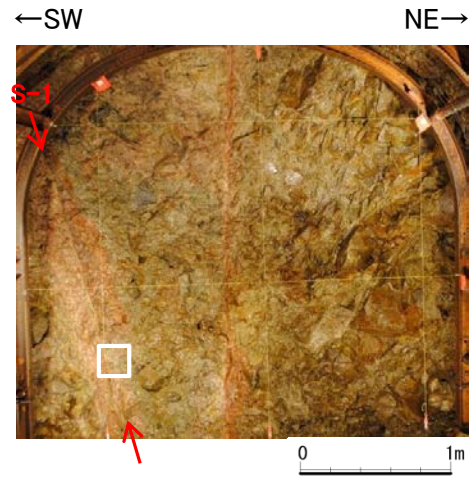


薄片写真(破碎部境界等を加筆)

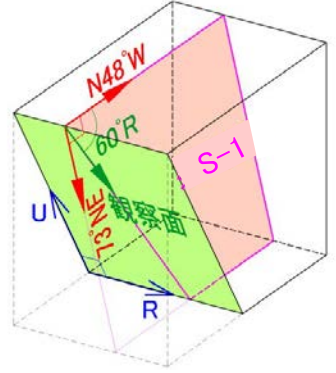
- ・S-1近接部の礫及び基質には、せん断性の割れ目は認められない。
- ・S-1は、凝灰角礫岩の基質の構造を残して粘土化している。



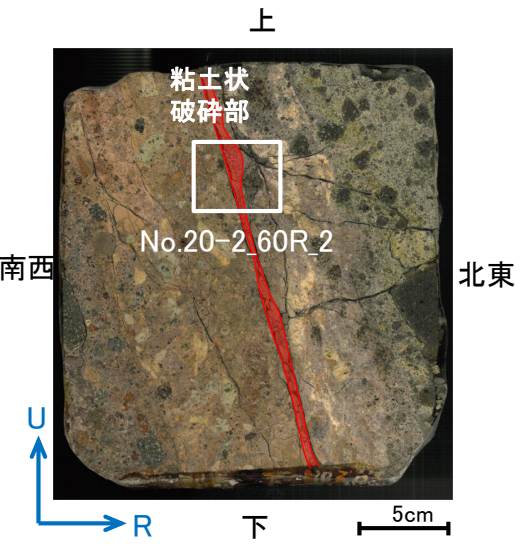
# 薄片観察結果 —No.20切羽(No.20-2\_60R\_2)—



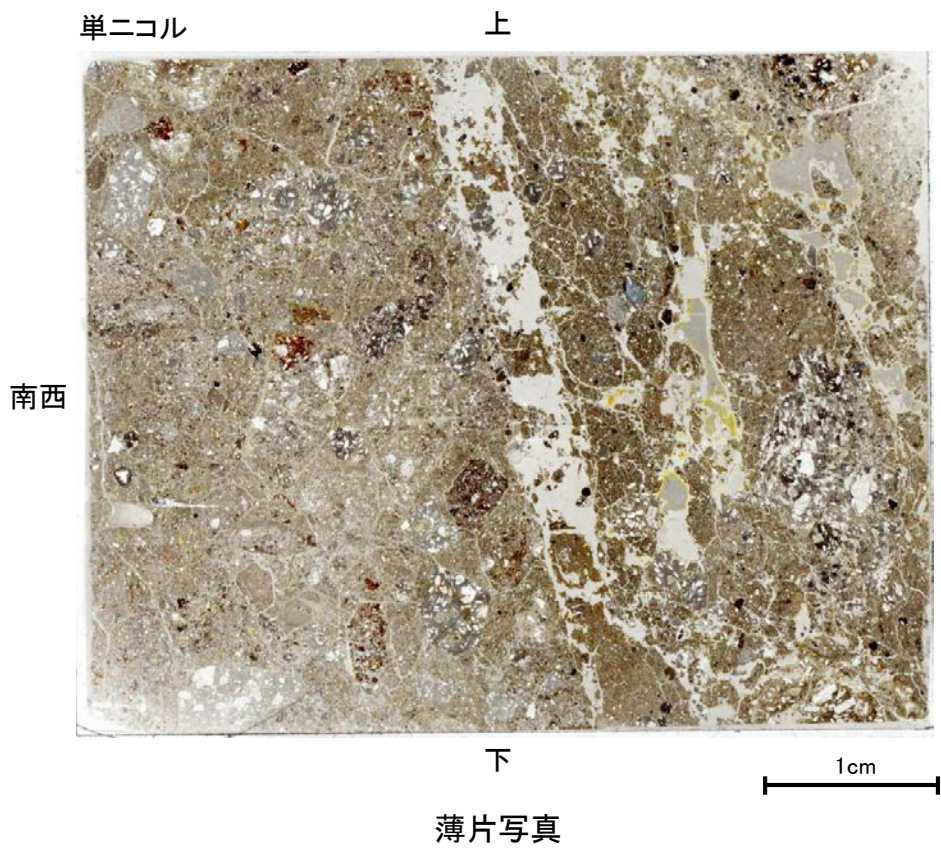
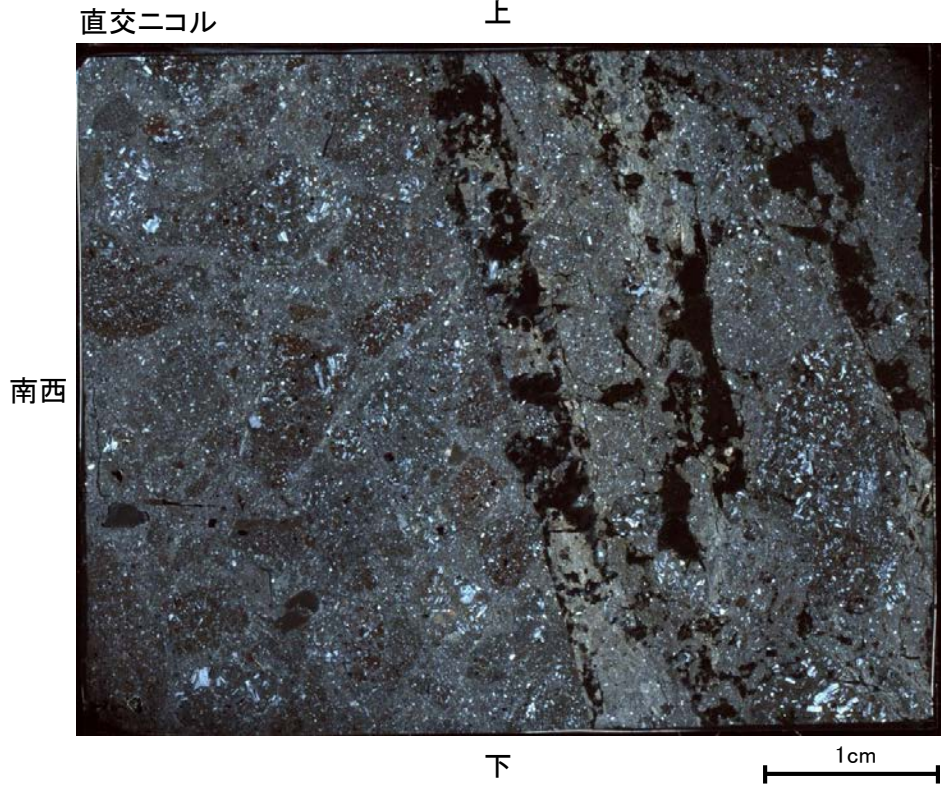
試料採取位置付近(No.20切羽)



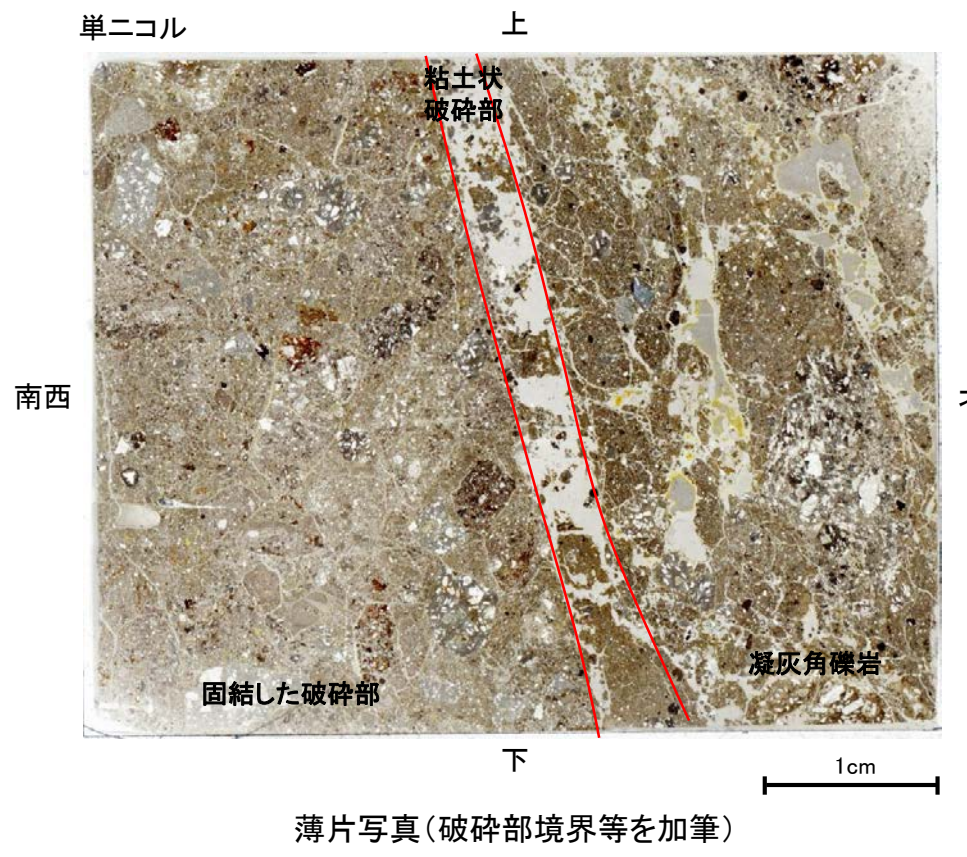
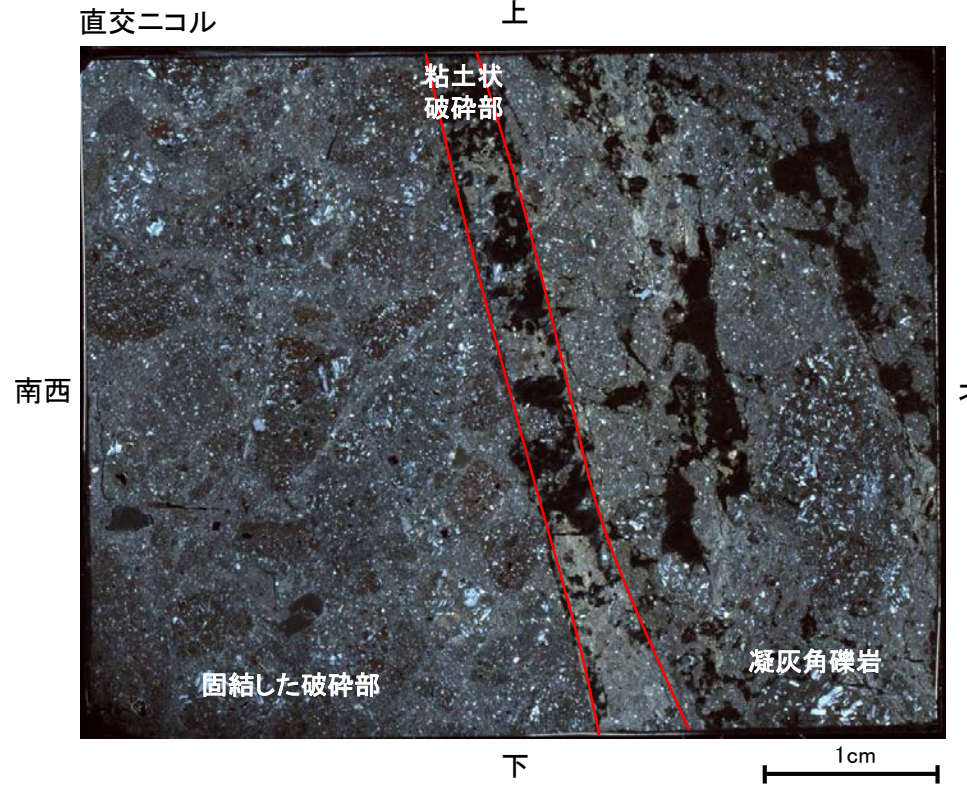
観察面概念図(No.20-2\_60R)



薄片作成位置付近(No.20-2\_60R)



薄片写真

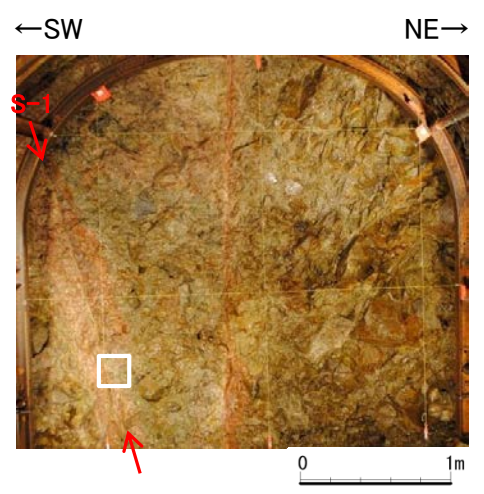


薄片写真(破碎部境界等を加筆)

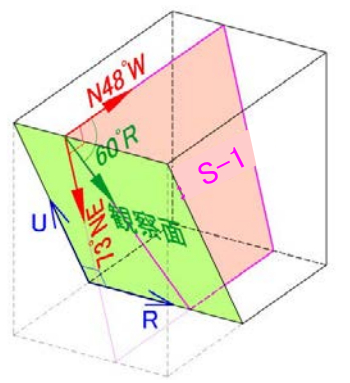
- ・S-1近接部の礫及び基質には、せん断性の割れ目は認められない。
- ・S-1は、凝灰角礫岩の基質の構造を残して粘土化している。



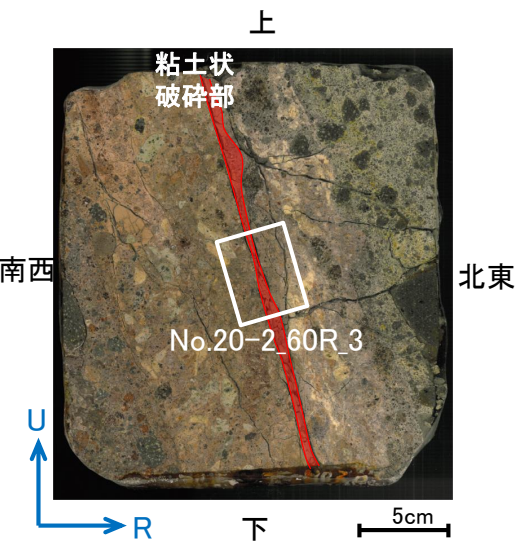
# 薄片観察結果 —No.20切羽(No.20-2\_60R\_3)—



試料採取位置付近(No.20切羽)



観察面概念図(No.20-2\_60R)



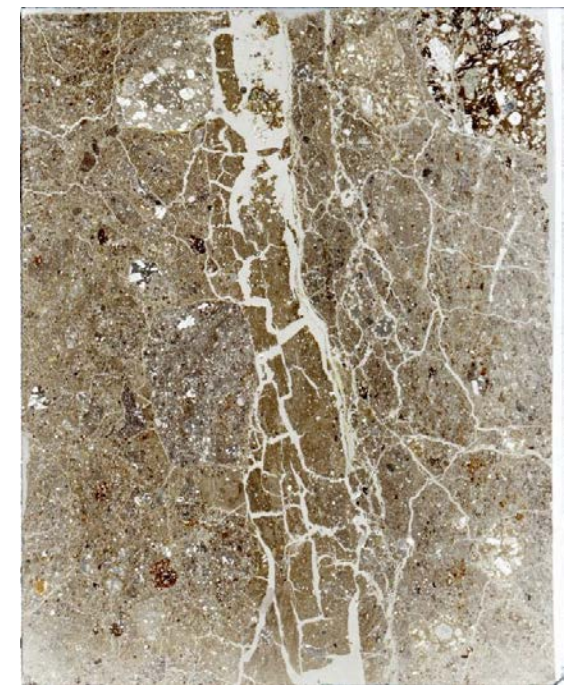
薄片作成位置付近(No.20-2\_60R)

直交ニコル 上



下 1cm

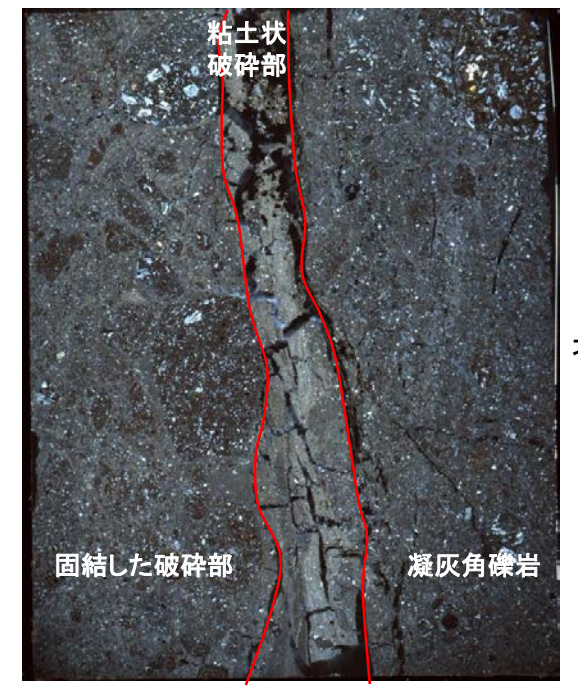
単ニコル 上



下 1cm

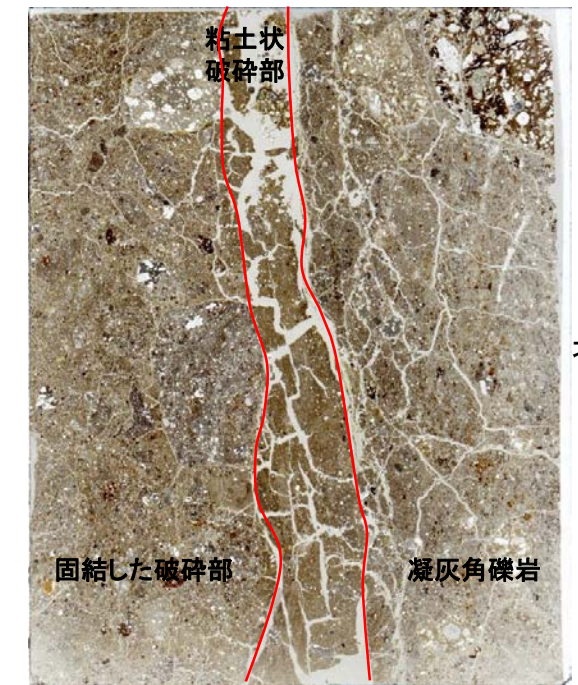
薄片写真

直交ニコル 上



下 1cm

単ニコル 上



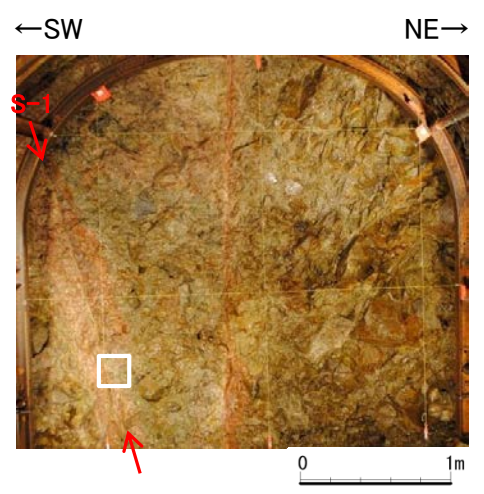
下 1cm

薄片写真(破碎部境界等を加筆)

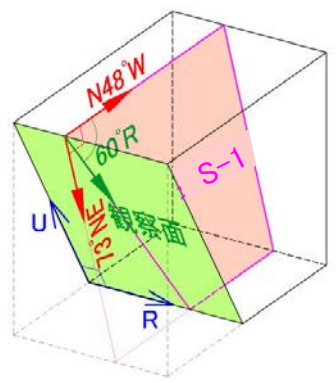
・S-1近接部の礫及び基質には、せん断性の割れ目は認められない。  
・S-1は、凝灰角礫岩の基質の構造を残して粘土化している。



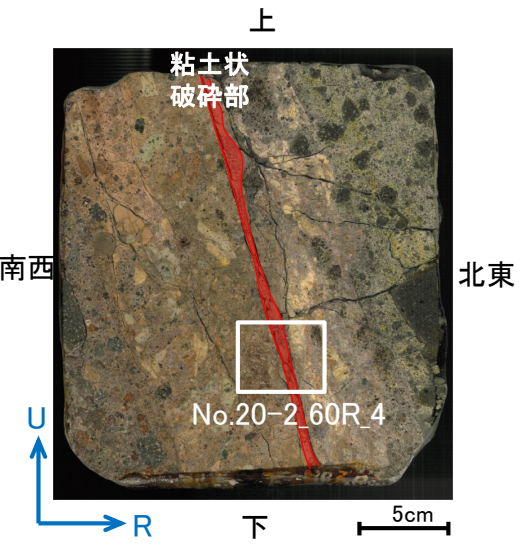
# 薄片観察結果 —No.20切羽(No.20-2\_60R\_4)—



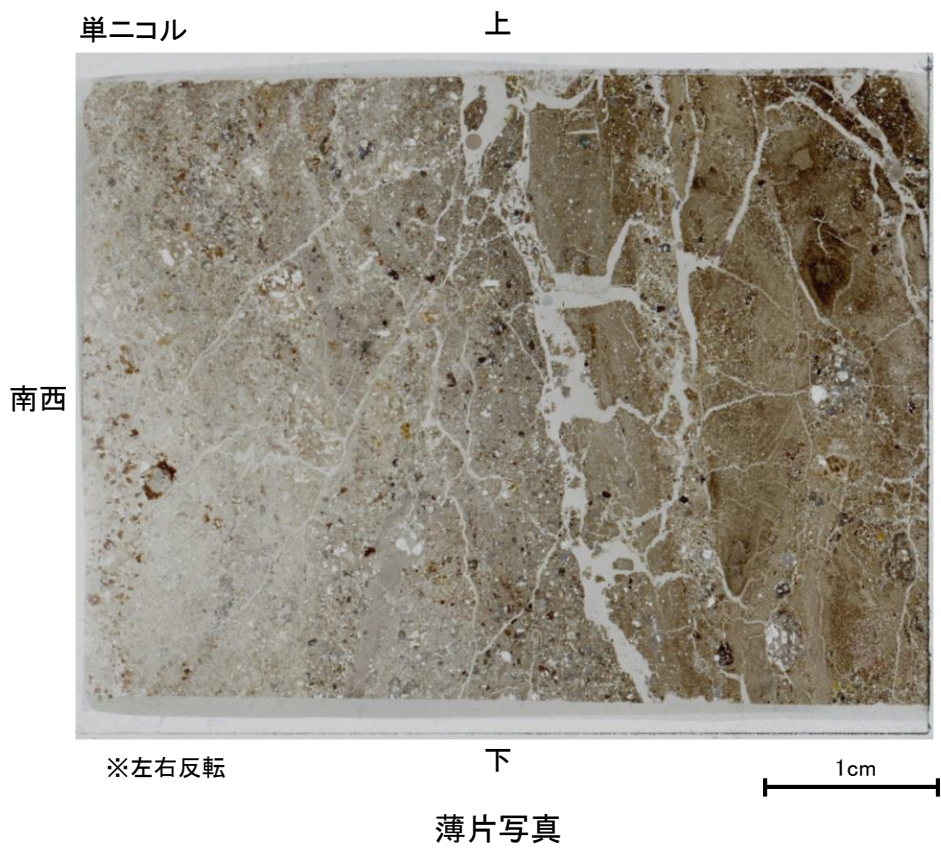
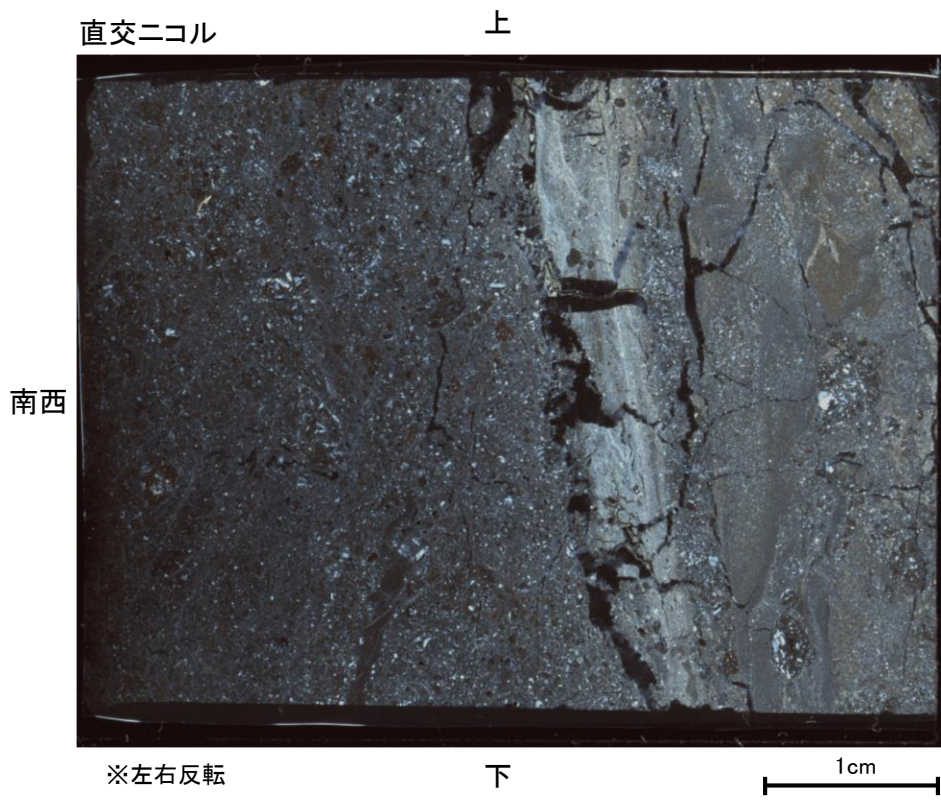
試料採取位置付近(No.20切羽)



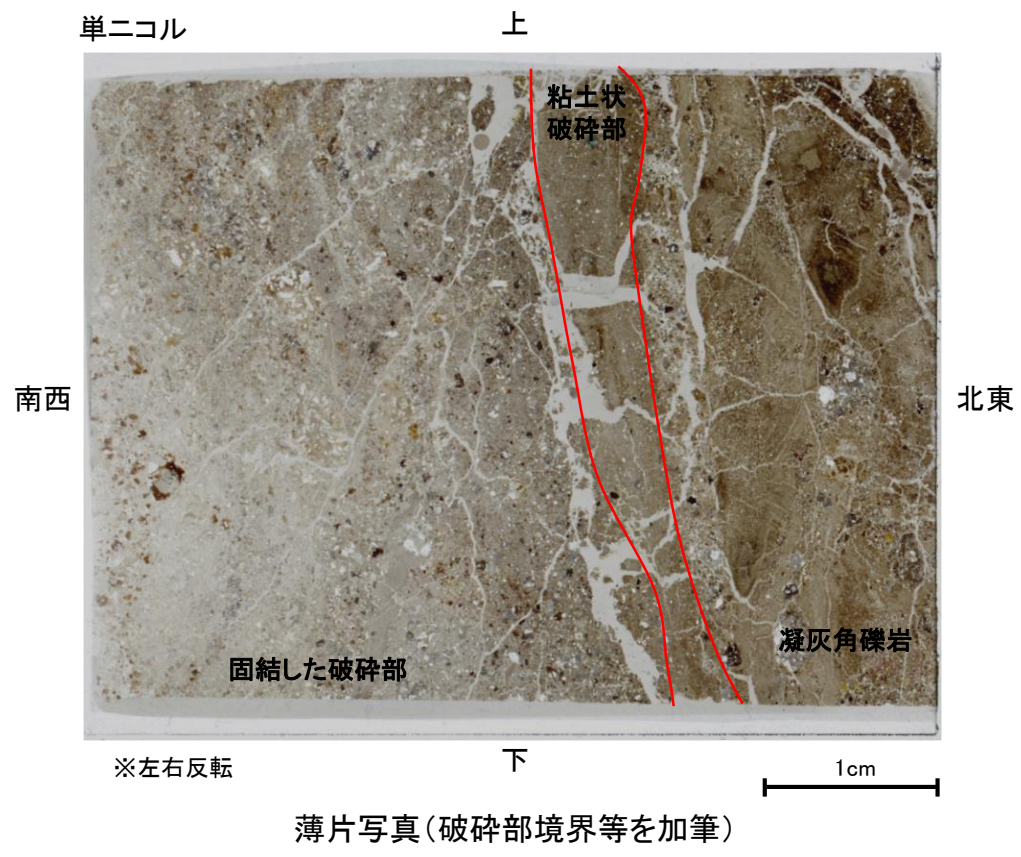
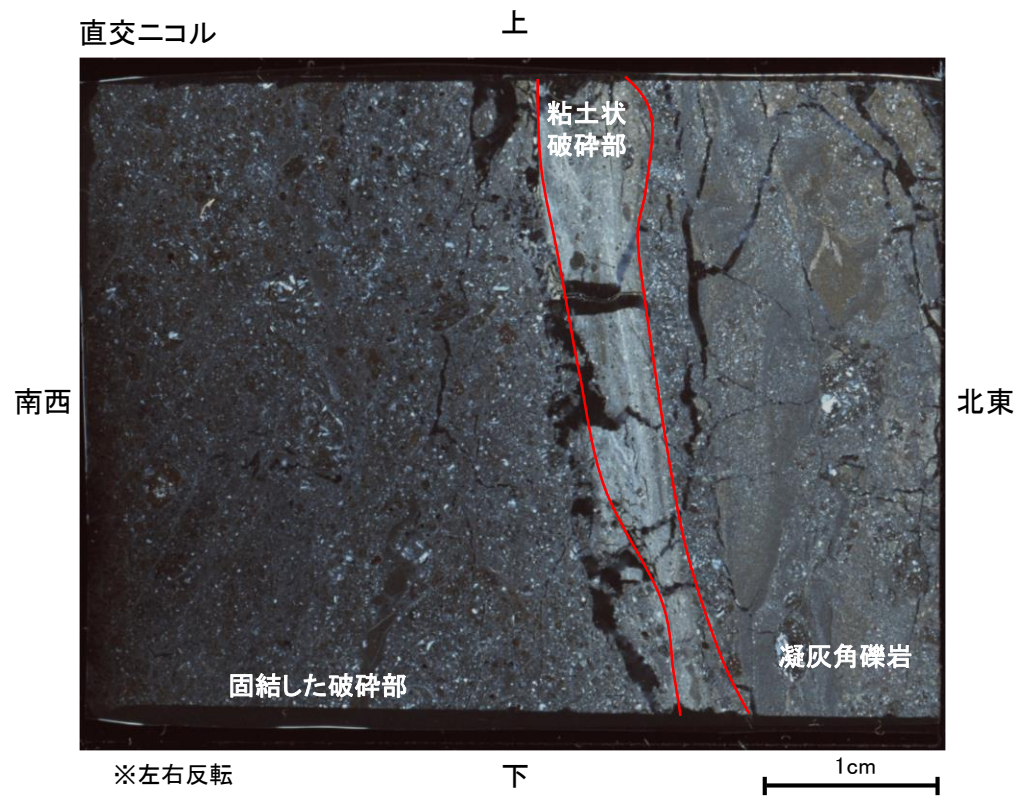
観察面概念図(No.20-2\_60R)



薄片作成位置付近(No.20-2\_60R)



薄片写真

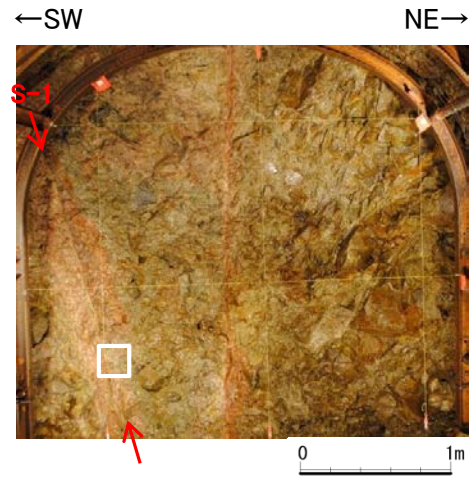


薄片写真(破砕部境界等を加筆)

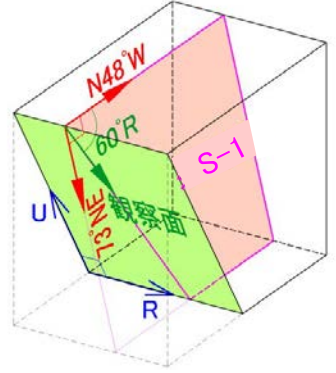
- ・S-1近接部の礫及び基質には、せん断性の割れ目は認められない。
- ・S-1は、凝灰角礫岩の基質の構造を残して粘土化している。



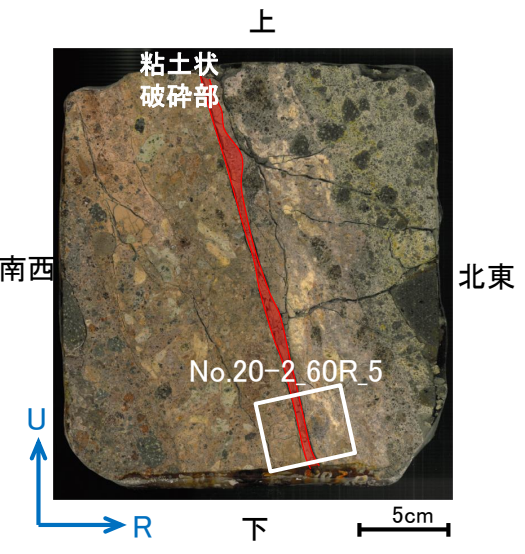
# 薄片観察結果 —No.20切羽(No.20-2\_60R\_5)—



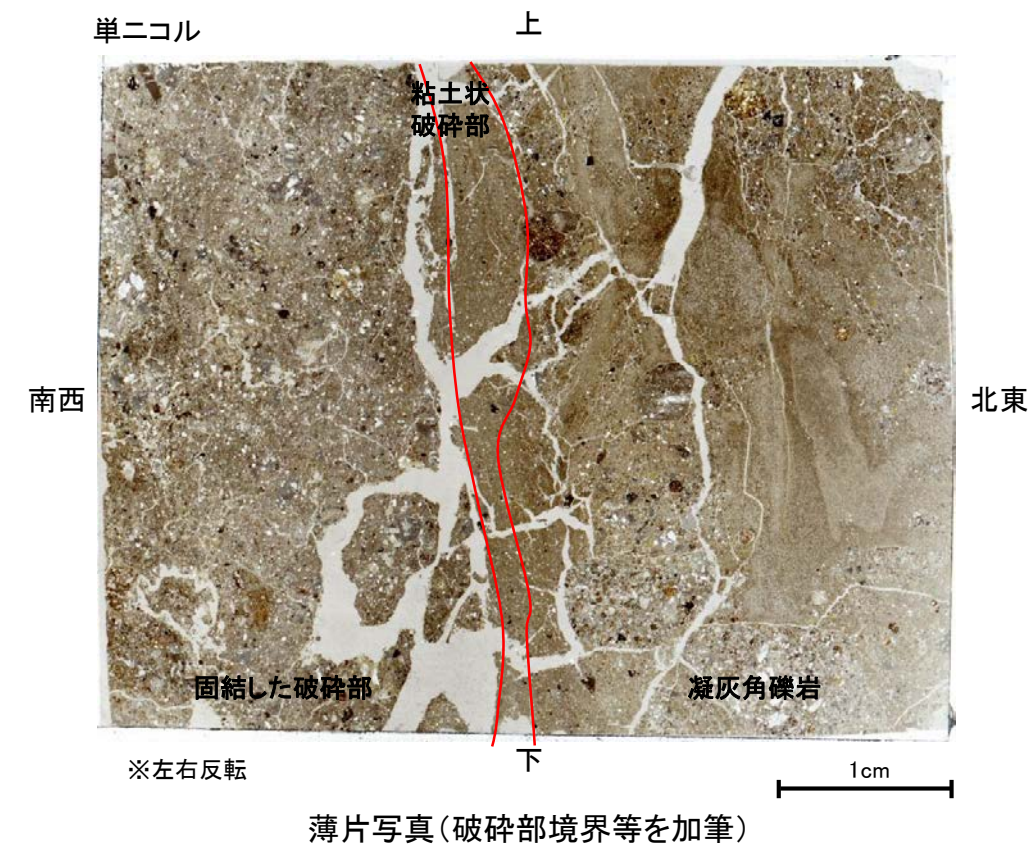
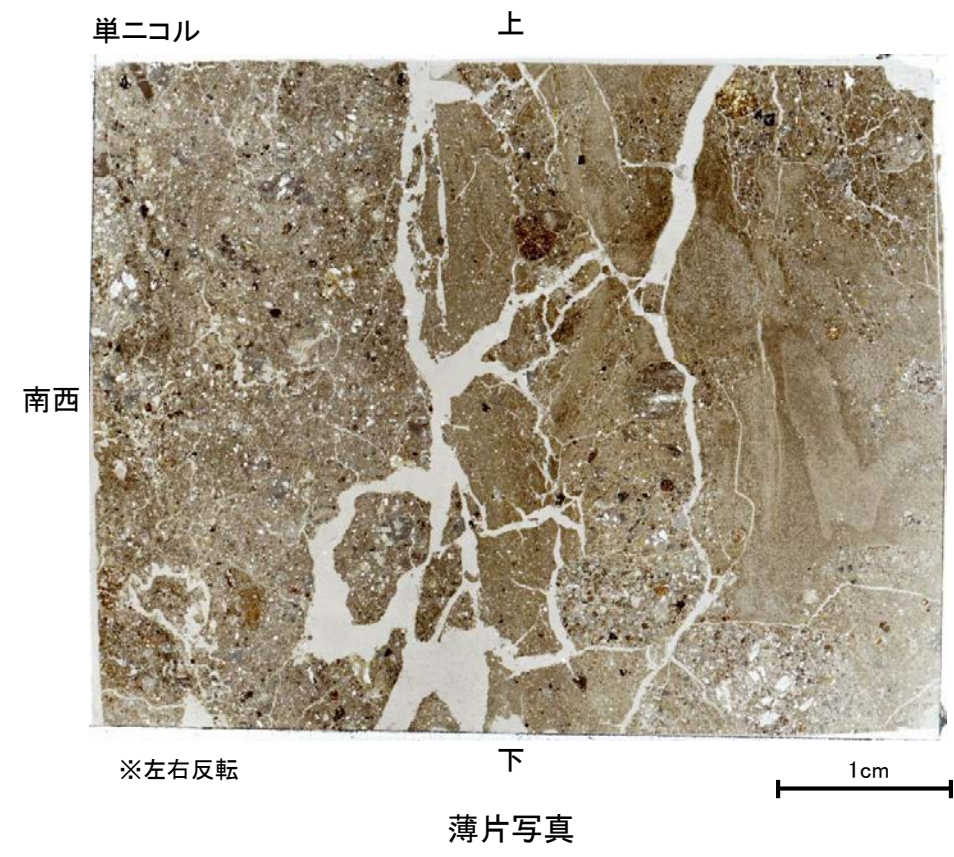
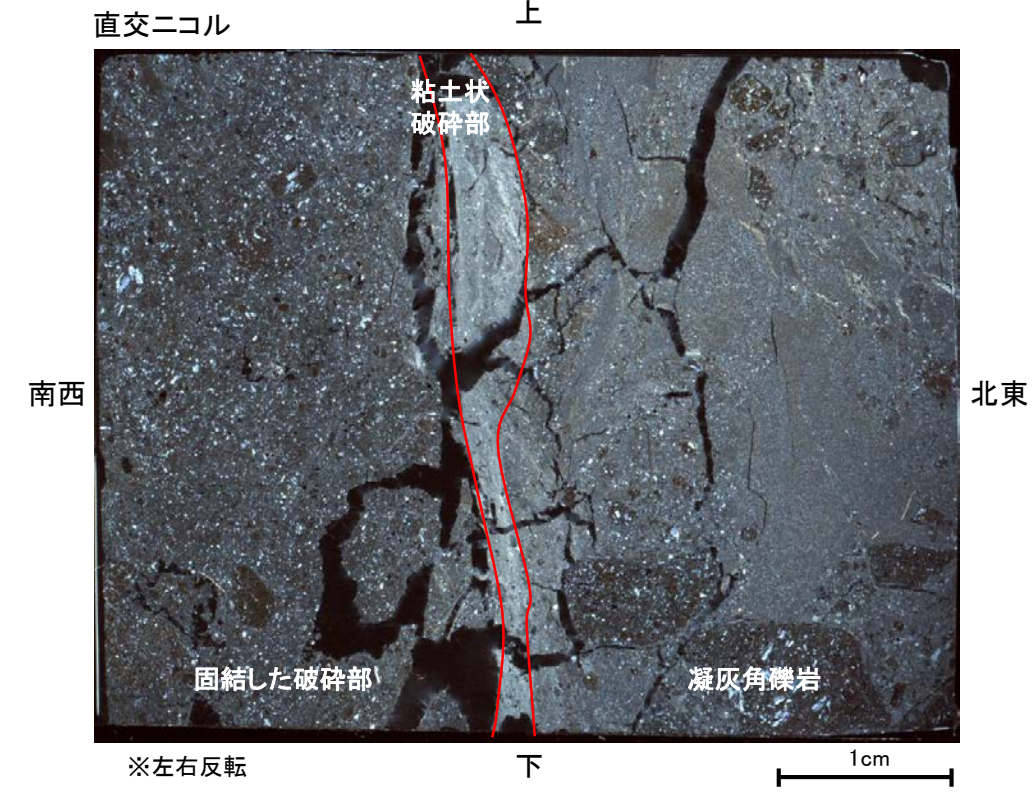
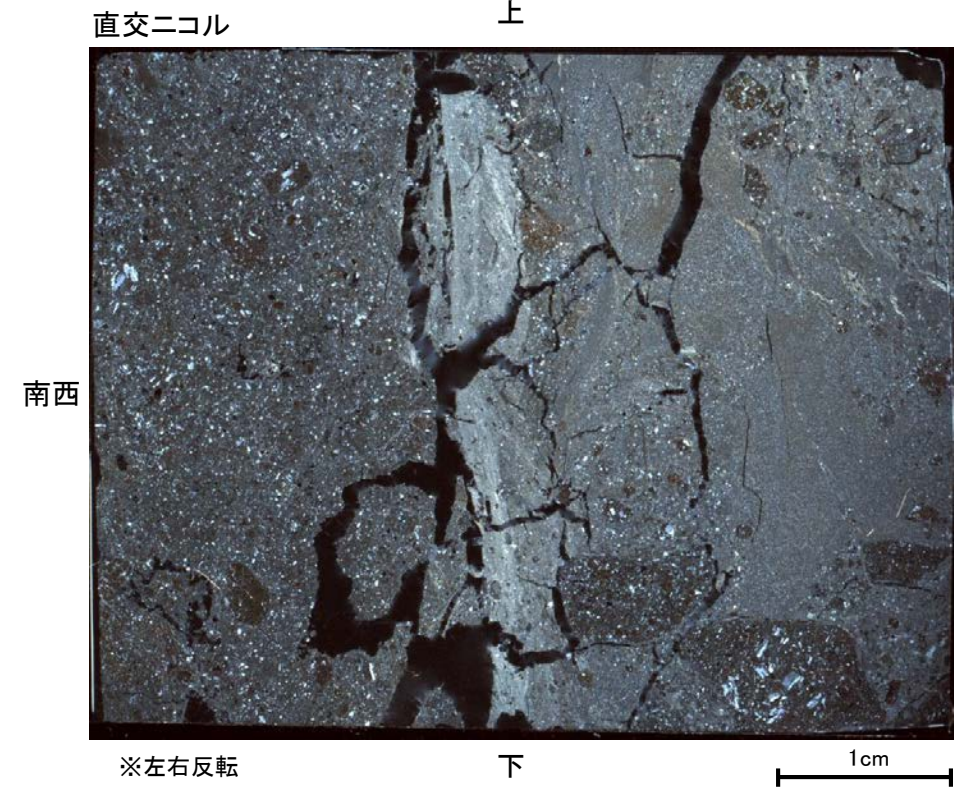
試料採取位置付近(No.20切羽)



観察面概念図(No.20-2\_60R)



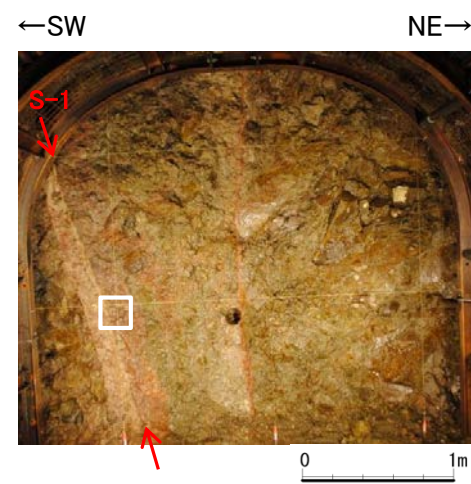
薄片作成位置付近(No.20-2\_60R)



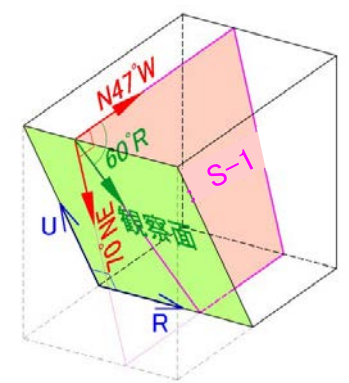
- ・S-1近接部の礫及び基質には、せん断性の割れ目は認められない。
- ・S-1は、凝灰角礫岩の基質の構造を残して粘土化している。



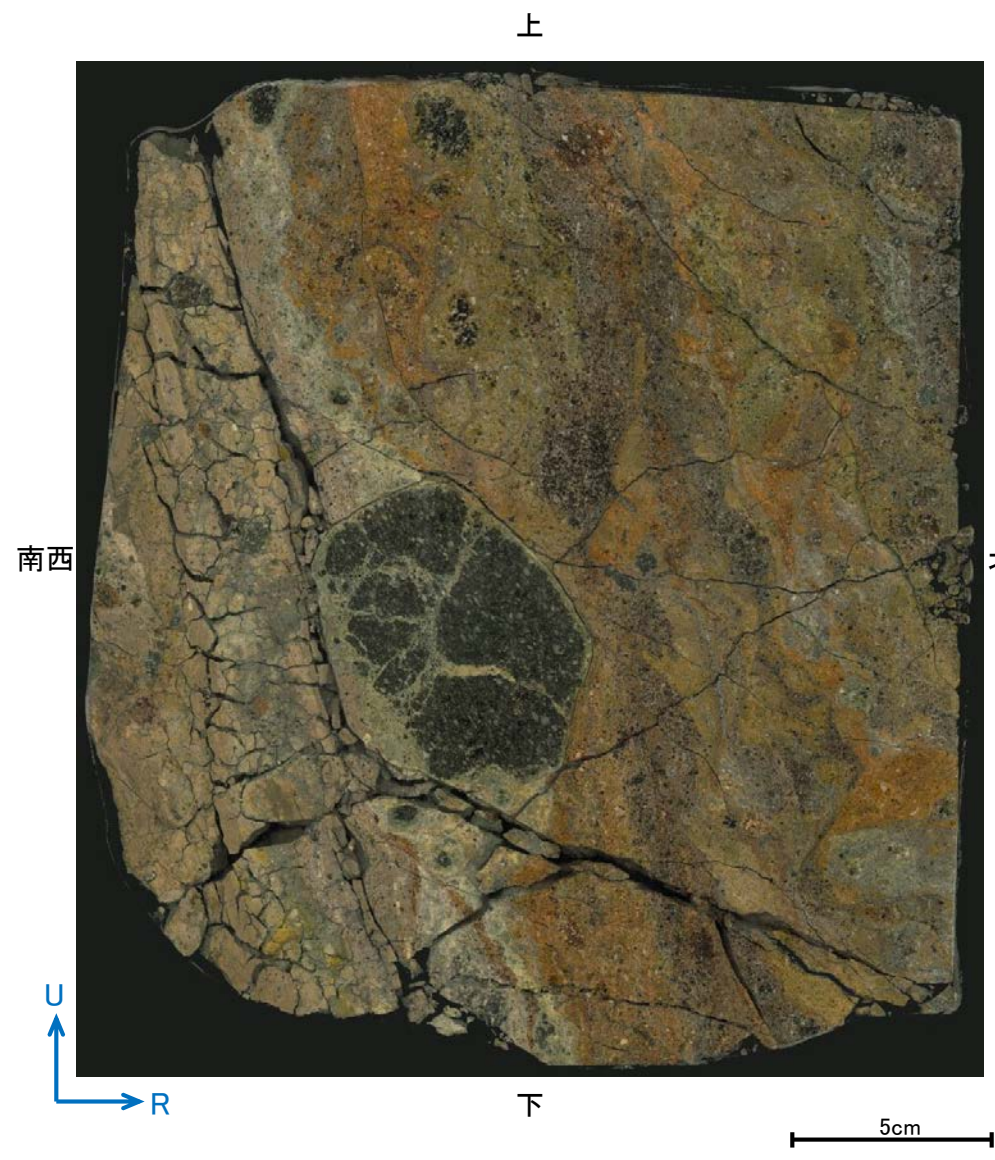
# 研磨面観察結果 —No.21切羽(No.21-1\_60R)—



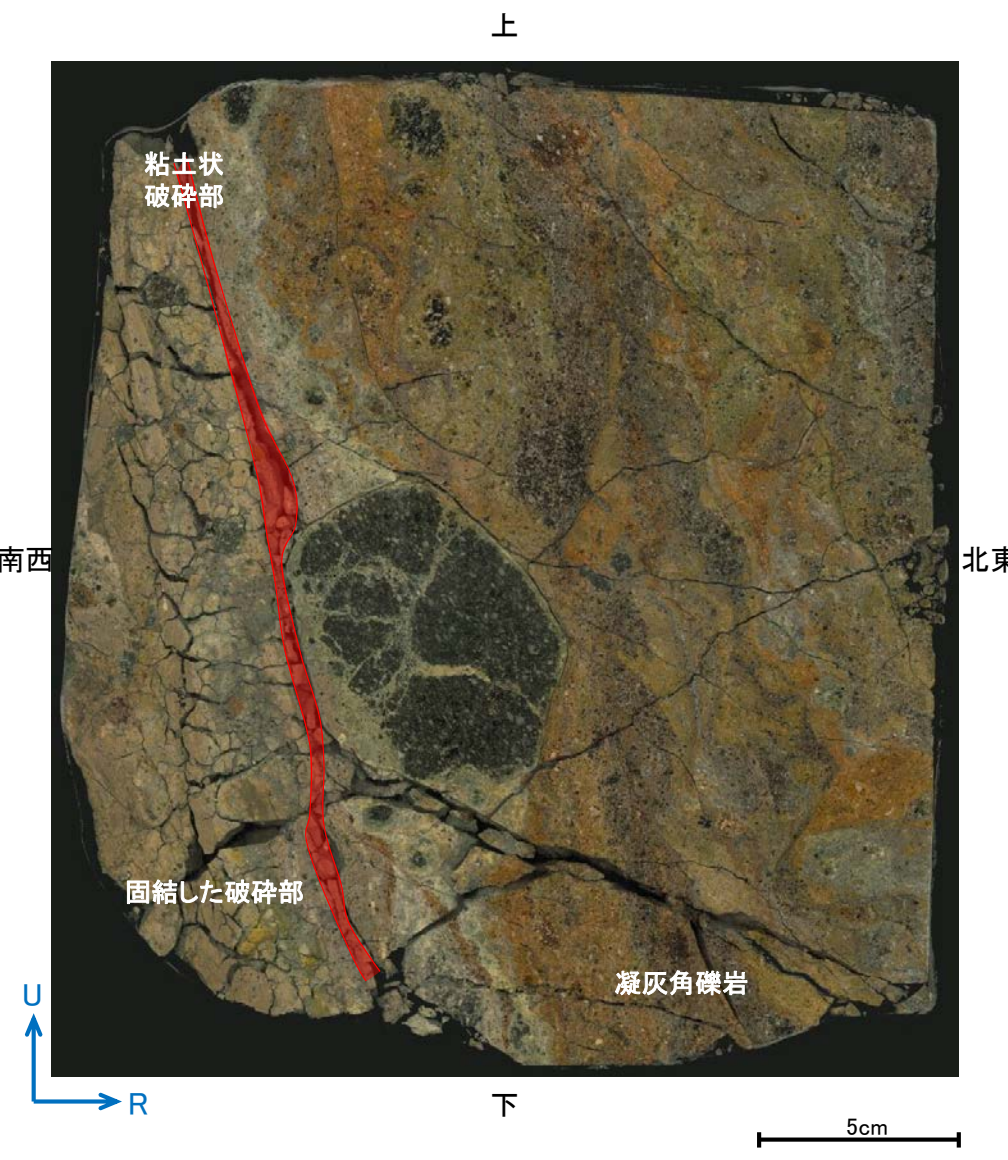
試料採取位置付近(No.21切羽)



観察面概念図(No.21-1\_60R)



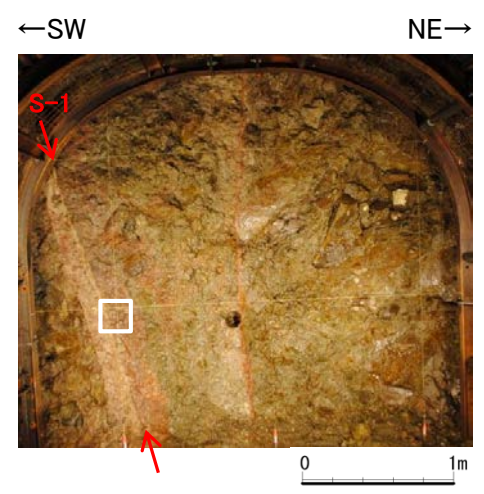
研磨面写真



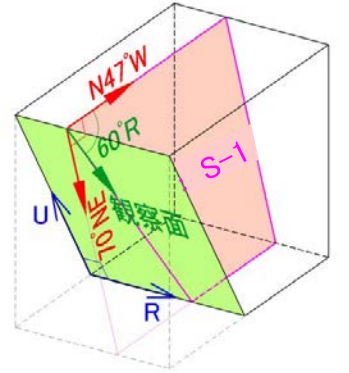
研磨面写真(破碎部境界等を加筆)



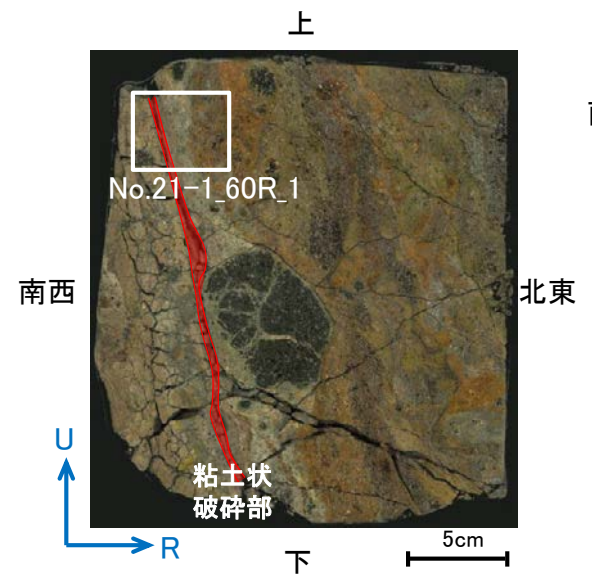
# 薄片観察結果 —No.21切羽(No.21-1\_60R\_1)—



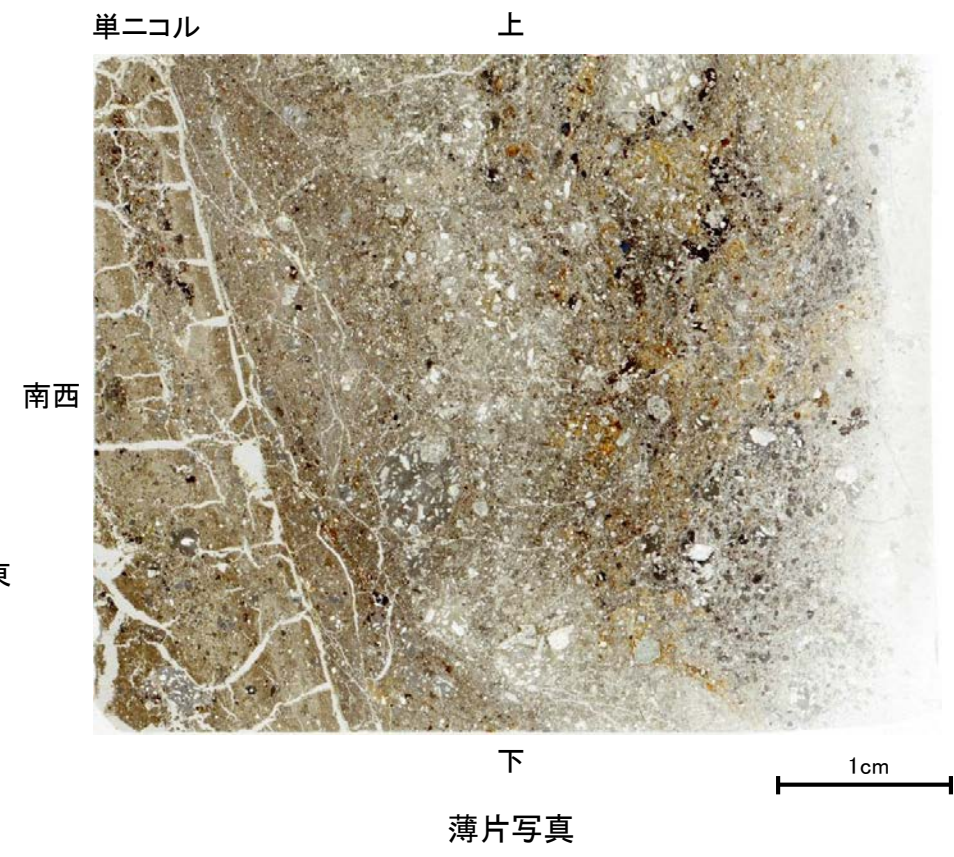
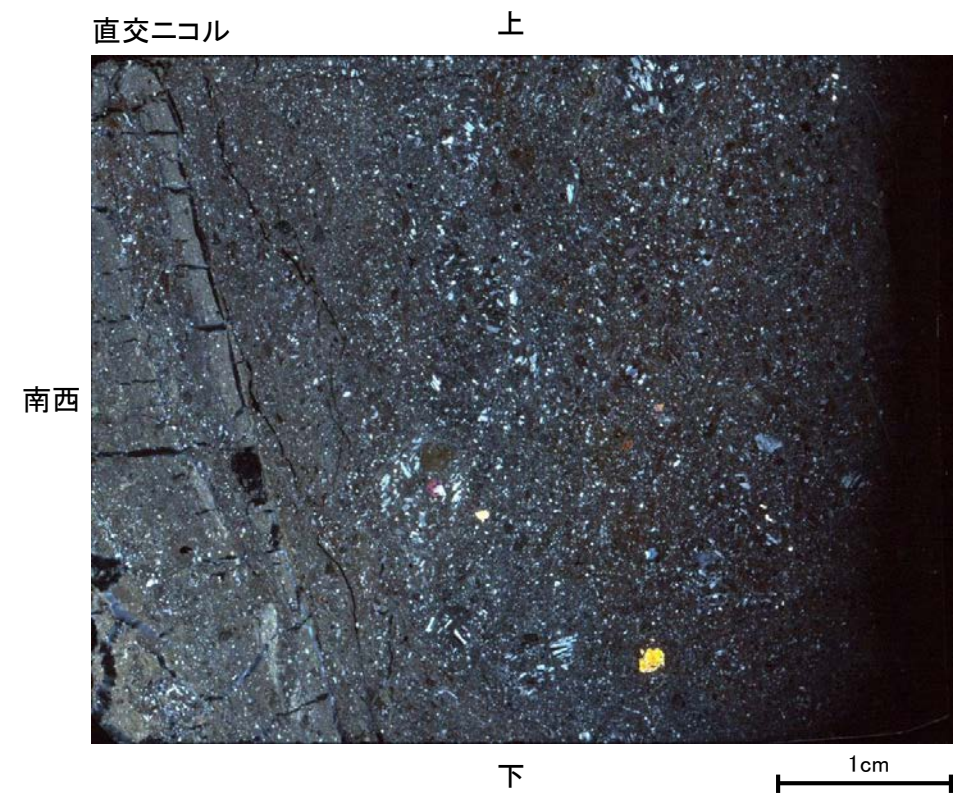
試料採取位置付近(No.21切羽)



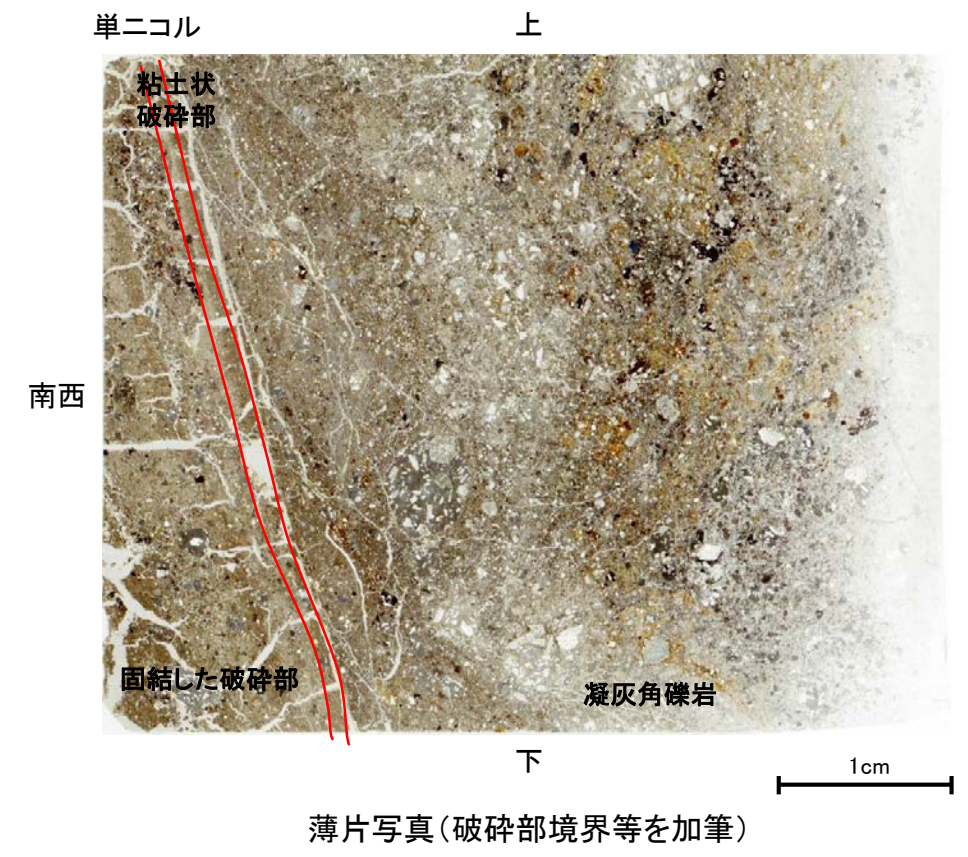
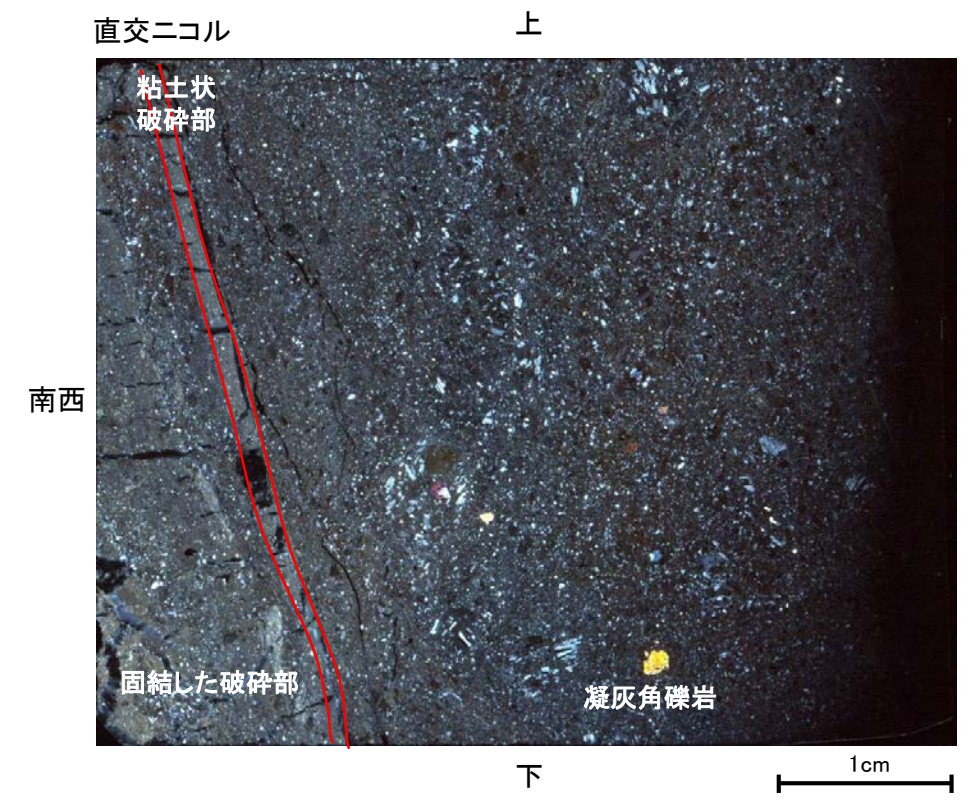
観察面概念図(No.21-1\_60R)



薄片作成位置付近(No.21-1\_60R)



薄片写真

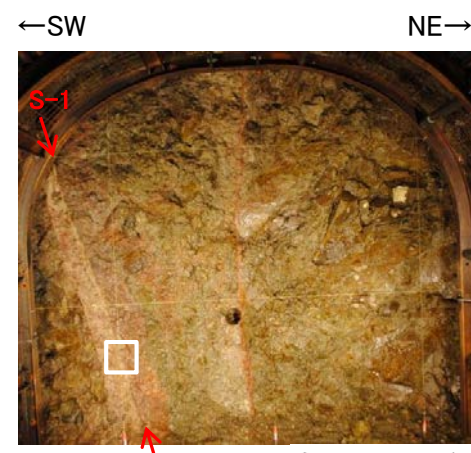


薄片写真(破碎部境界等を加筆)

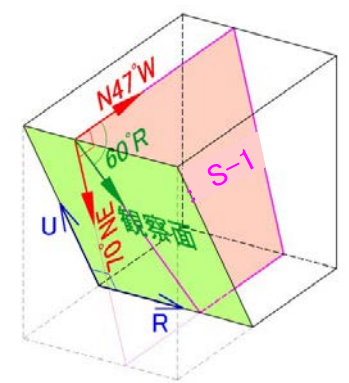
- ・S-1近接部の礫及び基質には、せん断性の割れ目は認められない。
- ・S-1は、凝灰角礫岩の基質の構造を残して粘土化している。



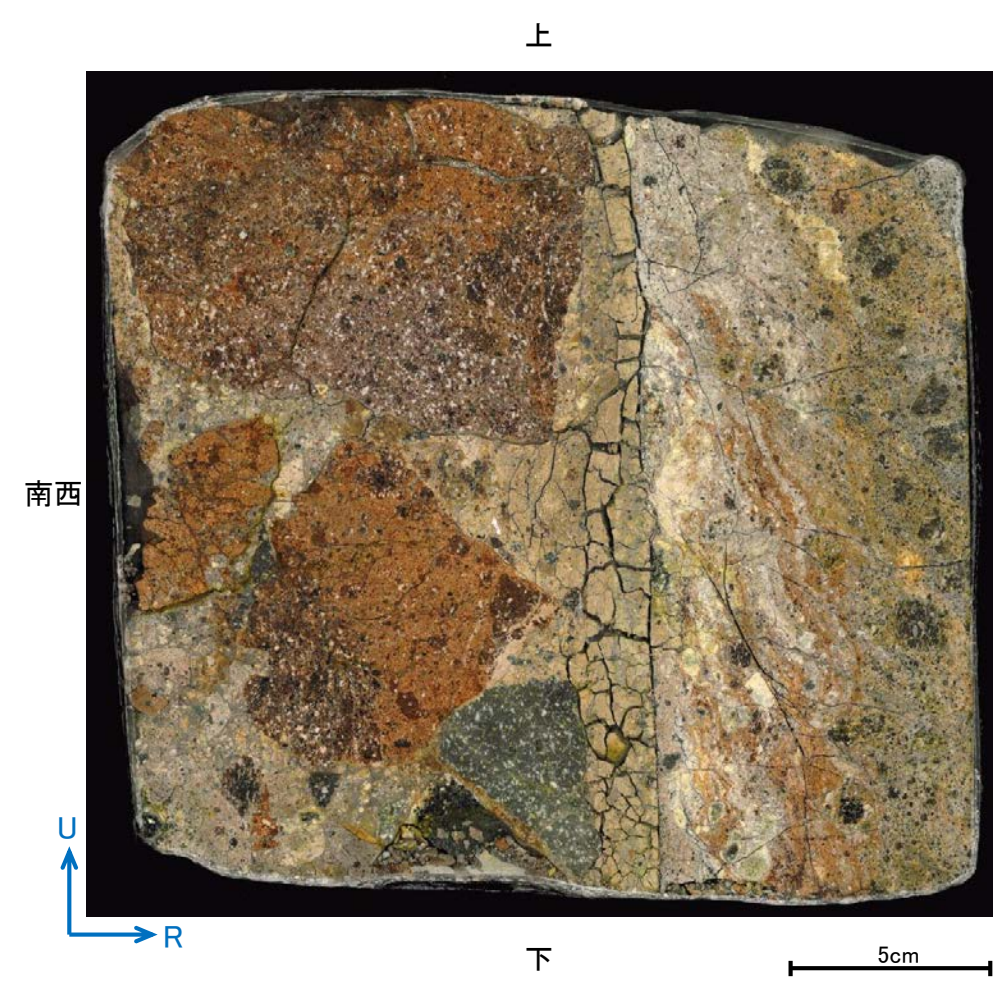
# 研磨面観察結果 —No.21切羽(No.21-2\_60R)—



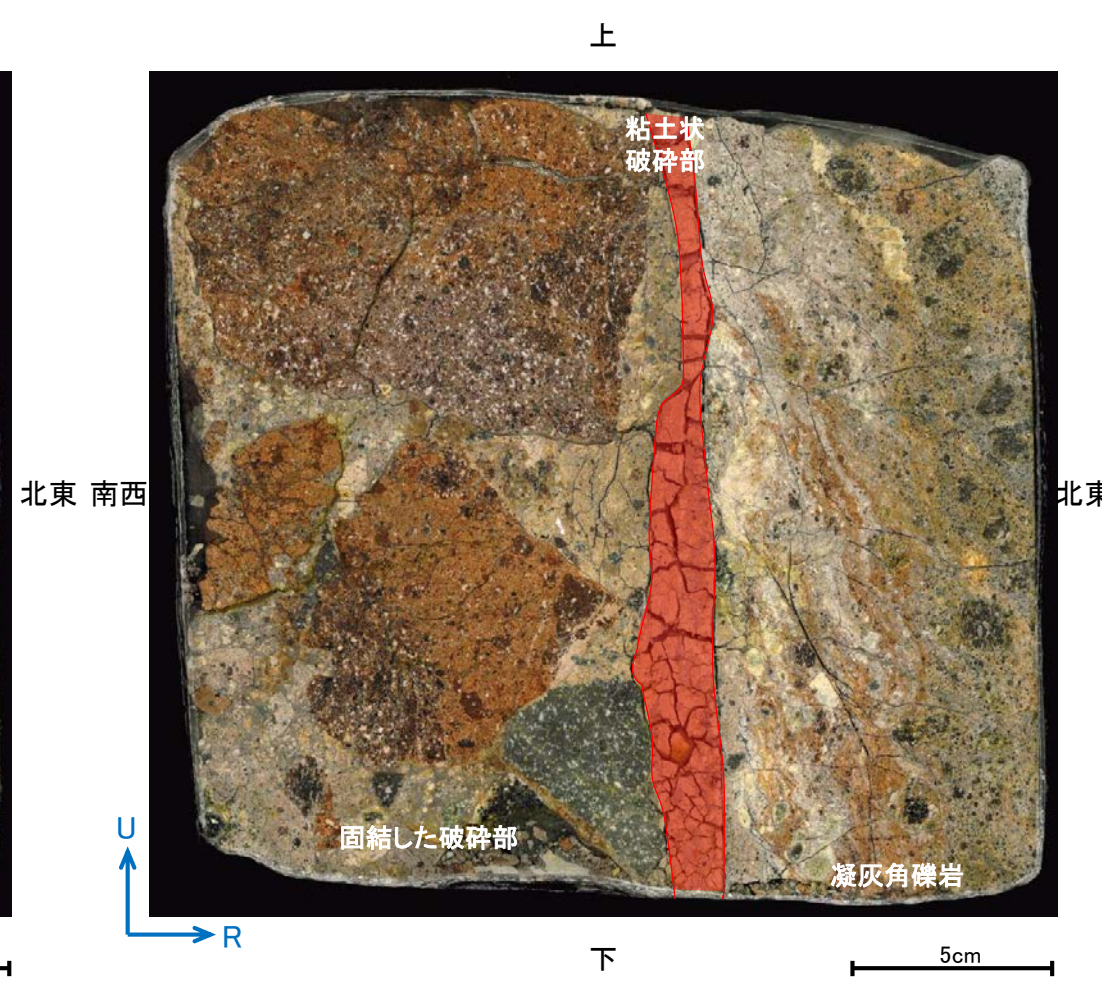
試料採取位置付近(No.21切羽)



観察面概念図(No.21-2\_60R)



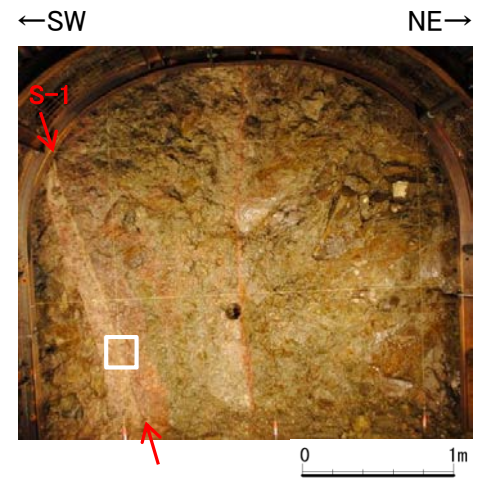
研磨面写真



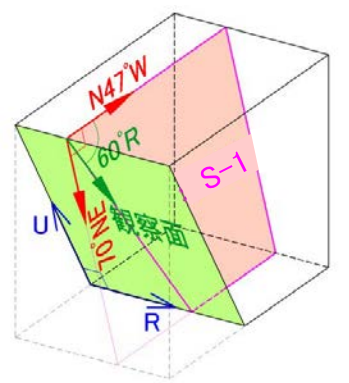
研磨面写真(破碎部境界等を加筆)



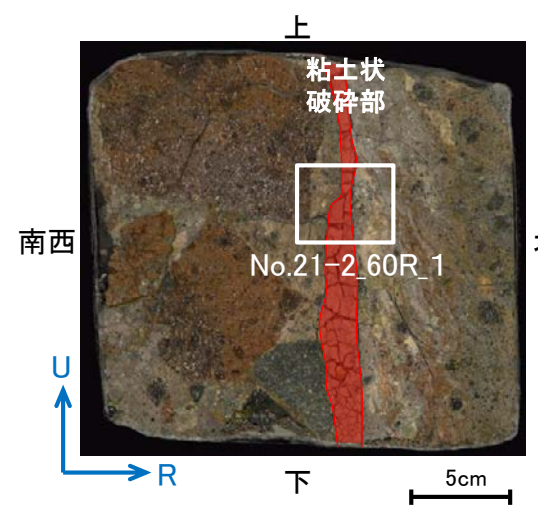
# 薄片観察結果 —No.21切羽(No.21-2\_60R\_1)—



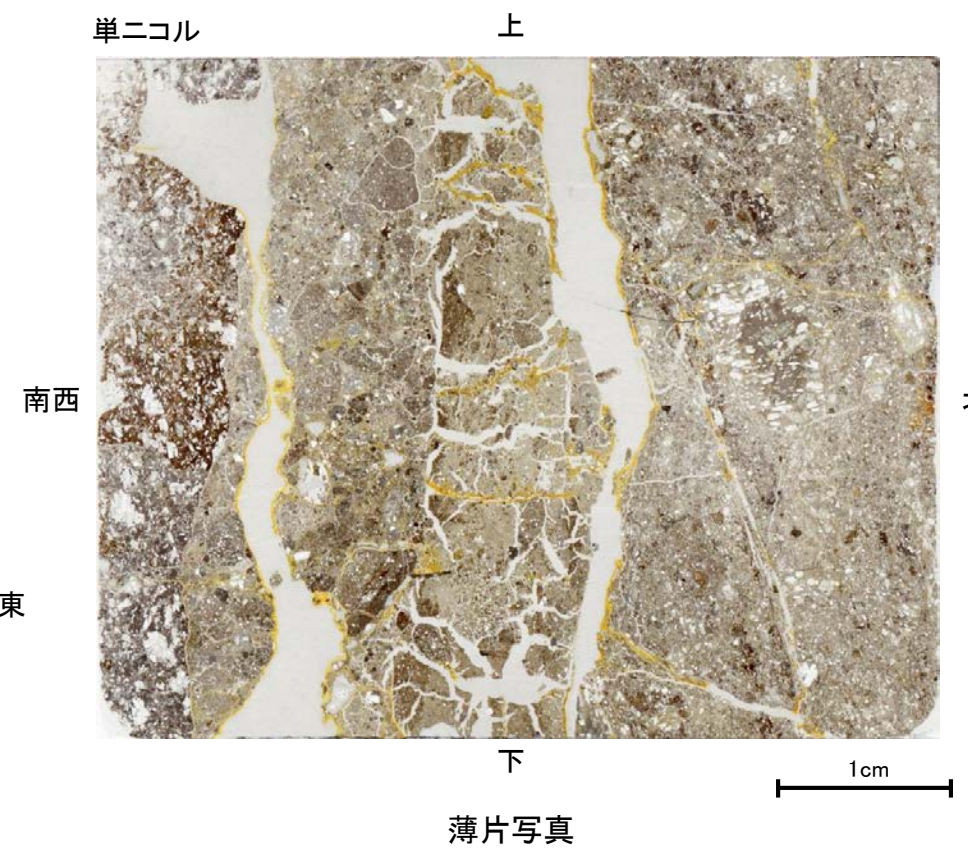
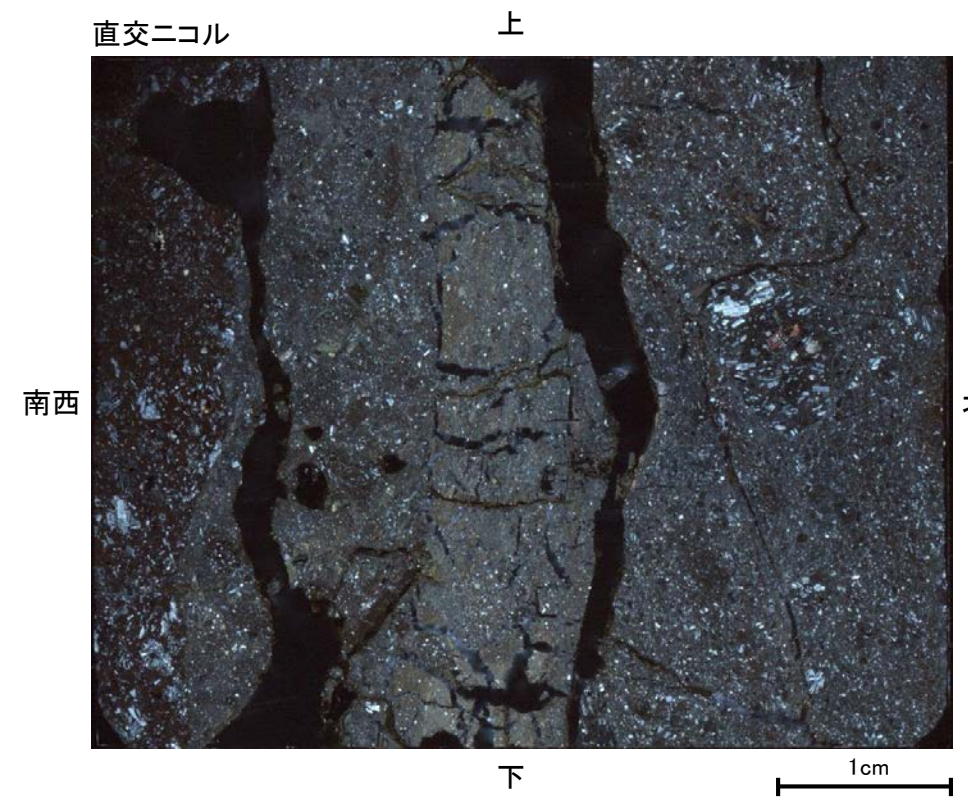
試料採取位置付近(No.21切羽)



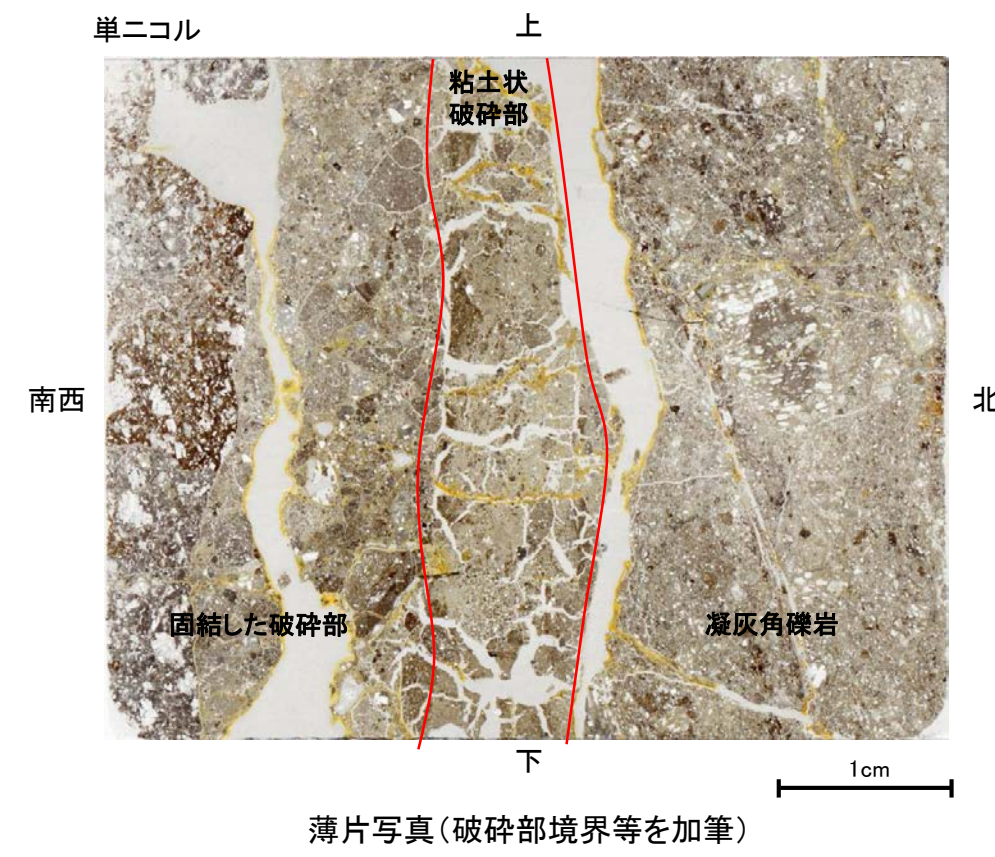
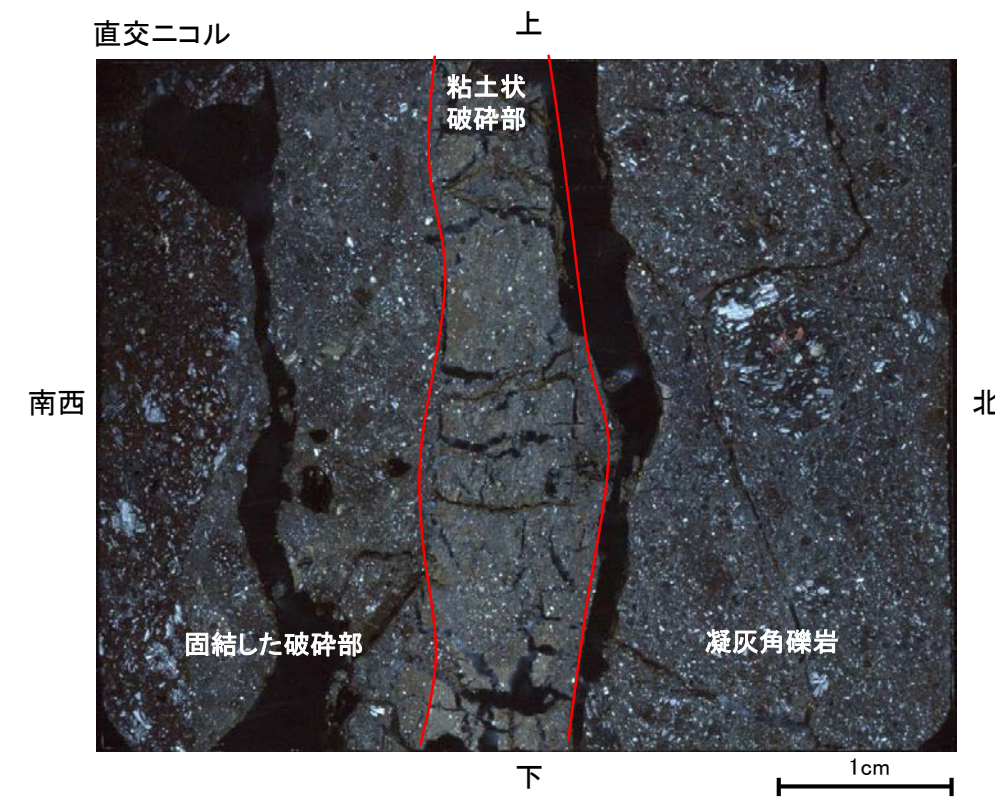
観察面概念図(No.21-2\_60R)



薄片作成位置付近(No.21-2\_60R)



薄片写真

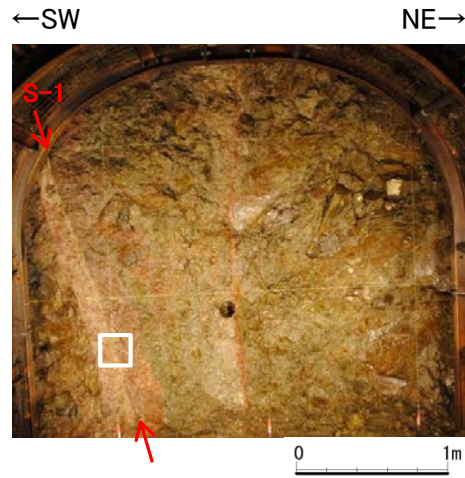


薄片写真(破碎部境界等を加筆)

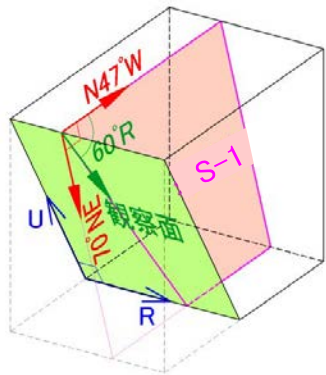
- ・S-1近接部の礫及び基質には、せん断性の割れ目は認められない。
- ・S-1は、凝灰角礫岩の基質の構造を残して粘土化している。



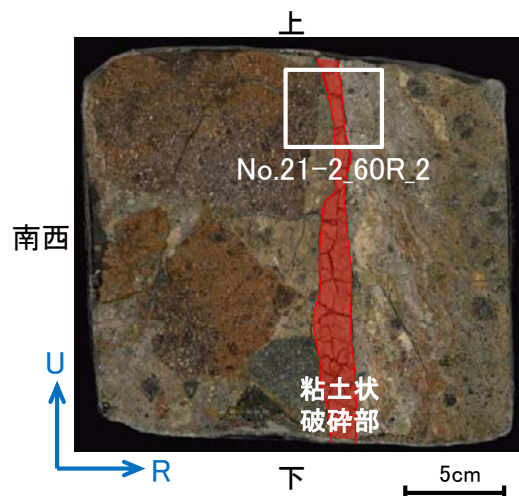
# 薄片観察結果 —No.21切羽(No.21-2\_60R\_2)—



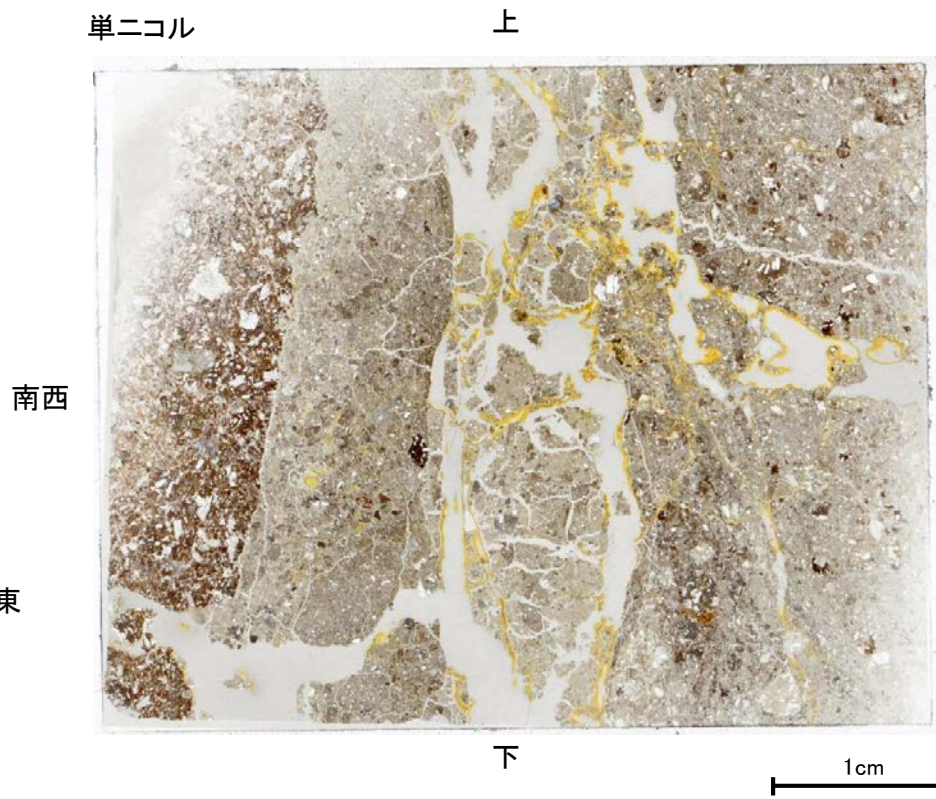
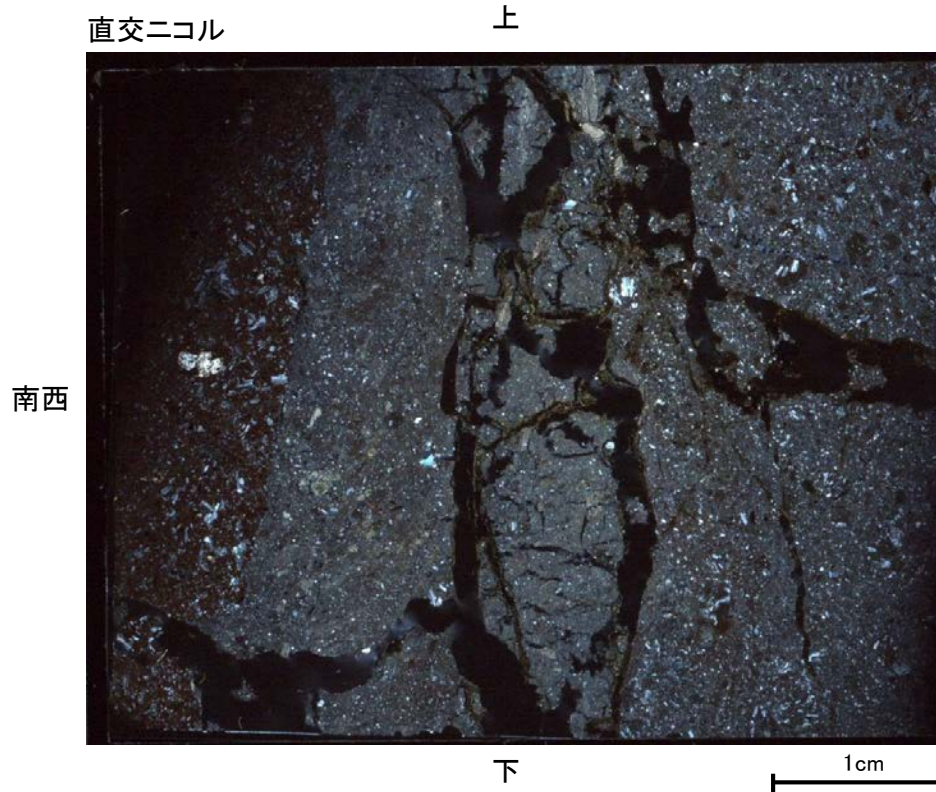
試料採取位置付近(No.21切羽)



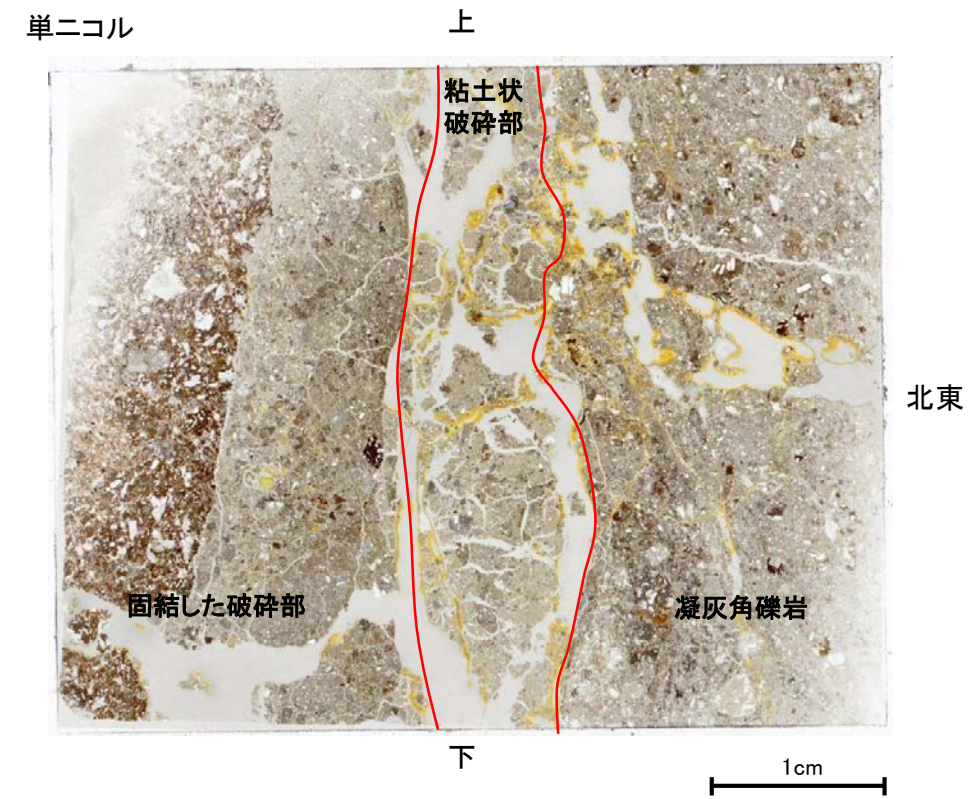
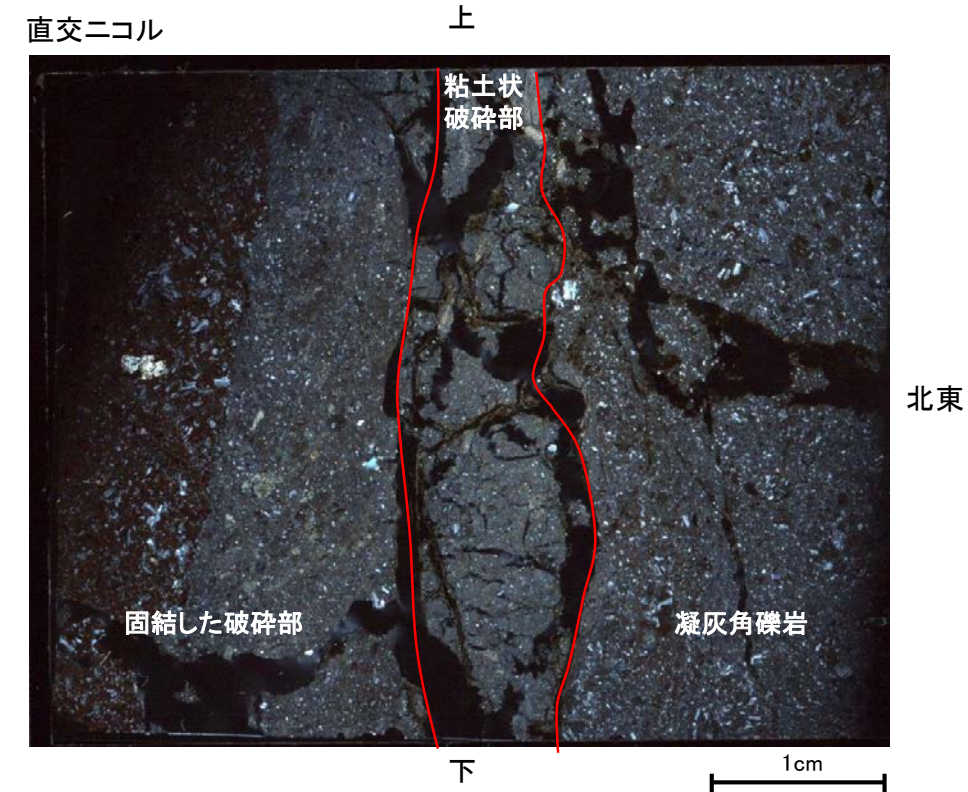
観察面概念図(No.21-2\_60R)



薄片作成位置付近(No.21-2\_60R)



薄片写真

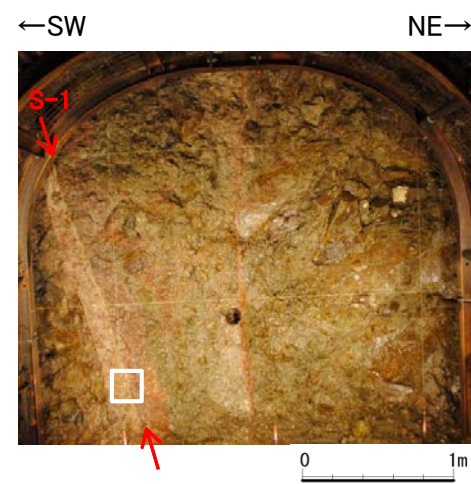


薄片写真(破碎部境界等を加筆)

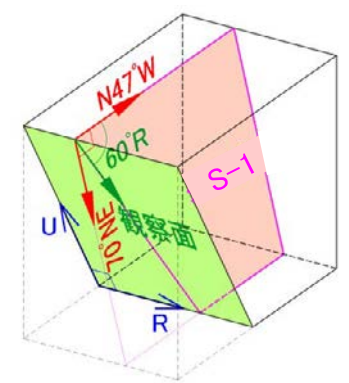
- ・S-1近接部の礫及び基質には、せん断性の割れ目は認められない。
- ・S-1は、凝灰角礫岩の基質の構造を残して粘土化している。



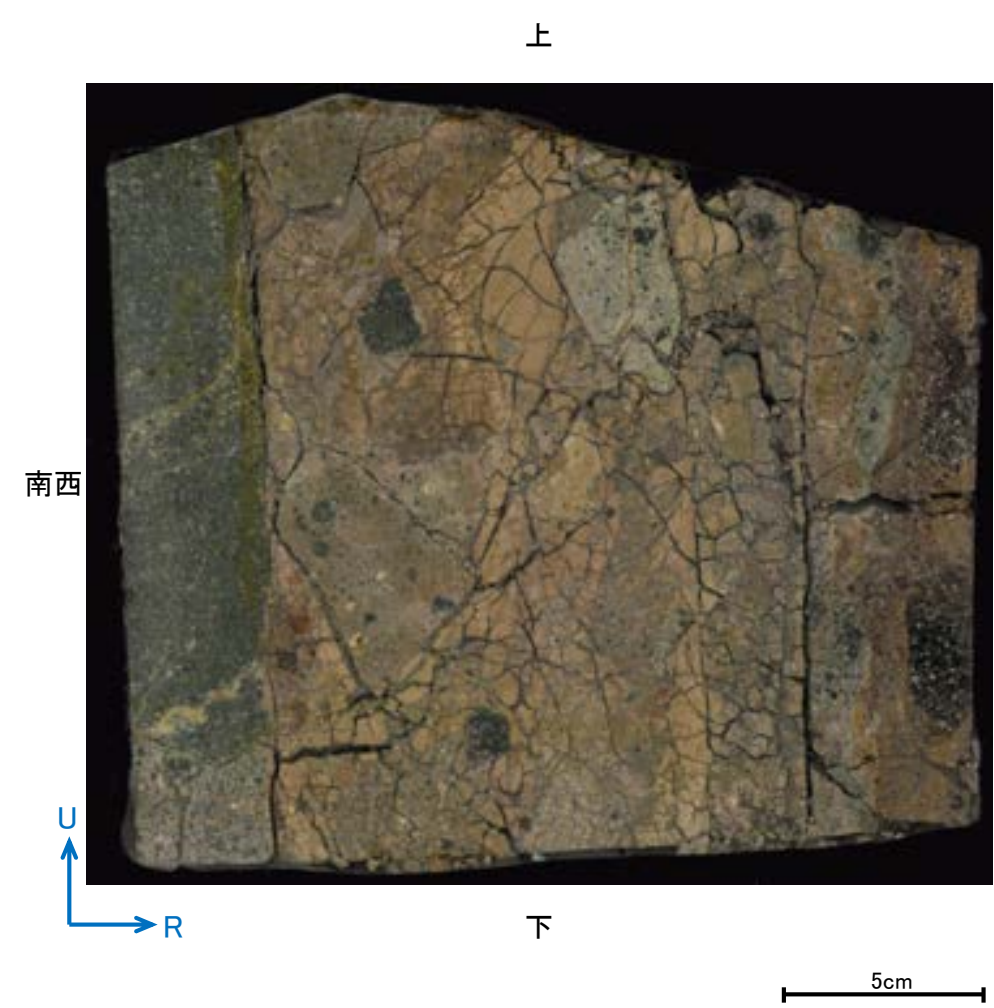
# 研磨面観察結果 —No.21切羽(No.21-3\_60R)—



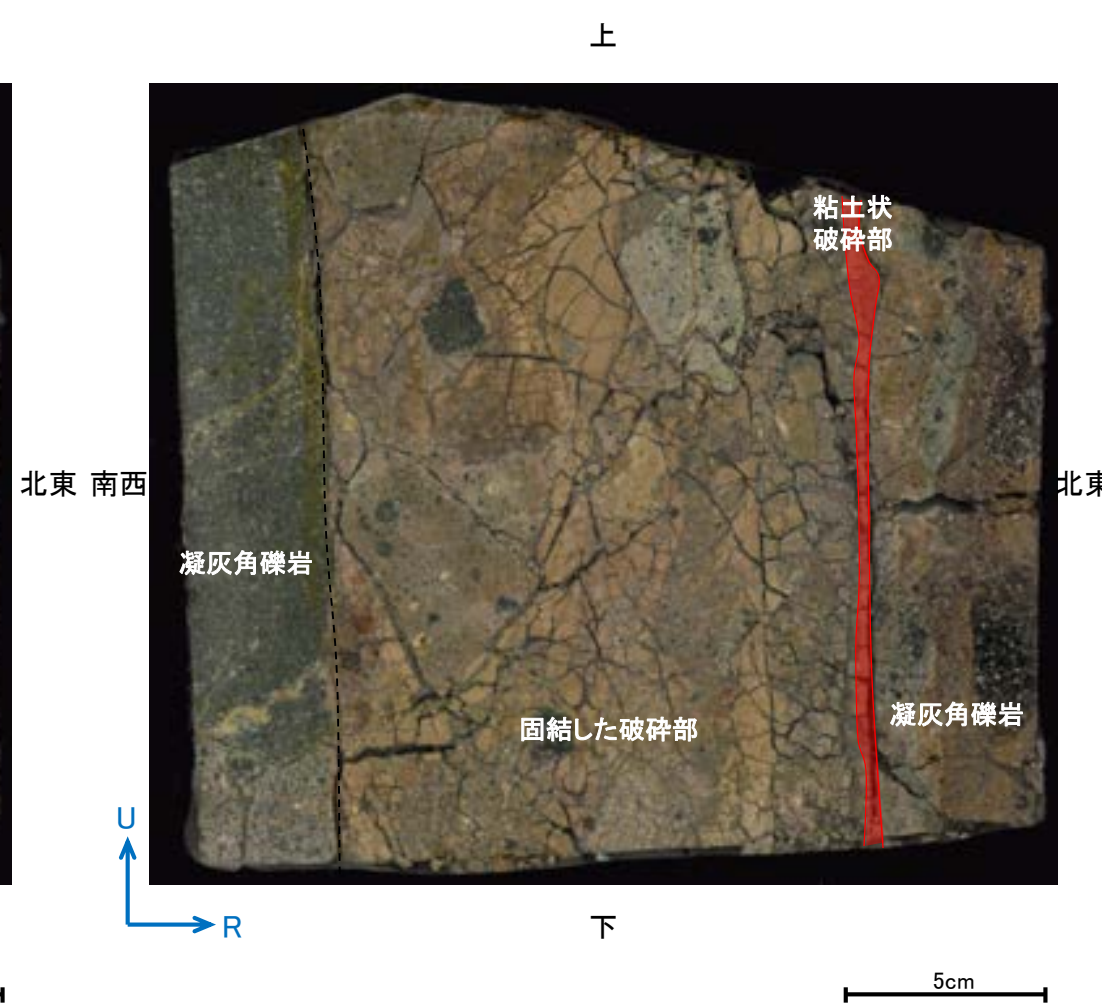
試料採取位置付近(No.21切羽)



観察面概念図(No.21-3\_60R)



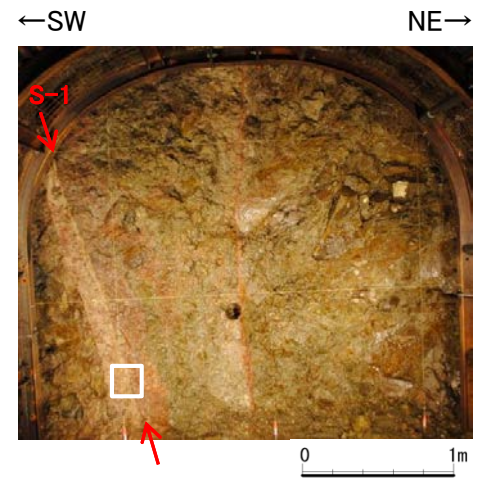
研磨面写真



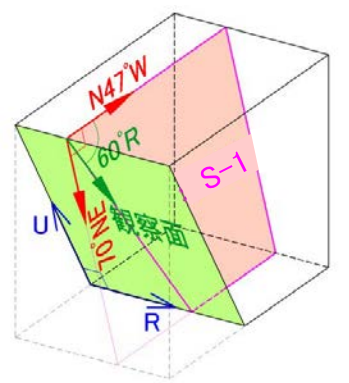
研磨面写真(破砕部境界等を加筆)



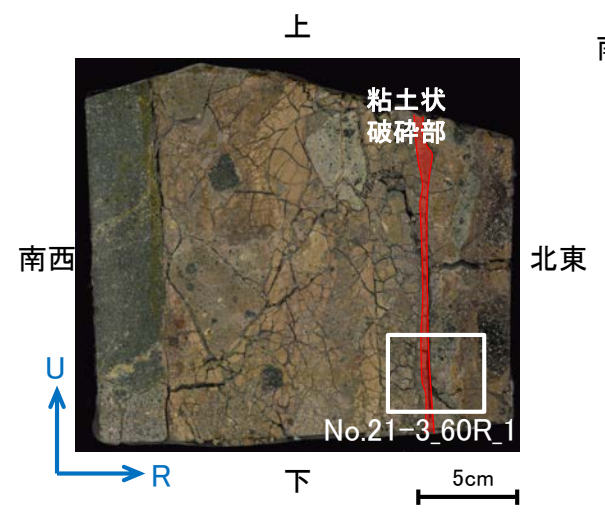
# 薄片観察結果 —No.21切羽(No.21-3\_60R\_1)—



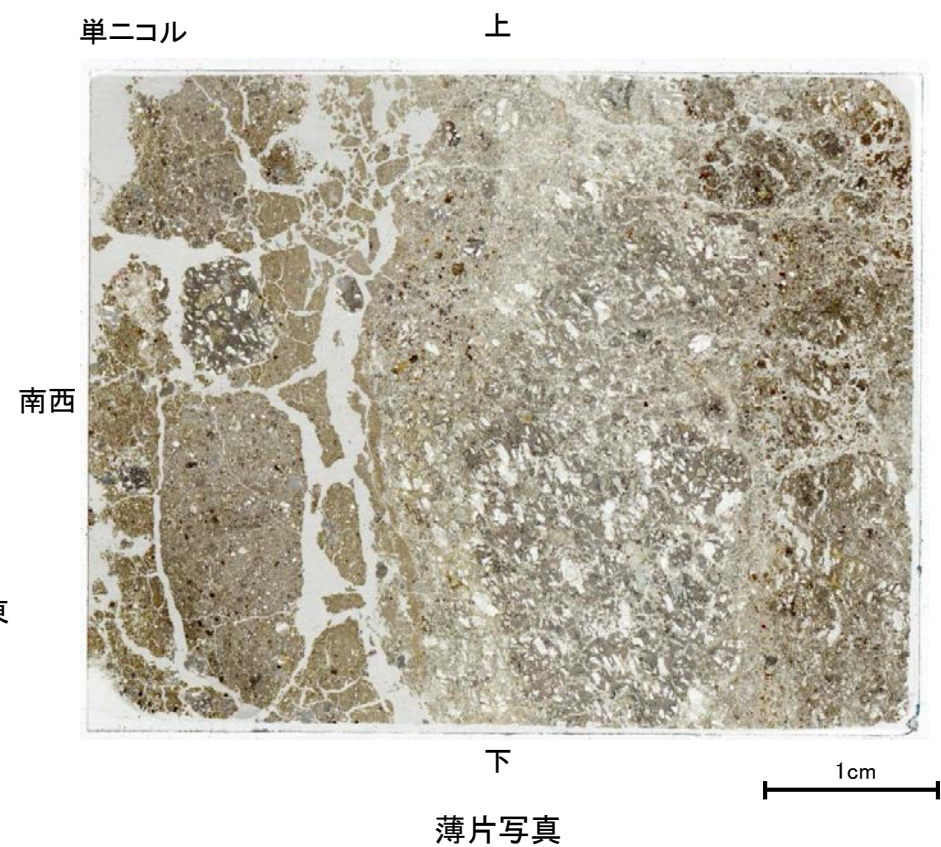
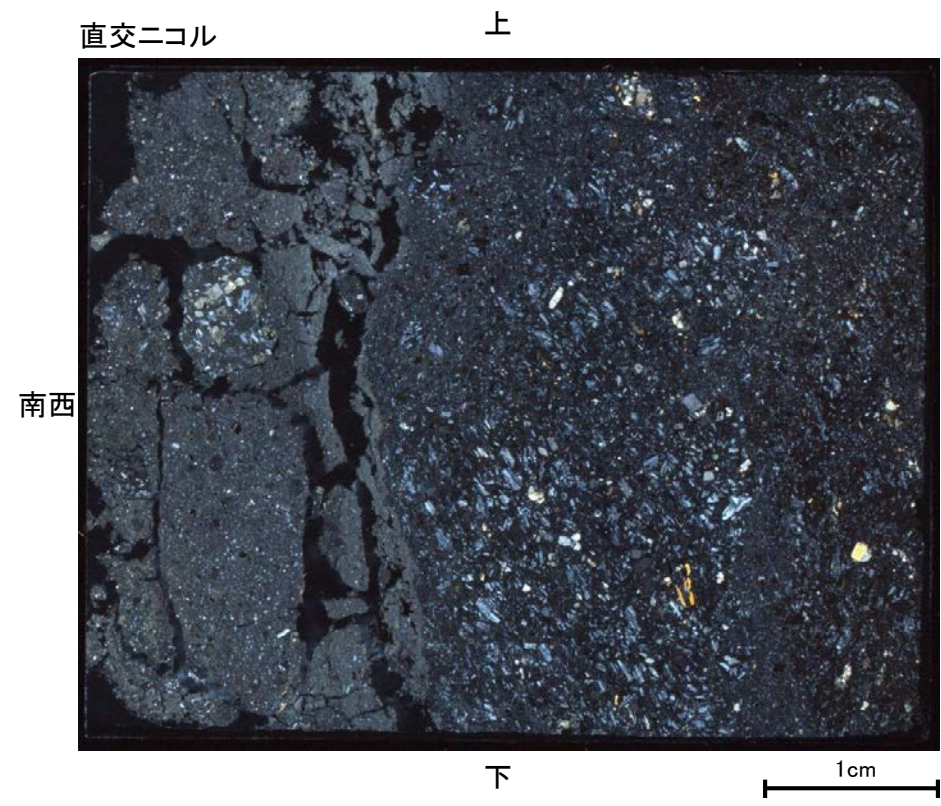
試料採取位置付近(No.21切羽)



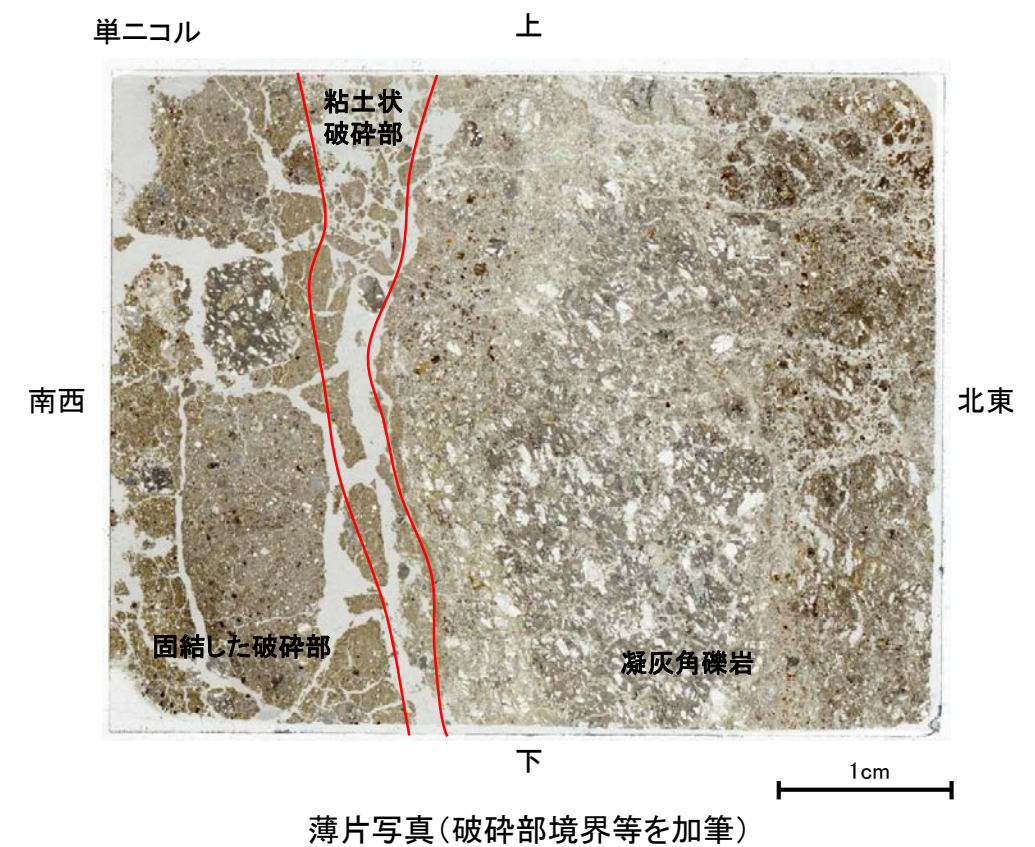
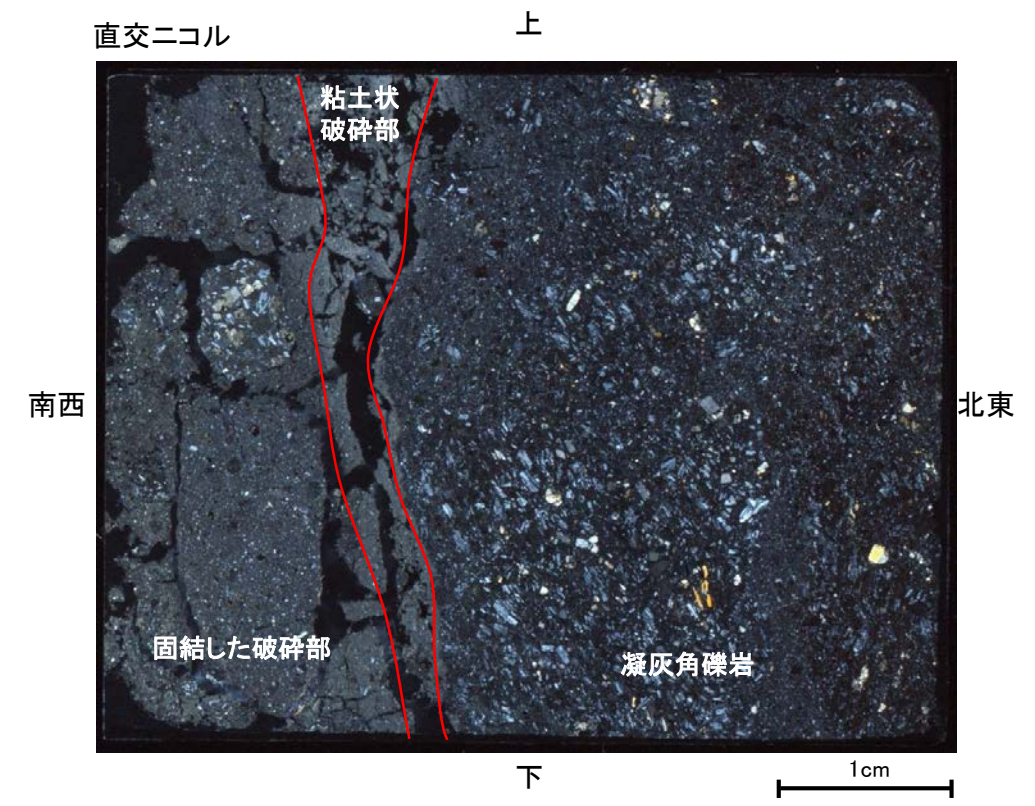
観察面概念図(No.21-3\_60R)



薄片作成位置付近(No.21-3\_60R)



薄片写真

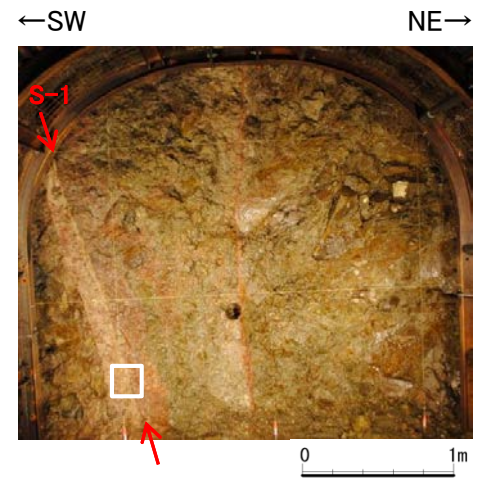


薄片写真(破碎部境界等を加筆)

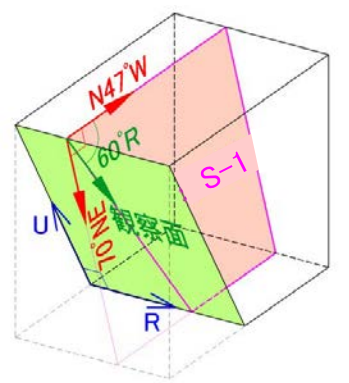
- ・S-1近接部の礫及び基質には、せん断性の割れ目は認められない。
- ・S-1は、凝灰角礫岩の基質の構造を残して粘土化している。



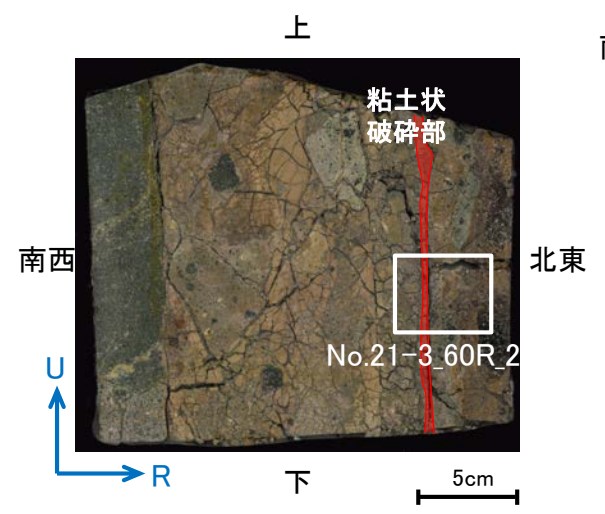
# 薄片観察結果 —No.21切羽(No.21-3\_60R\_2)—



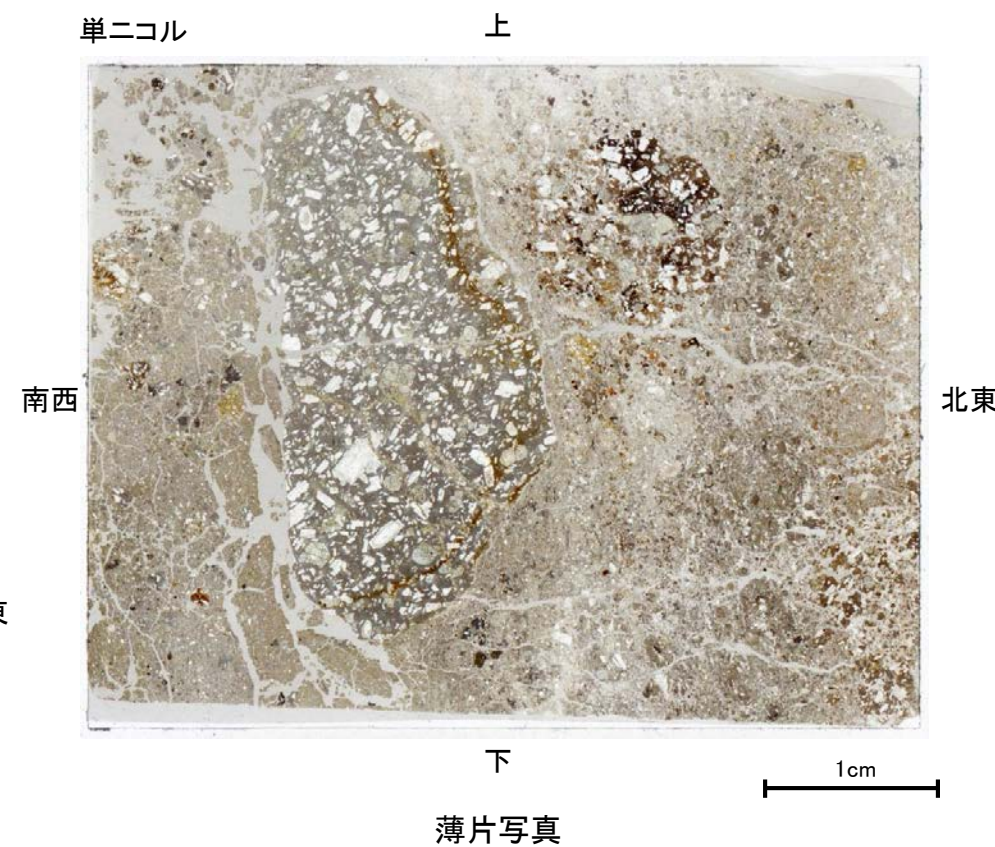
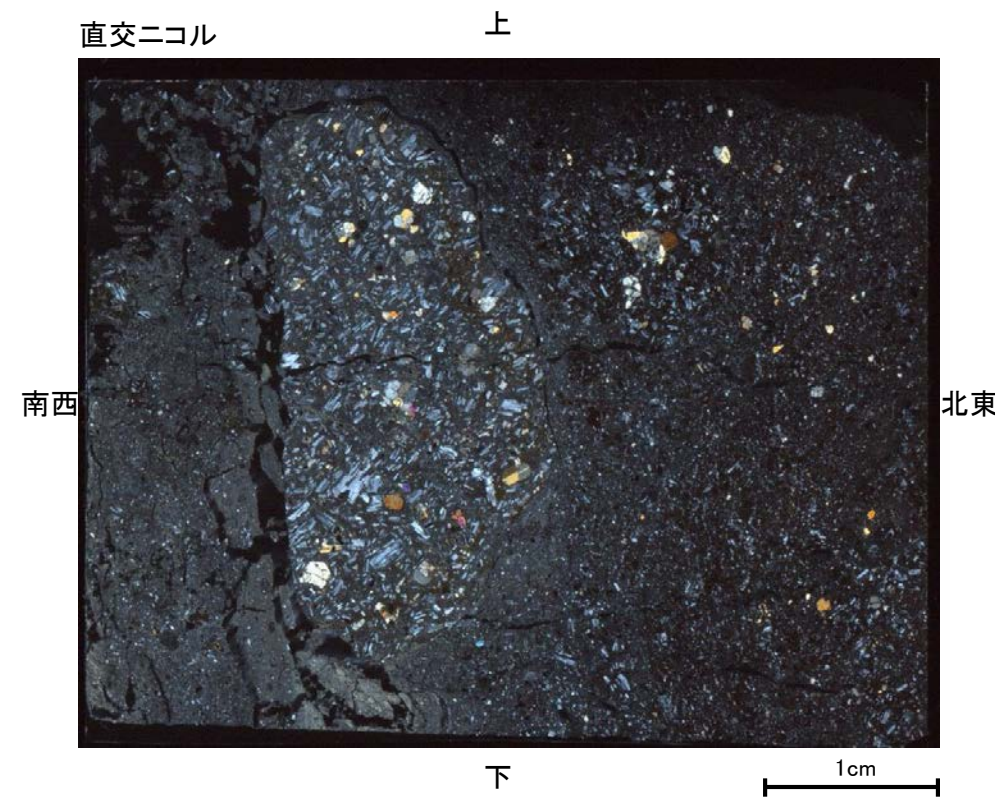
試料採取位置付近(No.21切羽)



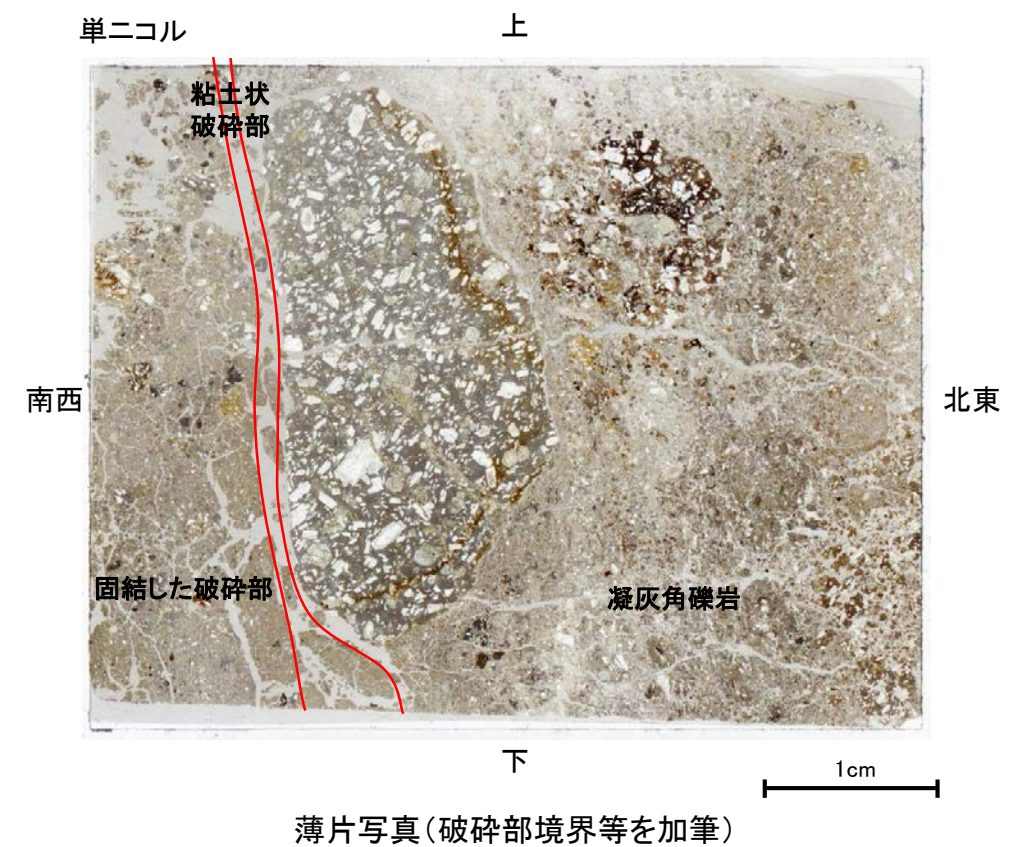
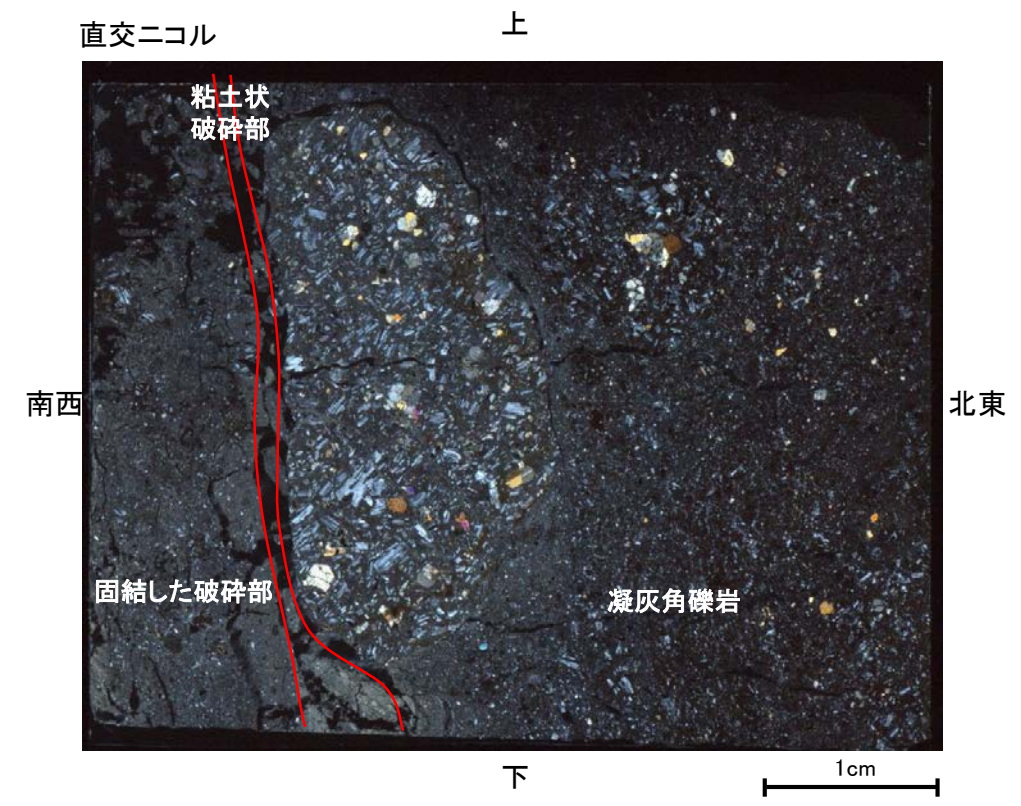
観察面概念図(No.21-3\_60R)



薄片作成位置付近(No.21-3\_60R)



薄片写真

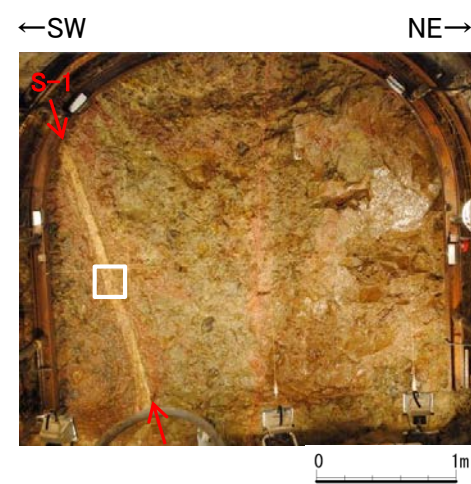


薄片写真(破碎部境界等を加筆)

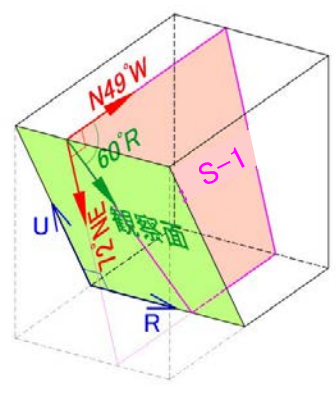
- ・S-1近接部の礫及び基質には、せん断性の割れ目は認められない。
- ・S-1は、凝灰角礫岩の基質の構造を残して粘土化している。



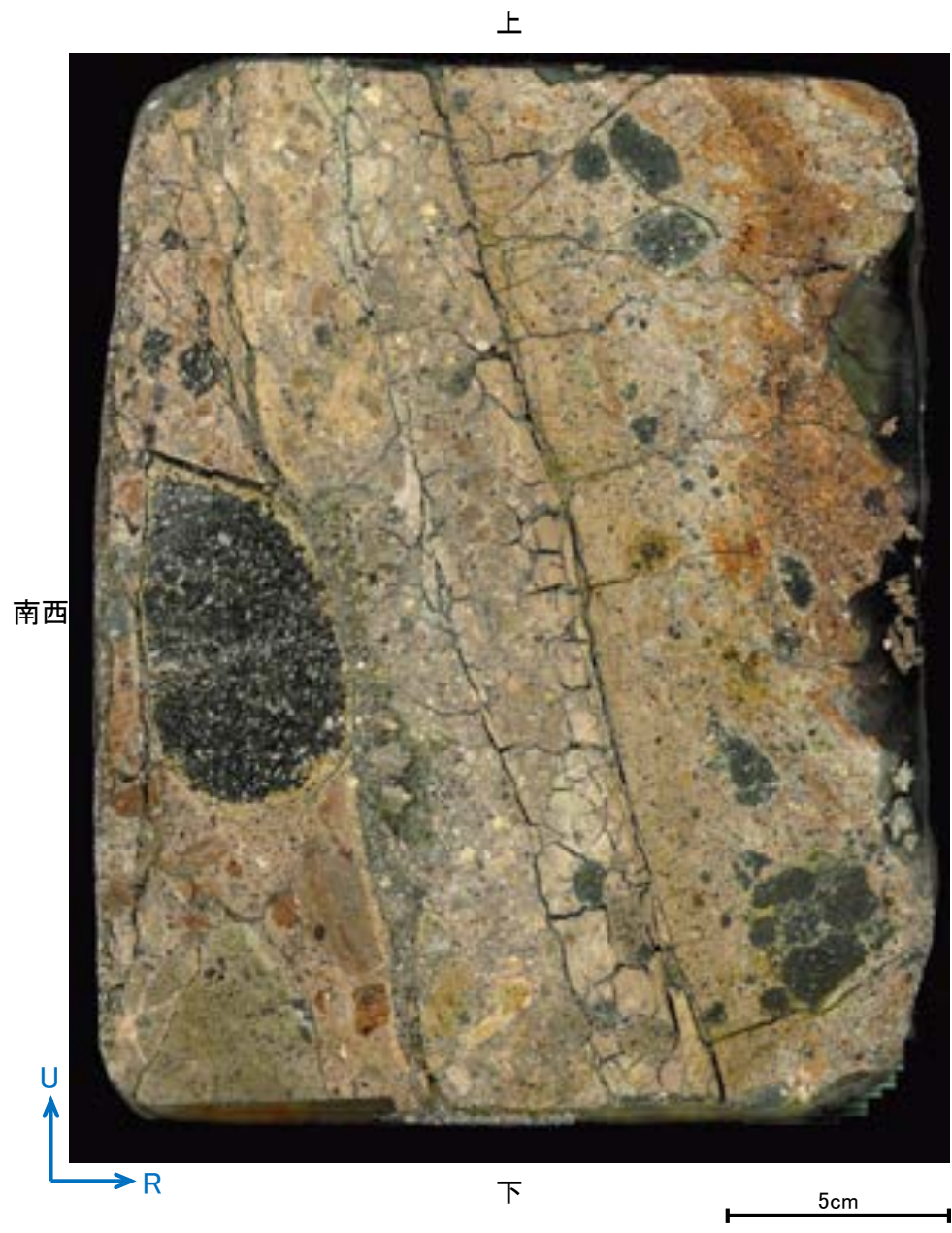
# 研磨面観察結果 —No.23切羽(No.23-1\_60R)—



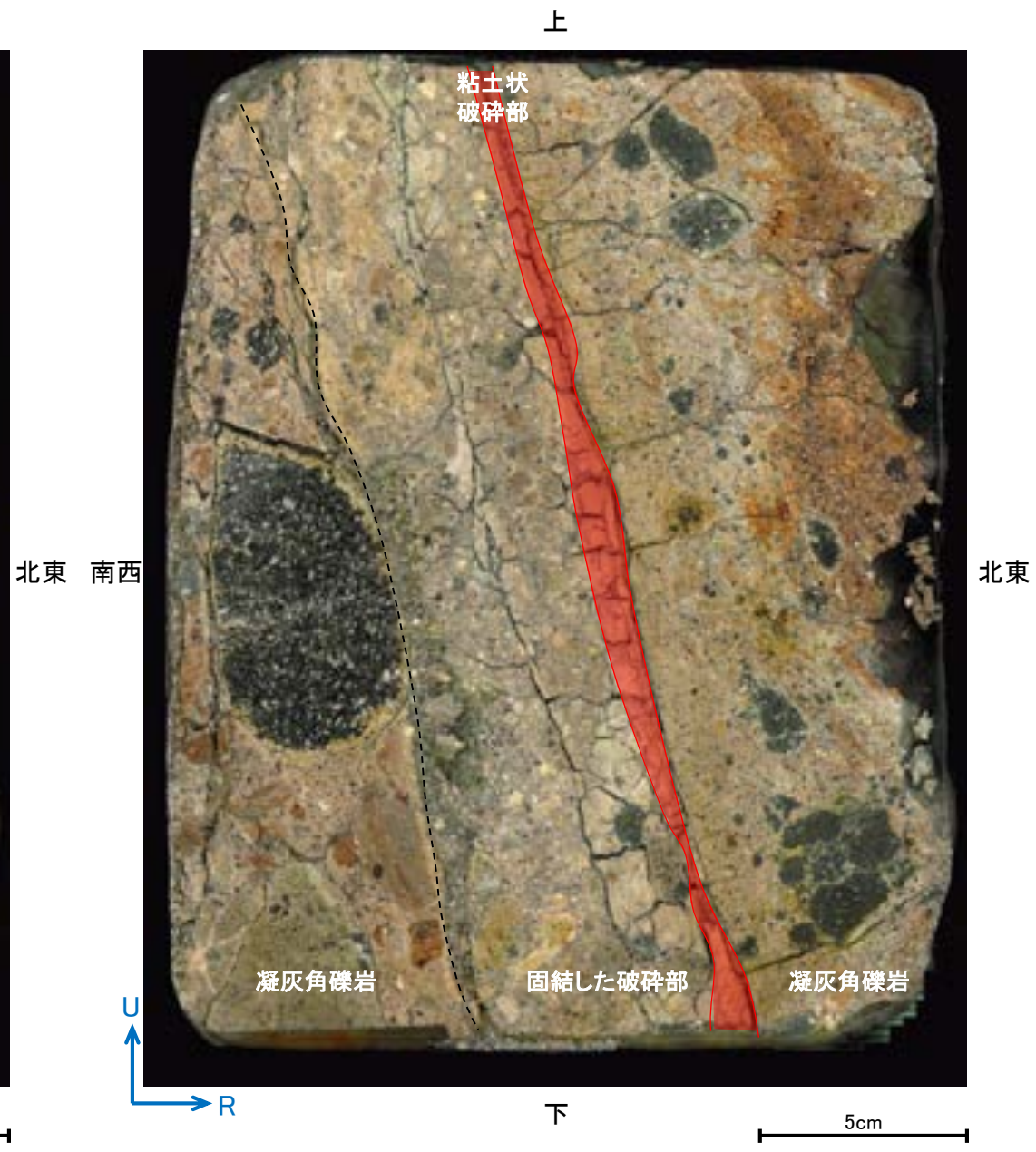
試料採取位置付近(No.23切羽)



観察面概念図(No.23-1\_60R)



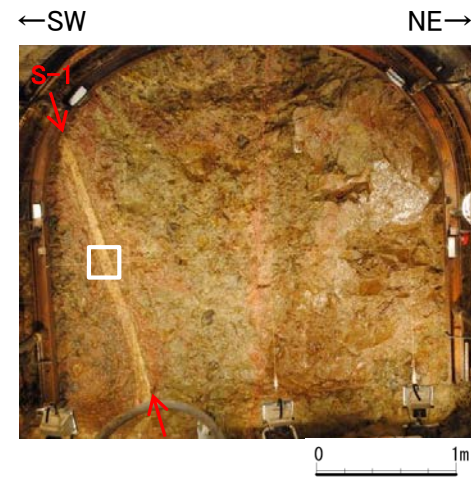
研磨面写真



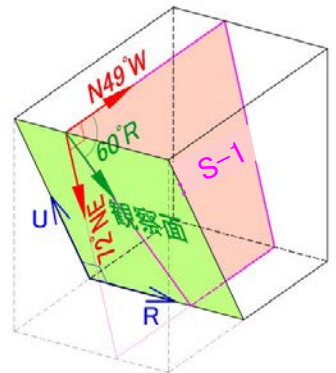
研磨面写真(破碎部境界等を加筆)



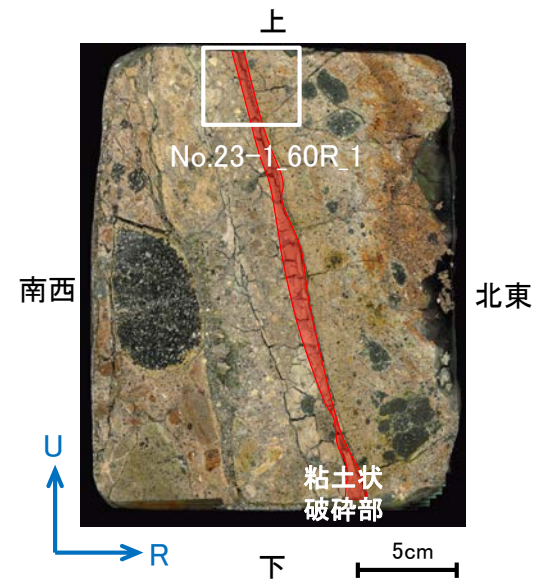
# 薄片観察結果 —No.23切羽(No.23-1\_60R\_1)—



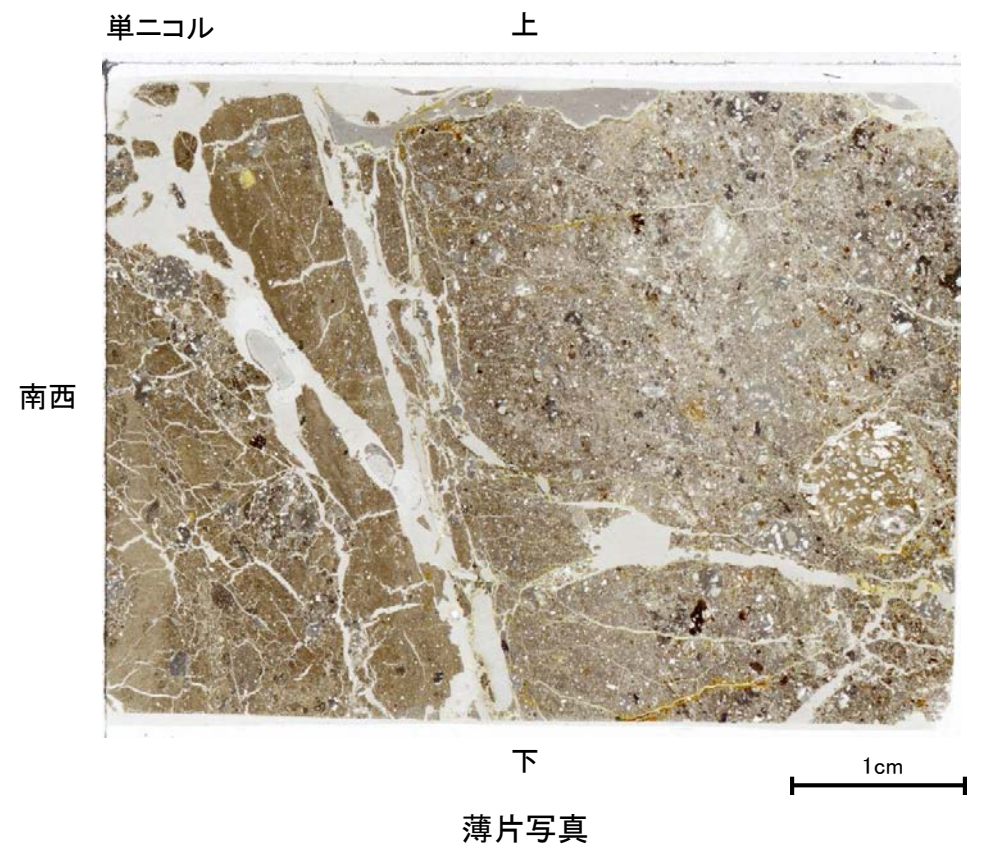
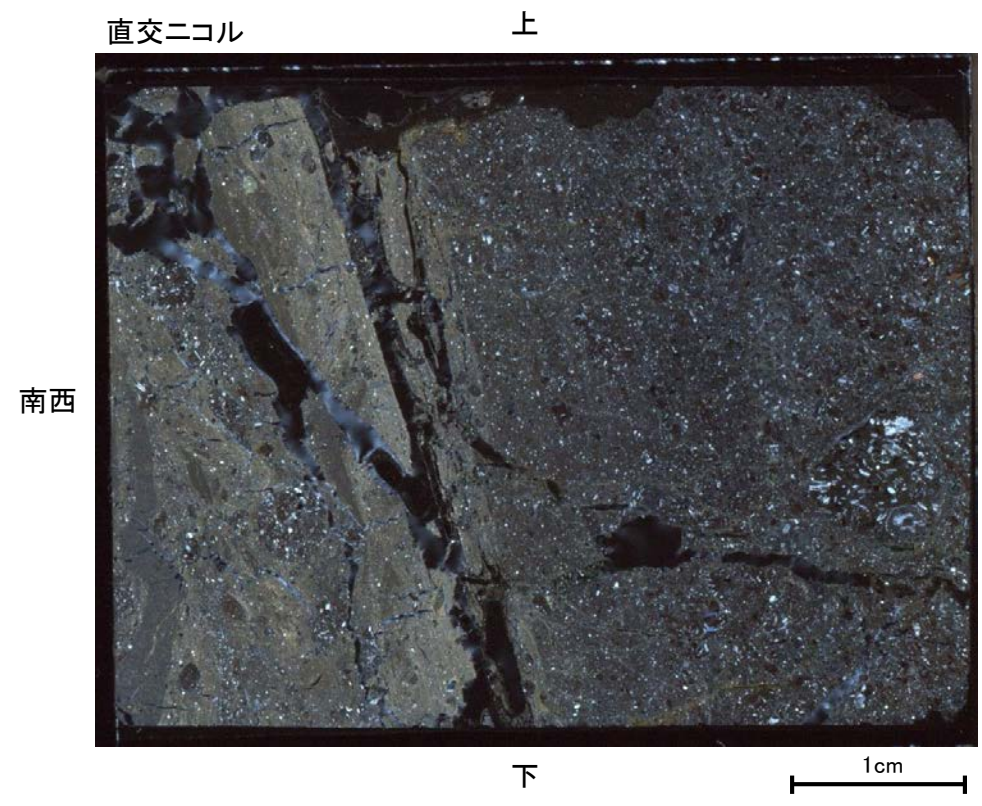
試料採取位置付近(No.23切羽)



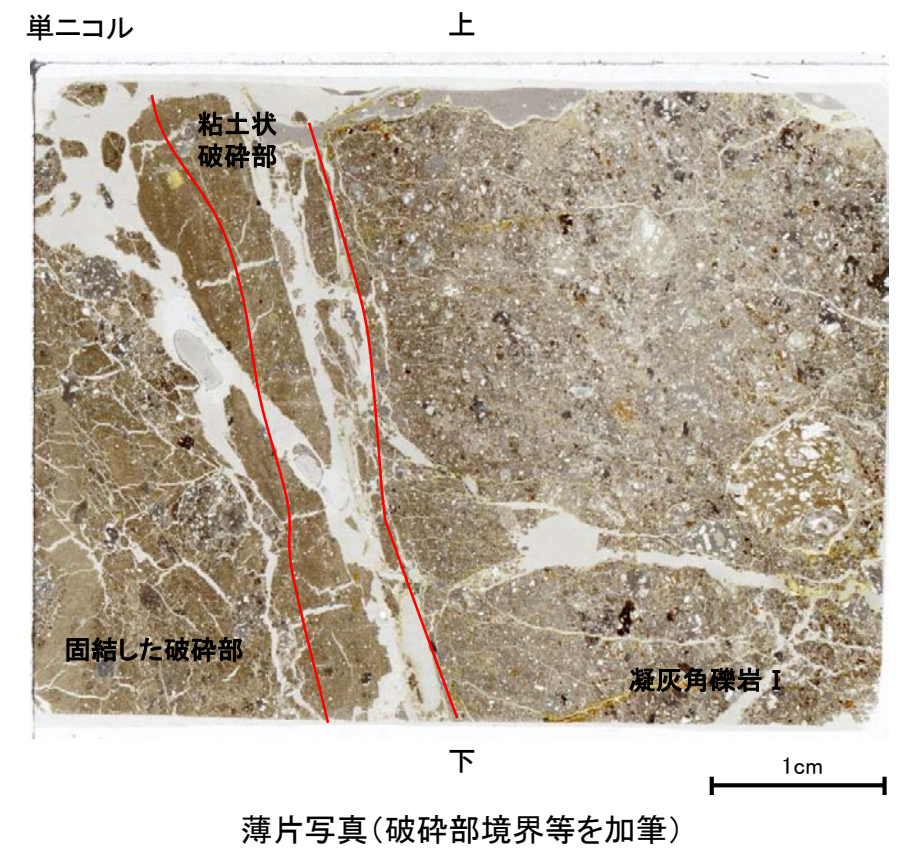
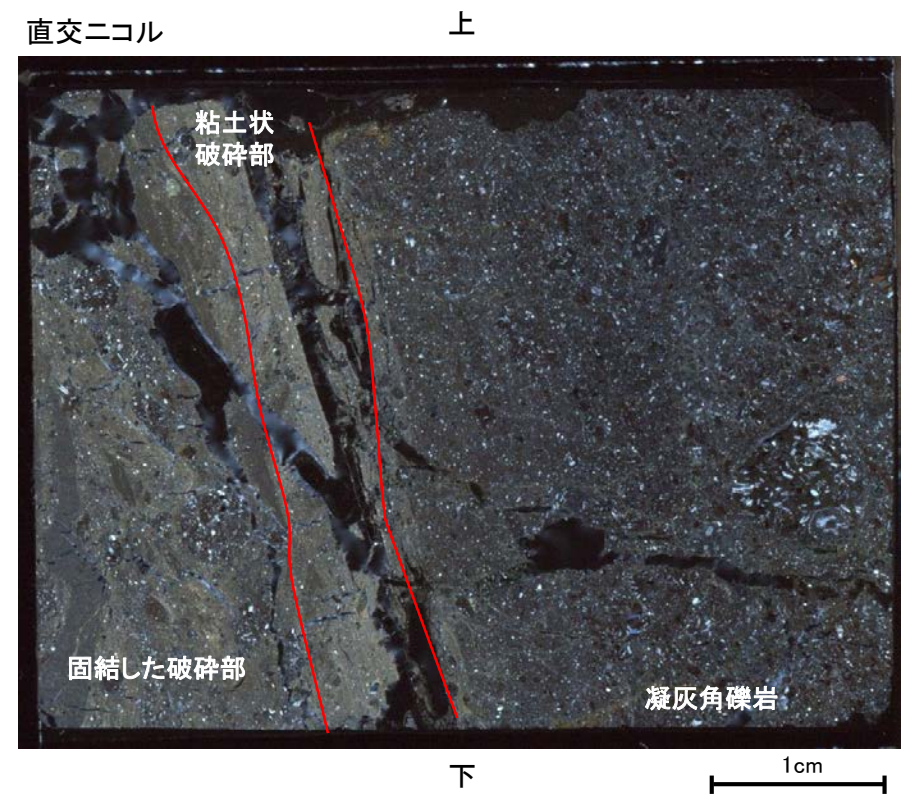
観察面概念図(No.23-1\_60R)



薄片作成位置付近(No.23-1\_60R)



薄片写真

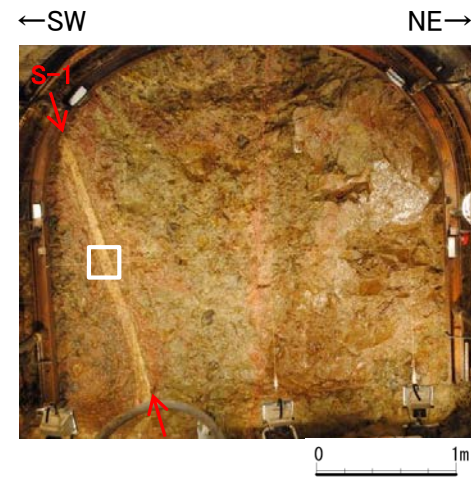


薄片写真(破砕部境界等を加筆)

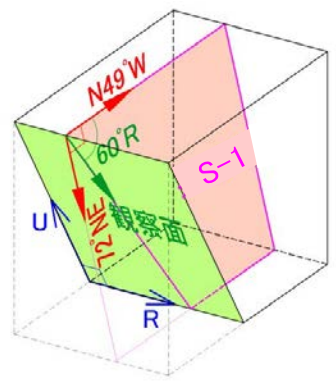
・S-1近接部の礫及び基質には、せん断性の割れ目は認められない。  
 ・S-1は、凝灰角礫岩の基質の構造を残して粘土化している。



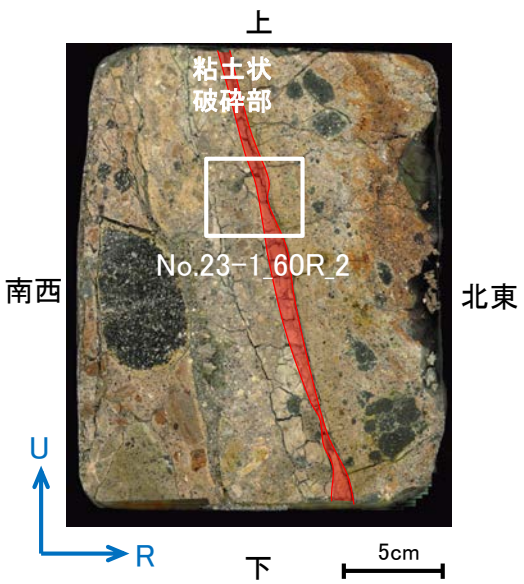
# 薄片観察結果 —No.23切羽(No.23-1\_60R\_2)—



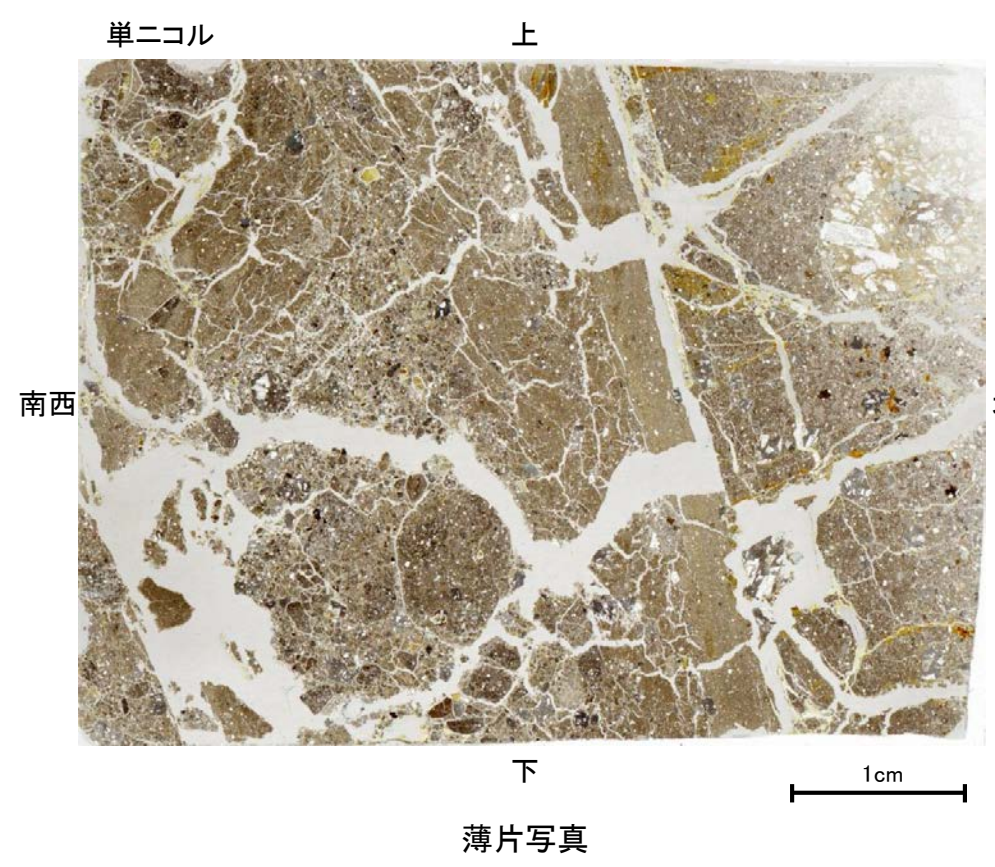
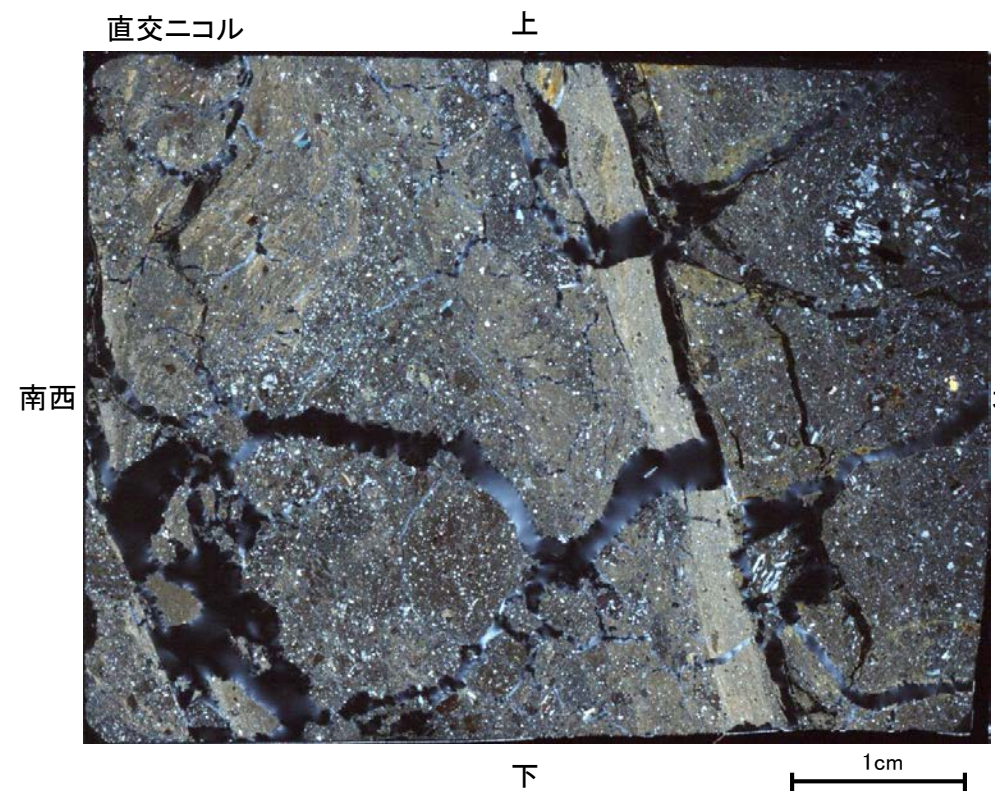
試料採取位置付近(No.23切羽)



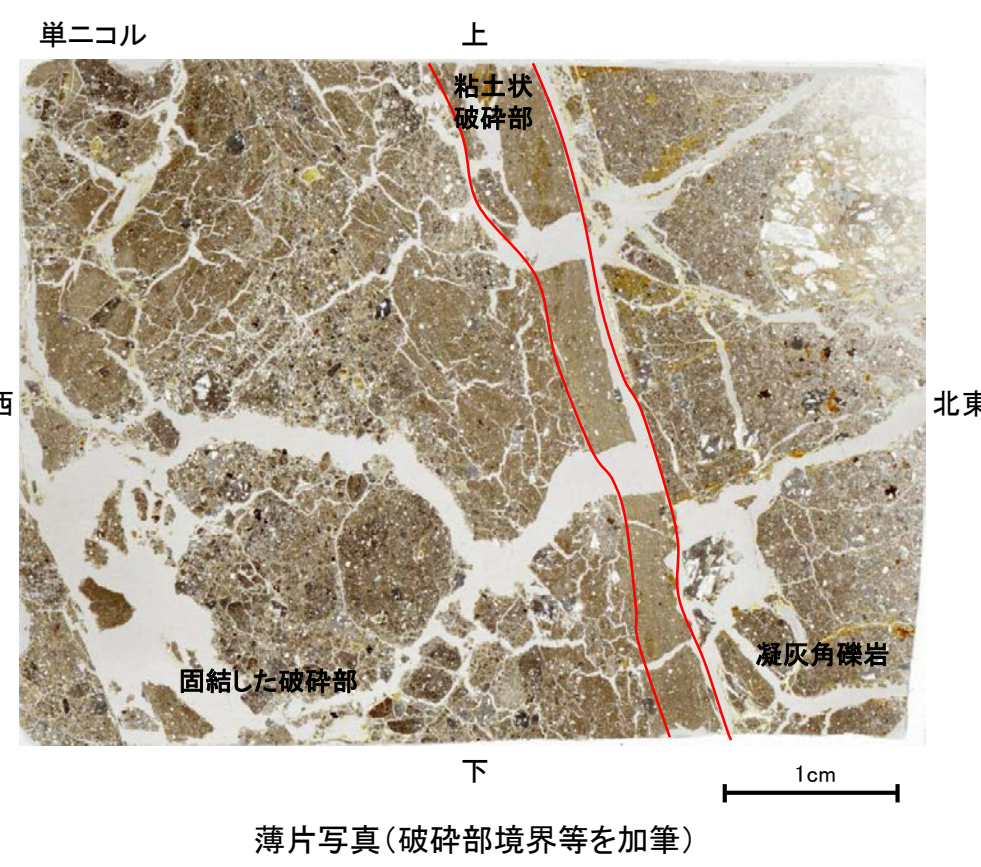
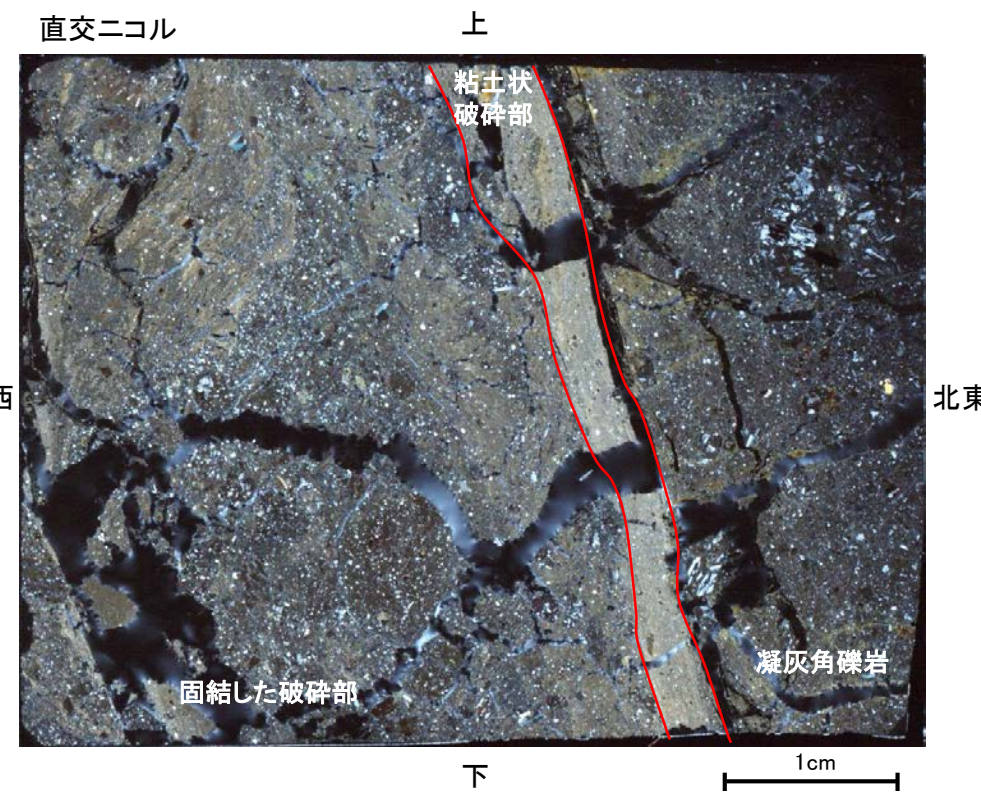
観察面概念図(No.23-1\_60R)



薄片作成位置付近(No.23-1\_60R)



薄片写真

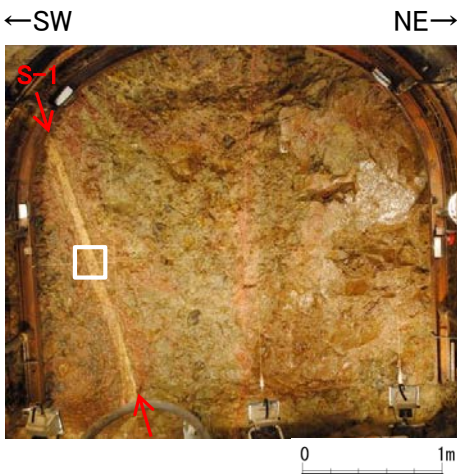


薄片写真(破砕部境界等を加筆)

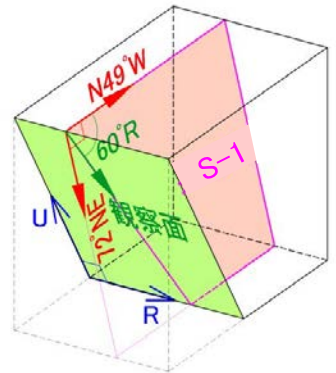
- ・S-1近接部の礫及び基質には、せん断性の割れ目は認められない。
- ・S-1は、凝灰角礫岩の基質の構造を残して粘土化している。



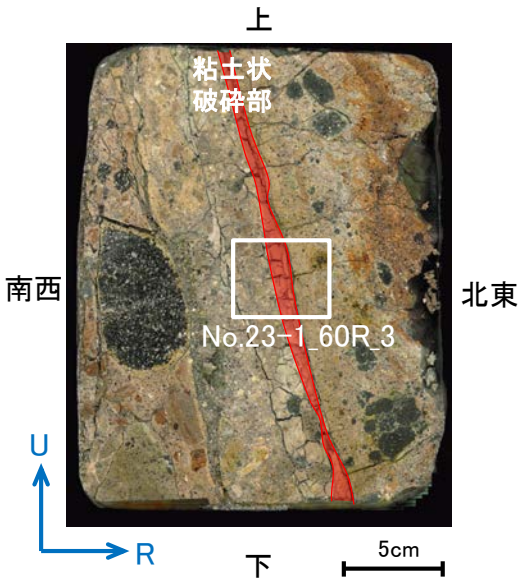
# 薄片観察結果 —No.23切羽(No.23-1\_60R\_3)—



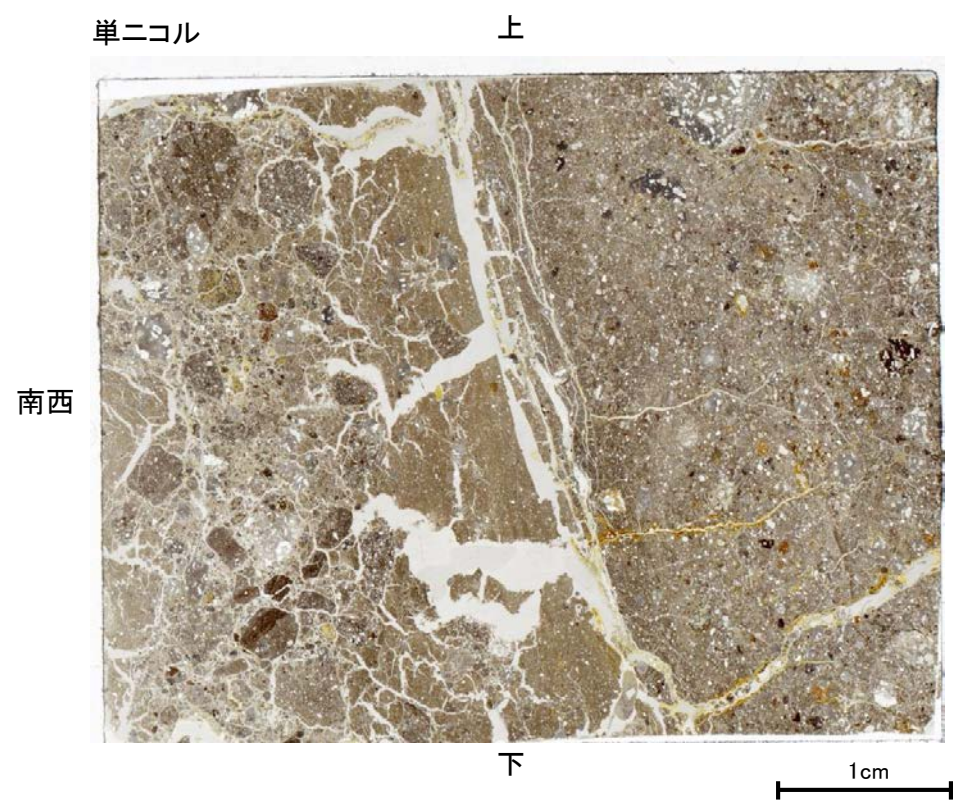
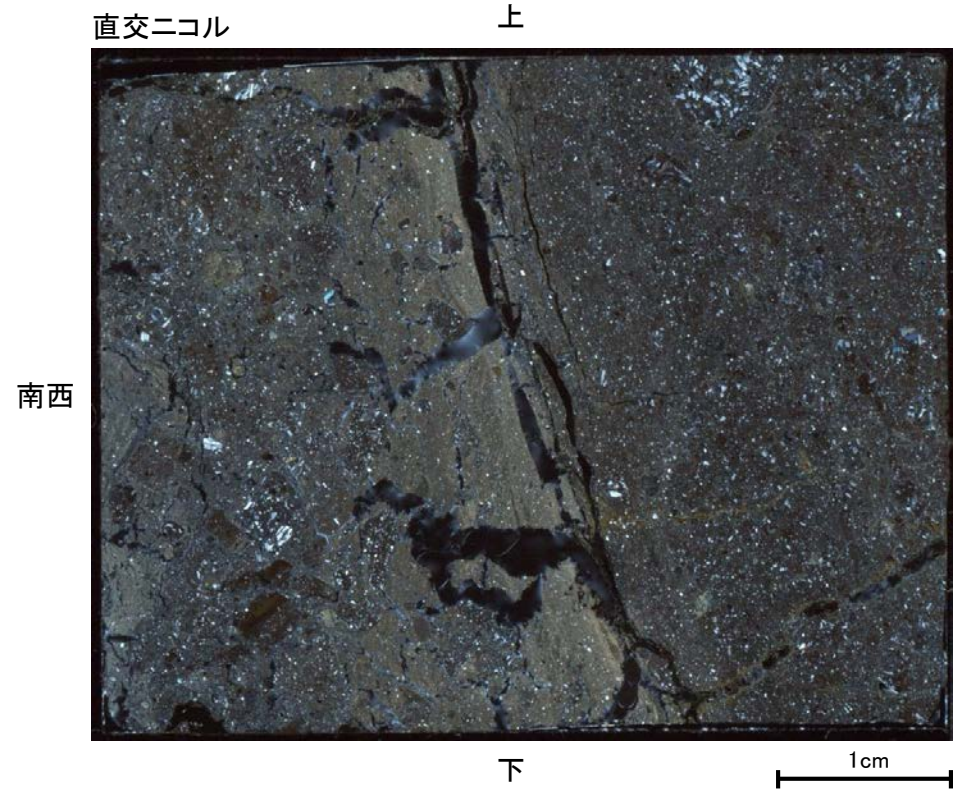
試料採取位置付近(No.23切羽)



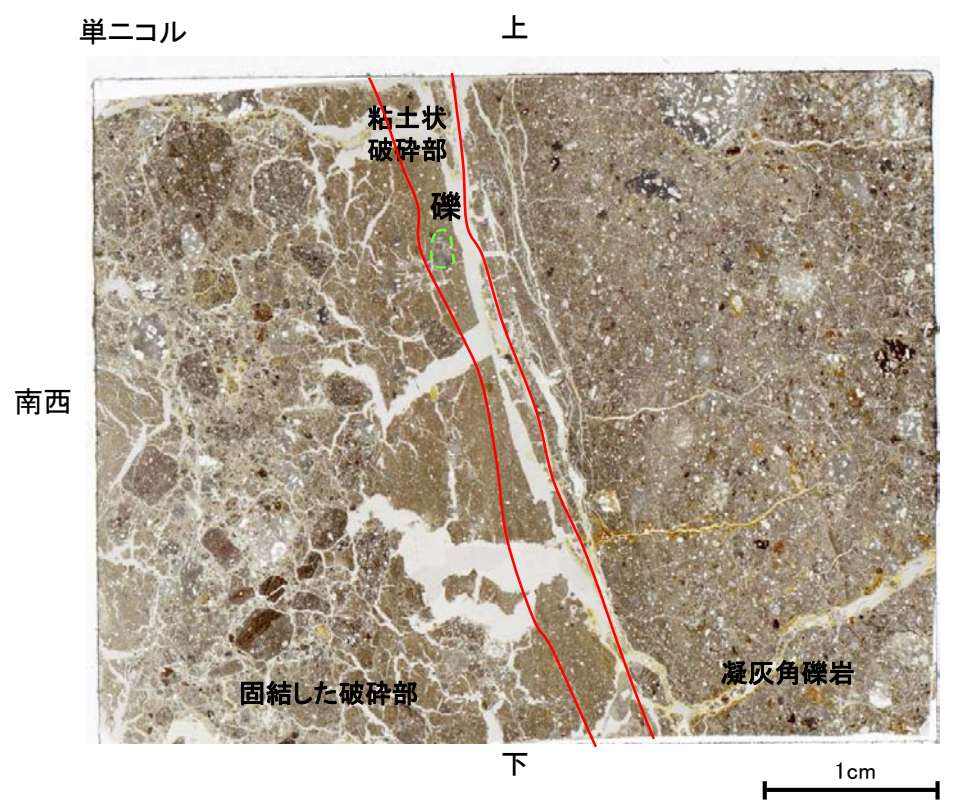
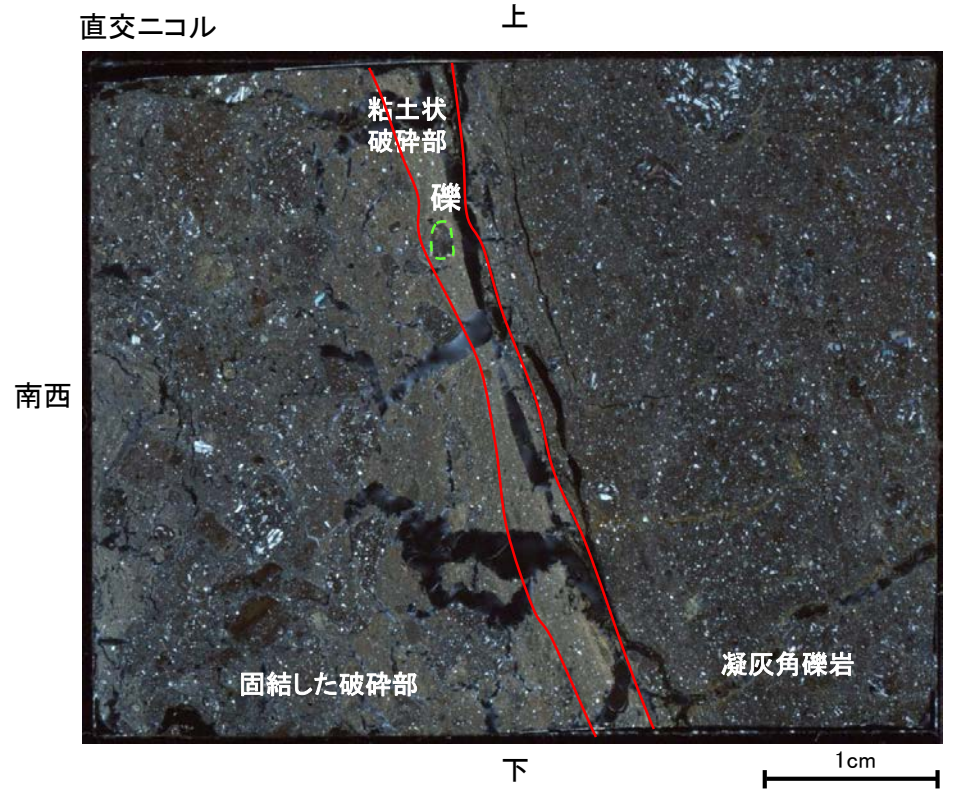
観察面概念図(No.23-1\_60R)



薄片作成位置付近(No.23-1\_60R)



薄片写真

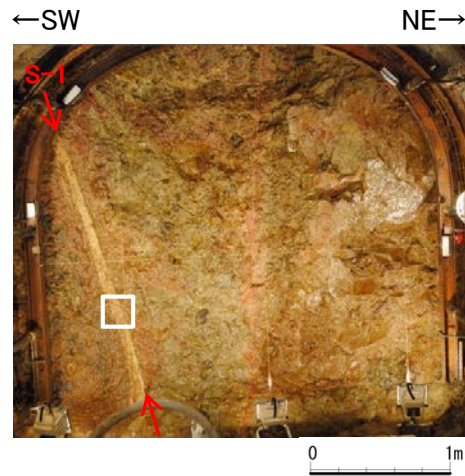


薄片写真(破碎部境界等を加筆)

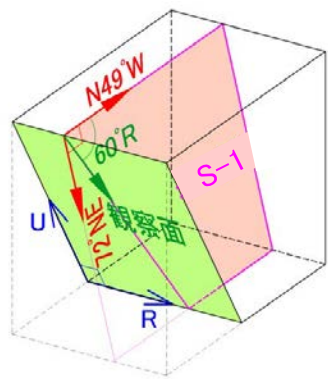
- ・S-1近接部の礫及び基質には、せん断性の割れ目は認められない。
- ・S-1は、凝灰角礫岩の基質の構造を残して粘土化している。
- ・粘土状破碎部中には礫が含まれており、その礫に破断は認められない。



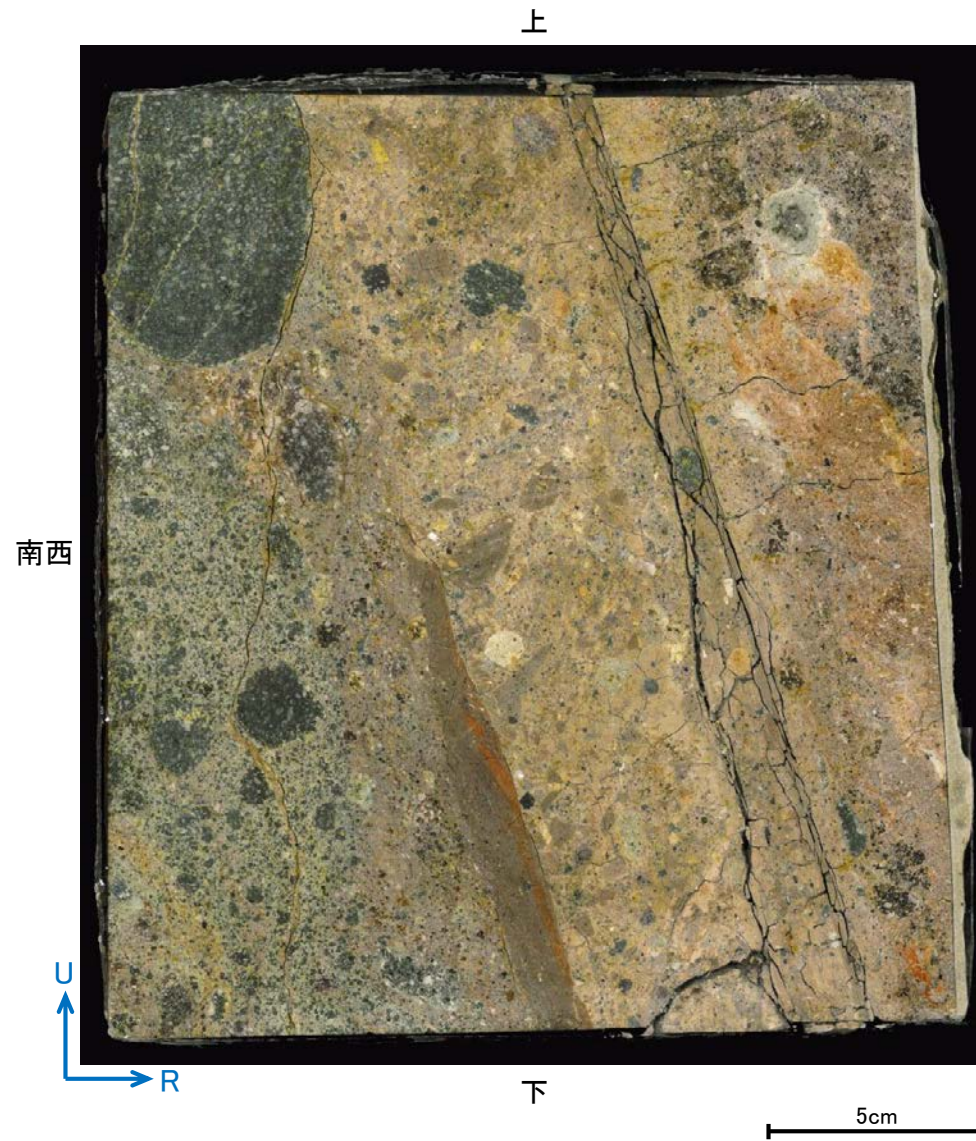
# 研磨面観察結果 — No.23切羽 (No.23-2\_60R) —



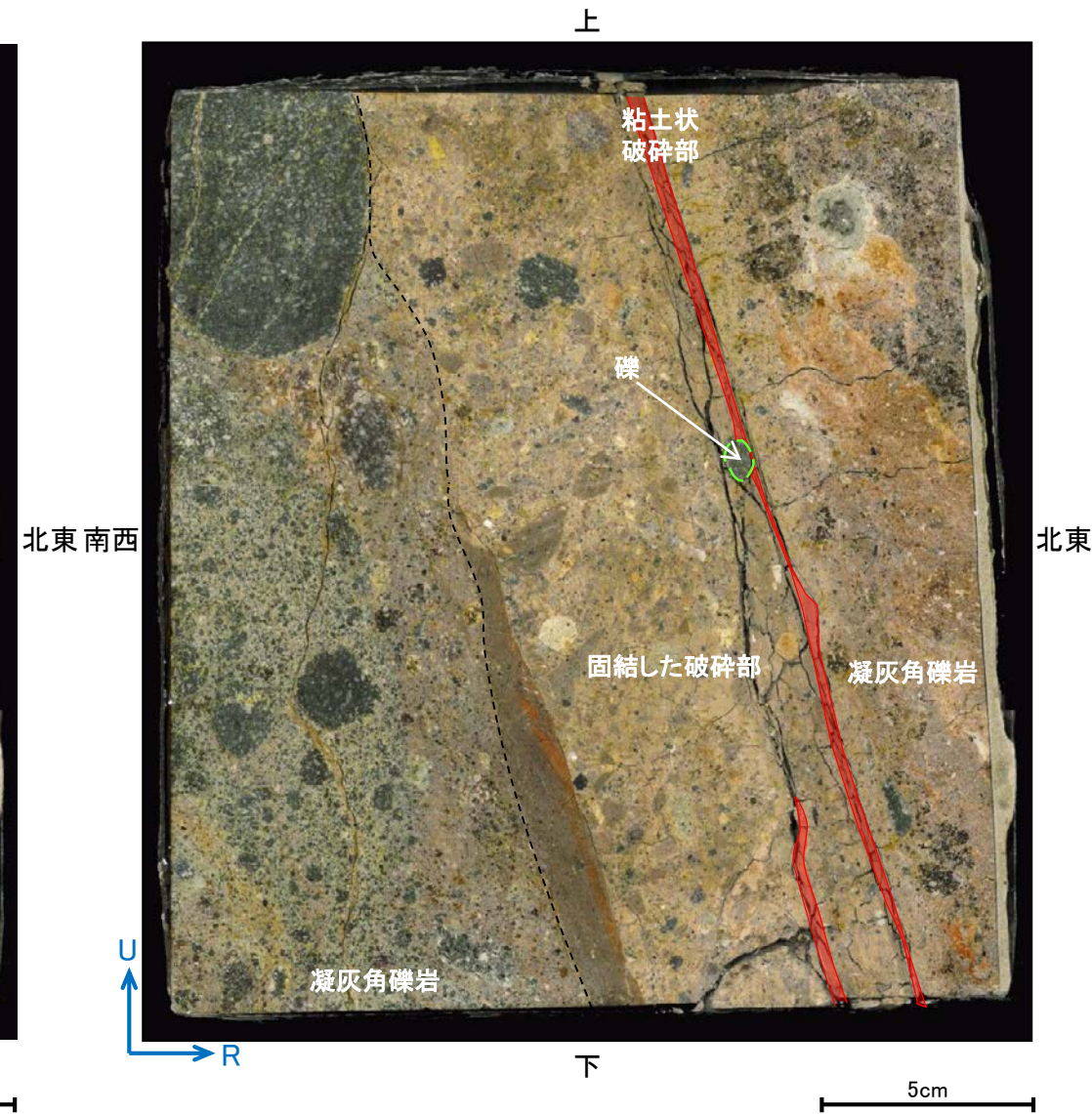
試料採取位置付近 (No.23切羽)



観察面概念図 (No.23-2\_60R)



研磨面写真

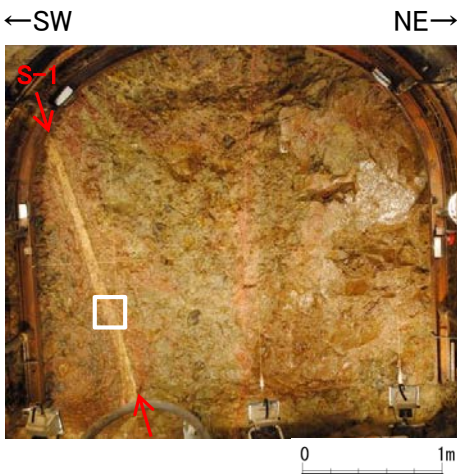


研磨面写真(破碎部境界等を加筆)

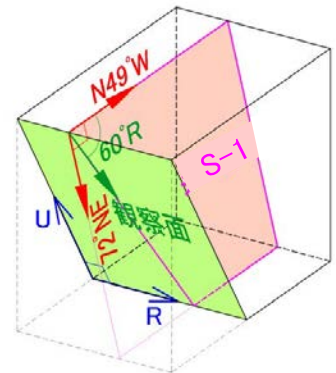
・礫が粘土状破碎部に入り込んでいるように分布しており、その礫に破断は認められない。



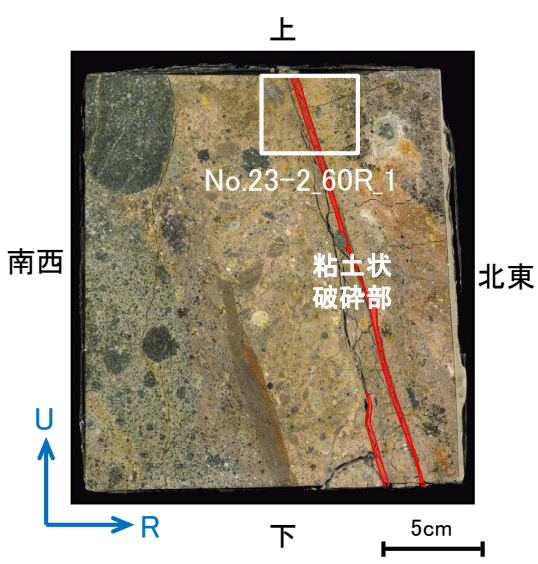
# 薄片観察結果 —No.23切羽(No.23-2\_60R\_1)—



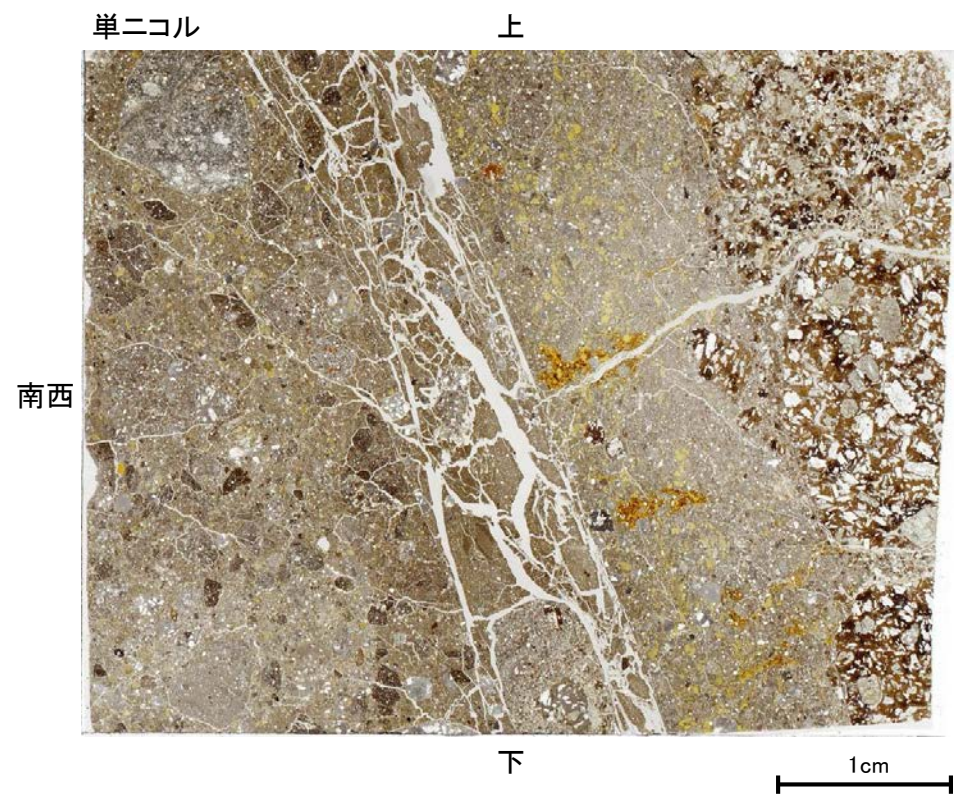
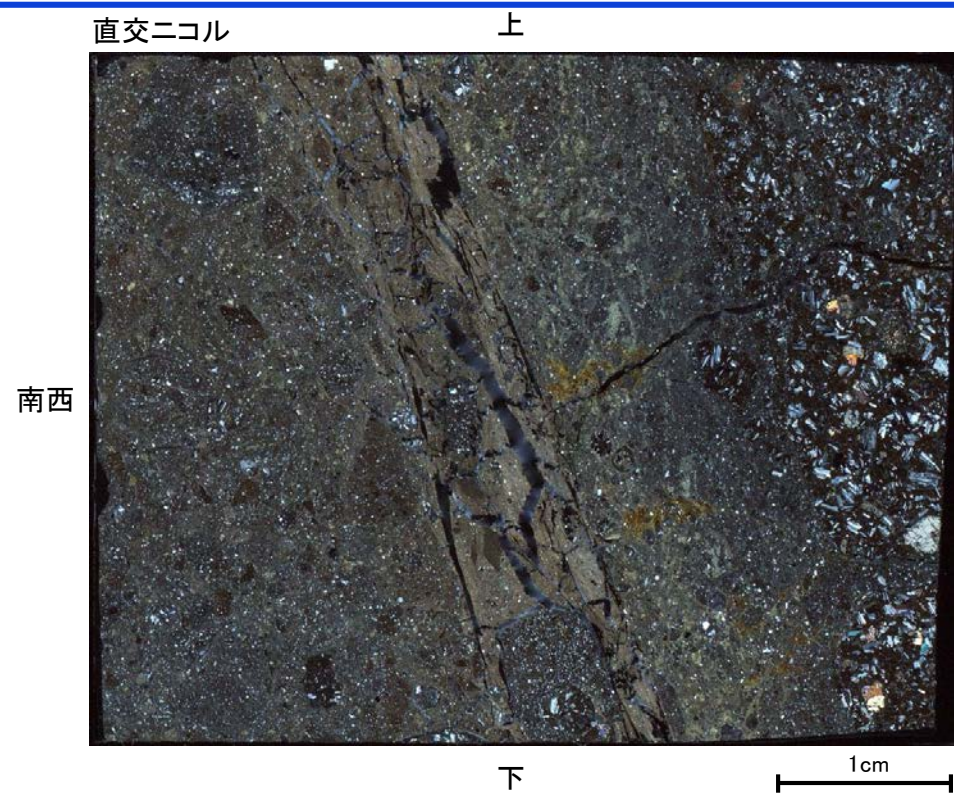
試料採取位置付近(No.23切羽)



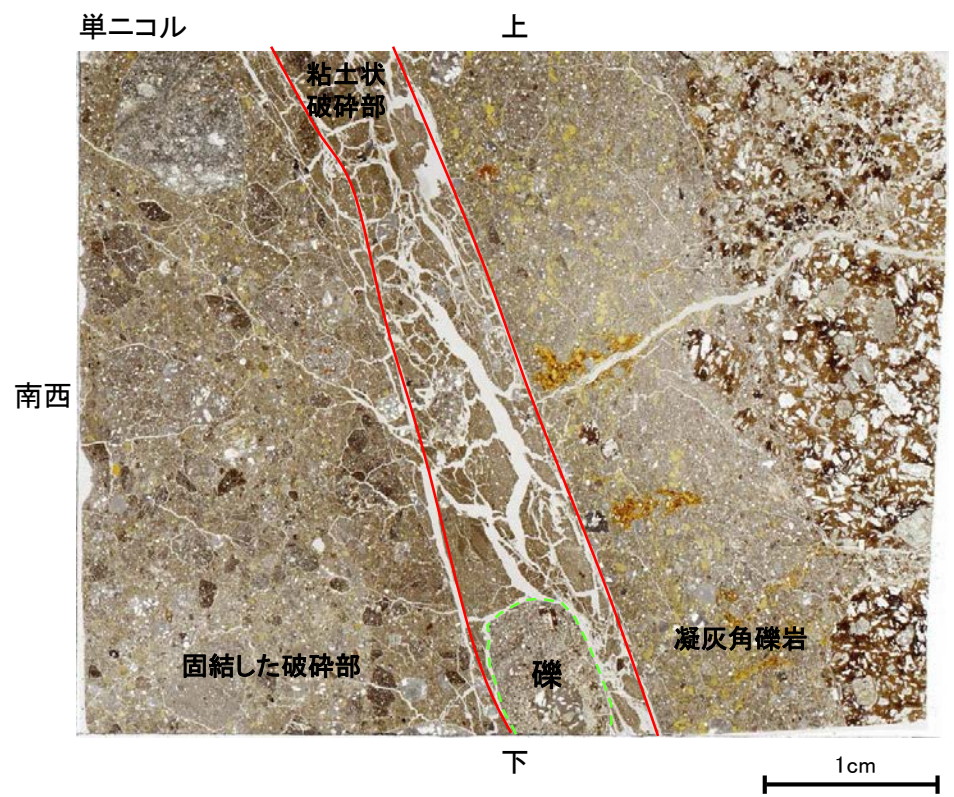
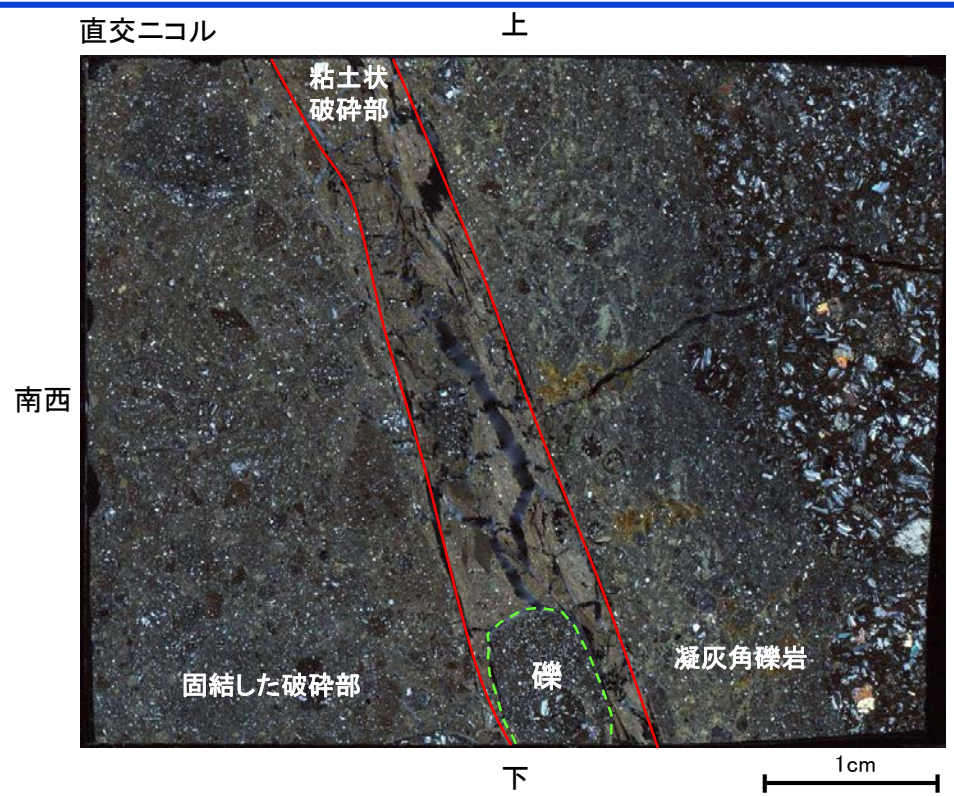
観察面概念図(No.23-2\_60R)



薄片作成位置付近(No.23-2\_60R)



薄片写真

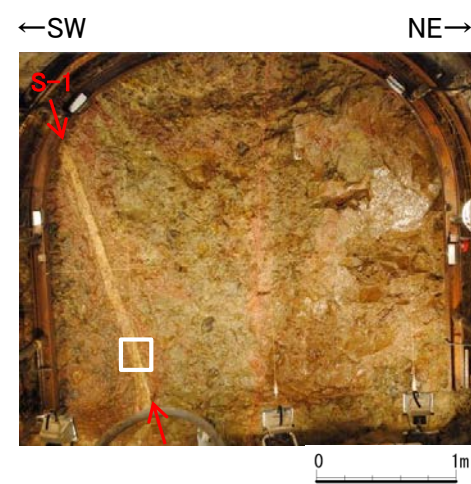


薄片写真(破砕部境界等を加筆)

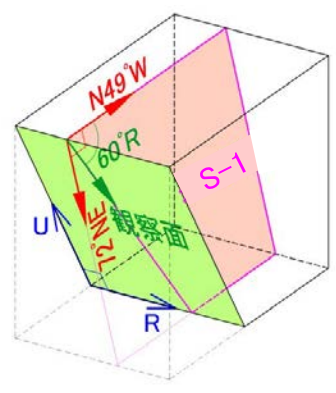
- ・S-1近接部の礫及び基質には、せん断性の割れ目は認められない。
- ・S-1は、凝灰角礫岩の基質の構造を残して粘土化している。
- ・粘土状破砕部中には礫が含まれており、その礫に破断は認められない。



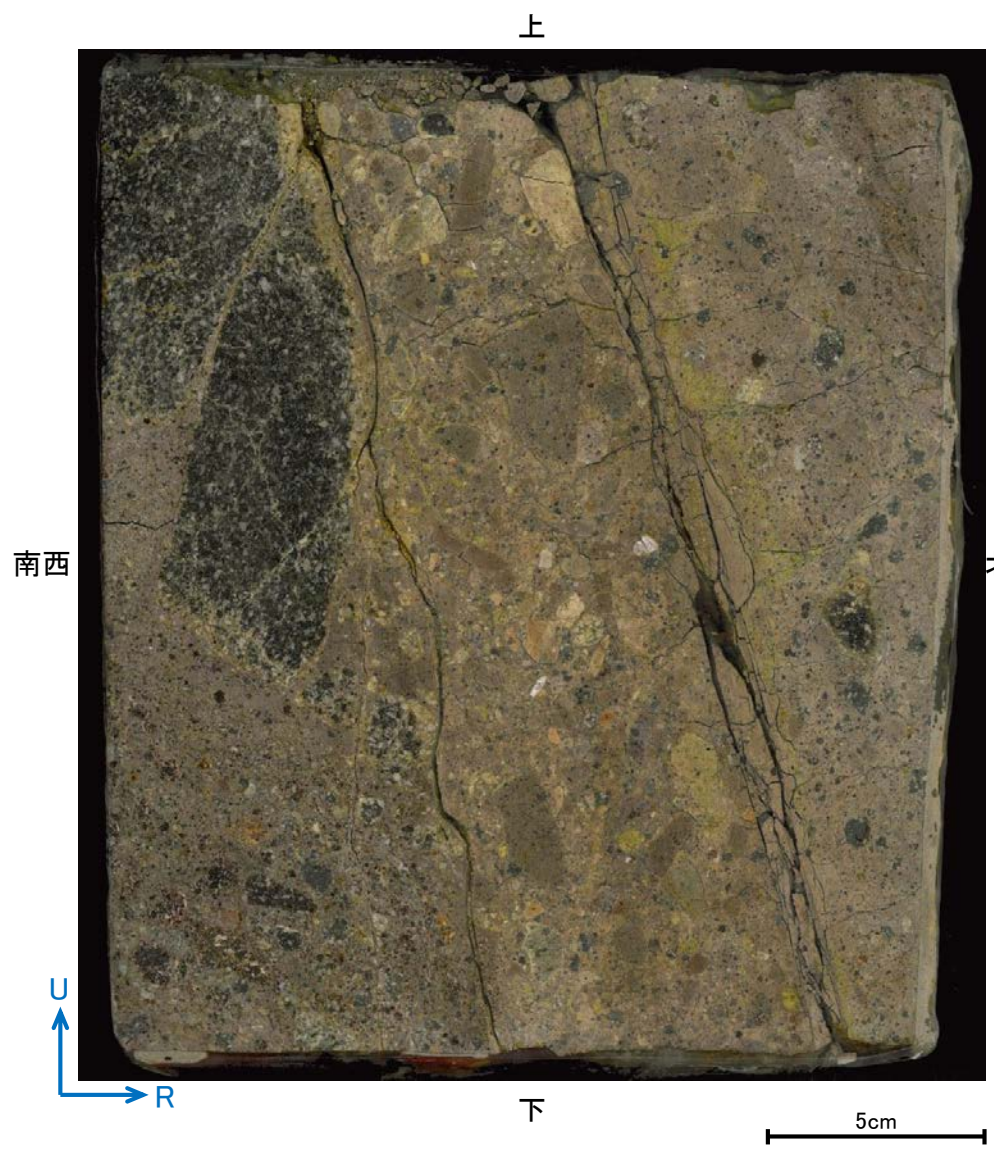
# 研磨面観察結果 — No.23切羽 (No.23-3\_60R) —



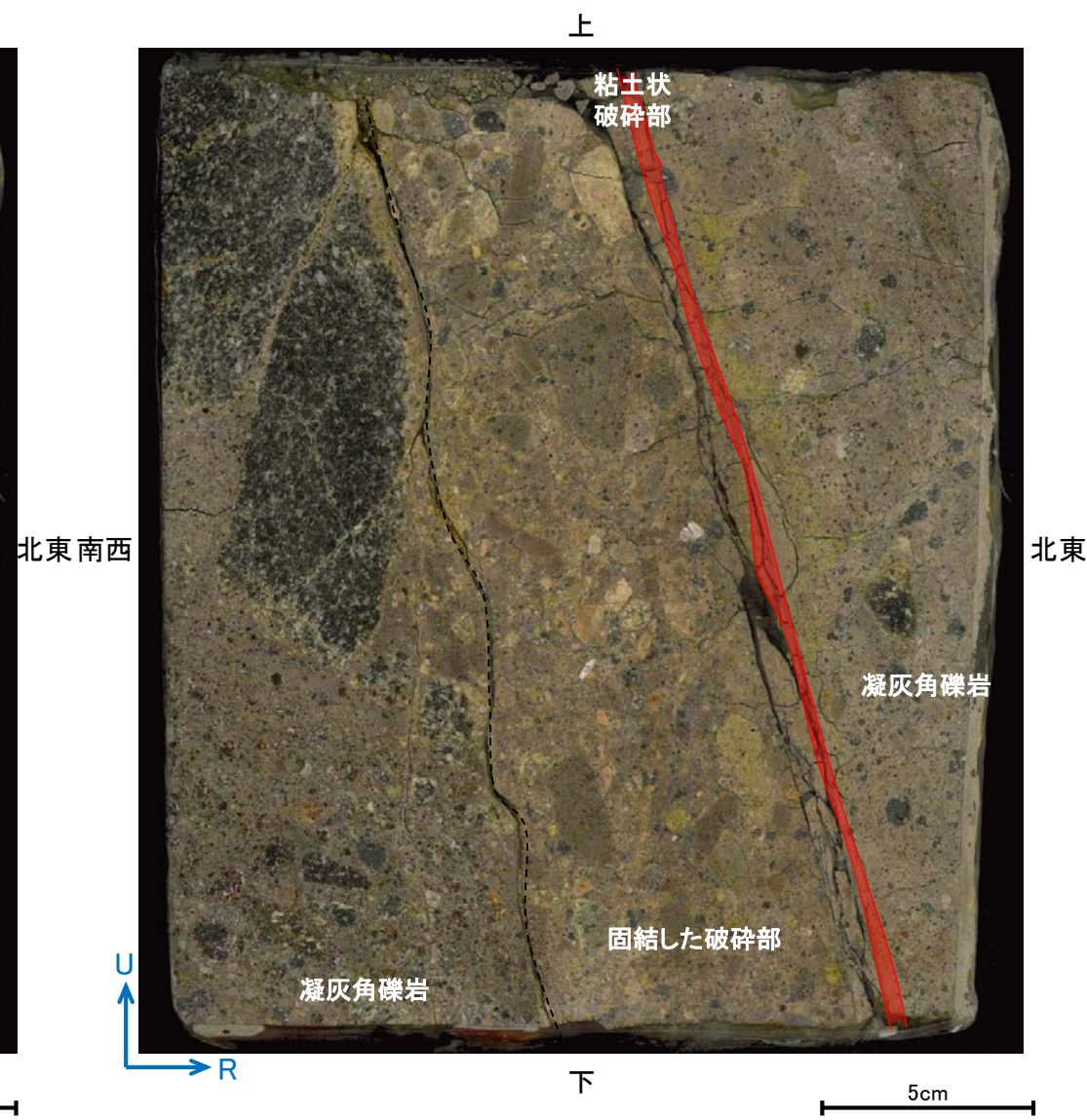
試料採取位置付近 (No.23切羽)



観察面概念図 (No.23-3\_60R)



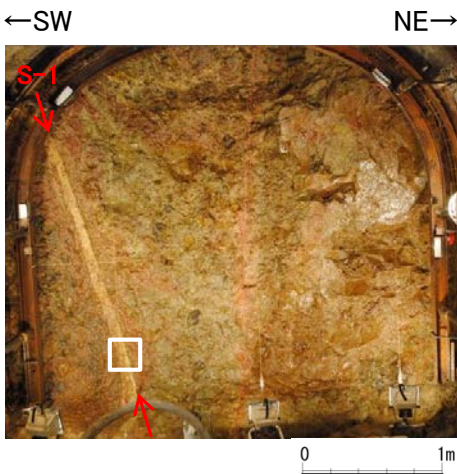
研磨面写真



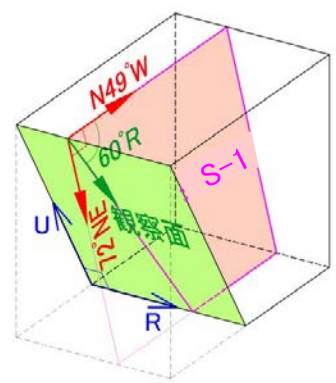
研磨面写真 (破碎部境界等を加筆)



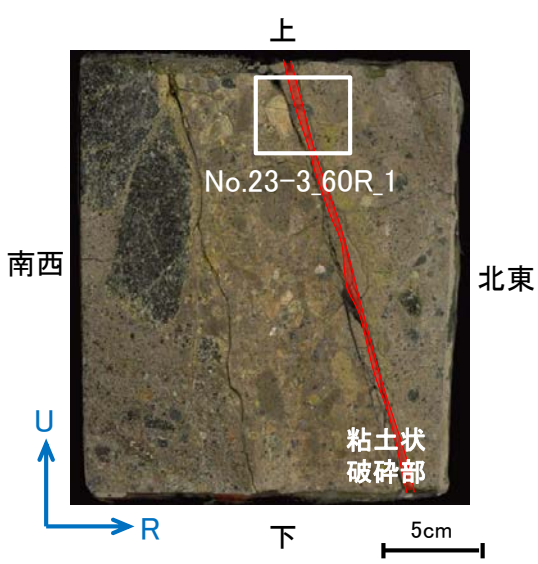
# 薄片観察結果 —No.23切羽(No.23-3\_60R\_1)—



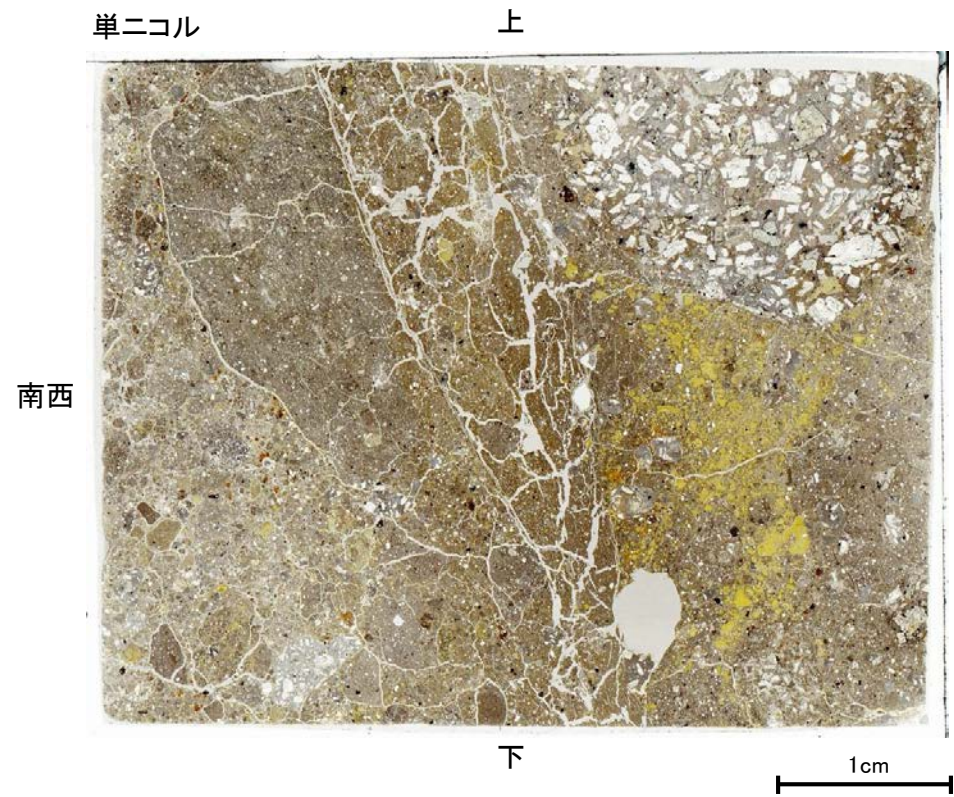
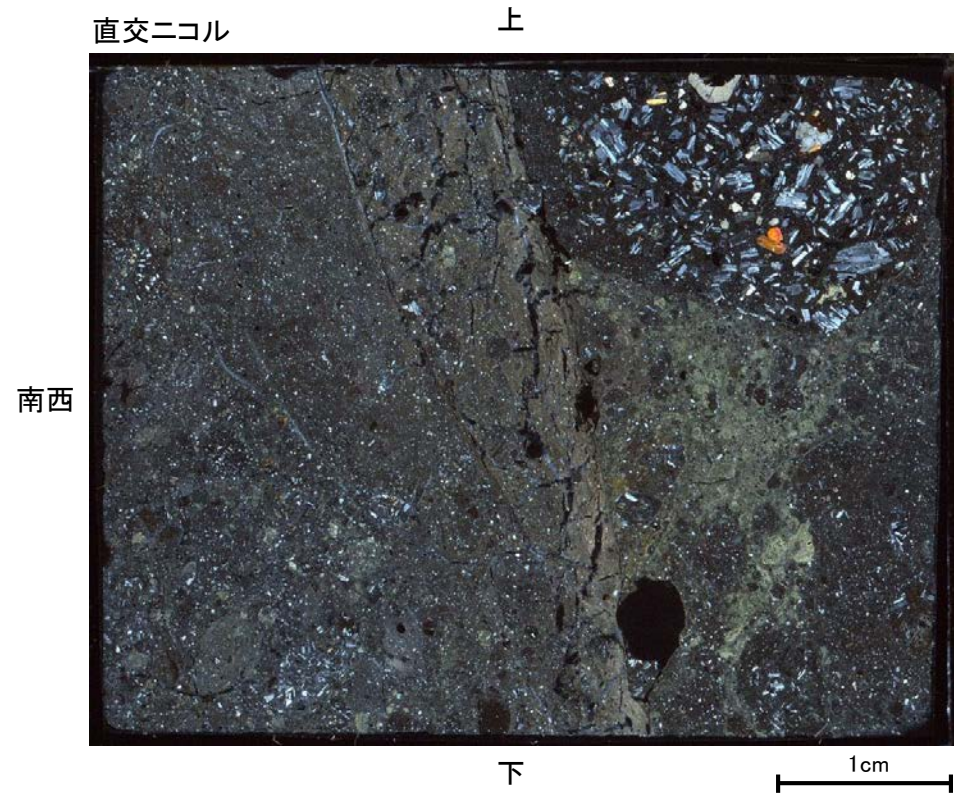
試料採取位置付近(No.23切羽)



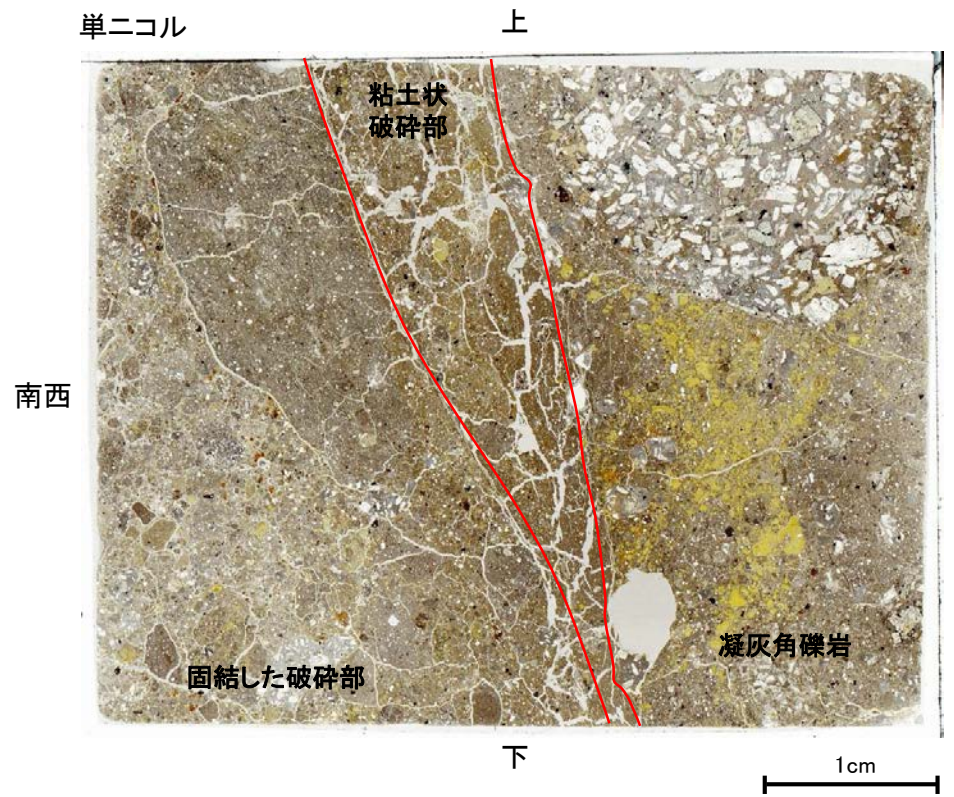
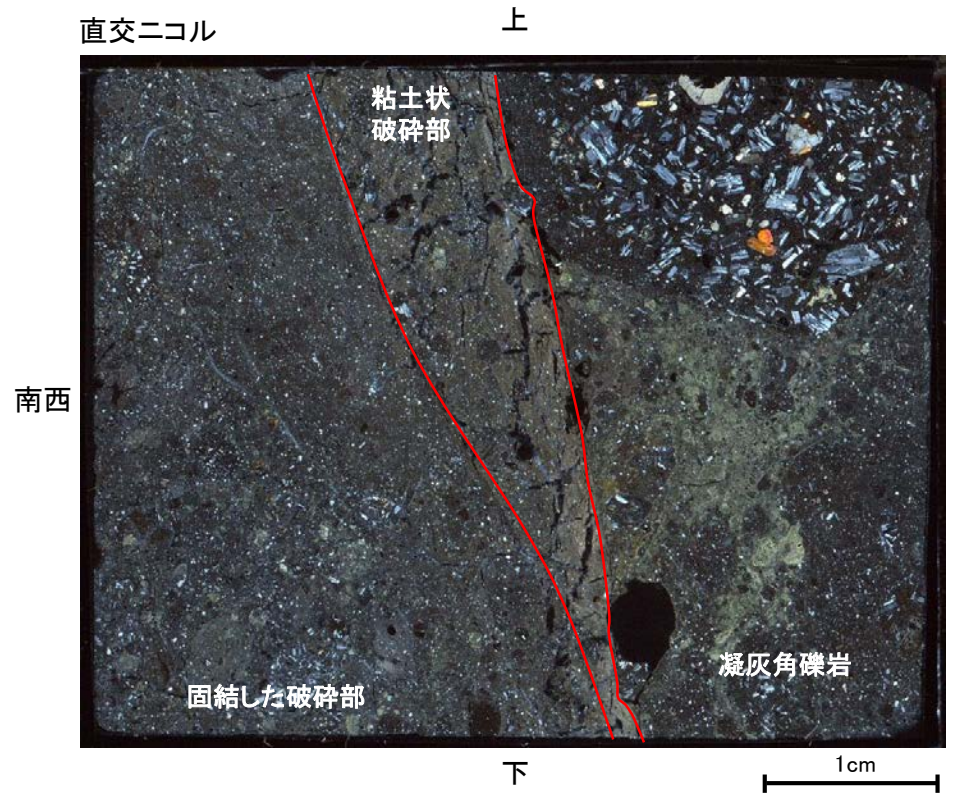
観察面概念図(No.23-3\_60R)



薄片作成位置付近(No.23-3\_60R)



薄片写真

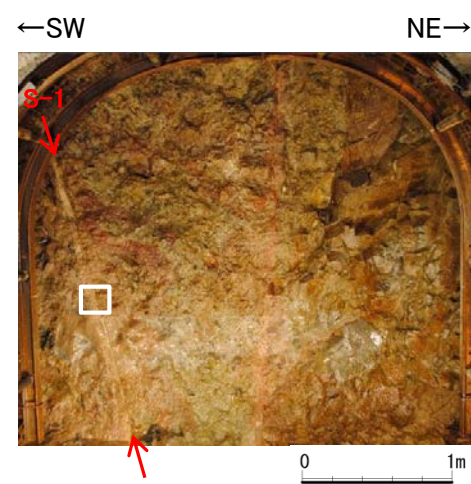


薄片写真(破碎部境界等を加筆)

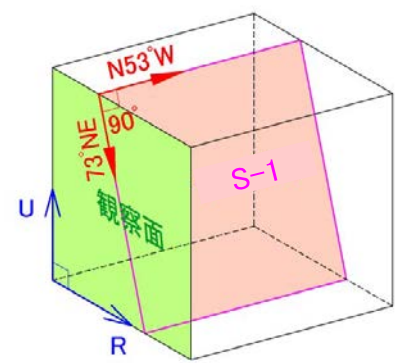
- ・S-1近接部の礫及び基質には、せん断性の割れ目は認められない。
- ・S-1は、凝灰角礫岩の基質の構造を残して粘土化している。



# 研磨面観察結果 — No.24切羽 (No.24-1\_90R) —



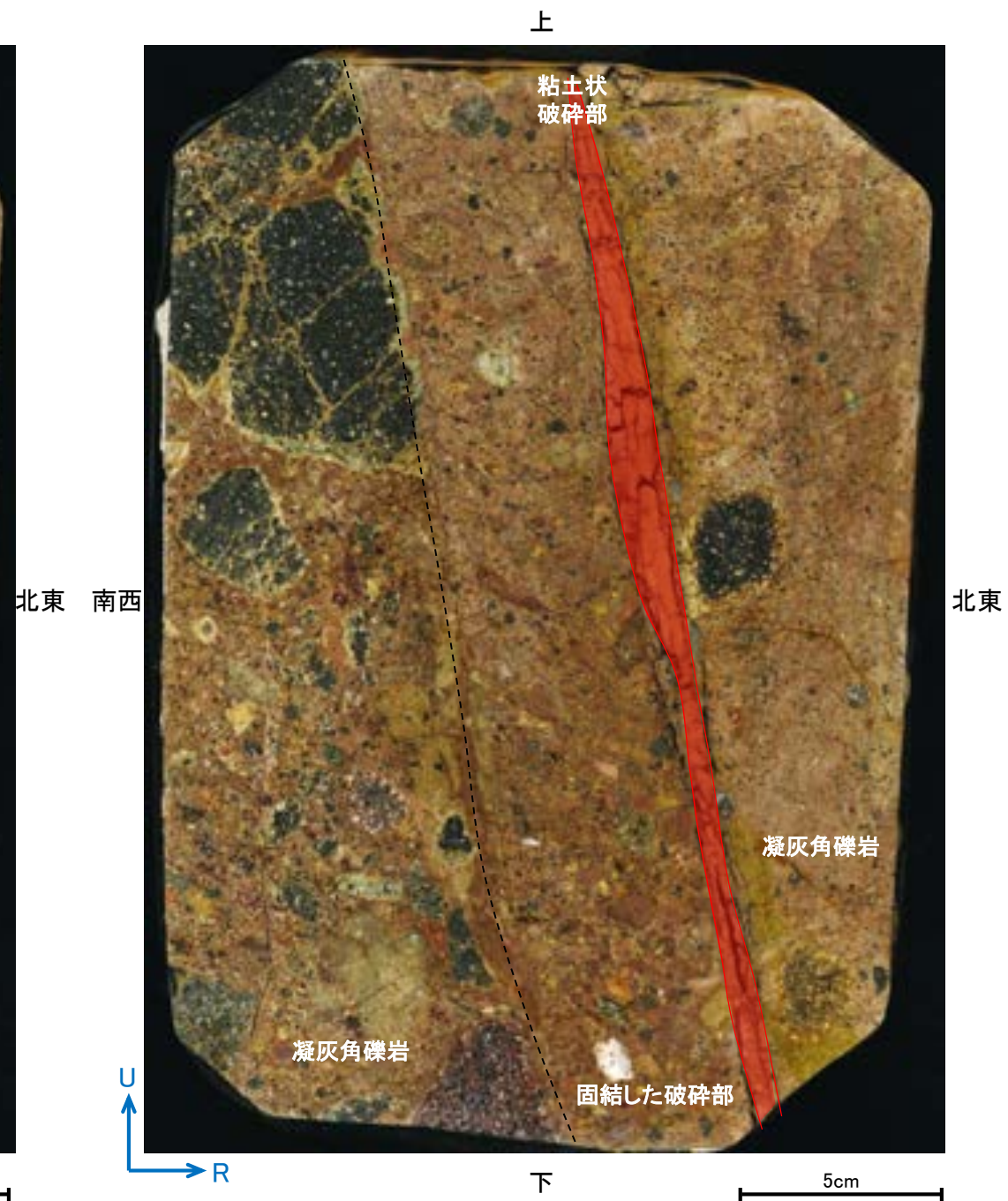
試料採取位置付近 (No.24切羽)



観察面概念図 (No.24-1\_90R)



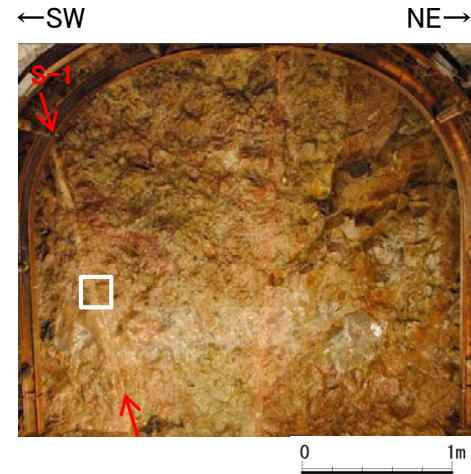
研磨面写真



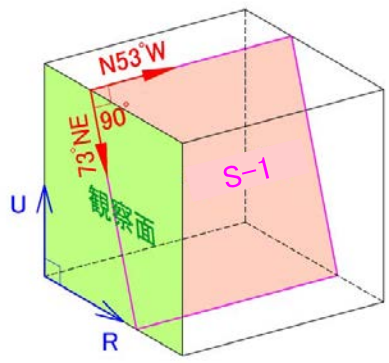
研磨面写真 (破碎部境界等を加筆)



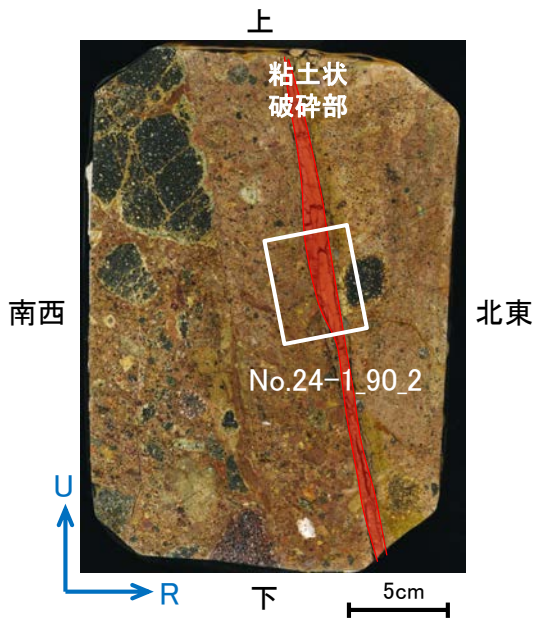
# 薄片観察結果 —No.24切羽(No.24-1\_90R\_2)—



試料採取位置付近(No.24切羽)



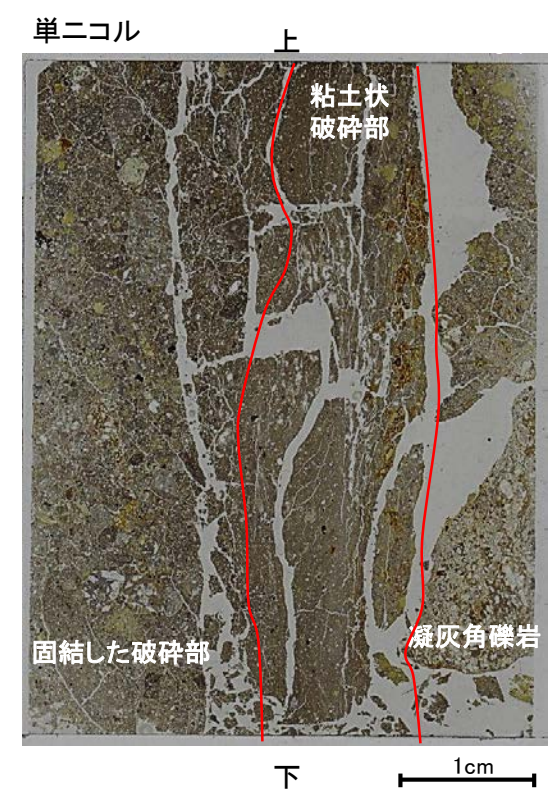
観察面概念図(No.24-1\_90R)



薄片作成位置付近(No.24-1\_90)



薄片写真

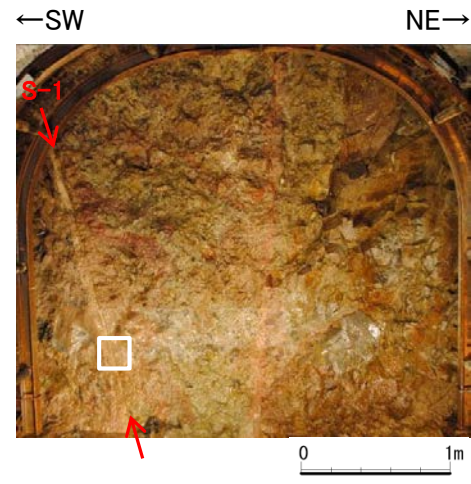


薄片写真(破砕部境界等を加筆)

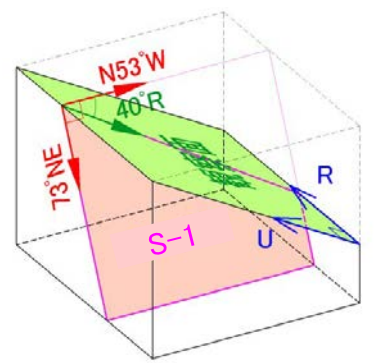
- ・S-1近接部の礫及び基質には、せん断性の割れ目は認められない。
- ・S-1は、凝灰角礫岩の基質の構造を残して粘土化している。



# 研磨面観察結果 — No.24切羽 (No.24-2\_40R) —



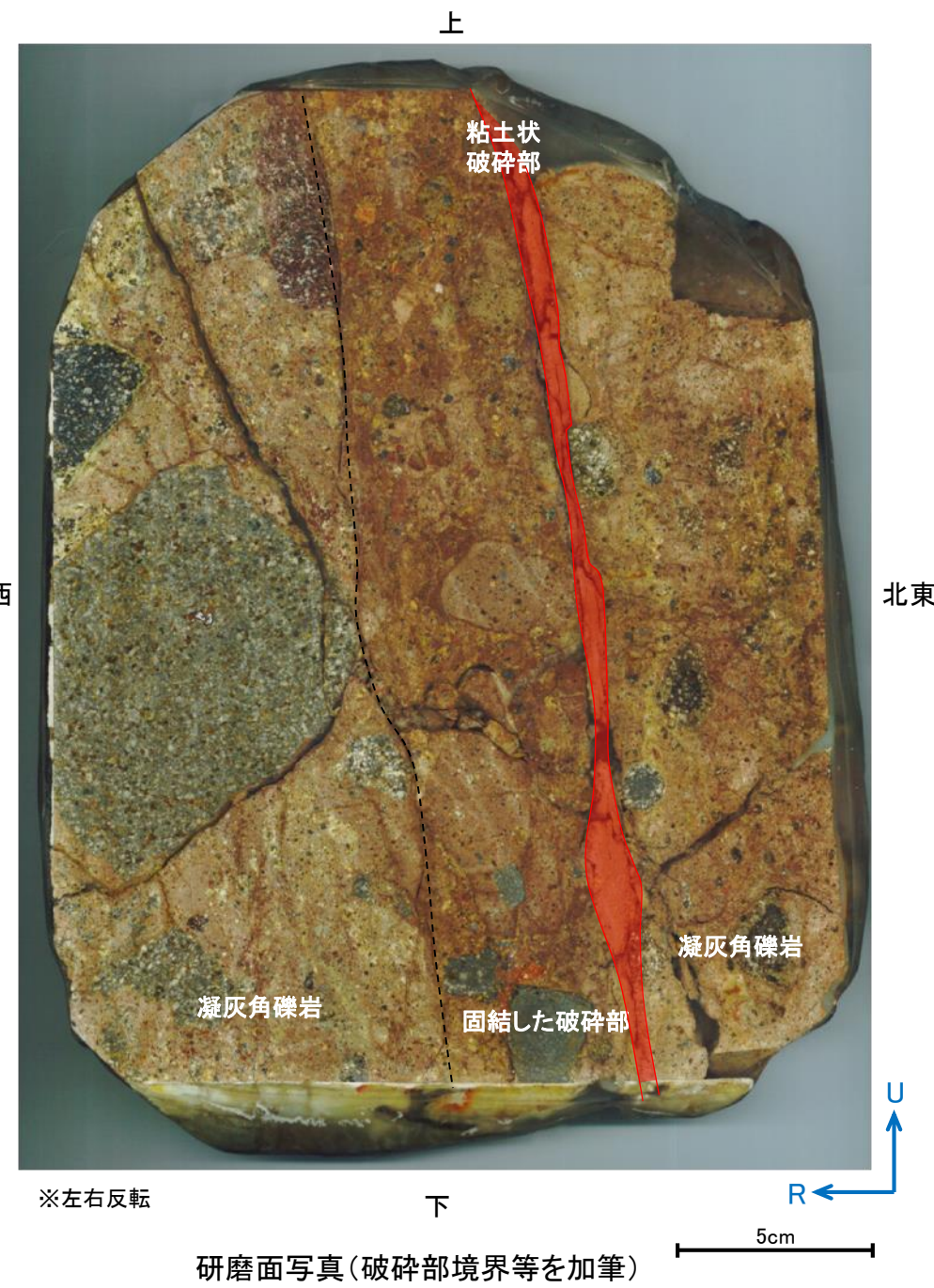
試料採取位置付近 (No.24切羽)



観察面概念図 (No.24-2\_40R)



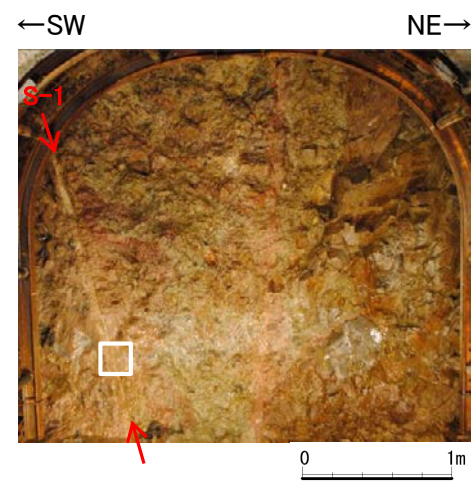
研磨面写真



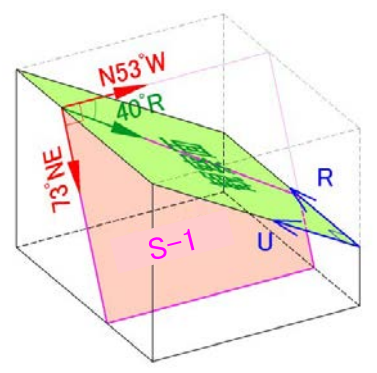
研磨面写真 (破碎部境界等を加筆)



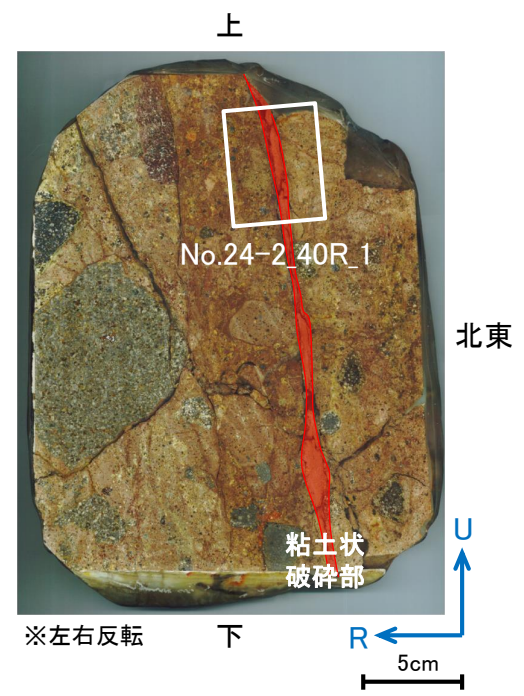
# 薄片観察結果 —No.24切羽(No.24-2\_40R\_1)—



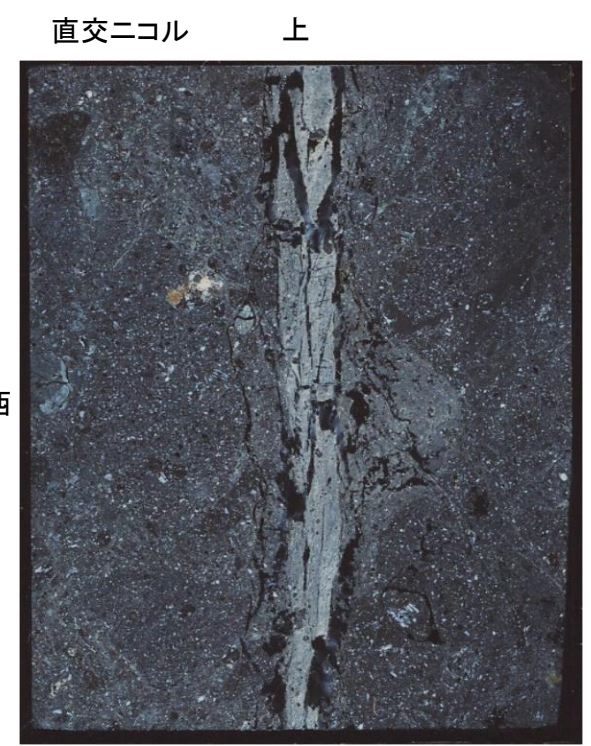
試料採取位置付近(No.24切羽)



観察面概念図(No.24-2\_40R)



薄片作成位置付近(No.24-2\_40R)



南西

北東

※左右反転 下 1cm

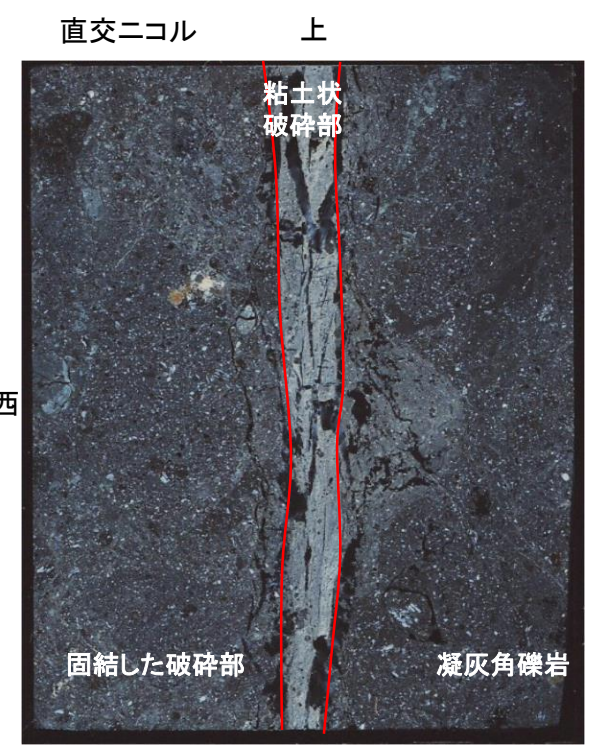


南西

北東

※左右反転 下 1cm

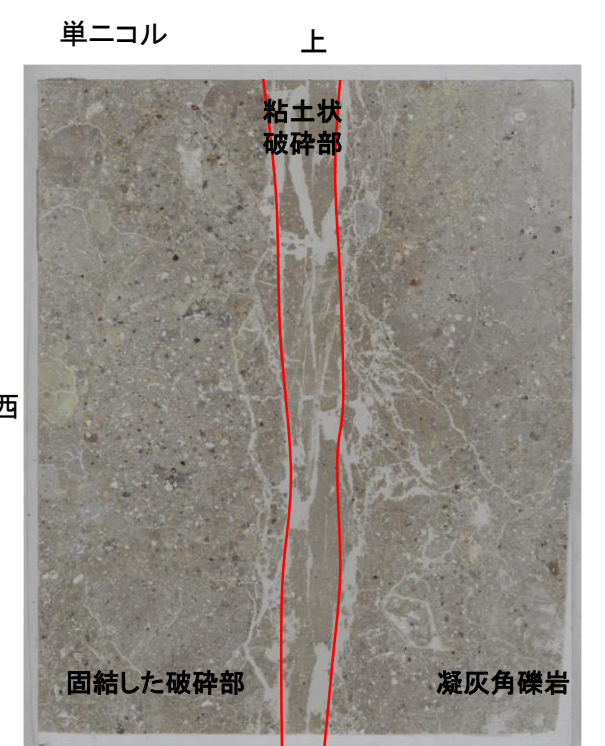
薄片写真



南西

北東

※左右反転 下 1cm



南西

北東

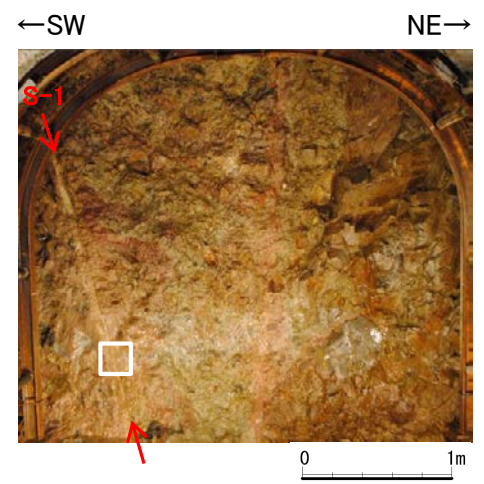
※左右反転 下 1cm

薄片写真(破碎部境界等を加筆)

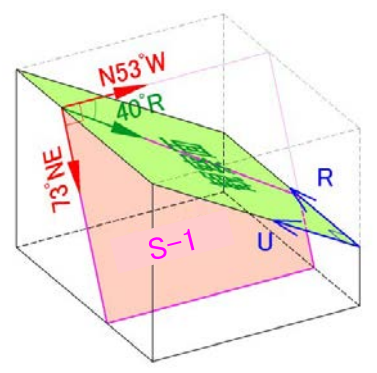
・S-1近接部の礫及び基質には、せん断性の割れ目は認められない。  
・S-1は、凝灰角礫岩の基質の構造を残して粘土化している。



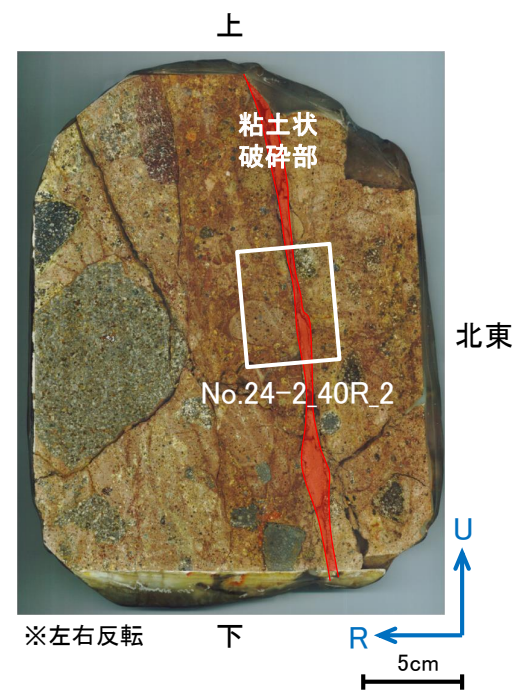
# 薄片観察結果 —No.24切羽(No.24-2\_40R\_2)—



試料採取位置付近(No.24切羽)



観察面概念図(No.24-2\_40R)



薄片作成位置付近(No.24-2\_40R)

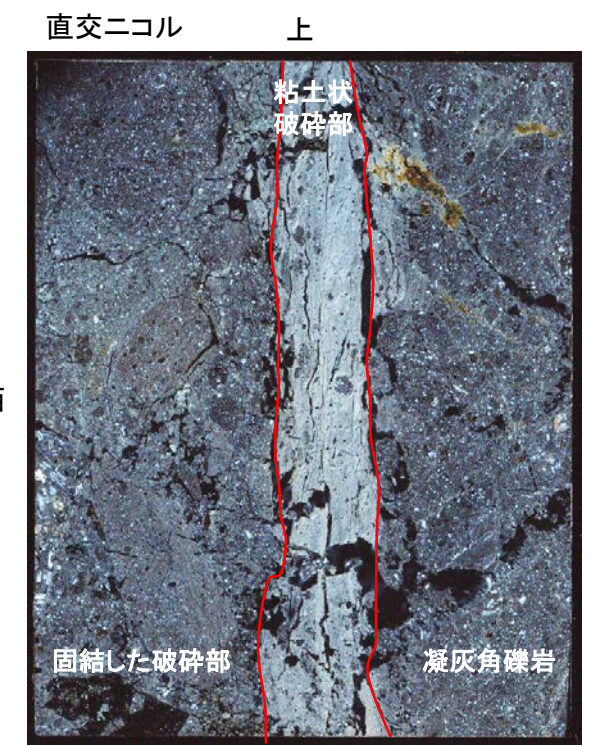


直交ニコル 上  
※左右反転 下 1cm

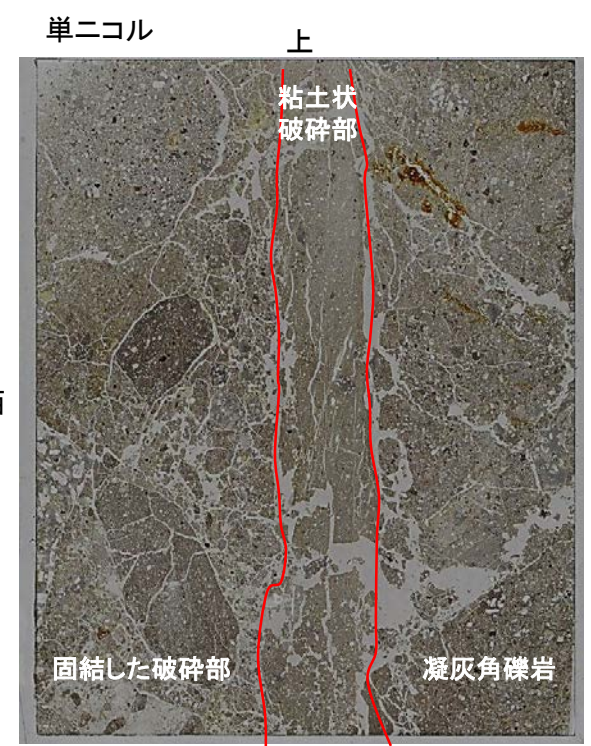


単ニコル 上  
※左右反転 下 1cm

薄片写真



直交ニコル 上  
※左右反転 下 1cm



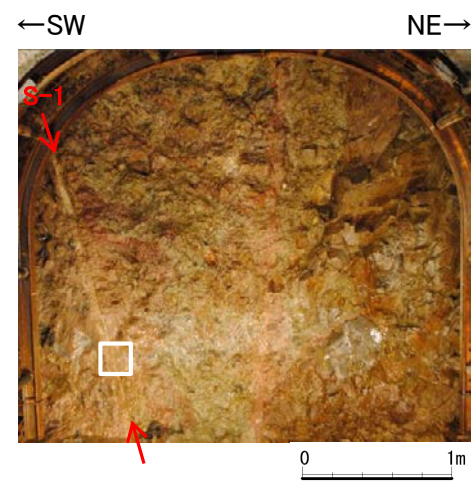
単ニコル 上  
※左右反転 下 1cm

薄片写真(破碎部境界等を加筆)

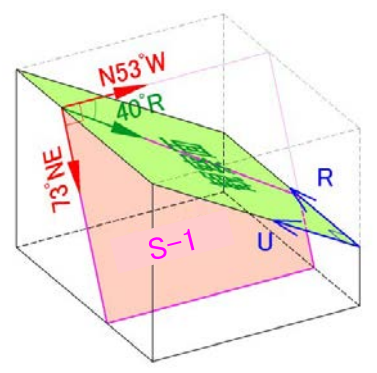
- ・S-1近接部の礫及び基質には、せん断性の割れ目は認められない。
- ・S-1は、凝灰角礫岩の基質の構造を残して粘土化している。



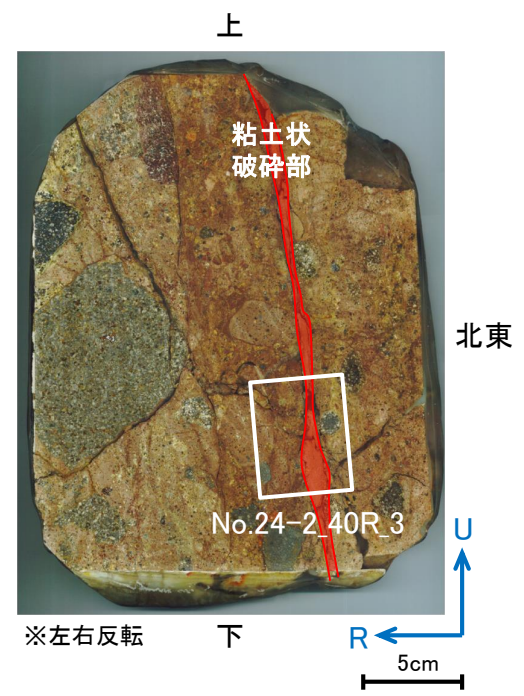
# 薄片観察結果 —No.24切羽(No.24-2\_40R\_3)—



試料採取位置付近(No.24切羽)



観察面概念図(No.24-2\_40R)



薄片作成位置付近(No.24-2\_40R)

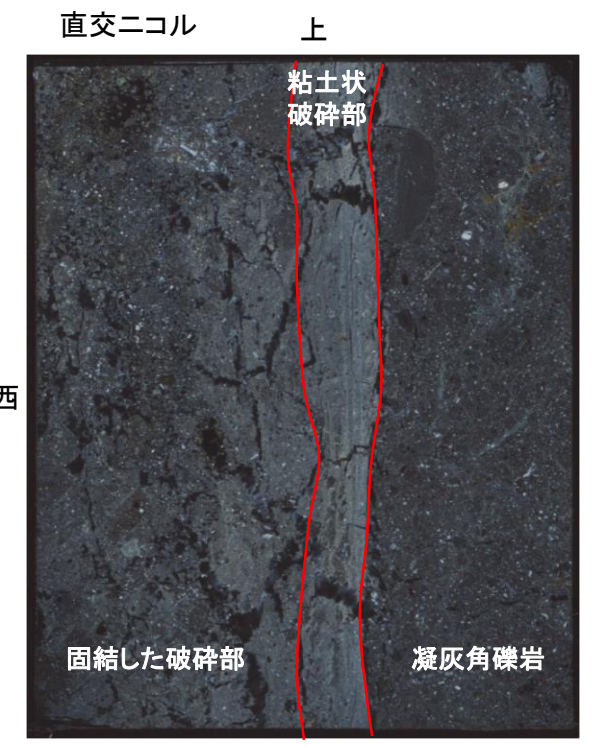


※左右反転 下 1cm

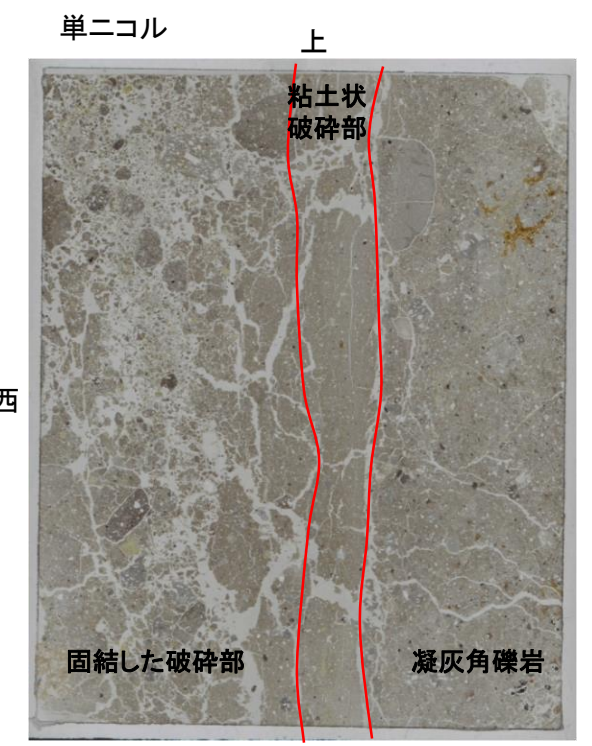


※左右反転 下 1cm

薄片写真



※左右反転 下 1cm



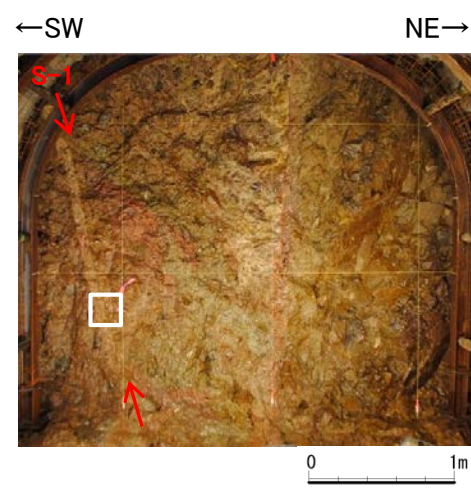
※左右反転 下 1cm

薄片写真(破碎部境界等を加筆)

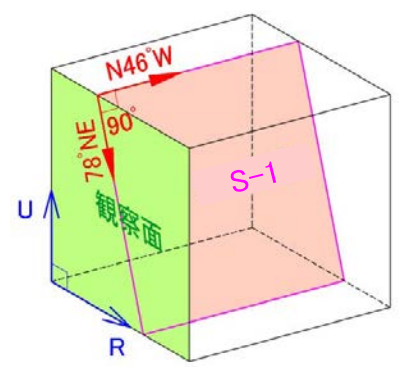
・S-1近接部の礫及び基質には、せん断性の割れ目は認められない。  
・S-1は、凝灰角礫岩の基質の構造を残して粘土化している。



# 研磨面観察結果 — No.25切羽 (No.25-1\_90R) —



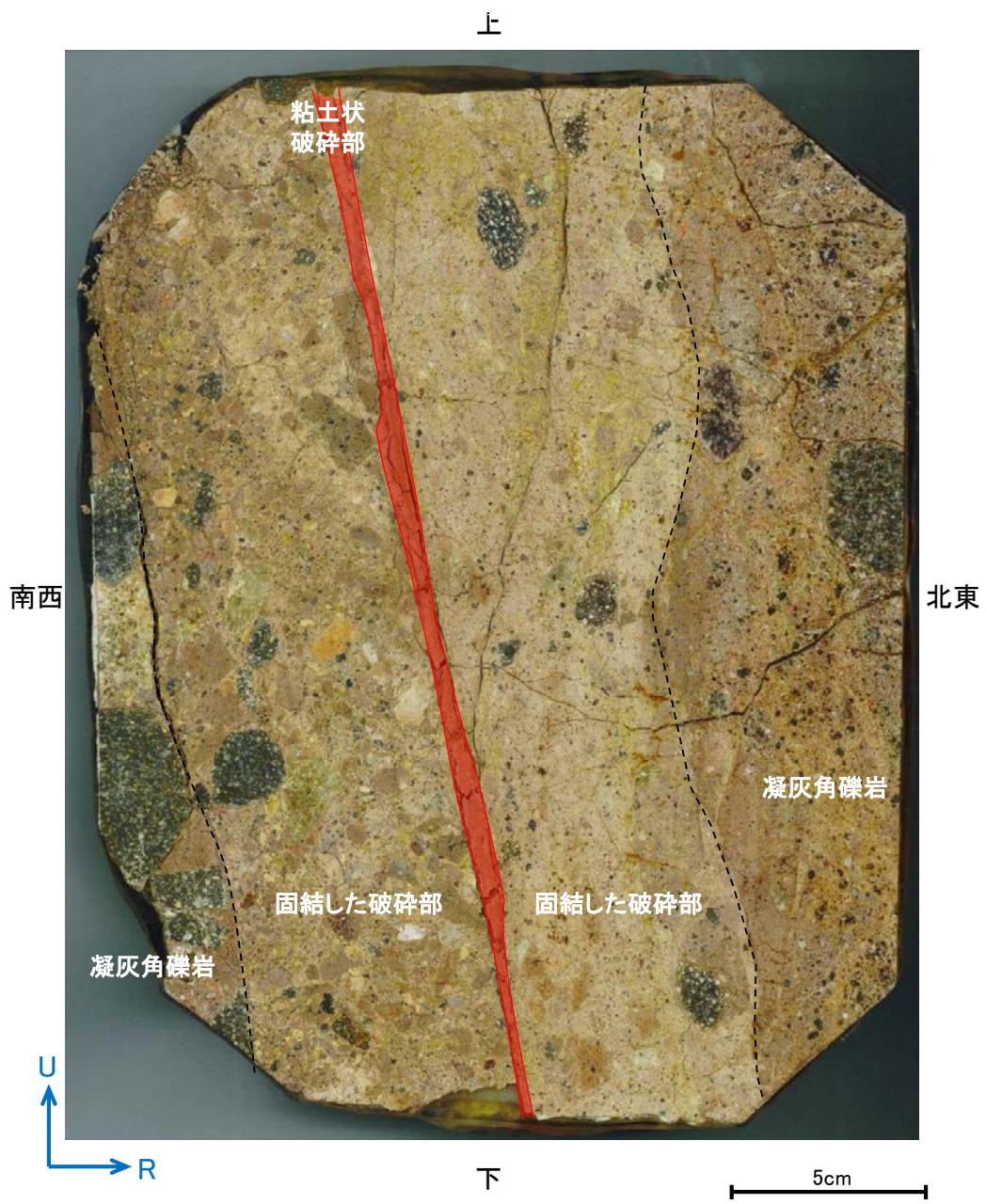
試料採取位置付近 (No.25切羽)



観察面概念図 (No.25-1\_90R)



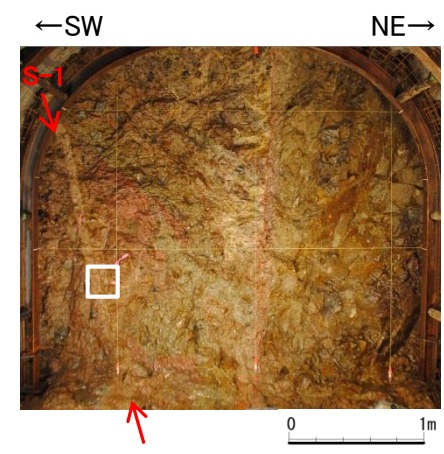
研磨面写真



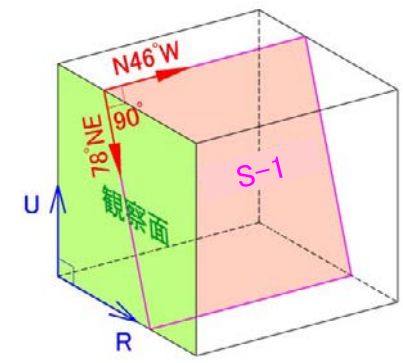
研磨面写真 (破砕部境界等を加筆)



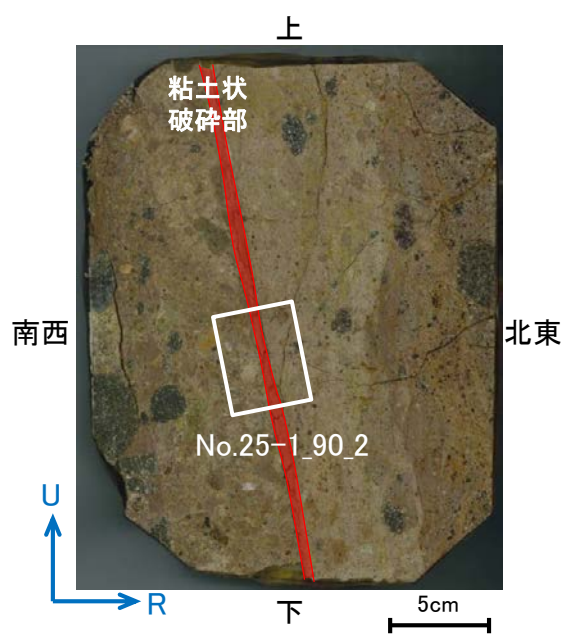
# 薄片観察結果 —No.25切羽(No.25-1\_90R\_2)—



試料採取位置付近(No.25切羽)

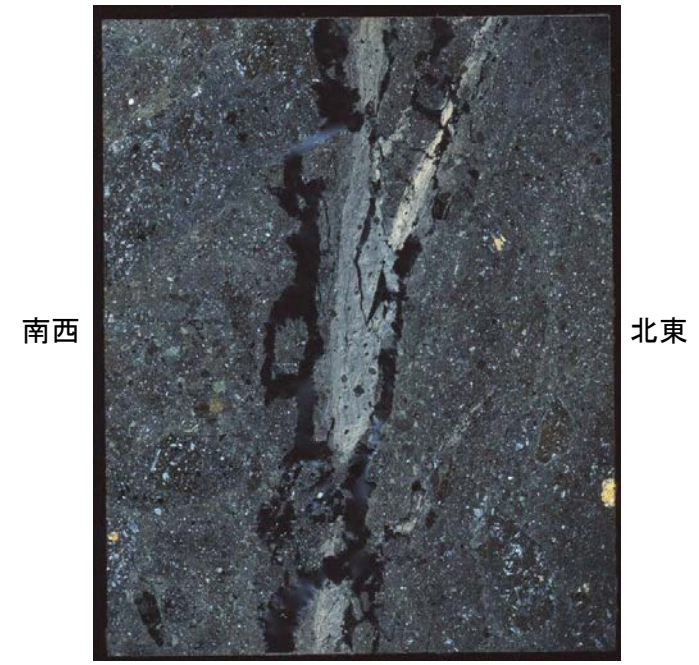


観察面概念図(No.25-1\_90R)



薄片作成位置付近(No.25-1\_90R)

直交ニコル 上



下 1cm

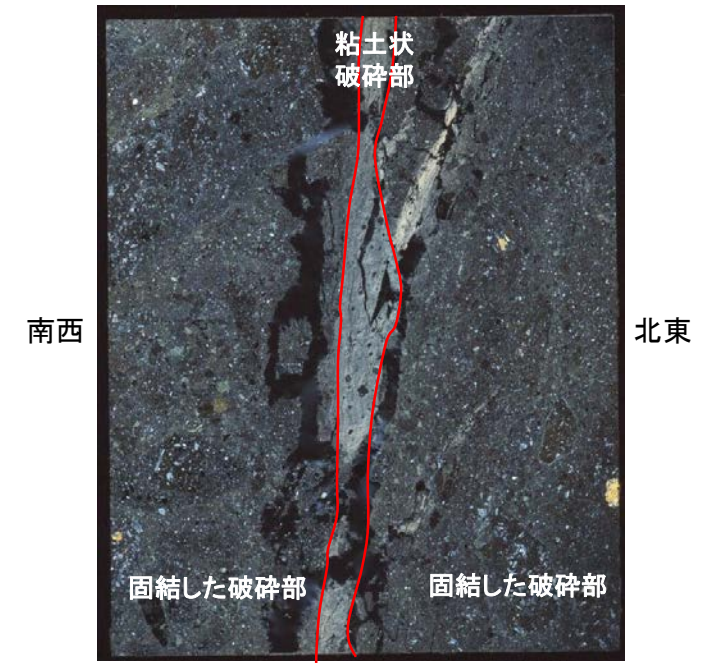
単ニコル 上



下 1cm

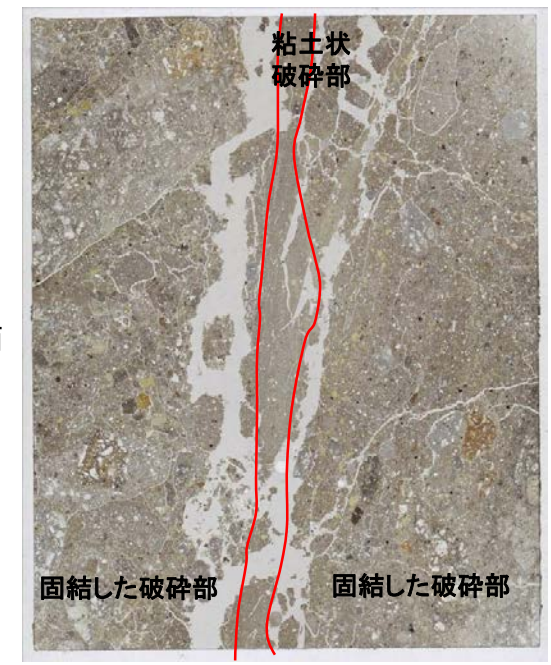
薄片写真

直交ニコル 上



下 1cm

単ニコル 上



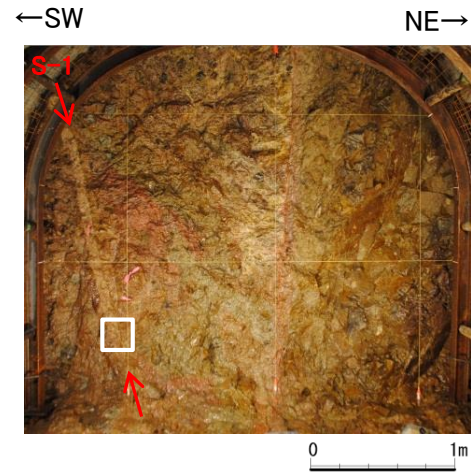
下 1cm

薄片写真(破砕部境界等を加筆)

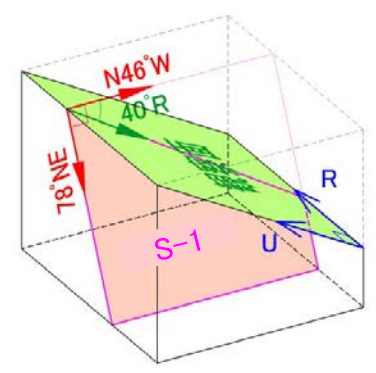
・S-1近接部の礫及び基質には、せん断性の割れ目は認められない。  
・S-1は、凝灰角礫岩の基質の構造を残して粘土化している。



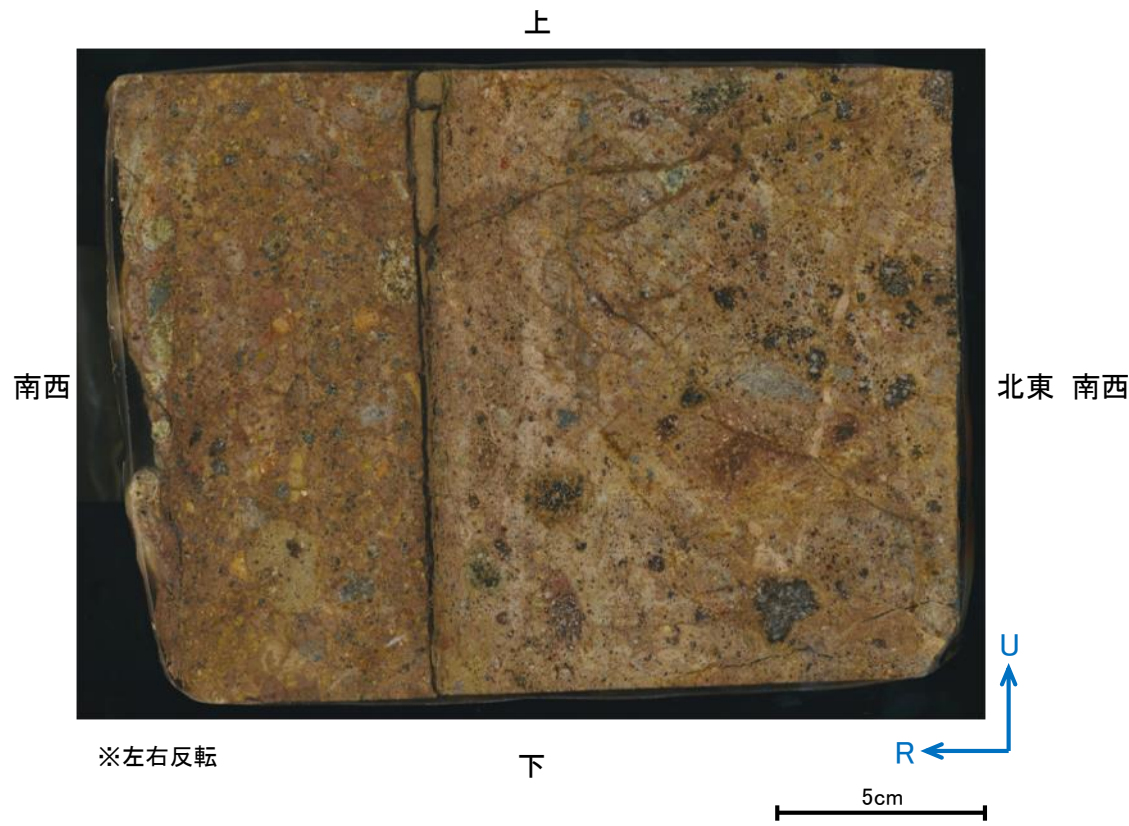
# 研磨面観察結果 — No.25切羽 (No.25-2\_40R) —



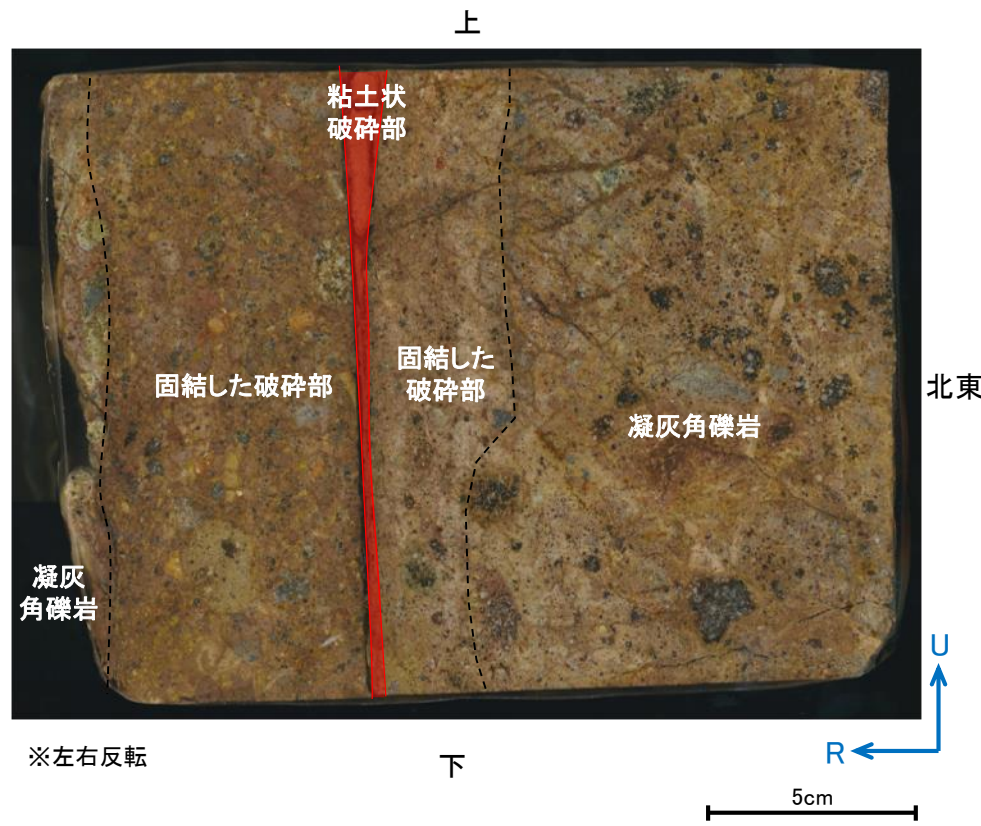
試料採取位置付近 (No.25切羽)



観察面概念図 (No.25-2\_40R)



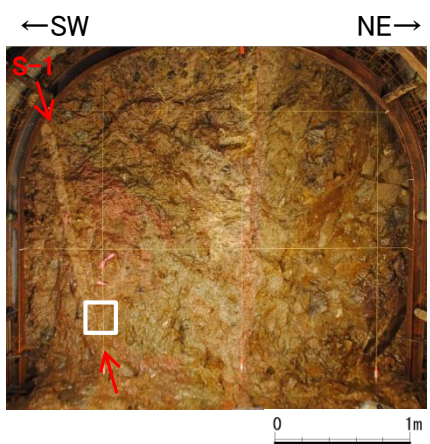
研磨面写真



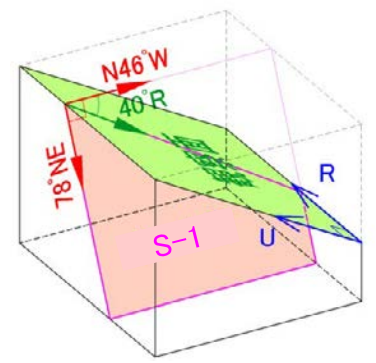
研磨面写真 (破碎部境界等を加筆)



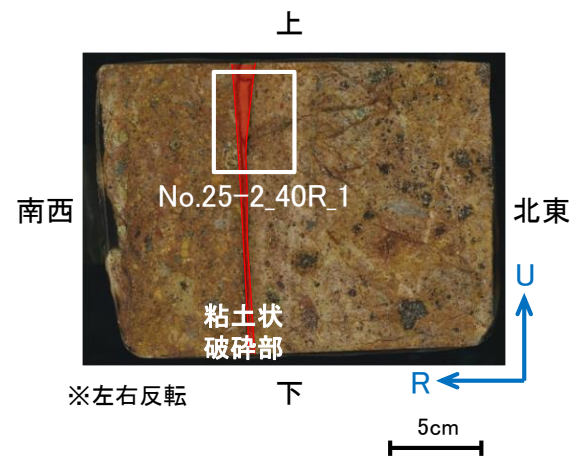
# 薄片観察結果 —No.25切羽(No.25-2\_40R\_1)—



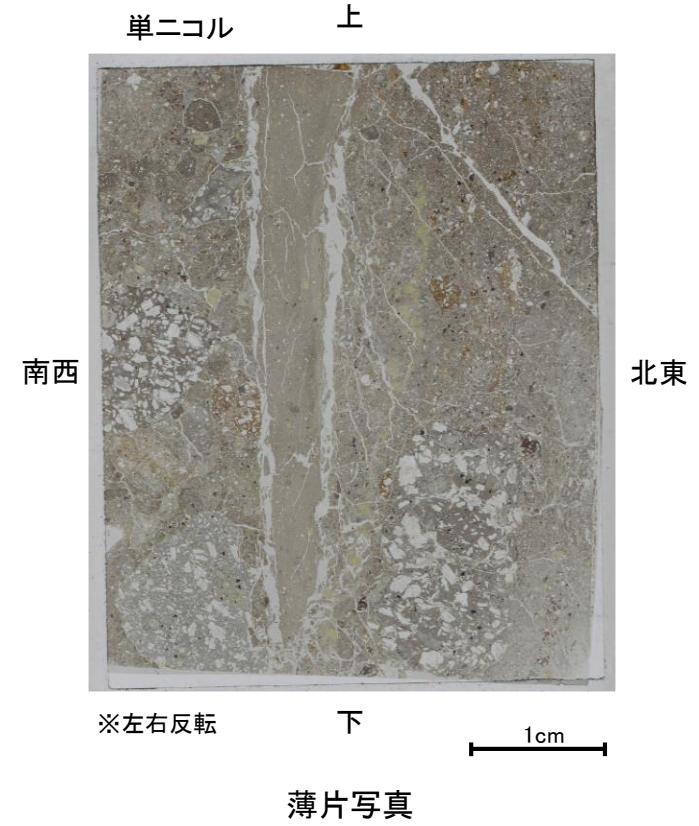
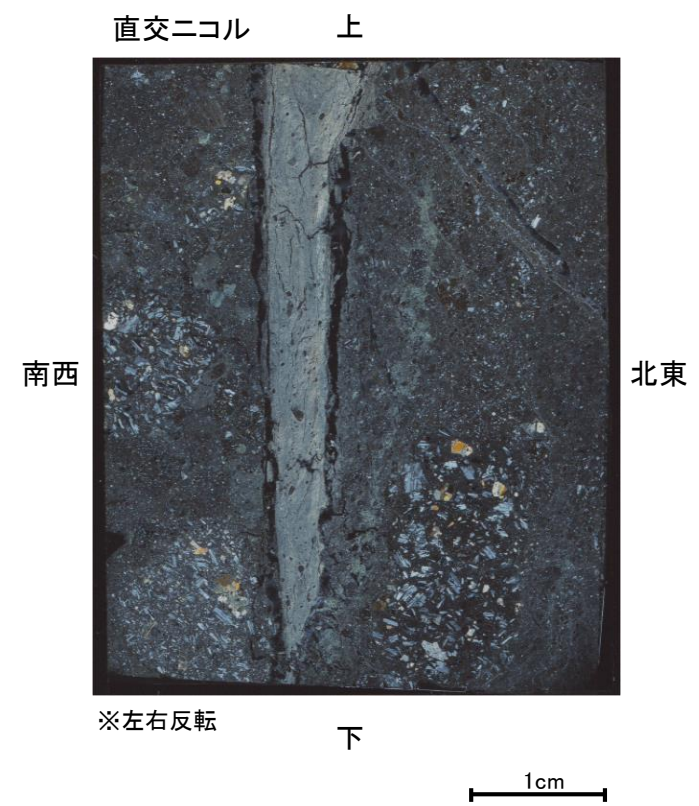
試料採取位置付近(No.25切羽)



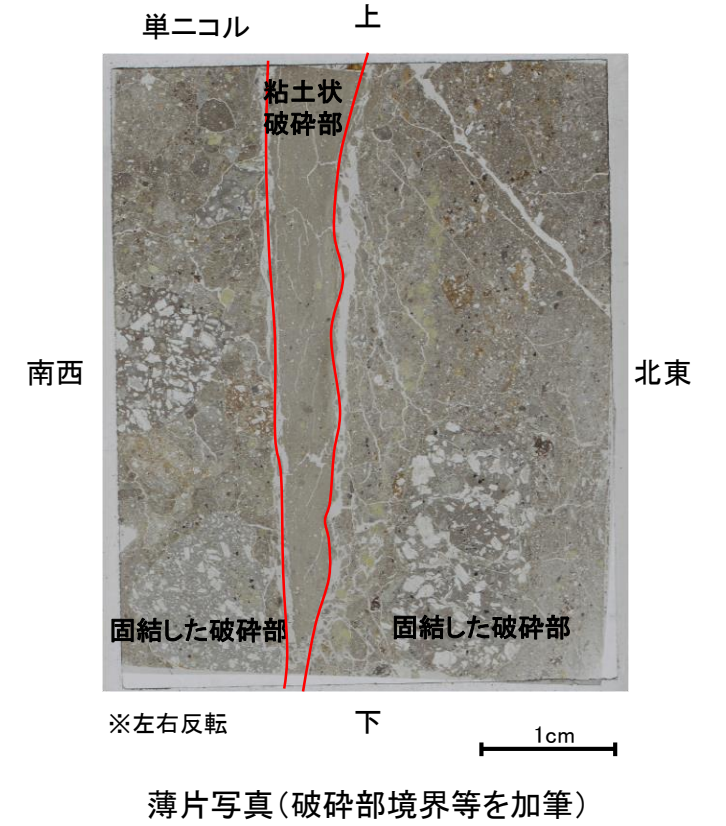
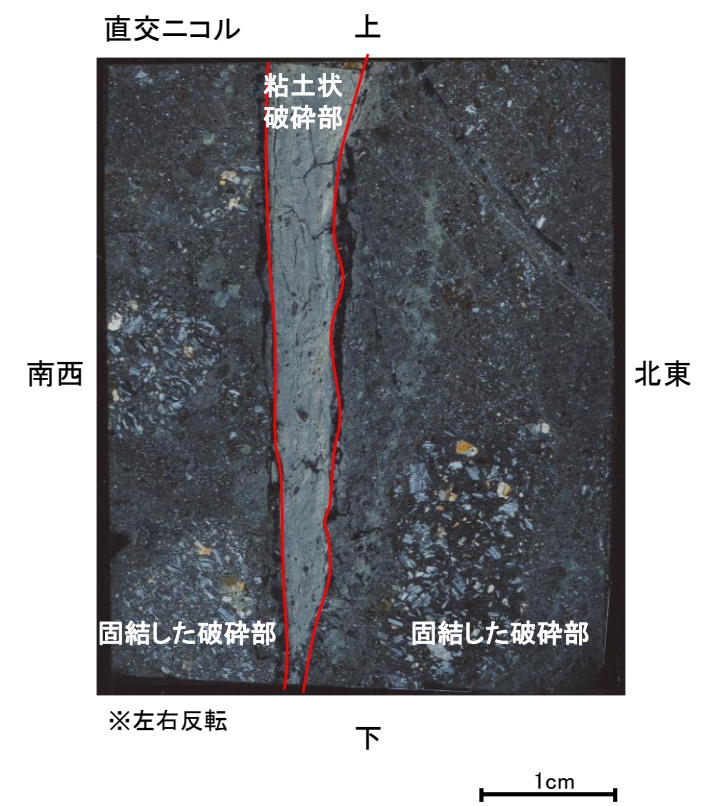
観察面概念図(No.25-2\_40R)



薄片作成位置付近(No.25-2\_40R)



薄片写真

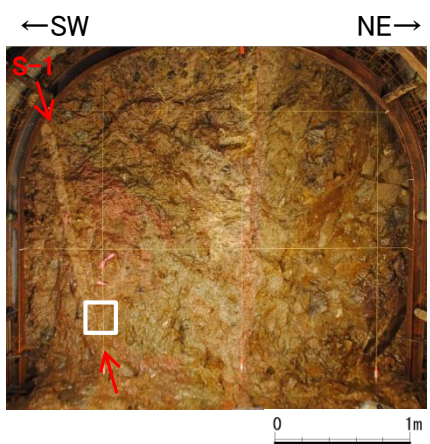


薄片写真(破砕部境界等を加筆)

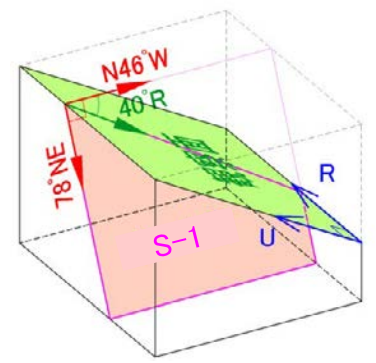
・S-1近接部の礫及び基質には、せん断性の割れ目は認められない。  
・S-1は、凝灰角礫岩の基質の構造を残して粘土化している。



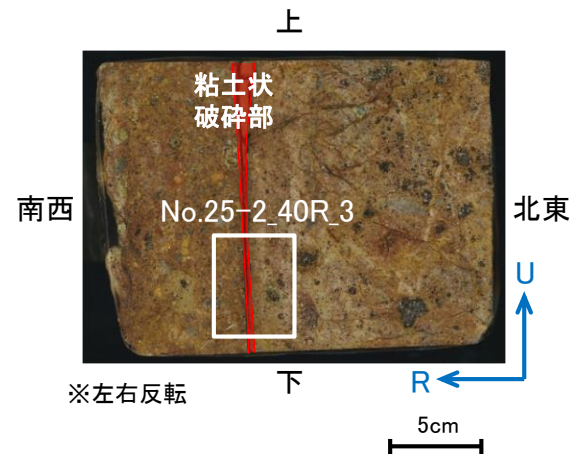
# 薄片観察結果 —No.25切羽(No.25-2\_40R\_3)—



試料採取位置付近(No.25切羽)



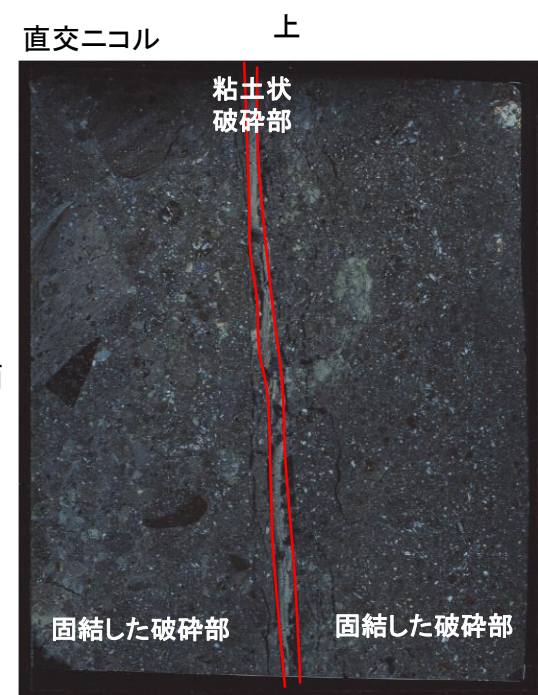
観察面概念図(No.25-2\_40R)



薄片作成位置付近(No.25-2\_40R)



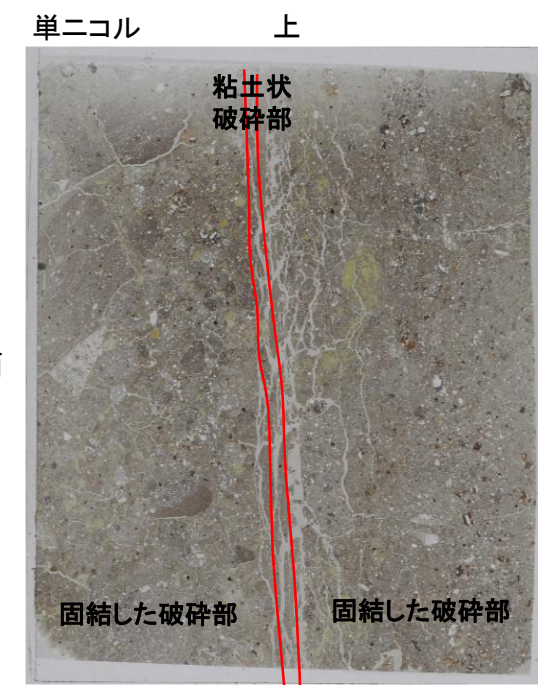
※左右反転 下 1cm



※左右反転 下 1cm



※左右反転 下 1cm



※左右反転 下 1cm

薄片写真

薄片写真(破碎部境界等を加筆)

- ・S-1近接部の礫及び基質には、せん断性の割れ目は認められない。
- ・S-1は、凝灰角礫岩の基質の構造を残して粘土化している。



---

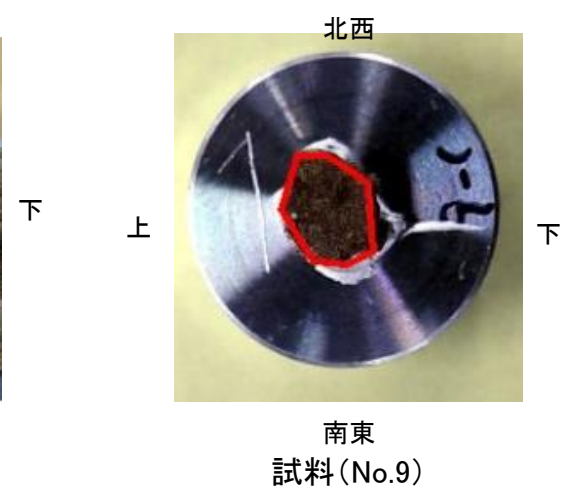
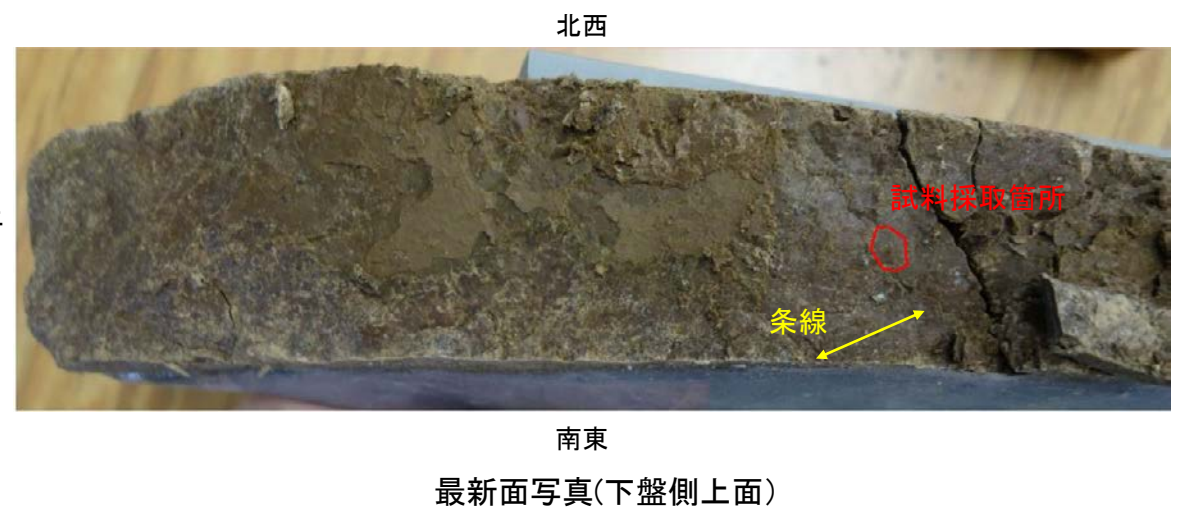
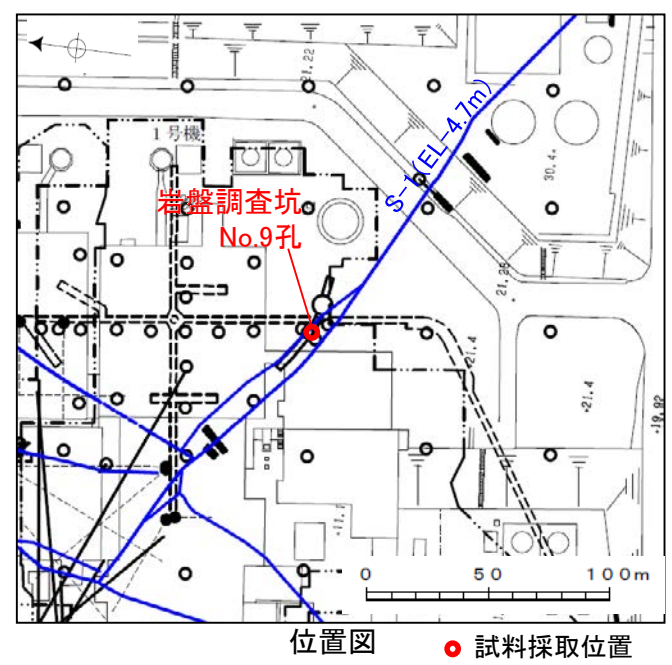
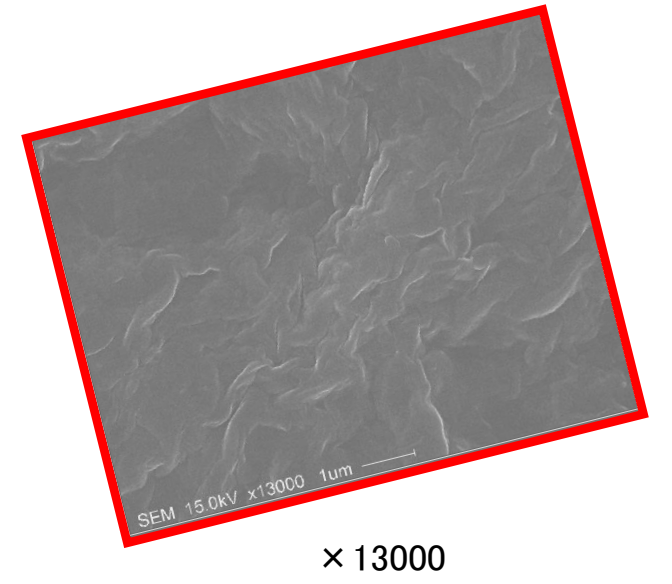
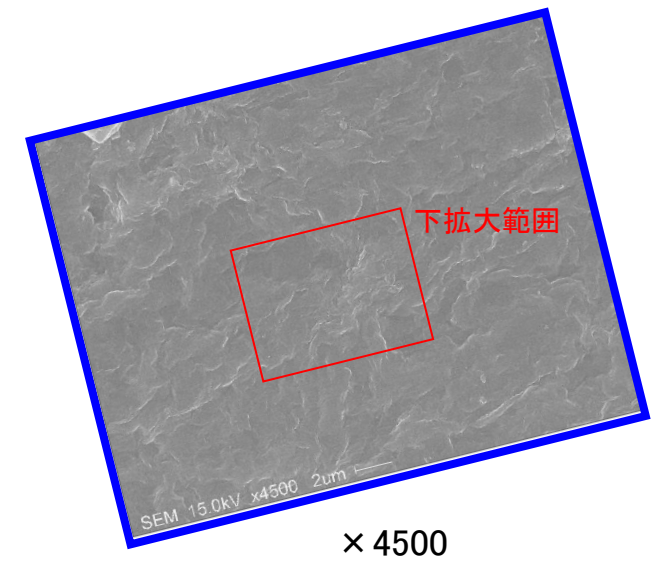
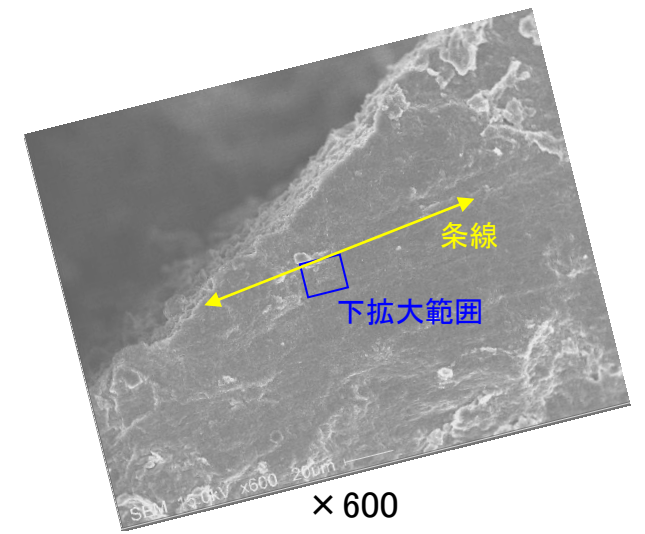
### (3) SEM觀察(岩盤調査坑No.9孔)



# SEM観察(岩盤調査坑No.9孔) — 評価結果 —

- SEM観察により、条線が認められた最新面上における粘土鉱物(XRD分析, EPMA分析からI/S混合層と認定)の結晶構造及びその破碎状況を確認した。
- 岩盤調査坑No.9孔で認められたS-1の最新面から採取した試料について、SEM観察を実施した結果、条線が認められた最新面上に、フレーク状の粘土鉱物の自形結晶を確認した。
- この粘土鉱物の自形結晶に破碎は認められない。

○SEM観察では、粘土鉱物の自形結晶に破碎は認められないものの、粘土鉱物(I/S混合層)とS-1の最新面との切り合い関係が不明確である。





---

余白



---

## 5. 5-1

### 上載地層法に関する調査結果(S-2・S-6)



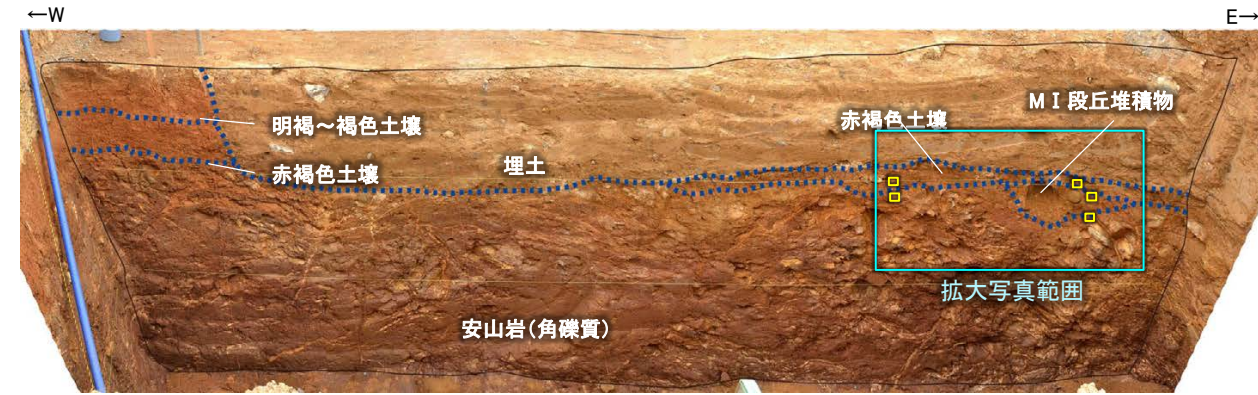
---

(1) No.3トレンチ



# No.3トレンチ 試料採取位置(南側トレンチ 北面, 東面)

■No.3南側トレンチの北面, 東面, 南面において岩盤と堆積物の境界について, 試料採取前に肉眼観察を行い, その結果を基に薄片観察, XRD分析, XRF分析の試料採取箇所を決定した。  
以下に, 北面, 東面, 南面の試料採取箇所を示す。

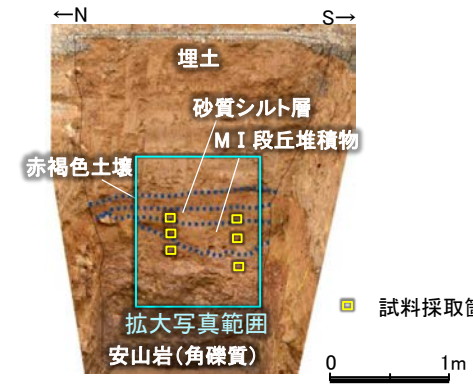


※写真, 境界は有識者会合の  
第2回評価会合時に示したもの

調査位置図(No.3南側トレンチ 北面)

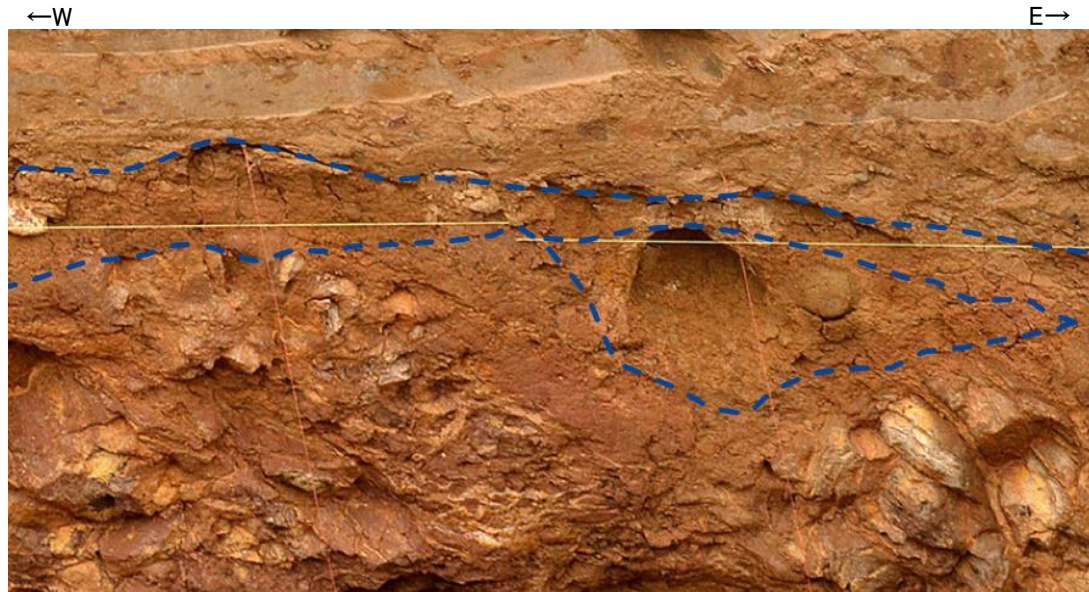
■ 試料採取箇所

0 1m



■ 試料採取箇所 ※写真, 境界は有識者会合の  
第2回評価会合時に示したもの

調査位置図(No.3南側トレンチ 東面)



拡大写真

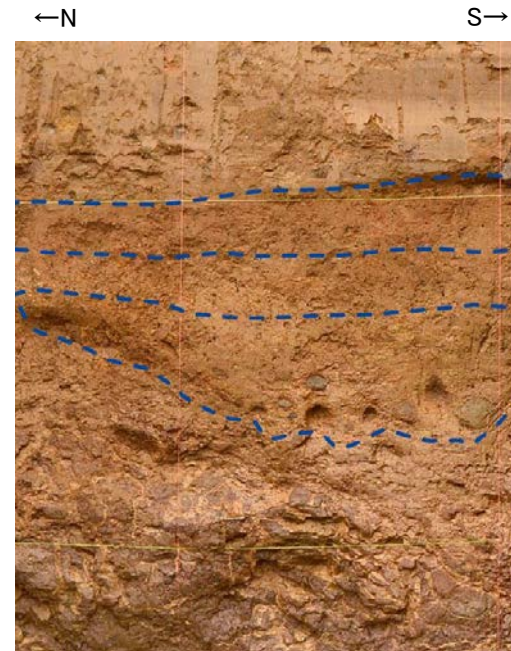


拡大写真(試料採取位置等を加筆)

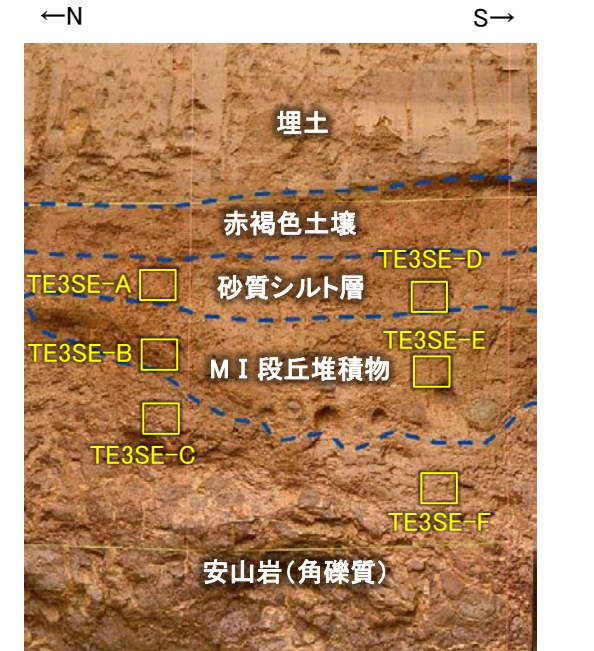
※写真, 境界は有識者  
会合の第2回評価会  
合時に示したもの

■ 試料採取箇所

0 50cm



拡大写真



拡大写真(試料採取位置等を加筆)

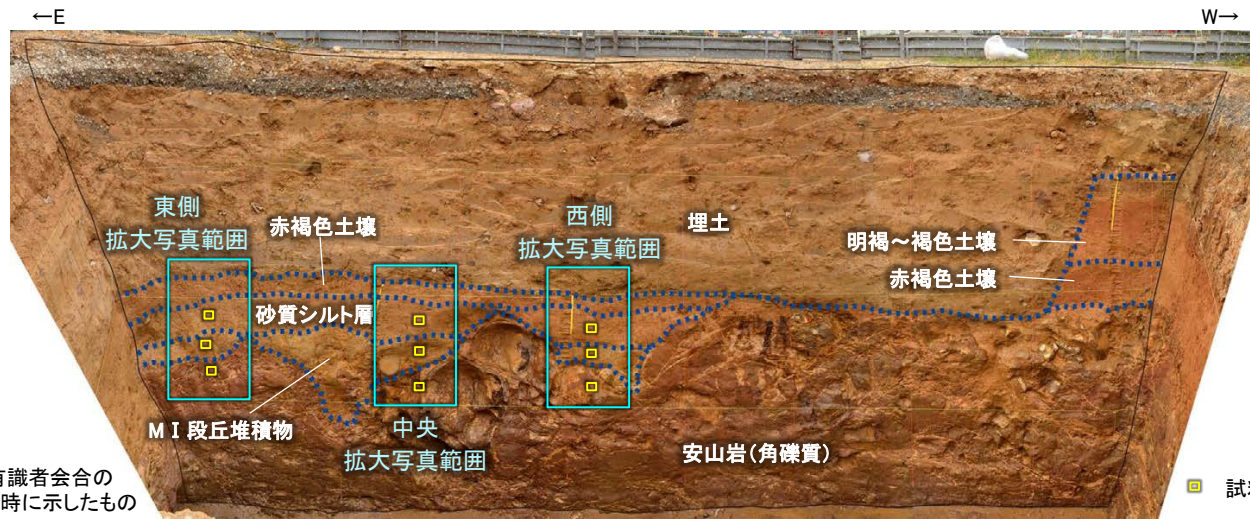
※写真, 境界は有識者会合の  
第2回評価会合時に示したもの

■ 試料採取箇所

0 50cm

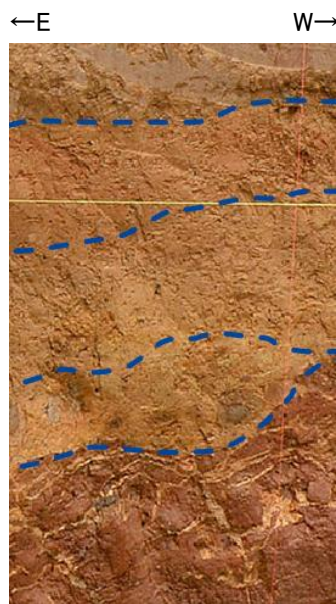


# No.3トレンチ 試料採取位置(南側トレンチ 南面)



※写真, 境界は有識者会合の  
第2回評価会合時に示したもの

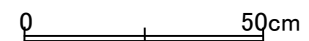
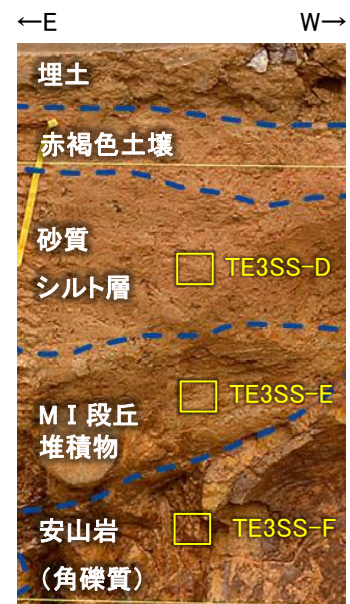
調査位置図(No.3南側トレンチ 南面)



試料採取箇所  
※写真, 境界は有識者会合の  
第2回評価会合時に示したもの

東側拡大写真

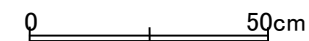
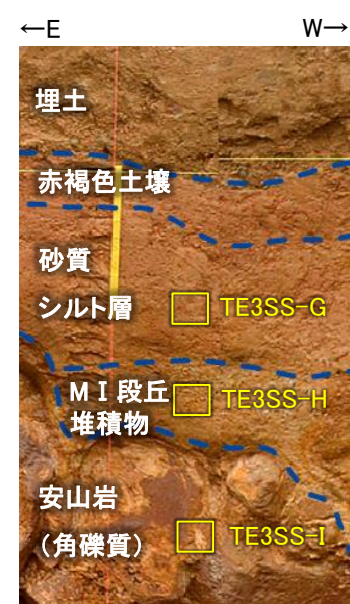
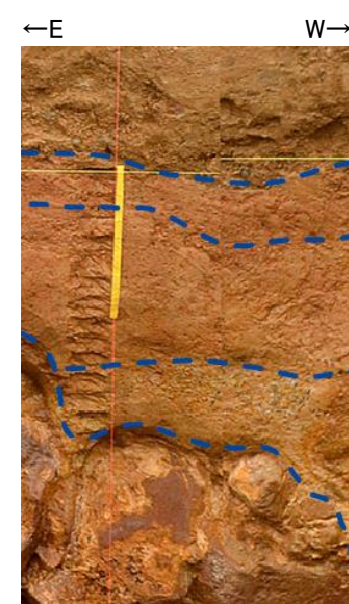
東側拡大写真  
(試料採取位置等を加筆)



試料採取箇所  
※写真, 境界は有識者会合の  
第2回評価会合時に示したもの

中央拡大写真

中央拡大写真  
(試料採取位置等を加筆)



試料採取箇所  
※写真, 境界は有識者会合の  
第2回評価会合時に示したもの

西側拡大写真

西側拡大写真  
(試料採取位置等を加筆)



# No.3トレンチ 試料採取位置(南側トレンチ)

試料採取位置	肉眼観察による区分	採取物の特徴
TE3SN-A	赤褐色土壌	赤褐～明褐色を呈するシルト質粘土, 中程度の亜角塊状土壌構造が認められる。
TE3SN-B	安山岩(角礫質)	強風化した安山岩角礫質の基質部。褐～黄灰色を呈し, 割目に黒色皮膜および明褐色粘土が付着する。
TE3SN-C	赤褐色土壌	赤褐～明褐色を呈するシルト質粘土, 中程度の亜角塊状土壌構造が認められる。
TE3SN-D	M I 段丘堆積物	明褐～黄灰色の砂質シルトに径1～3mmの灰色安山岩粒子を含む。
TE3SN-E	安山岩(角礫質)	強風化した安山岩角礫質の基質部。褐～暗褐色を呈し, 開口した割目に明褐色の砂混じり粘土が流入する。
TE3SE-A	砂質シルト層	にぶい褐色を呈するシルトからなり砂分が僅かに混じる。
TE3SE-B	M I 段丘堆積物	明褐～黄灰色の砂質シルトに径1～3mmの灰色安山岩粒子を含む。一部で風化により粘土化し褐色を帯びる。
TE3SE-C	安山岩(角礫質)	強風化した安山岩角礫質の基質部。褐～黄灰色を呈し割目に黒色皮膜および明褐色粘土が付着する。
TE3SE-D	砂質シルト層	にぶい褐色を呈するシルトからなり砂分が僅かに混じる。
TE3SE-E	M I 段丘堆積物	明褐～黄灰色の砂質シルトに, 径1～3mmの灰色安山岩粒子を含む。一部で風化により粘土化し褐色を帯びる。
TE3SE-F	安山岩(角礫質)	強風化した安山岩角礫質の基質部。褐～暗褐色を呈し, 開口した割目に明褐色の砂混じり粘土が流入する。
TE3SS-A	砂質シルト層	にぶい褐色を呈するシルトからなり砂分が僅かに混じる。
TE3SS-B	M I 段丘堆積物	明褐～黄灰色を呈し, 径1～3mmの灰色安山岩粒子を含む。
TE3SS-C	安山岩(角礫質)	強風化した安山岩角礫質の基質部。褐～暗褐色を呈し, 割目に黒色皮膜および明褐色粘土が付着する。
TE3SS-D	砂質シルト層	にぶい褐色を呈するシルトからなり砂分が僅かに混じる。
TE3SS-E	M I 段丘堆積物	明褐～黄灰色を呈し, 径1～3mmの灰色安山岩粒子を含む。
TE3SS-F	安山岩(角礫質)	明灰色の安山岩角礫質の礫部。風化残留核の一部であり, ナイフで傷が付く程度の硬さである。斜長石や輝石の斑晶が認められる。
TE3SS-G	砂質シルト層	にぶい褐色を呈するシルトからなり砂分が僅かに混じる。
TE3SS-H	M I 段丘堆積物	褐～暗褐色を呈し, 径1～3mmの灰色安山岩粒子を含む。
TE3SS-I	安山岩(角礫質)	明灰色の安山岩角礫質の礫部。風化残留核の一部であり, ナイフで傷が付く程度の硬さである。斜長石や輝石の斑晶が認められる。

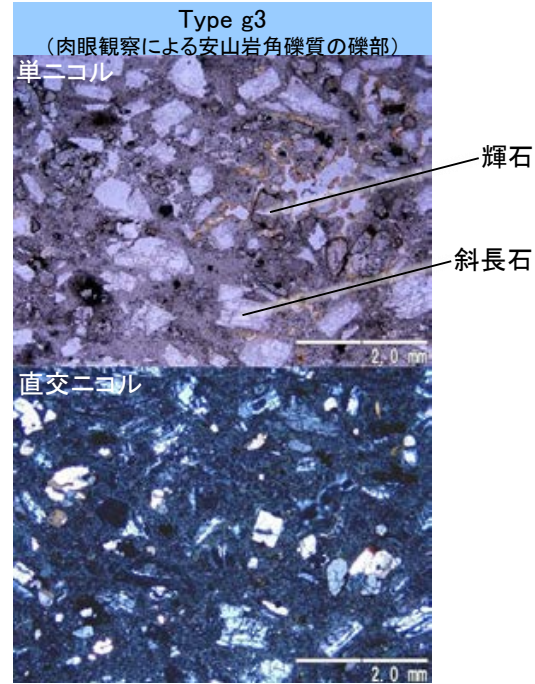


# No.3トレンチ ①薄片観察結果(南側トレンチ)

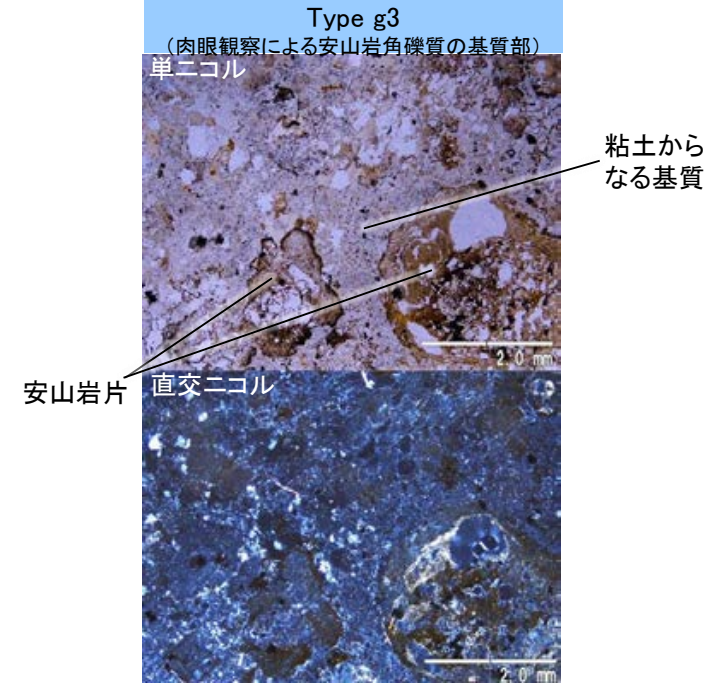
■No.3南側トレンチの北面, 東面, 南面において試料採取した計20枚の薄片観察結果を以下に示す。

岩盤と判断したもの

- (特徴)
- ・砂状粒子の石英をほとんど含まない(石英は初生的には安山岩に含まれない)
  - ・斜長石や輝石が自形の斑晶として認められないし, 基質部では微細な粘土からなる基質中にやや角ばった安山岩片が含まれることが多い



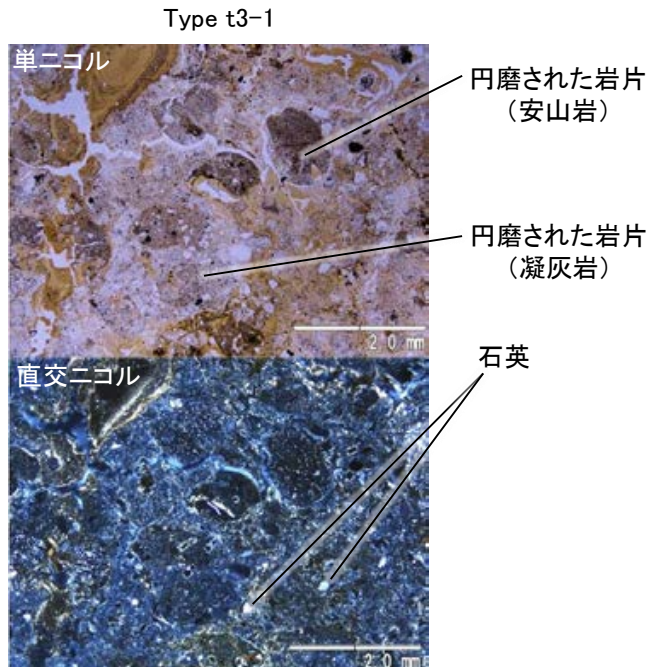
TE3SS-F



TE3SE-F

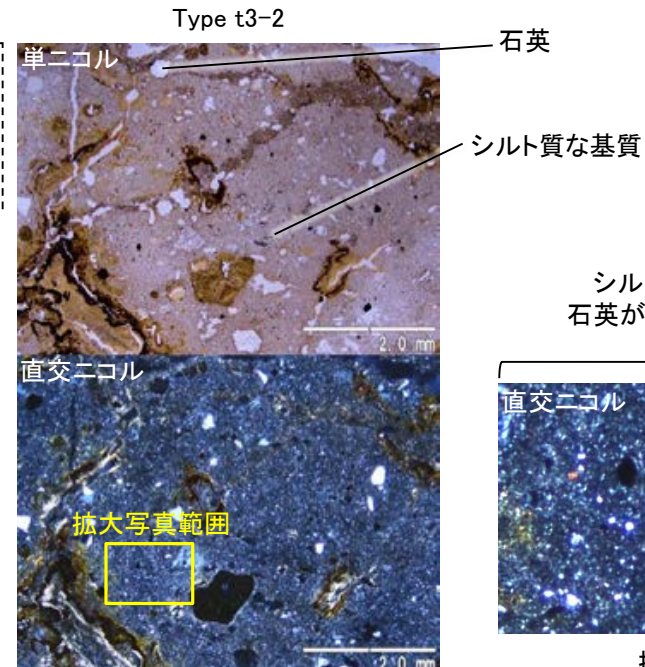
堆積物と判断したもの

- (特徴)
- ・砂状粒子の石英を含む
  - ・円磨された岩片(安山岩, 凝灰岩)を含むことが多い

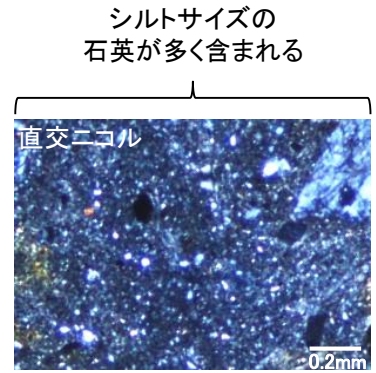


TE3SE-E

- (特徴)
- ・シルト質の基質に砂状やシルト状粒子の石英を多く含む



TE3SS-D



拡大写真

・薄片観察の結果, 岩盤と堆積物に区分され, 堆積物はさらに2種類に細区分される。



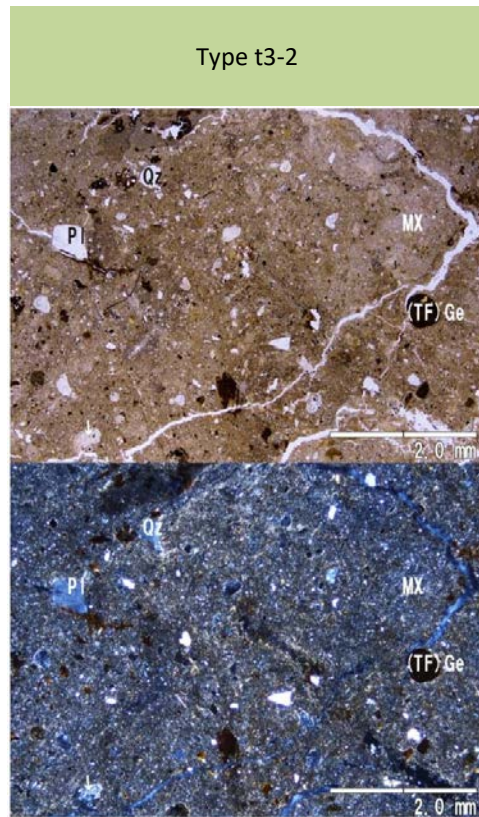
# No.3トレンチ ①薄片観察結果一覧(南側トレンチ)

	北面		東面		南面			
堆積物 (Type t3-2)	Type t3-2	Type t3-2	Type t3-2	Type t3-2	Type t3-2	Type t3-2	Type t3-2	
	TE3SN-A	TE3SN-C	TE3SE-A	TE3SE-D	TE3SS-A	TE3SS-D	TE3SS-G	
	堆積物 (Type t3-1)	Type t3-1	Type t3-1	Type t3-1	Type t3-1	Type t3-1	Type t3-1	Type t3-1
		TE3SN-D	TE3SE-B	TE3SE-E	TE3SS-B	TE3SS-E	TE3SS-H	
		岩盤	Type g3	Type g3	Type g3	Type g3	Type g3	Type g3
TE3SN-B			TE3SN-E	TE3SE-C	TE3SE-F	TE3SS-C	TE3SS-F	TE3SS-I

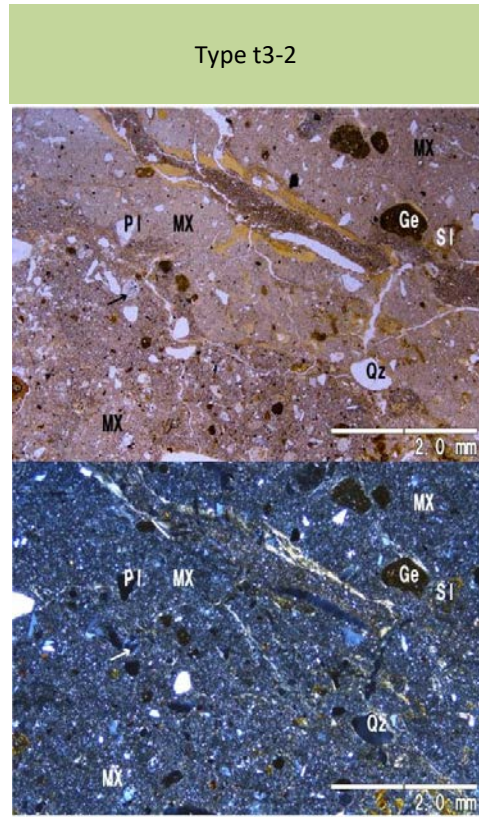
※写真上は単ニコル, 写真下は直交ニコル



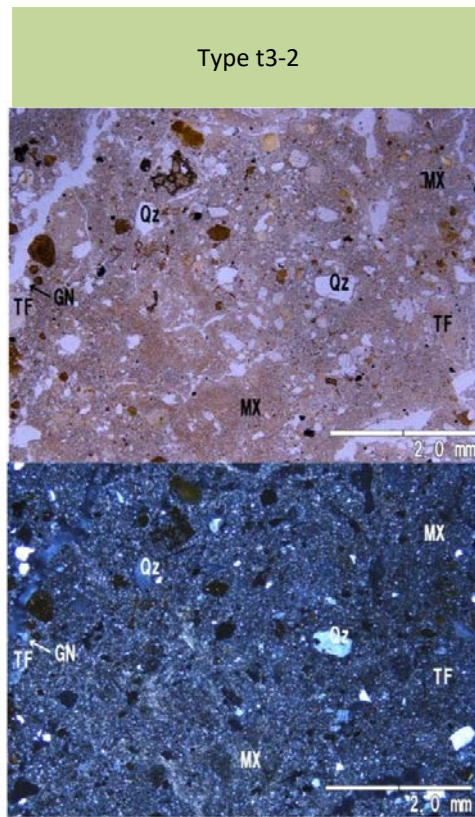
# No.3トレンチ ①薄片観察結果(南側トレンチ Type t3-2)



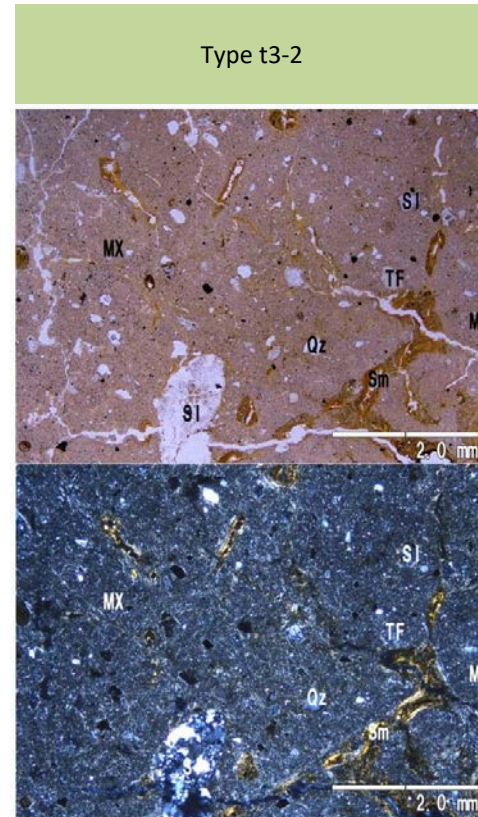
TE3SN-A



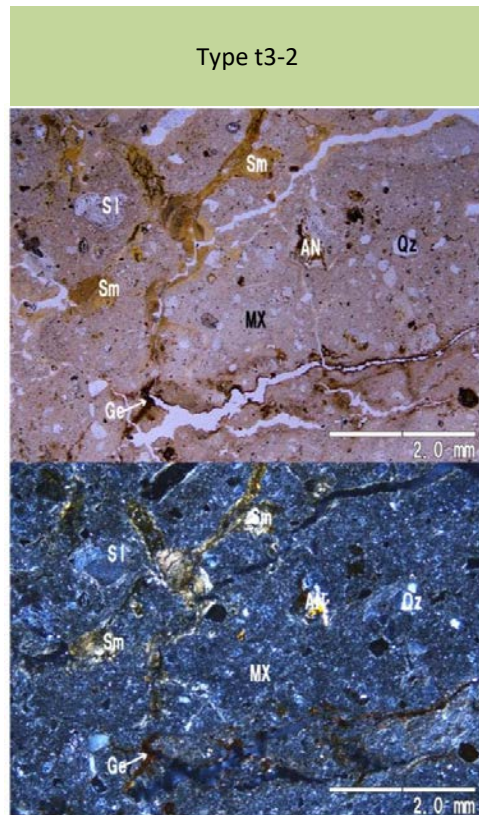
TE3SE-A



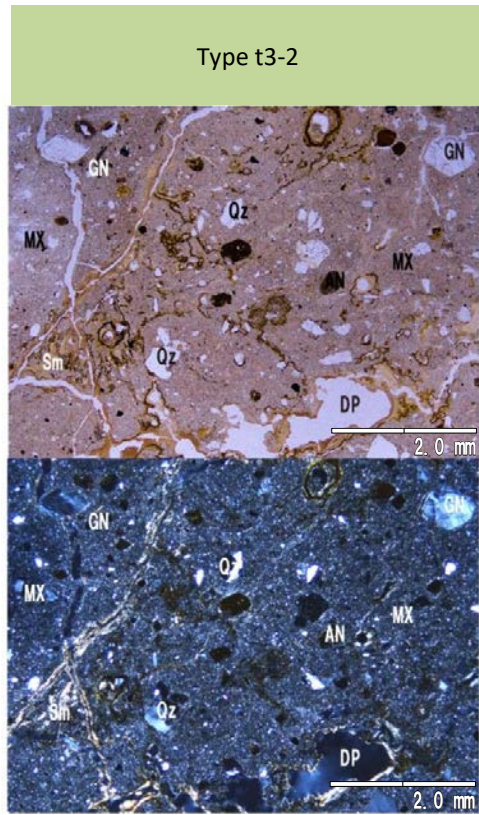
TE3SS-A



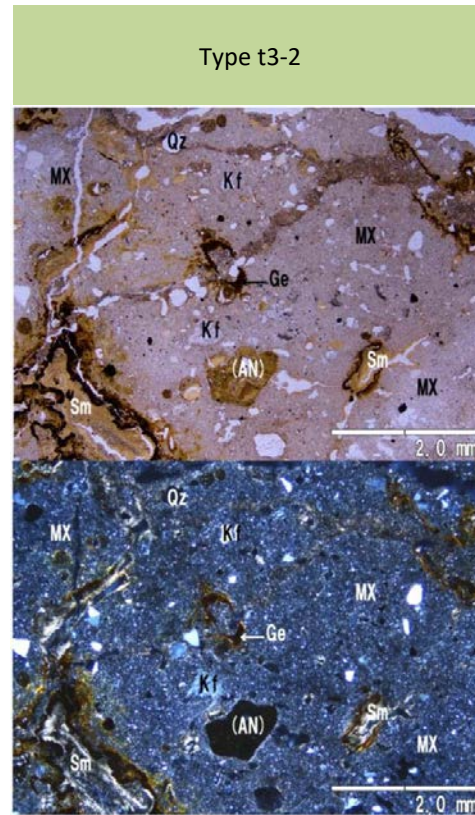
TE3SS-G



TE3SN-C



TE3SE-D



TE3SS-D

## 凡例(鉱物名)

### [岩片・生物遺骸]

AN:安山岩 TF:凝灰岩 GN:花崗岩質岩 SI:珪化岩 MS:泥岩

### [初成鉱物・鉱物片]

Qz:石英 Pl:斜長石 Kf:カリ長石 Bi:黒雲母 Hb:普通角閃石  
Opx:斜方輝石 Cpx:単斜輝石  
Mf:(詳細不明)苦鉄質鉱物 Op:不透明鉱物

### [2次鉱物]

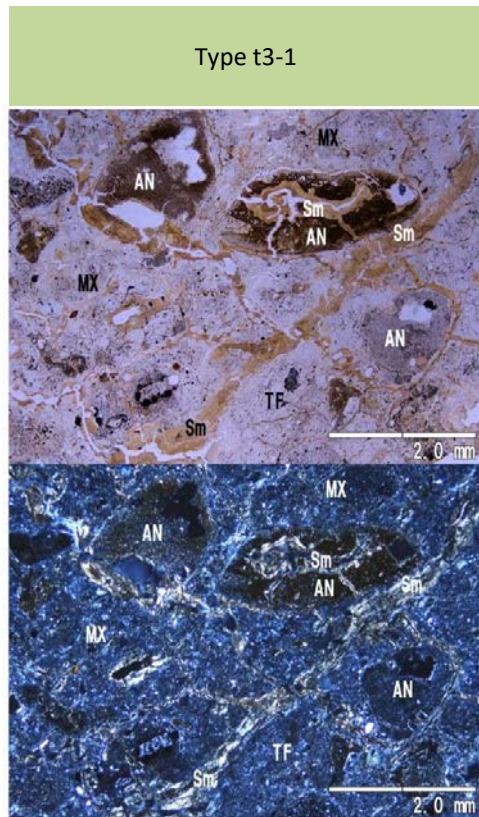
Si:(詳細不明)シリカ鉱物 Ver:バーミュライト Sm:スメクタイト Cl:(詳細不明)粘土鉱物  
Ge:水酸化鉄 Zeo:沸石類 Py:黄鉄鉱 Amo:非晶質物質(Ge以外)

### [その他の記号]

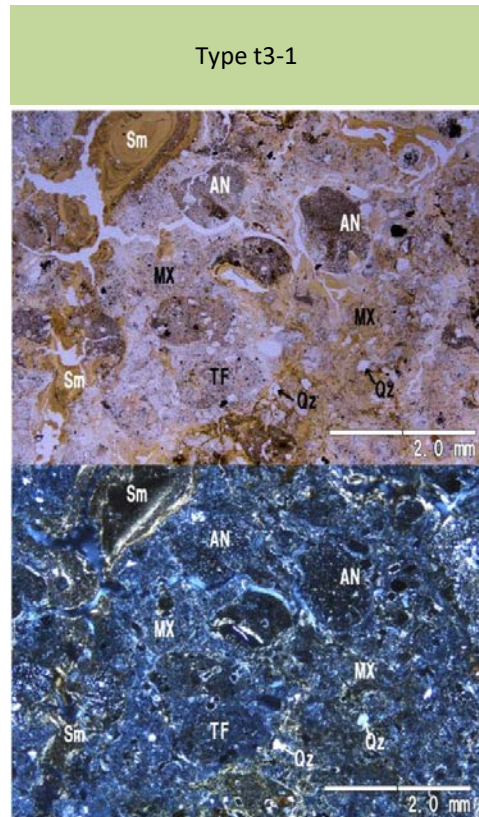
( ):仮像 MX:基質および石基 FP:フラクチャー孔隙  
DP:溶解孔隙



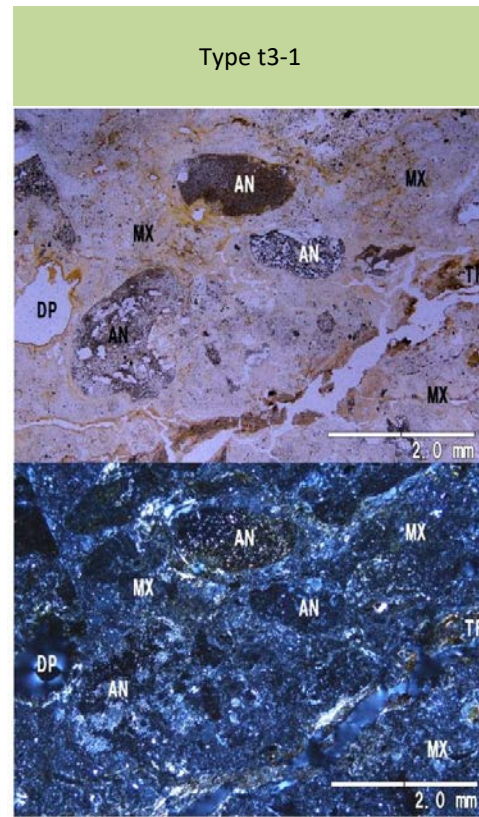
# No.3トレンチ ①薄片観察結果(南側トレンチ Type t3-1)



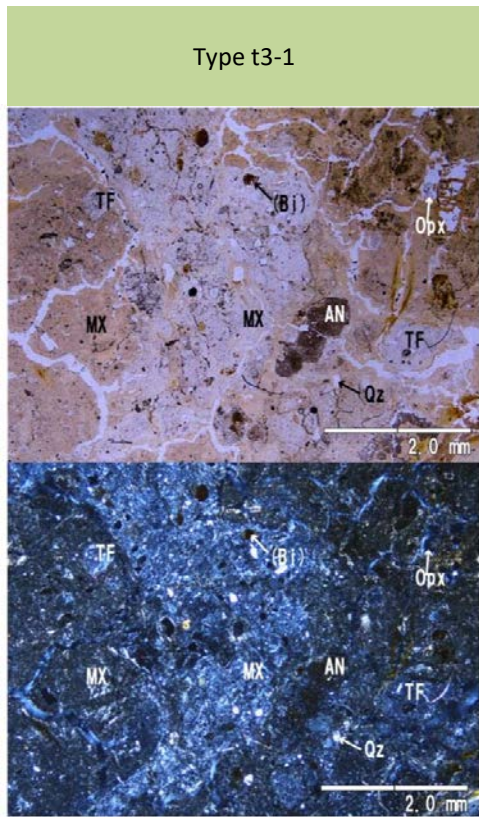
TE3SN-D



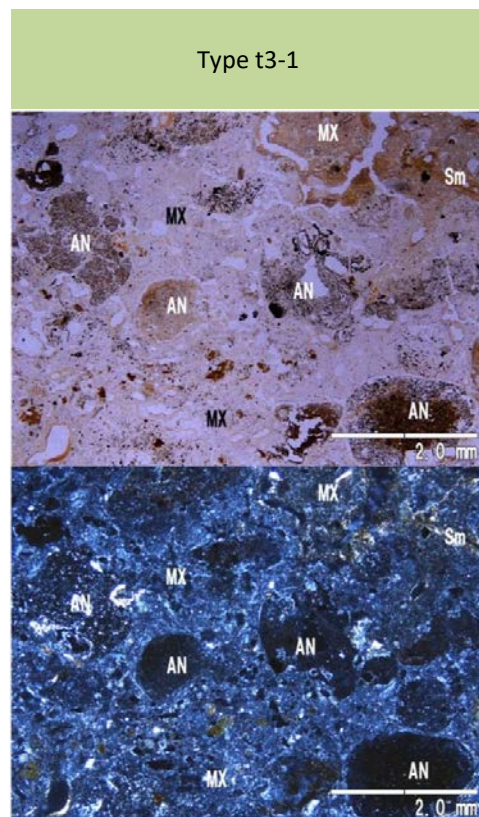
TE3SE-E



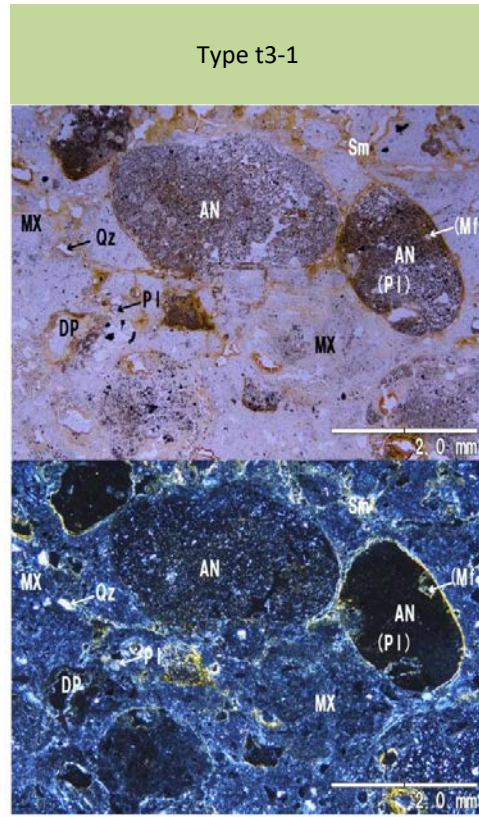
TE3SS-E



TE3SE-B



TE3SS-B



TE3SS-H

## 凡例(鉱物名)

### [岩片・生物遺骸]

AN:安山岩 TF:凝灰岩 GN:花崗岩質岩 SI:珪化岩 MS:泥岩

### [初成鉱物・鉱物片]

Qz:石英 Pl:斜長石 Kf:カリ長石 Bi:黒雲母 Hb:普通角閃石  
Opx:斜方輝石 Cpx:単斜輝石  
Mf:(詳細不明)苦鉄質鉱物 Op:不透明鉱物

### [2次鉱物]

Si:(詳細不明)シリカ鉱物 Ver:バーミュライト Sm:スメクタイト Cl:(詳細不明)粘土鉱物  
Ge:水酸化鉄 Zeo:沸石類 Py:黄鉄鉱 Amo:非晶質物質(Ge以外)

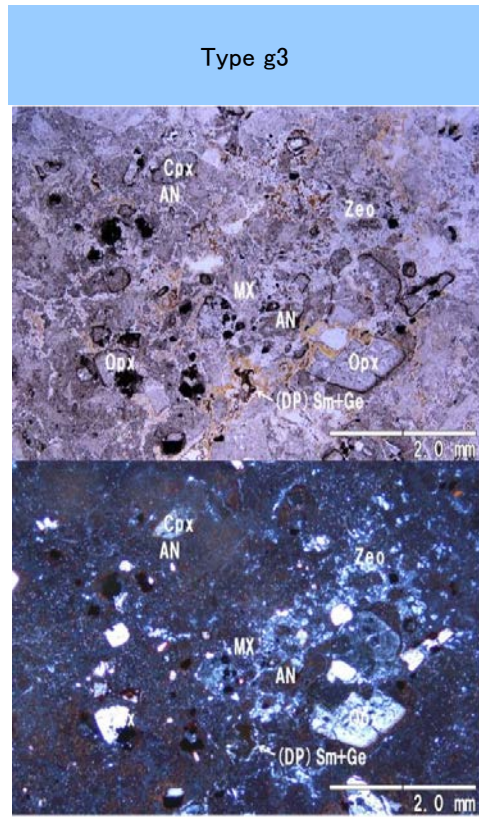
### [その他の記号]

( ):仮像 MX:基質および石基 FP:フラクチャー孔隙  
DP:溶解孔隙

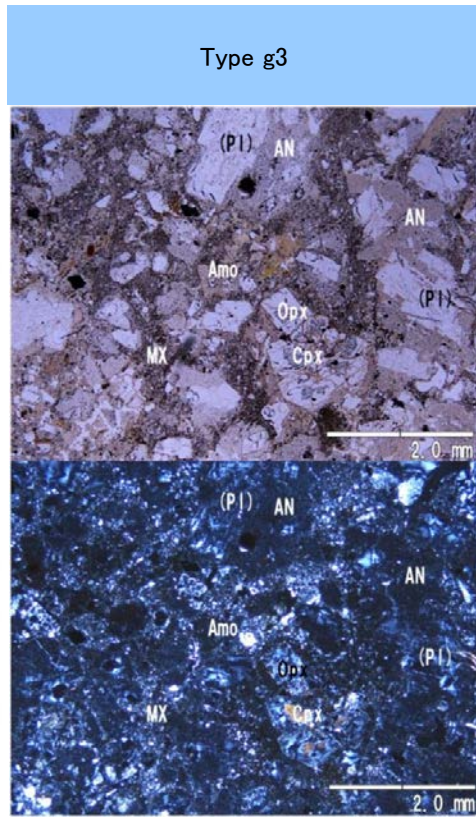
※写真上は単ニコル, 写真下は直交ニコル。



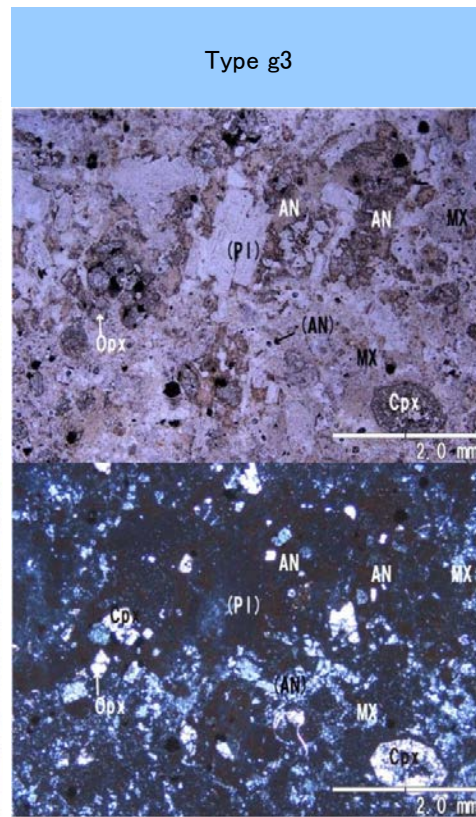
# No.3トレンチ ①薄片観察結果(南側トレンチ Type g3)



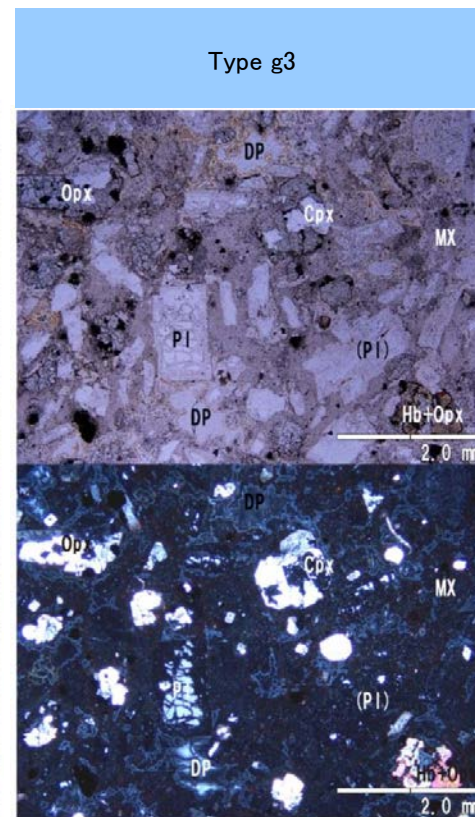
TE3SN-B



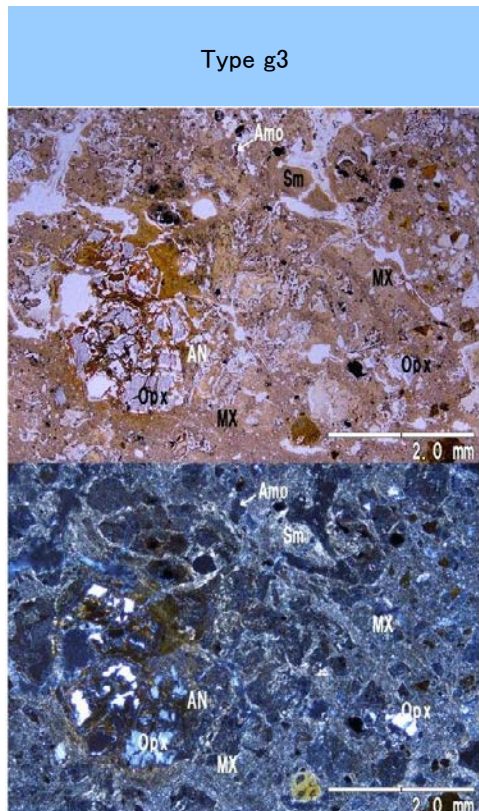
TE3SE-C



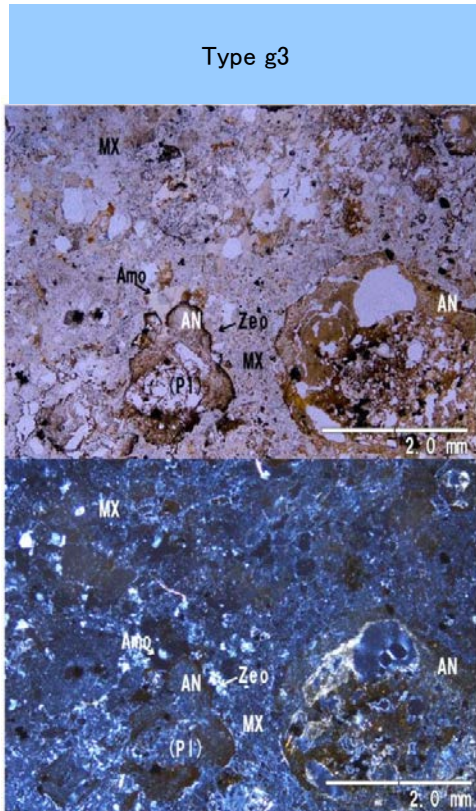
TE3SS-C



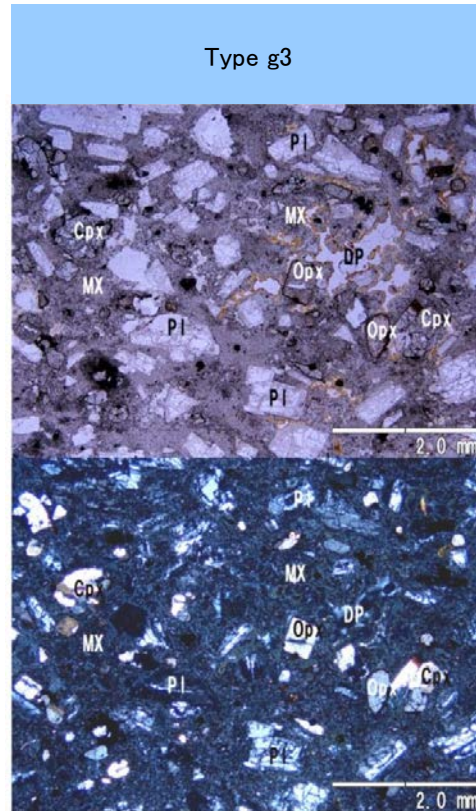
TE3SS-I



TE3SN-E



TE3SE-F



TE3SS-F

## 凡例(鉱物名)

### [岩片・生物遺骸]

AN:安山岩 TF:凝灰岩 GN:花崗岩質岩 SI:珪化岩 MS:泥岩

### [初成鉱物・鉱物片]

Qz:石英 Pl:斜長石 Kf:カリ長石 Bi:黒雲母 Hb:普通角閃石  
Opx:斜方輝石 Cpx:単斜輝石  
Mf:(詳細不明)苦鉄質鉱物 Op:不透明鉱物

### [2次鉱物]

Si:(詳細不明)シリカ鉱物 Ver:バーミュライト Sm:スメクタイト Cl:(詳細不明)粘土鉱物  
Ge:水酸化鉄 Zeo:沸石類 Py:黄鉄鉱 Amo:非晶質物質(Ge以外)

### [その他の記号]

( ):仮像 MX:基質および石基 FP:フラクチャー孔隙  
DP:溶解孔隙



# No.3トレンチ ②XRD分析結果(南側トレンチ)

■XRD分析による検出鉱物を薄片観察結果と比較した。

トレンチ位置	試料名	薄片観察による 岩相区分	石英 最強ピーク	XRDによる検出鉱物																
				石英	クリストバライト	トリディマイト	カリ長石	斜長石	角閃石	輝石類	7Å型ハロイサイト	雲母鉱物	緑泥石	スメクタイト	バーミキュライト	ギブサイト	磁鉄鉱	磁赤鉄鉱	赤鉄鉱	針鉄鉱
No.3 南側	TE3SN-A	堆積物 Type t3-2	5462	○	△		±	±			△	±	±					±	±	
	TE3SN-C		3970	○	△		±				△	±		±	±				±	±
	TE3SE-A		9441	◎	△		±				△	±	±						±	±
	TE3SE-D		12185	◎	△		+				△	±		±	±				±	±
	TE3SS-A		8875	◎	△		±				△	±		±					±	±
	TE3SS-D		11550	◎	△		±				△	±		±	±				±	
	TE3SS-G		5761	◎	△		±	±			△	±		±					±	±
	TE3SN-D	2097	堆積物 Type t3-1	2097	○	△		±			△	±		±	±				±	
	TE3SE-B	5651		◎	△		±				△	±		±					±	±
	TE3SE-E	4169		○	△		±	±			△	±		±	±				±	±
	TE3SS-B	3140		○	△			±			△			±					±	±
	TE3SS-E	3021		○	△		±	±			△	±							±	±
	TE3SS-H	2924		○	△		±				△	±				±			±	
	TE3SN-B	-		岩盤 Type g3	-		△					△	△		±	△				△
	TE3SN-E	1272	△		△						△	±		±	±				+	±
	TE3SE-C	791	△		△						+	△		±	+				+	
	TE3SE-F	1823	△		△							△	±	±	+				+	±
	TE3SS-C	-			△						△	△	±		±				△	
TE3SS-F	-		○					△	±	△	+							+		
TE3SS-I	-		△					△		△	+		±	±	±			+		

◎: 多量>5000cps ○: 中量2500~5000cps △: 少量500~2500cps +: 微量250~500cps ±: きわめて微量<250cps  
標準石英最強回折線強度 (3回繰り返し測定, 平均53,376cps)

- ・薄片観察にてType t3-2と区分された堆積物は、石英最強ピークが3,970~12,185cpsとType t3-1の堆積物に比べて概ねピーク値が大きく、カリ長石が検出されるものが多い。
- ・薄片観察にてType t3-1と区分された堆積物は、石英最強ピークが2,097~5,651cpsで、カリ長石が検出されるものが多い。
- ・薄片観察にてType g3と区分された岩盤は、石英最強ピークが検出されない~1,823cpsと堆積物に比べて小さく、スメクタイトが検出されるものが多い。

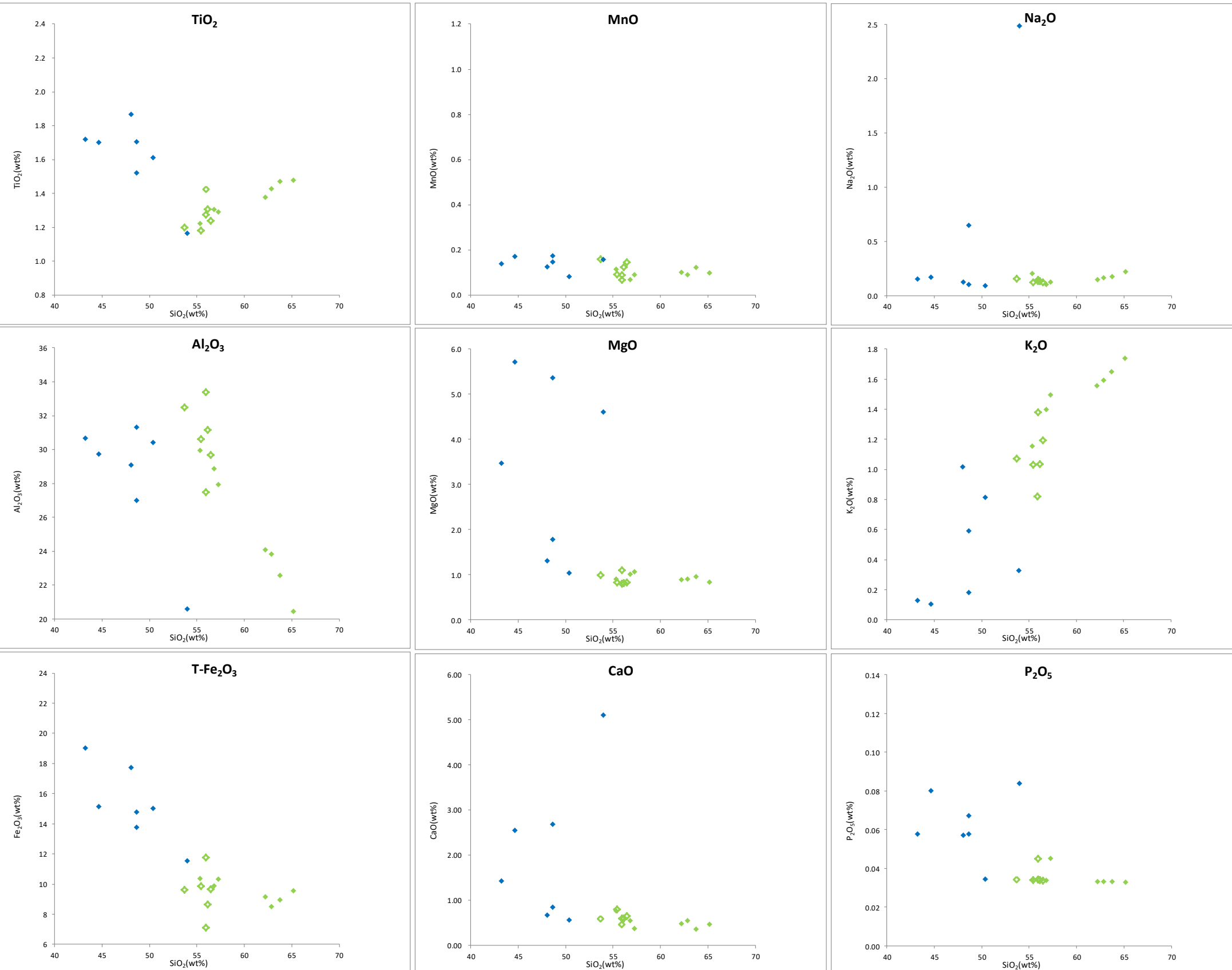
・石英のピーク値及び鉱物組成を比較した結果、薄片観察結果(岩盤と堆積物の区分)を支持する結果が得られた。



# No.3トレンチ ③XRF分析結果 ハーカー図(南側トレンチ)

■XRF分析による主要化学組成を薄片観察結果と比較した。

- ◆ 堆積物 Type t3-2
- ◇ 堆積物 Type t3-1
- ◆ 岩盤 Type g3



・主要化学組成を比較した結果，SiO<sub>2</sub>等の量比から薄片観察結果(岩盤と堆積物の区分)を支持する結果が得られた。



主要化学組成(Ig.Loss規格化後)

試料名	Type	SiO <sub>2</sub>	TiO <sub>2</sub>	Al <sub>2</sub> O <sub>3</sub>	T-Fe <sub>2</sub> O <sub>3</sub>	MnO	MgO	CaO	Na <sub>2</sub> O	K <sub>2</sub> O	P <sub>2</sub> O <sub>5</sub>	Total
TE3SN-A	t3-2	56.85	1.30	28.84	9.86	0.07	1.00	0.55	0.10	1.39	0.03	100.00
TE3SN-C		55.34	1.22	29.94	10.34	0.11	0.89	0.76	0.20	1.15	0.03	100.00
TE3SE-A		62.22	1.38	24.08	9.13	0.10	0.88	0.47	0.14	1.55	0.03	100.00
TE3SE-D		65.19	1.48	20.42	9.52	0.10	0.84	0.47	0.22	1.74	0.03	100.00
TE3SS-A		62.91	1.43	23.83	8.50	0.09	0.90	0.55	0.16	1.59	0.03	100.00
TE3SS-D		63.76	1.47	22.56	8.93	0.12	0.95	0.35	0.18	1.65	0.03	100.00
TE3SS-G		57.29	1.29	27.93	10.31	0.09	1.05	0.37	0.12	1.49	0.04	100.00
TE3SN-D		t3-1	53.68	1.20	32.48	9.63	0.16	0.99	0.59	0.16	1.07	0.03
TE3SE-B	55.96		1.42	27.48	11.78	0.09	1.10	0.59	0.15	1.38	0.04	100.00
TE3SE-E	56.44		1.24	29.67	9.66	0.15	0.83	0.65	0.12	1.20	0.03	100.00
TE3SS-B	55.44		1.18	30.61	9.85	0.09	0.83	0.81	0.12	1.03	0.03	100.00
TE3SS-E	56.15		1.31	31.16	8.64	0.12	0.82	0.60	0.14	1.03	0.03	100.00
TE3SS-H	55.91		1.28	33.38	7.09	0.07	0.81	0.47	0.14	0.82	0.03	100.00
TE3SN-B	g3		43.28	1.72	30.64	18.99	0.14	3.47	1.43	0.15	0.13	0.06
TE3SN-E		48.06	1.87	29.08	17.69	0.13	1.31	0.67	0.13	1.01	0.06	100.00
TE3SE-C		48.68	1.70	31.31	14.76	0.17	1.77	0.84	0.10	0.59	0.06	100.00
TE3SE-F		50.39	1.61	30.40	15.00	0.08	1.03	0.56	0.09	0.81	0.03	100.00
TE3SS-C		44.71	1.70	29.70	15.12	0.17	5.71	2.54	0.17	0.10	0.08	100.00
TE3SS-F		53.99	1.16	20.57	11.52	0.16	4.60	5.10	2.49	0.33	0.08	100.00
TE3SS-I		48.67	1.52	26.99	13.73	0.15	5.36	2.68	0.65	0.18	0.07	100.00

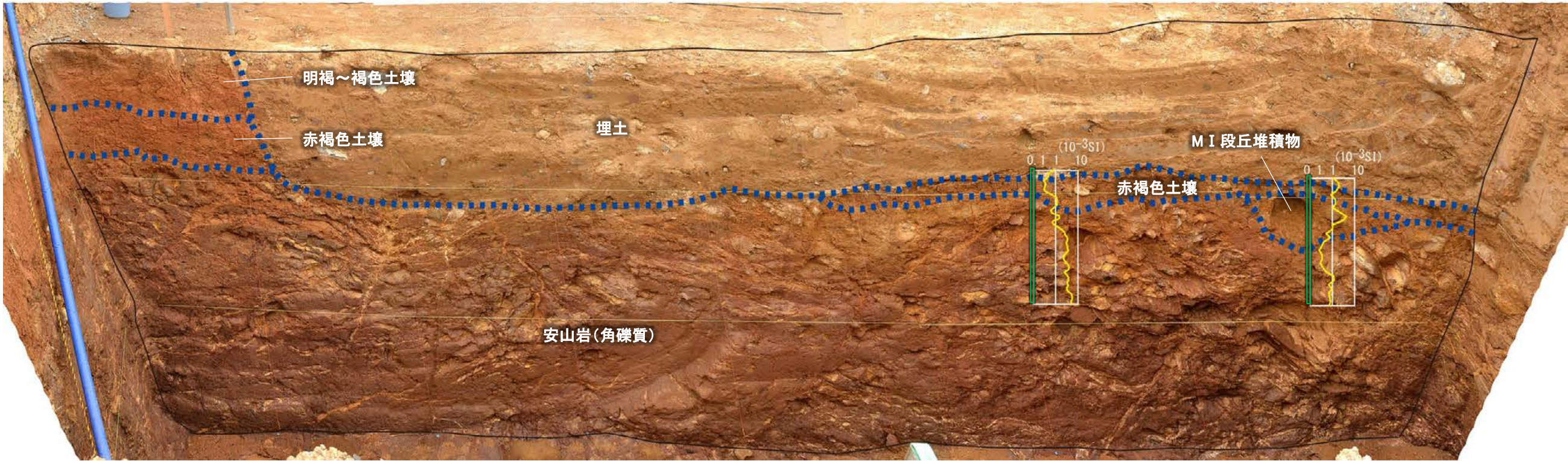


# No.3トレンチ ④帯磁率測定結果(南側トレンチ 北面, 東面)

■No.3南側トレンチの北面, 東面, 南面において帯磁率測定を実施し, 肉眼観察による岩盤と堆積物の境界と比較した。

←W

E→



※写真, 境界は有識者会合の第2回評価会合時に示したもの

北面

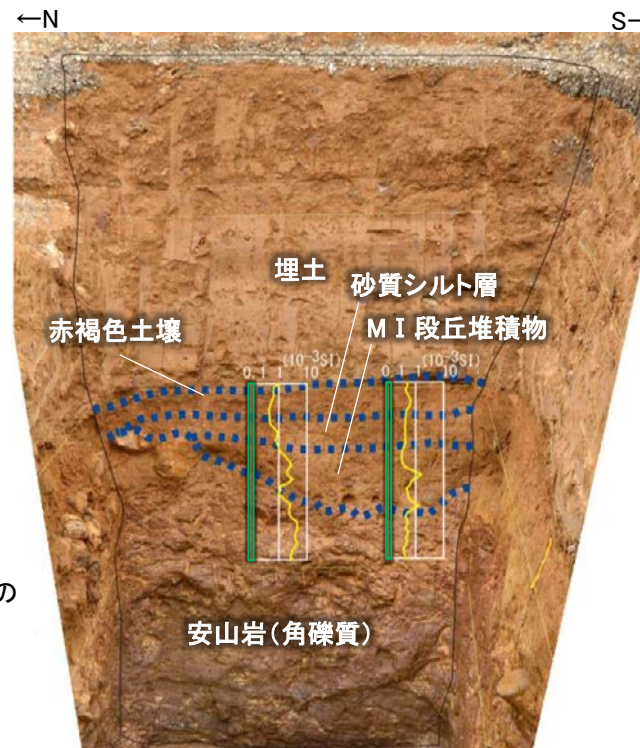
0 1m

□ 帯磁率測定箇所

※写真, 境界は有識者会合の第2回評価会合時に示したもの

0 1m

□ 帯磁率測定箇所



東面  
測定結果

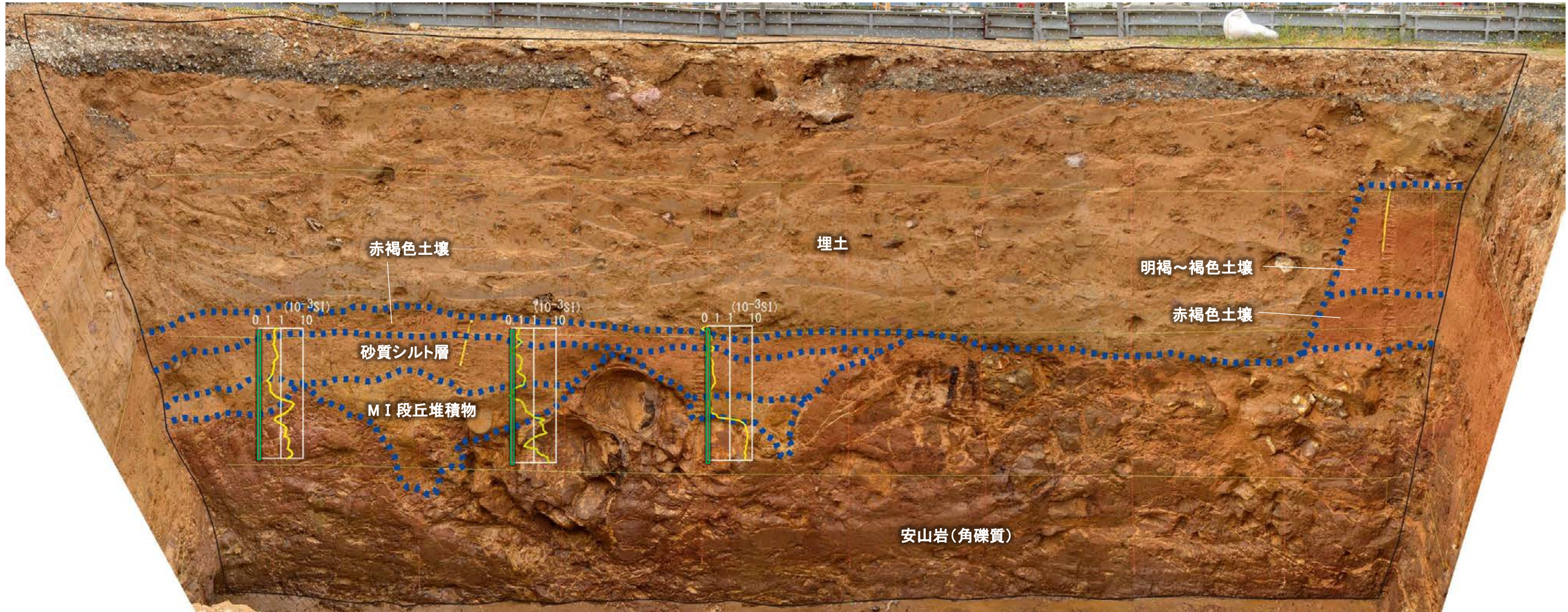
- ・肉眼観察により相対的に新鮮な岩盤や礫と判断される箇所においては帯磁率が大きくなる。
- ・同一地層内でも帯磁率値が急変する箇所が認められる。



# No.3トレンチ ④帯磁率測定結果(南側トレンチ 南面)

←E

W→



※写真, 境界は有識者会合の第2回評価会合時に示したもの

0 1m

南面

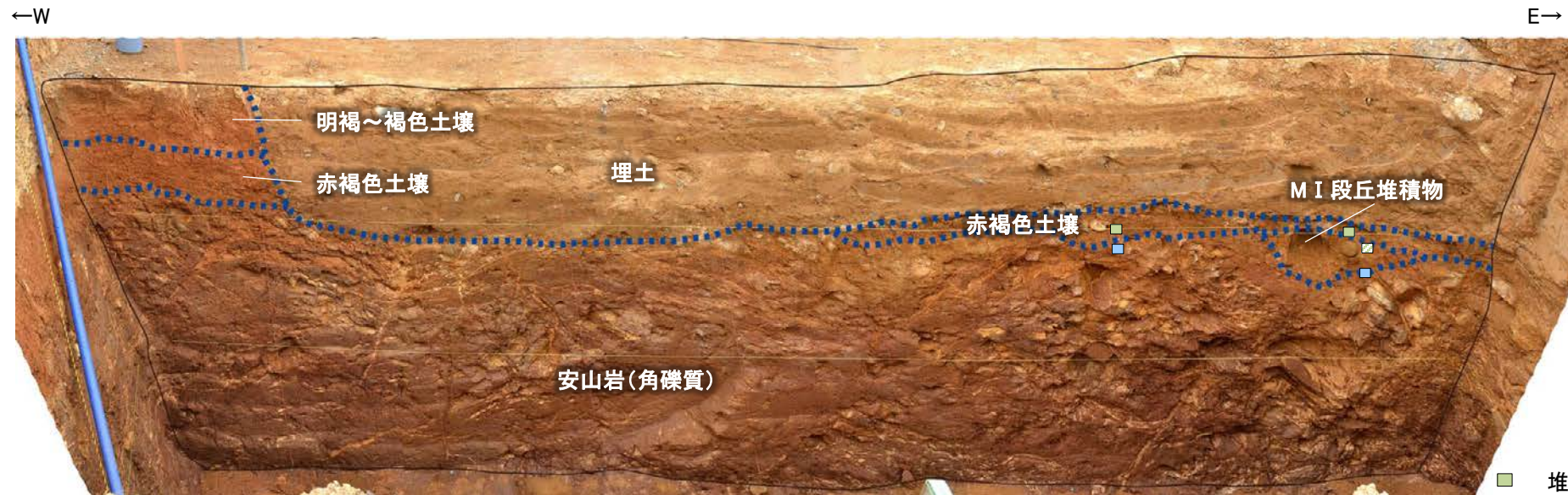
□ 帯磁率測定箇所

測定結果

- ・肉眼観察により相対的に新鮮な岩盤や礫と判断される箇所においては帯磁率が大きくなる。
- ・同一地層内でも帯磁率値が急変する箇所が認められる。

・肉眼観察により相対的に新鮮な岩盤と判断される箇所においては、肉眼観察結果と概ね整合的な結果が得られた。



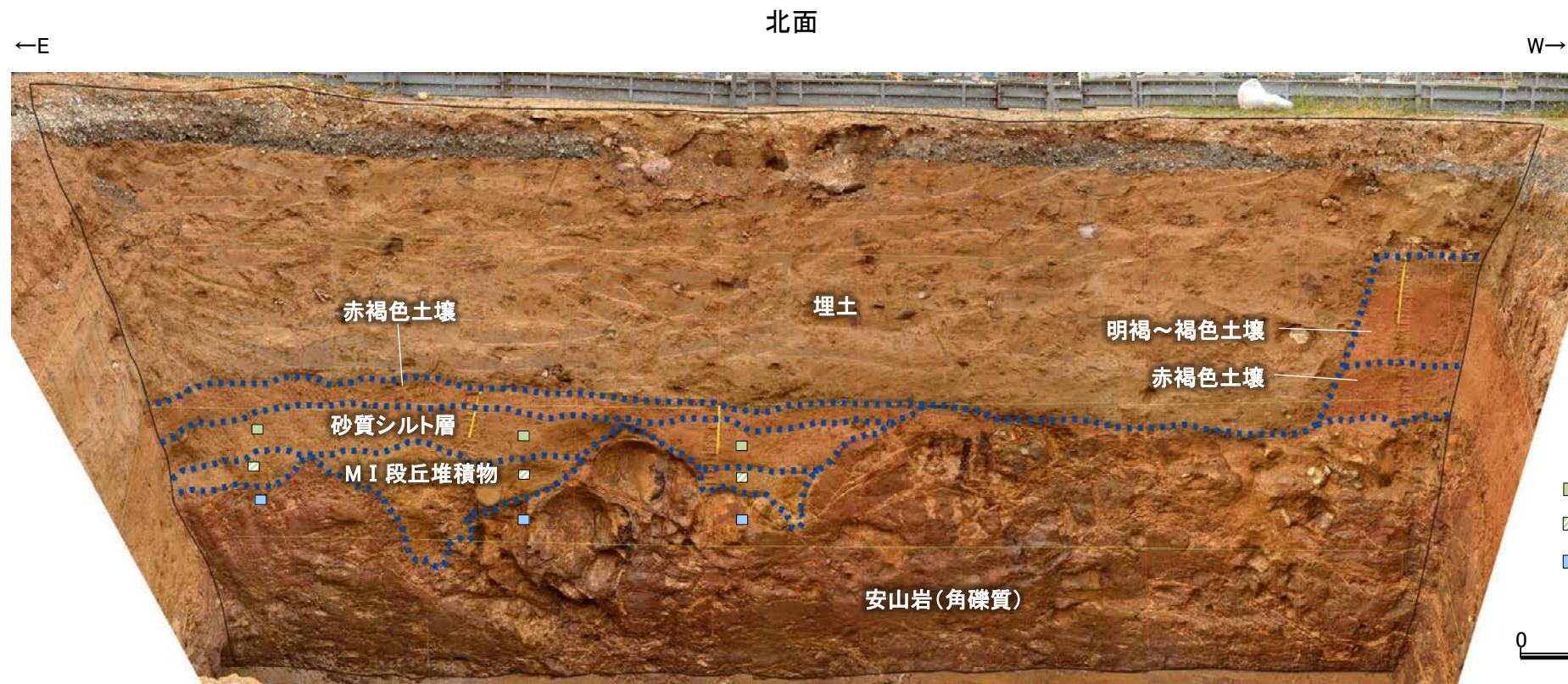


※写真, 境界は有識者会合の第2回評価会合時に示したもの

0 1m

0 1m

- 堆積物Type t3-2
- 堆積物Type t3-1
- 岩盤Type g3



※写真, 境界は有識者会合の第2回評価会合時に示したもの

0 1m

- 堆積物Type t3-2
- 堆積物Type t3-1
- 岩盤Type g3

北面

東面

南面

No.3南側トレンチにおいて, 肉眼観察の結果を基本とし, 各種分析による客観的かつ定量的なデータを整理することにより 岩盤と堆積物の境界を判断すると, 上図の通りとなる。



---

(2) No.1トレンチ



---

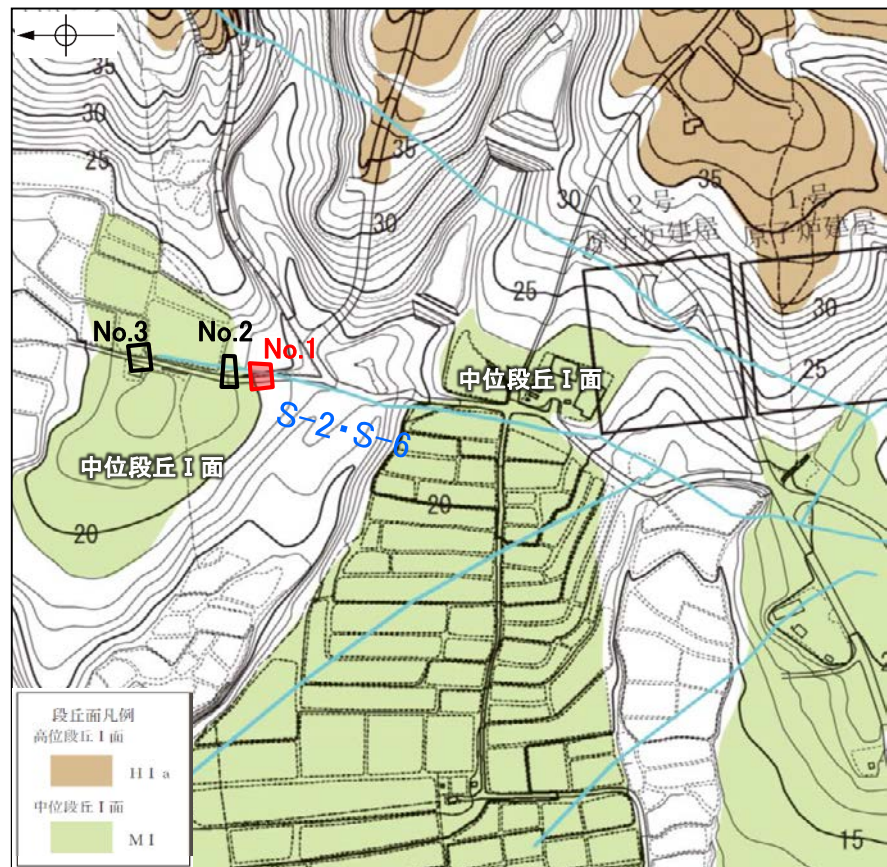
## (2)-1 評価結果



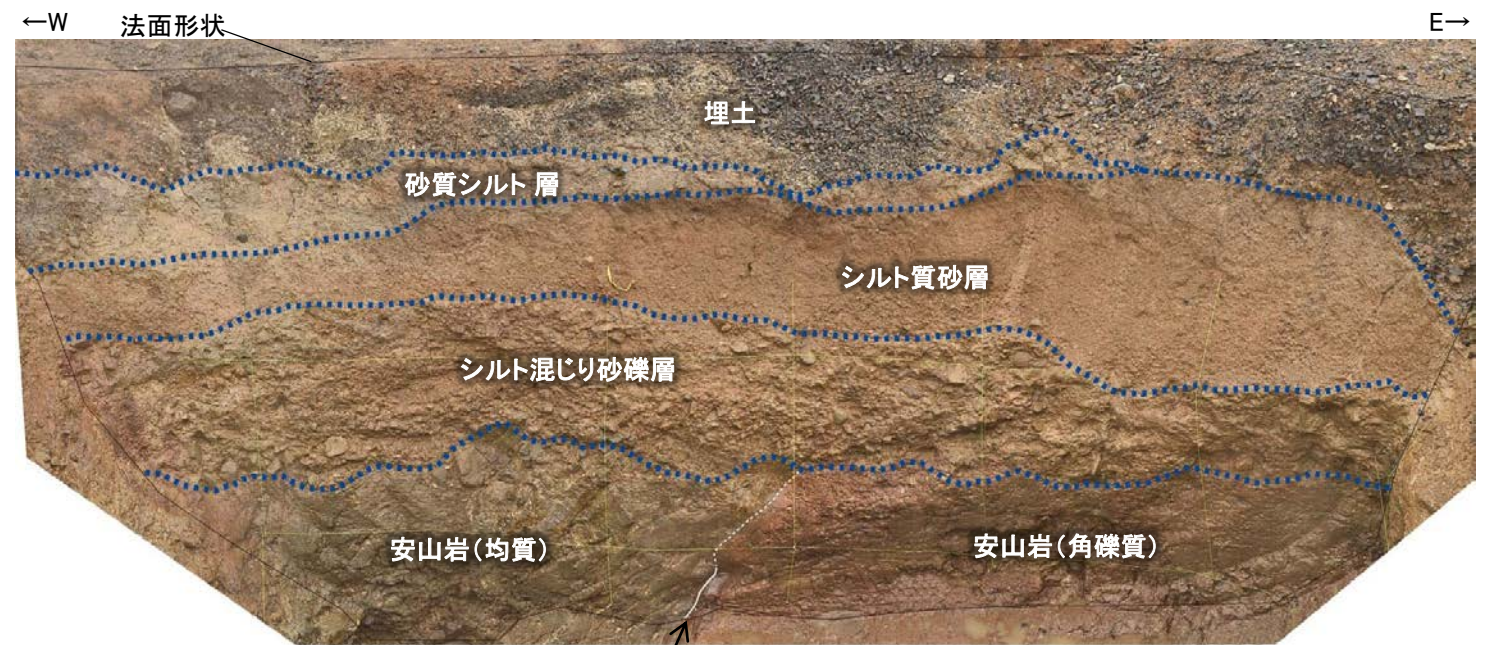




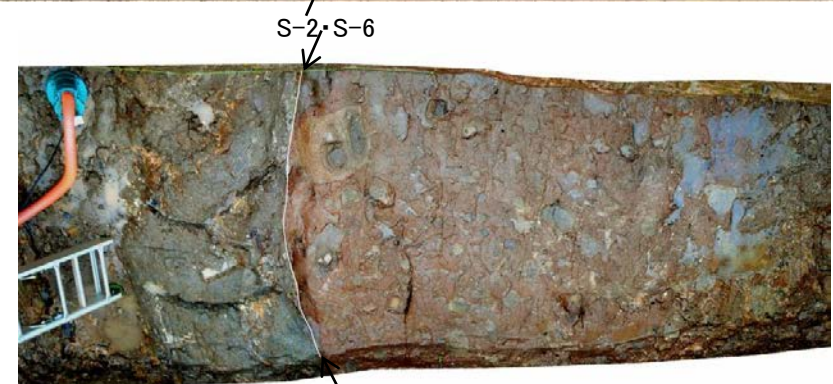
# No.1トレンチ ー全景写真ー



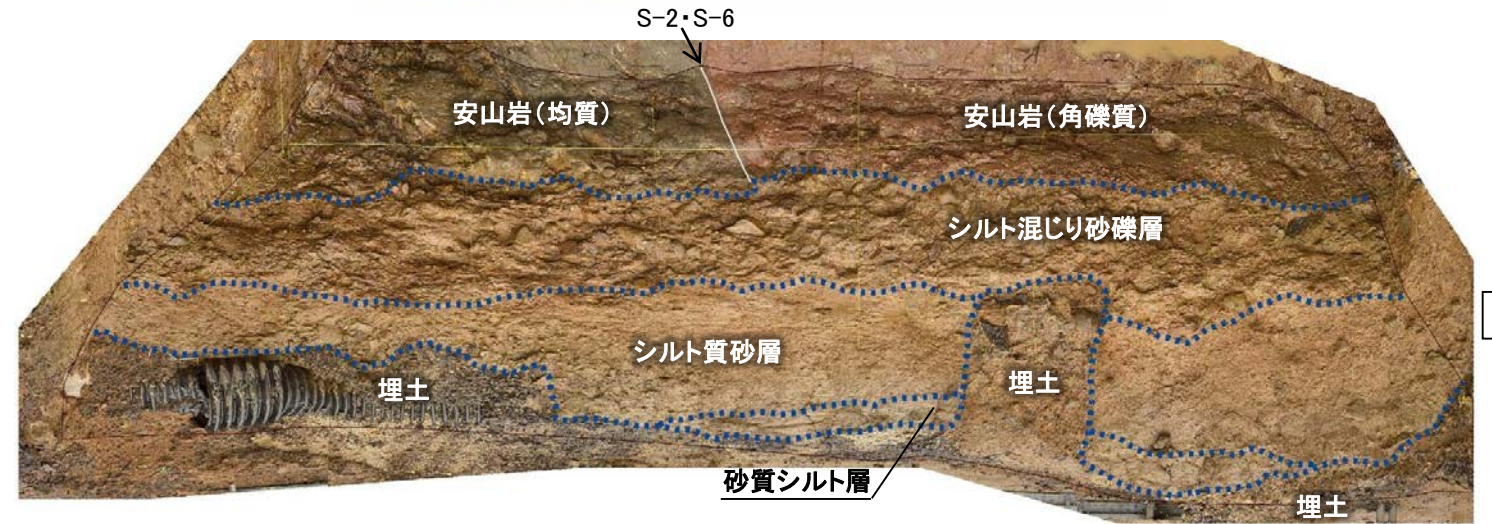
位置図  
 評価対象断層(地表に投影)  
 No.1トレンチ  
 その他トレンチ



北面



底盘



南面

トレンチ写真(断層等を加筆)

0 1m



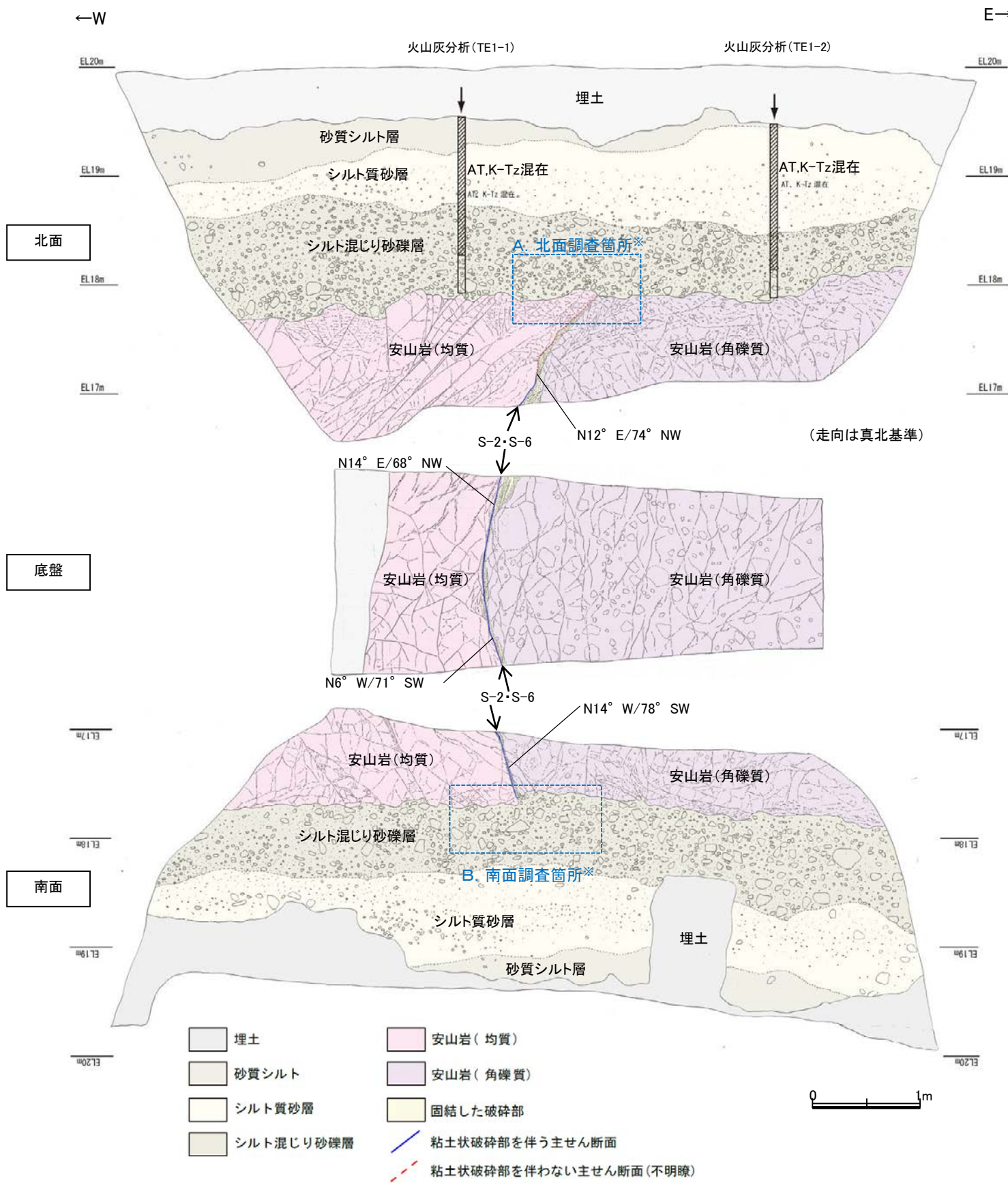
トレンチ全景写真(西側から撮影)

小段

小段



# No.1トレンチ スケッチ(展開図)



テフラの年代(町田・新井, 2011)

AT : 2.8万~3万年前  
K-Tz : 9.5万年前

- 【露頭観察結果】**
- 砂質シルト層**
    - ・色調7.5YR6/3~10YR6/6
    - ・径2~10cmの安山岩角~垂円礫が僅かに混じる。
    - ・やや締まっているが、指圧で跡が残る。
  - シルト質砂層**
    - ・色調7.5YR6/3~10YR6/6
    - ・やや締まっているが、指圧で跡が残る。
  - シルト混じり砂礫層**
    - ・色調5YR6/3~10YR6/6
    - ・基質はシルト混じり細~粗粒砂からなり、淘汰は悪い。
    - ・径2~15cmの角~垂円礫を10~30%含み、最大25cmの礫が混じる。
    - ・礫は比較的新鮮で硬質。
    - ・やや締まっているが、指圧で跡が残る。
  - S-2・S-6**
    - ・西側の安山岩(均質)と東側の安山岩(角礫質)の境界に位置する。
    - ・走向・傾斜N14° E~N14° W/68° NW~78° SW(走向は真北基準)で、幅1~15cmの固結した破碎部及び幅フィルム状~3mmの黄灰色を呈する粘土状破碎部からなる。

・岩盤と堆積物の境界に関する調査結果については参考資料5.5-1(2)-2

- 【火山灰分析結果】**
- ・シルト混じり砂礫層中から、AT、K-Tzの混在が認められる(次頁)。

※図中A、Bで示した北面、南面におけるS-2・S-6付近の詳細な確認結果については、参考資料5.5-1(2)-1 P.5.5-1-23, 24に示す。

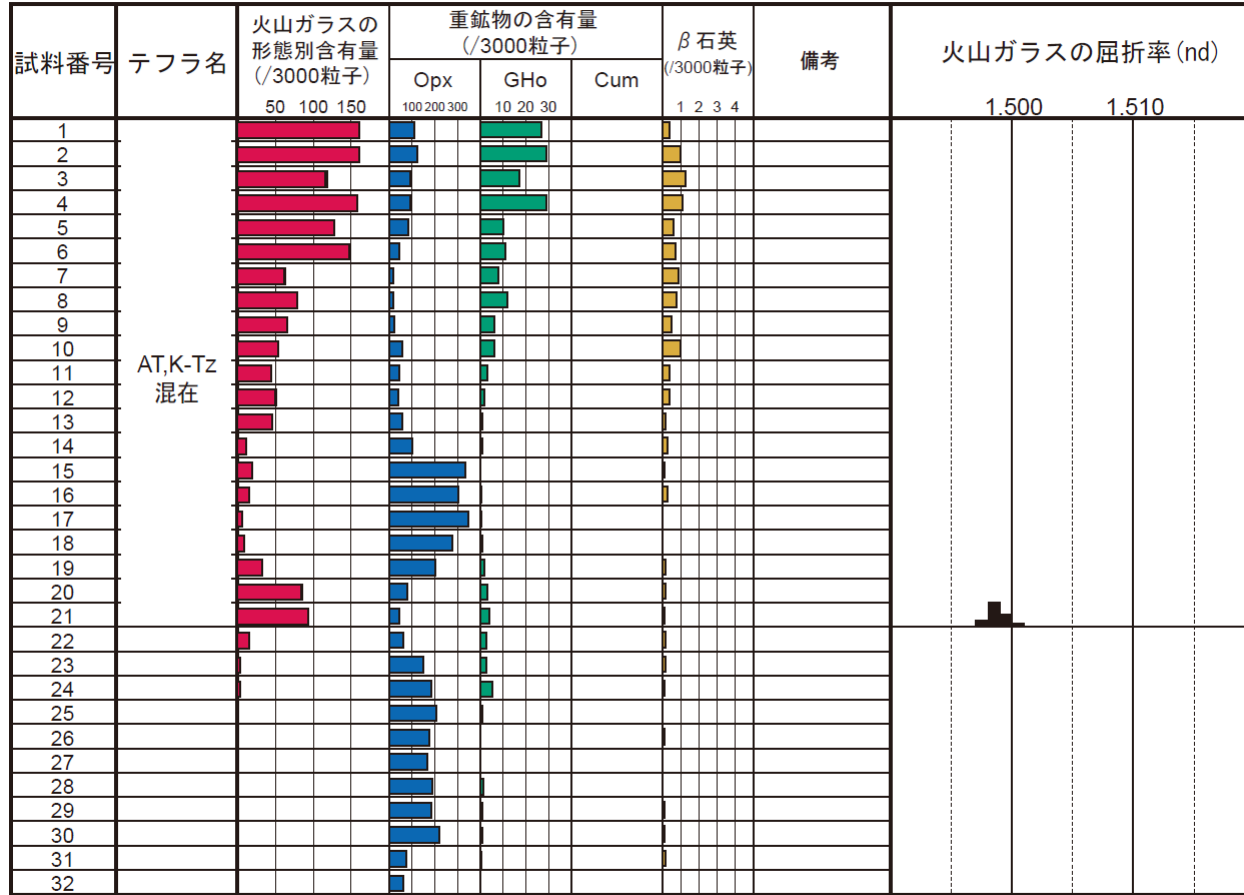
・火山灰分析結果を踏まえると、岩盤上位に分布するシルト混じり砂礫層は、AT降灰時期(2.8万~3万年前)以降の堆積物であると判断される。

スケッチ(展開図)



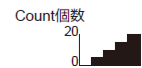
## 【No.1トレンチ 火山灰分析結果】

地点:TE1-1

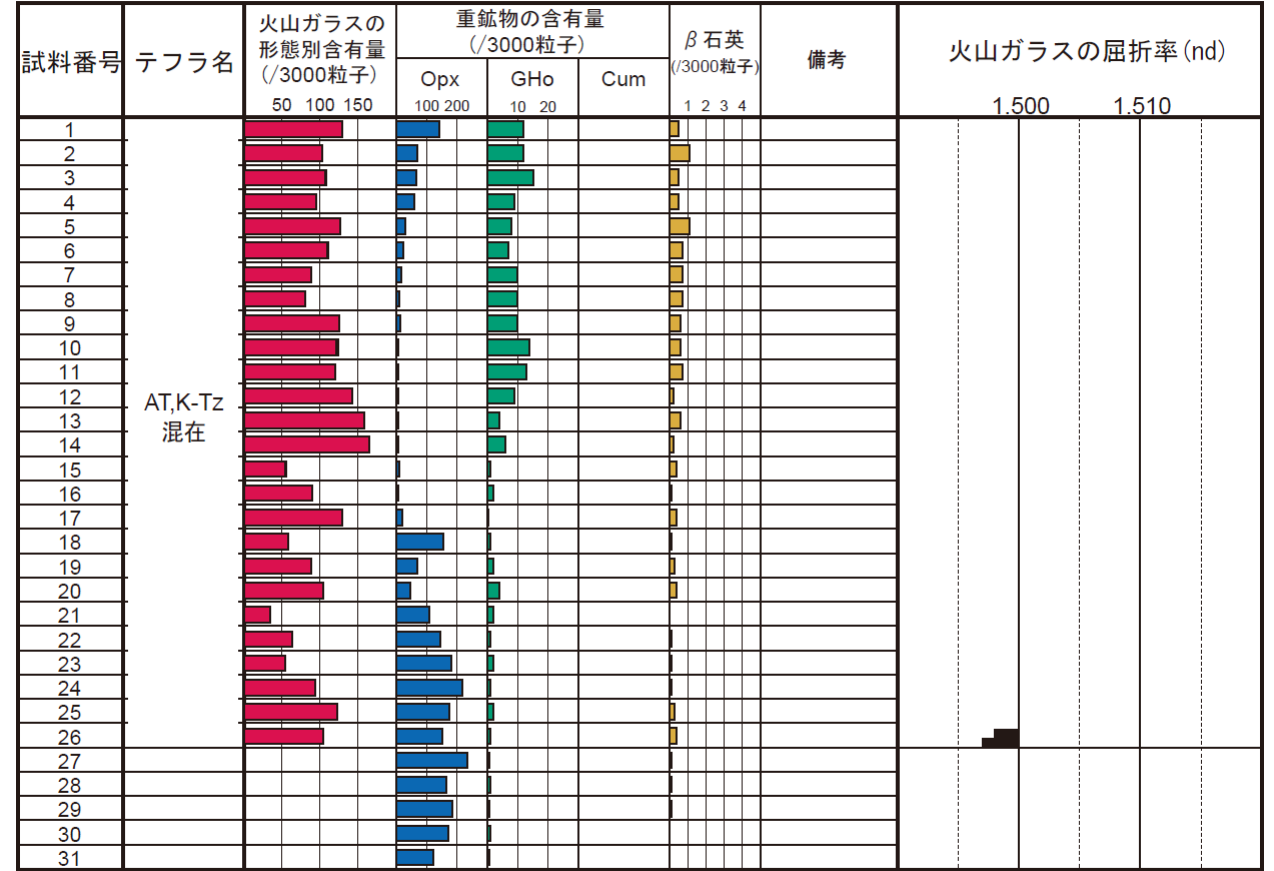


試料は5cm間隔

■ バブルウォール (Bw) タイプ  
■ バミス (Pm) タイプ  
■ 低発泡 (0) タイプ  
■ Opx:斜方輝石  
■ GHo:緑色普通角閃石  
■ Cum:カミングトン閃石

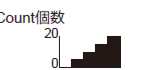


地点:TE1-2



試料は5cm間隔

■ バブルウォール (Bw) タイプ  
■ 低発泡 (0) タイプ  
■ Opx:斜方輝石  
■ GHo:緑色普通角閃石  
■ Cum:カミングトン閃石



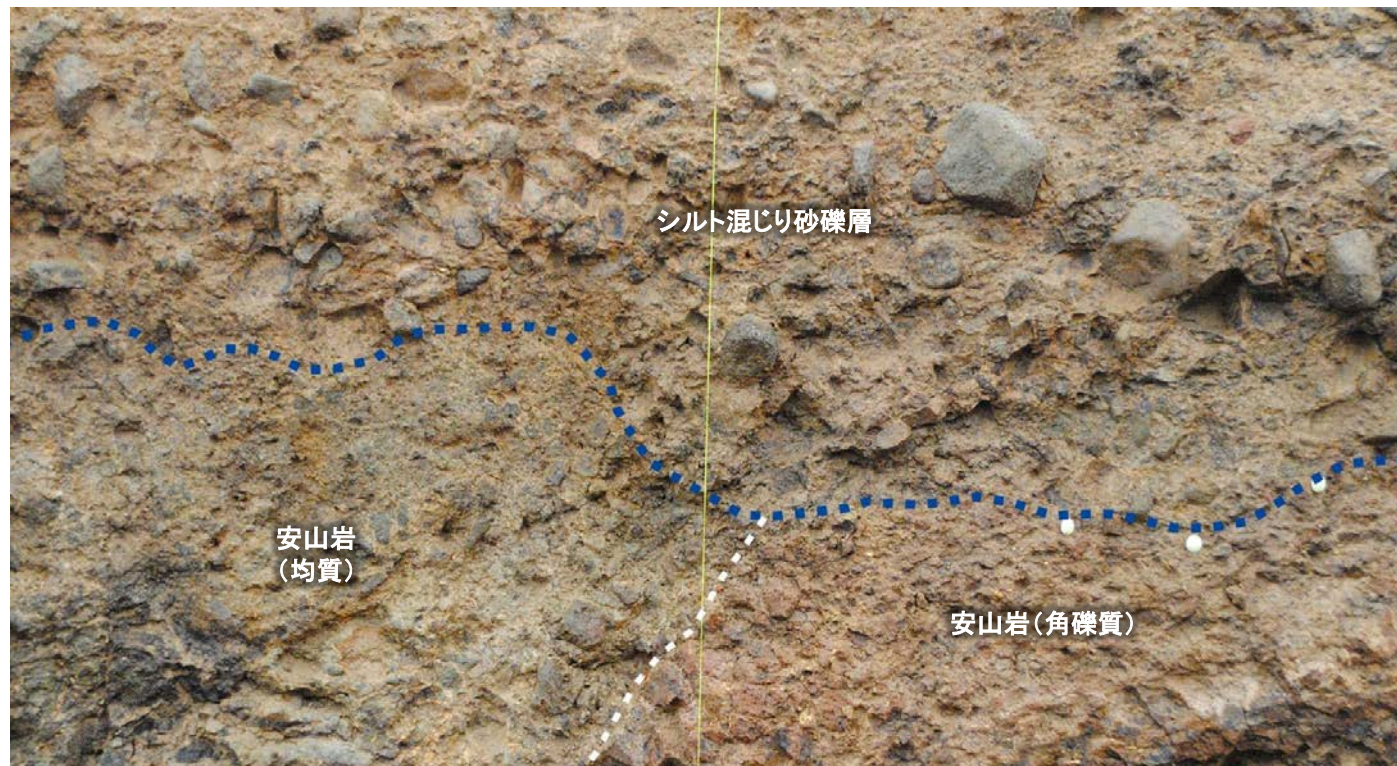


# No.1トレンチ -S-2・S-6と上載地層との関係-

## 【北面拡大写真】



北面調査箇所 拡大写真



S-2・S-6  
北面調査箇所 拡大写真(岩盤境界等を加筆)

0 20cm

- ..... 岩盤上面
- 不明瞭な主せん断面

- ・岩盤直上を覆うシルト混じり砂礫層基底には、段差は認められない。
- ・S-2・S-6直上のシルト混じり砂礫層中には、せん断面は認められない。

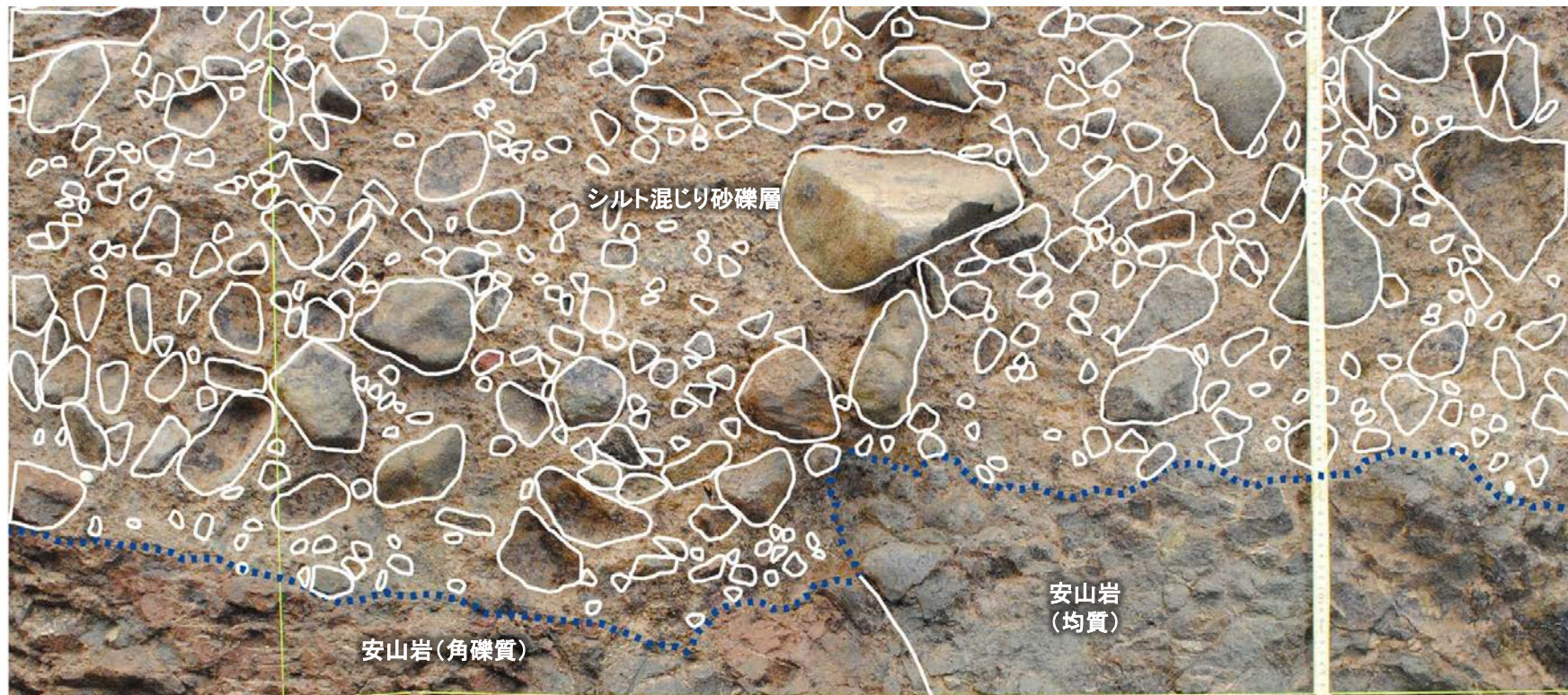


# No.1トレンチ -S-2・S-6と上載地層との関係-

## 【南面拡大写真】



南面調査箇所 拡大写真



南面調査箇所 拡大写真(礫等を加筆)

-  礫
-  岩盤上面
-  主せん断面

- ・岩盤直上を覆うシルト混じり砂礫層基底には段差が認められるものの、礫の定向配列は認められない。
- ・S-2・S-6直上のシルト混じり砂礫層中には、せん断面は認められない。
- ・S-2・S-6上部に認められる段差を断層運動に伴う段差として考えた場合、相対的に東落ちとなるものの、S-2・S-6の北方延長である北面では東落ちの段差形状は認められない※。

※南面においては、断層を挟んで左右で岩種が異なる。安山岩(均質)は安山岩(角礫質)に比べて硬いことから、この段差は、岩盤の硬軟の差による侵食の影響と判断される。

0 20cm



---

## (2)-2 岩盤と堆積物の境界に関する調査結果